

絶望を与える決闘者

咲き人

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

原因不明の幻想入りを果たした峰城嵯峨はオリジナルのカードを駆使し、幻想郷でデユエルをする。ただし幻想入りしたのは嵯峨だけではなく……

目次

番外編第一期

「オリカー一覧」

1

「クリスマス 雪降る中で」

18

第1期

1. 「デイスペア」

35

2. 「勘違いから」

49

3. 「妙な争い」

65

4. 「決闘異変」

85

5. 「幻想郷最速の」

90

6. 「荒れ狂う旋風」

104

7. 「堕ちてこい！侵略の龍！」

118

8. 「這い寄れ！デイス子さん」

132

9. 「左腕の代償」

149

10. 「兄を持つ者として」

169

11. 「異変を終えて 明日に備えて」

189

12. 「宴会での決闘！上」

196

13. 「宴会での決闘！下」

209

14. 「大会開始！上」

224

15. 「大会開始！下」

236

16. 「二回戦！俺達のデュエル！上」

251

17. 「二回戦！俺達のデュエル！下」

264

18. 「三回戦！駆ける虹！羽ばたけ黒羽！上」

281

19. 「三回戦！駆ける虹！羽ばたけ黒羽！下」

303

20. 「四回戦！機械VS妖精！」

318

2 1.	「五回戦！古池や蛙飛び込む水の音 上」	335
2 2.	「五回戦！古池や蛙飛び込む水の音 下」	345
2 3.	「六回戦！幻影のデュエル！上」	359
2 4.	「六回戦！幻影のデュエル！下」	371
2 5.	「第七回戦！魔の戦い 上」	383
2 6.	「第七回戦！魔の戦い 下」	401
2 7.	「第八回戦！天と地獄！上」	415
2 8.	「第八回戦！天と地獄！下」	436
2 9.	「第九回戦！赤の王者VS勝利の青！上」	452
3 0.	「第九回戦！赤の王者VS勝利の青！下」	471
3 1.	「第十回戦！ホーリーVSブラック！上」	498
3 2.	「第十回戦！ホーリーVSブラック！下」	519
3 3.	「第十一回戦！星の龍と絶望の神！?上」	538
3 4.	「第十一回戦！星の龍と絶望の神！?下」	559

番外編第一期

「オリカ一覧」

『デイスペアー・ソルジャー』

星4 闇属性 悪魔族 攻1600 守0

①：このカードが召喚・特殊召喚に成功した場合、手札の『デイスペアー』モンスターを墓地に送り、1枚ドロウする。その後、ドロウしたカードがレベル4以下の『デイスペアー』モンスターなら、特殊召喚できる。

②：自分のメインフェイズ時に墓地のこのカードを除外して、発動できる。デッキから『デイスペアー』モンスター1体を墓地に送り、お互いは500ポイントのダメージを受ける。この効果はこのカードが墓地に送られたターンには発動できない。

『デイスペアー・ハッカー』

星4 闇属性 悪魔族 攻800 守0

①：このカードが手札から墓地に送られた場合、このカードを特殊召喚できる。

②：このカードが特殊召喚に成功した時、お互いに300ポイントのダメージを受ける。

③：相手モンスターの攻撃宣言時、墓地のこのカードを除外して発動できる。そのモンスターの攻撃を無効にする。

『デイスペアー・ナイト』

星4 闇属性 悪魔族 攻2000 守0

①：このカードはお互いが効果ダメージを受けたターンのみ、攻撃することができる。

『デイスペアー・ストーリーカード』

星4 闇属性 悪魔族 攻2000 守0

①：このカードが戦闘破壊された場合、このカードを破壊したモンスターを破壊する。

『デイスペアー・チャレンジャー』

星4 闇属性 悪魔族 チューナー 攻1200 守0

①：このカードをS^{シンクロ}召喚の素材に使用する場合、このカードと他のS素材のカードは墓地に送られず、除外される。

②：自分フィールドにレベル4、8の特殊召喚された『デイスペアー』モンスターが1体ずつ存在する場合、その自分フィールドの全モンスターのレベルを半分にして、墓地のこのカードのレベルを半分にして、特殊召喚する。

『デイスペアー・ドクター』

星4 闇属性 悪魔族 攻1300 守0

①：このカードが特殊召喚に成功した時、エクストラデッキから特殊召喚されたモンスター1体を対象に発動できる。対象のモンスターのレベルをこのモンスターのレベル分、下げることができる。

『デイスペアー・コンストラクター』

星4 闇属性 悪魔族 攻1100 守0

①：自分フィールドに『デイスペアー』モンスターが存在する場合、手札のこのカードを除外して発動できる。種族を1つ宣言する。このターン、自分のフィールドの『デイスペアー』モンスターは宣言した種族になる。

『デイスペアー・ネゴシエーター』

星4 闇属性 悪魔族 攻1000 守0

①：このカードの召喚に成功した時、自分フィールドのモンスターがこのカードのみの時、デッキから『絶望』または『デイスペアー』魔法・罫カードを墓地に送り、発動する。ゲームから除外されている『デイスペアー』モンスターを特殊召喚する。

『デイスペアー・クライマー』

星4 闇属性 悪魔族 攻1200 守0

①『デイスペアー』モンスターの効果でこのカードの特殊召喚に成功した時、1枚ドローする。

『デイスペアー・パントマイナー』

星4 闇属性 悪魔族 攻1800 守0

①：このカードが特殊召喚に成功した時、お互いのフィールドが特殊召喚されたモンスターのみの場合、発動できる。フィールドに表側表示で存在する、相手モンスターを1体破壊する。

②：相手のカード効果でこのカードが破壊された時、フィールドのレベル4モンスターを全て破壊する。

『デイスペアー・ハングリイダー』

星4 闇属性 悪魔族 攻900 守0

①：自分のフィールドに『デイスペアー』モンスターが存在する時のみ、手札からこのカードを除外することで発動できる。このターン、フィールドに闇属性モンスターがないプレイヤーは効果ダメージを受けない。

②：①の効果を発動したターンのエンドフェイズ時に自分は100

0ポイントのダメージを受ける。

『デイスペアー・アイズ・コア・ドラゴン』

星1 闇属性 ドラゴン族 攻0守0

『デイスペアー・アイズ・コア・ドラゴン』の②の効果はデュエル中に1度しか、発動できない。

①：iターンに1度、自分フィールドの『デイスペアー』モンスターが2体以上存在する場合、発動できる。『デイスペアー』モンスターの攻撃力の合計よりも高い攻撃力を持つモンスターが相手フィールド上に存在する時、そのモンスターを破壊する。

②：墓地のこのカードを除外して発動できる。墓地の『デイスペアー・アイズ・クレイジー・ドラゴン』を効果を無効にして特殊召喚する。

『デイスペアー・ジャイアント』

星8 闇属性 悪魔族 攻2800 守0

①：『デイスペアー』モンスターをリリースし、このカードのアドバンス召喚に成功した場合、発動できる。このカードのアドバンス召喚のリリースに使用したモンスター1体を攻撃表示で特殊召喚する。

②：自分ターンのメインフェイズにのみ、墓地のこのカードを除外して発動できる。

墓地のレベル4『デイスペアー』モンスター2体を攻撃力を0にして、攻撃表示で特殊召喚する。

『デイスペアー・デビル』

星8 闇属性 悪魔族 攻2000 守0

①：自分のフィールドにモンスターが存在せず、相手フィールドにモンスターが2体以上存在する場合、特殊召喚できる。

②：手札のカードを1枚デッキトップに置くことで、発動できる。相手の全てのモンスターは攻撃表示となり、表示形式も変更できず、次の相手ターン、相手モンスターは『デイスペアー・デビル』に攻撃しなければいけない。

③：このカードが攻撃対象になった時、発動する。カードを1枚ドロし、そのカードが魔法カードならば相手モンスターの攻撃を無効にする。魔法カード以外ならば墓地に送り、このカードを破壊する。

④：自分フィールドに『デイスペアー』モンスターが2体以上守備表示で存在する場合、墓地のこのカードを除外することで発動できる。自分フィールドの『デイスペアー』モンスターは攻撃表示となり、このターン、攻撃しなければいけない。

『デイスペアー・ヴァンパイア』

星8 闇属性 アンデット族 攻2000 守0

①：このカードが戦闘・効果で破壊された場合、自分ライフを1000支払うことで、自分フィールドに特殊召喚できる。この効果で特殊召喚した時、相手フィールドの攻撃力が最も低いモンスターの元々と同じ攻撃力になる。

②：相手モンスターの攻撃宣言時にこのカードを除外し、ライフを半分支払うことで発動できる。相手フィールドのモンスターの攻撃を無効にして、そのモンスターの攻撃力を半分のダメージを相手に与える。

『デイスペアー・ユニコーン』

星8 闇属性 獣族 攻2200 守0

①：このカードが守備表示モンスターを攻撃した場合、その守備力を攻撃力が超えた分だけ戦闘ダメージを与える。

②：自分モンスターがそのモンスターよりも攻撃力の高い相手モンスターと戦闘を行う場合、墓地のこのカードを除外して発動できる。

その戦闘で発生するダメージを0にし、この戦闘でお互いのモンスターは破壊されず、ダメージステップ終了時に戦闘を行ったお互いのモンスターを破壊し、破壊されたモンスターの元々のコントローラーに300ポイントのダメージを与える。

『デイスペアーアイズ・クレイジー・ドラゴン』

星8 闇属性 ドラゴン族 攻3000 守0

①：このカードの召喚・特殊召喚に成功した時、発動する。お互いは自身の手札の枚数×300ポイントのダメージを受ける。

②：

融合

『デイスペアーアイズ・サッド・ドラゴン』

星8 闇属性 ドラゴン族 融合 攻3000 守0

『デイスペアーアイズ』モンスター+『デイスペアー』モンスター1体の特殊召喚されたモンスターの数×300ポイントこのカードの攻撃力をアップし、相手のフィールドのモンスターの攻撃力は、自分フィールドのエクストラデッキから特殊召喚されたモンスター1体につき、300ポイントダウンする。

『デイスペアーアイズ・エリミネーション・ドラゴン』

星10 闇属性 ドラゴン族 融合 攻3300 守0

『デイスペアーアイズ』モンスター+『デイスペアー』モンスター2体

①：このカードの融合召喚に成功した時、発動する。お互いは1500ポイントのダメージを受ける。

②：相手のカードの効果でこのカードがフィールドからエクストラ

デッキに戻った場合、2ターン後の自分のスタンバイフェイズ時に発動できる。このカードの融合召喚に必要な素材をフィールド・手札の『デイスペアー』モンスターを墓地に送ることで、このカードを融合召喚扱いで特殊召喚できる。この効果で特殊召喚に成功したこのモンスターがフィールドを離れる場合、墓地に送られる。

『デイスペアーアイズ・バランスブレイカー』

星8 闇属性 悪魔族 融合 攻2400 守0

『デイスペアー』モンスター+闇属性以外のレベル4モンスター

- ①：このカードが表側表示で存在する限り、相手モンスターの攻撃力のアップダウンは逆になる。
- ②：このカードが相手フィールドで最も攻撃力が高い相手モンスターを攻撃し、破壊した場合、もう1度だけ、相手モンスターに攻撃できる。

シンクロ

『デイスペアーアイズ・アングリー・ドラゴン』

星8 闇属性 ドラゴン族 シンクロ 攻3000 守0

闇属性チューナー+『デイスペアー』モンスター1体以上

- ①：相手モンスター1体を対象に発動できる。このカードの攻撃力を選択したモンスター1体の攻撃力分ダウンさせることで、相手モンスター全ての攻撃力をその数値分、ダウンさせる。
- ②：このカードが破壊される代わりに自分の墓地のカードをランダムに5枚除外することができる。
- ③：このカードが相手のレベル4以下のモンスターを攻撃した場合、続けてレベル4以下の相手モンスターに攻撃する。
- ④：このカードの攻撃宣言時に発動する。相手のデッキからカードを3枚墓地に送る。

エクシース

『デイスペアアイズ・シャドー・ドラゴン』

ランク8 闇属性 ドラゴン族 エクシース 攻0 守0

レベル8モンスター×3

①：このカードが表側表示で存在する限り、メインフェイズ時1にこのカードのX エクシース 素材を1つ取り除かなければこのカードは攻撃できず、自分はバトルフェイズを行えない。

②：このカードが戦闘を行うダメージステップ開始時に発動できる。

『デイスペアアイズ』モンスターを素材にエクシース召喚に成功している時、ダメージステップ終了時まで攻撃力を3000にする。

魔法

『混同する絶望』

通常魔法

①：フィールドにレベル8以上のモンスターがいるプレイヤーは自身のモンスターのレベル×100ポイントのダメージを受ける。

②：このカードを除外し、お互いは自身の墓地のカードの枚数×100ポイントのダメージを受け、この効果を使用した後にモンスターを特殊召喚する度に相手に200ポイントのダメージを与える。

『絶望仕掛けの人形』

通常魔法

①：墓地の『デイスペア』モンスターを5体除外することでエクストラデッキから『デイスペアアイズ』融合モンスターを召喚条件

を無視し、効果を無効にして守備表示で特殊召喚する。

②：このカードが除外された時、発動する。フィールドに存在する融合モンスターを全て破壊し、そのモンスターの守備力の合計分のダメージを自分は受ける。

『絶望仕掛けの屋敷』

通常魔法

①：墓地の『絶望』または『デイスペアー』魔法・罫カードを全て除外し、エクストラデッキから『デイスペアーアイズ』シンクロS モンスターを召喚条件と効果を無効にして守備表示で特殊召喚する。

②：このカードが除外された時、発動する。フィールドに存在するシンクロモンスターを全て破壊し、そのモンスターの守備力の合計分のダメージを自分は受ける。

『絶望の異常召喚』

通常魔法

①：自分の墓地の融合・シンクロ・エクシーズモンスターを全て除外し、相手の墓地に存在する通常モンスターを除外した枚数まで特殊召喚する。

②：①の効果で2体以上のモンスターが特殊召喚した場合、最もレベルが高い方のモンスターはこのターン、相手プレイヤーに直接攻撃することができる。

『絶望への渴望』

通常魔法

①：手札のカードを1枚除外し、相手フィールドの表側表示の魔法カードを1枚を対象に発動できる。選択したカードを除外する。

『絶望への道標』

通常魔法

- ①：墓地の『デイスペアー』カードを任意の枚数を除外して発動できる。この効果で除外した枚数、デッキの上からカードを墓地に送ることができる。
- ②：自分のメインフェイズ2に墓地のこのカードを除外して発動できる。自分フィールドの『デイスペアー』モンスター1体の攻撃力の半分のダメージを与え、その後、対象の『デイスペアー』モンスターの攻撃力を0にする。

『絶望の賭け』

通常魔法

- ①：このカードはお互いが手札のカードが1枚以上ある時、発動できる。お互いはそれぞれ1000から1000の倍数の数値を選択し、お互いにデッキからカードを1枚ドロし、その後、手札を2枚除外する。そしてこの効果で除外した魔法カードはレベル4、罨カードはレベル6のモンスターカードとして扱い、お互いはこの効果で除外するカードの合計レベル21以上になるまでデッキからカードをドロし、裏側で除外できる。除外していたカードをお互いに確認し、除外していたカードのレベルの合計が多いプレイヤーは、そのプレイヤーが宣言した数値分のライフを回復し、相手プレイヤーはそのプレイヤーが宣言した数値分、ライフポイントを失う。
- ②：①の効果で除外したカードのレベルの合計が22以上のプレイヤーはそのプレイヤーが宣言した数値分、ライフポイントを失い、相手プレイヤーはそのプレイヤーが宣言した数値分のライフポイントを回復する。
- ③：ターンプレイヤーのスタンバイフェイズ毎にそのプレイヤーの①の効果で除外していたカードは持ち主の手札に戻る。

『デイスペアー・デメリット・コール』

通常魔法

- ①：このカードの発動ターン中に、自身のカードの効果で自分がダメージを受ける場合、その数値は倍になる。
- ②：このカードの発動ターン中に、自身のカード効果で自分がダメージを受ける度、デッキからレベル4の『デイスペアー』モンスターを守備表示で特殊召喚する。

『デイスペアー・エントリー』

通常魔法

- ①：自分は500ポイントのダメージを受ける。
- ②：このカードの発動ターンに『デイスペアー』モンスターが特殊召喚に成功する度、自分はデッキからカードを1枚ドロウする。

『デイスペアー・フュージョン』

通常魔法

- ①：自分のフィールド・墓地の『デイスペアーアイズ』融合モンスターカードによって決められた融合素材モンスターを除外し、その融合モンスターをエクストラデッキから特殊召喚する。

『憑りつく絶望』

通常魔法

- ①：手札の『デイスペアー』モンスターを2体までデッキに戻して発動できる。戻した枚数＋1枚ドロウする。

『望みを裁ちし者の夢』

通常魔法

①：このカードは、自分フィールドのモンスターが1体のみの時、発動できる。そのモンスターはこのターン、戦闘では破壊されず、そのモンスターが攻撃する時、1度だけお互いは300ポイントのダメージを受ける。そして自分モンスターが自分よりも攻撃力の高い相手モンスターに攻撃した場合、相手モンスターにもう一度攻撃できる。

『綻びゆく絶望』

通常魔法

①：このカードは、お互いが効果ダメージを受けたターンのみ発動でき、自分フィールドの『デイスペアー』モンスター1体の攻撃力以下の攻撃力を持つ相手モンスターを全て破壊する。

『ダーク・デイスペアー・デストラクション』

通常魔法

①：フィールドの闇属性モンスターを全て破壊し、破壊した数まで手札の『デイスペアー』モンスターを守備表示で特殊召喚する。この効果を使用した場合、バトルフェイズを行なわなければならない。このカードの②の効果が発動しなければならない。

②：バトルフェイズ中に墓地のこのカードを除外して発動する。自分フィールドの闇属性モンスターを全て破壊し、このカードの①の効果で破壊したモンスターを全て相手フィールドに攻撃表示で特殊召喚する。

『D^{デー}スペア』

速攻魔法

①：このカードは、お互いが1000ポイント以上の効果ダメージを受けたターンに発動できる。デッキからレベル4、8の『デイスペアー』モンスターを1体ずつ手札に加える。

『デイスペアー・ハウリング』

速攻魔法

①：自分フィールドの『デイスペアーアイズ』モンスターの攻撃力以下のダメージが発生した時、発動できる。自分が受ける効果ダメージを全て自分の代わりに相手に与える。

『戦慄する絶望』

装備魔法

『戦慄する絶望』の②の効果はデュエル中に1度しか発動できない。

①：装備モンスターの効果で装備モンスターよりも攻撃力が高いモンスターを破壊した時、そのモンスターの攻撃力の半分のダメージを与え、その数値分の攻撃力をアップする。

②：このカードが墓地に存在し、自分フィールドに『デイスペアーアイズ・コア・ドラゴン』が存在する時、発動できる。自分フィールドの『デイスペアーアイズ・コア・ドラゴン』に装備できる。

『自虐する絶望』

永続魔法

①：このカードが存在する限り、自分が自身のカードの効果でダメージを受けた時、その数値分、自分フィールドのモンスター1体の攻撃力をアップできる。

②：このカードがフィールドから墓地に送られた場合に発動できる。墓地よりこのカードを自分フィールドの空いている魔法・罫ゾーンに発動する。

『絶望の天秤』

永続魔法

①：このカードが表側表示で存在する限り、お互いが効果ダメージを受けた時、このカードに『デイスペアーカウンター』を1つ乗せる。カウンター1つにつき、相手が受ける効果ダメージを100下げて、自分が受ける効果ダメージを100上げる。

『連動する絶望』

永続魔法

①：自分フィールドに『デイスペアー』モンスターが2体以上存在する場合に発動できる。デッキ・墓地からレベル8の『デイスペアー』モンスターを手札に加える。

②：自分フィールドのレベル4の『デイスペアー』モンスターを墓地に送り、このターン、自分は通常召喚に加え、もう一度アドバンス召喚を行える。

『絶望への生贄』

通常罫

①：自分フィールドに融合・シンクロ・エクシーズモンスターが存在する場合、墓地の『絶望』または『デイスペアー』魔法・罫カードを1枚除外して発動できる。フィールドの融合・シンクロ・エクシーズ・儀式モンスター以外のモンスター1体の『召喚・特殊召喚に成功した時』の効果が発動できる。

『絶望への進歩』

通常罫

①：相手モンスターの攻撃宣言時に発動できる。このターン、自分フィールドのレベル8以下のモンスターは戦闘では破壊されず、自分が受ける戦闘ダメージを半分にする。

②：自分フィールドのレベル8以下のモンスター1体を対象に、墓地のこのカードを除外して発動できる。デッキから『デイスペアーアイズ』モンスター1体を墓地に送り、対象のモンスターをエンドフェイズ終了時まで、墓地に送ったモンスターと同名モンスターとして扱う。その後、自分は800ポイントのダメージを受ける。

『絶望の裁定』

通常罫

①：自分モンスターが攻撃対象になった時、発動できる。お互いに300ポイントのダメージを与える。

『絶望の盗掘』

通常罫

①：ライフを半分支払い、自分の手札のモンスターカードを1枚捨てることで、相手の墓地のレベル4モンスターを1体を対象に、そのモンスターを攻撃表示で特殊召喚する。

『デイスペアー・キャノン』

通常罫

①：自分の手札が0枚の時、発動できる。デッキのカードが半分になるようにゲームから除外することで、相手にこの効果で除外したカードの枚数×100ポイントのダメージを与える。

②：墓地のこのカードを除外することで『デイスペアー・キャノン』以外の除外されている『絶望』または『デイスペアー』罫カード1枚の『除外して発動する』効果を得る。

『デイスペアー・ゲットアップ』

通常罠

- ①：お互いが効果ダメージを受けた場合に発動できる。お互いが受けたダメージ分の数値、自分フィールドの最もレベルが高いモンスターに加える。
- ②：自分のライフポイントが1000以下の時にのみ、墓地のこのカードを除外することで発動できる。このターン、相手からの効果ダメージを0にする。

『デイスペアーチ』

通常罠

- ①：相手モンスターの攻撃宣言時に発動できる。攻撃モンスターの攻撃力を半分にして、その攻撃を直接攻撃に変更する。

『デイスペアー・バーニング』

通常罠

- ①：墓地のこのカードを除外することで発動できる。このターン、相手フィールドの表側表示で存在する魔法・罠の効果を無効にし、デッキから1枚ドローする。

『デイスペアアウトプット』

通常罠

- ①：お互いが効果ダメージを受けたターン、このカードは伏せたターンに発動できる。
相手モンスター1体を破壊し、そのモンスターの攻撃力と同じ攻撃力を持つ、『デイスペアー』モンスターをデッキから特殊召喚する。
- ②：2000ポイント以上の戦闘ダメージを受けて、効果ダメージを受けていないターンにのみ、墓地のこのカードを除外することで発

動できる。このターン、戦闘破壊された全てのモンスターを墓地から効果を無効にして、そのカードのコントローラーのフィールドに特殊召喚する。

『異次元からの絶望』

通常罠

- ①：除外されている2体の『デイスペアー』モンスターを効果を無効にして特殊召喚する。この効果で特殊召喚したモンスターと同名モンスターの『墓地で発動できる』効果はデュエル中に発動できない。
- ②：相手モンスターの攻撃宣言時にこのカードを墓地から除外して発動できる。自分の墓地の最もレベルの低い『デイスペアー』モンスターを除外することで、そのモンスターのレベル×200ポイント、相手モンスター全ての攻撃力を下げる。エンドフェイズ時にこのカードの効果で除外したモンスターの『墓地で発動できる』効果を発動できる。

「クリスマス 雪降る中で」

「おや、雪だ……久しぶりに見たな……」

空から落ちてくる雪をいくつか手で掬うように取りながら嵯峨は笑う。

「なあ、霊夢」

「……寒い」

霊夢は寒そうにいつもの巫女服の上にちゃんちゃんこを着て、こたつの中に潜っている。

「全く……寒いのは慣れないのは俺もだぜ。よつと、」

「ちよつと!?!きやつ／＼／」

いきなり嵯峨は霊夢の隣に座り、こたつに潜って霊夢と肩を寄せ合う。

「……うん?どうした霊夢?顔が真っ赤だぞ?」

「あ、あああんたのせいよ!」

「お、おう……悪かった?よくわからんが熱いのならこたつから出ろよ」

「それはない(´・ω・´)」

「そ、そうか……」

嵯峨は何なんだと引き攣った笑みを浮かべながら、体が温まるのを感じていた。

「霊夢」

「何よ」

「ねむい」

「同意」

「……」

「はーい！魔理沙ちゃんだぜー！」

「うるせえー！」

急に空から箒に跨って来た魔理沙に怒りをぶつける。だが、睡魔が襲ってきているのであまり覇気が感じられず、そのため魔理沙は相変わらずヘラヘラしている。

「よ、マリサンタさんだぜ」

「その恰好からすればそうなのだろう……」

魔理沙はいつもの白黒の服ではなく、白と黒のサンタコスだ。あんま変わらないな。後、オルタかっていうツツコミは虚空の中に消えていった。

「今日は外の世界ではクリスマスってやつだぜ！プレゼントをくれてやるぜ！」

「おお」

「ただし、私にデュエルで勝てたらの話だけだな！」

「プレゼントの内容は現金ですか？」

「グイグイ来るね！じゃなくて、ストレートだなお前ら！」

「何分、貧乏なんで」

「うーん、現金ではないんだけど凄く高価なものとは言うておくぜ！」

「じゃんけんポイ！あいこでしょ！あいこでしょ！あいこでしょ！

あいこでしょ！あいこでしょ！」

「……ホント、元気な奴らだぜ」

マリサンタはやれやれとため息をはいた。

「よし、俺とデュエルだマリサンタ」

「メリークリスマス！だぜ！」

「デュエル！」

「先行はマリサンタさんが頂いちやうんだぜ！フィールド魔法『聖夜』！」

フィールド魔法『聖夜』が発動すると同時に街が現れる。律儀なことに皆煙突がある。

「1ターンに1度、『聖夜』の効果で相手のライフポイントを1000回復させることができるんだぜ！」

「お、ありがたいな」

「マリサンタさんからのプレゼントなんだぜ」

嗟哦 LP8000↓9000

「その後、私はデッキからカードを1枚ドロウするんだぜ！」

チキンレースの逆版みたいな効果か……

「そしてモンスターをセットして、ターンエンドだぜ！」

セットモンスターDEF???

マリサンタ 手札4

・モンスターゾーン

セットモンスターDEF???

・魔法・罨ゾーン

なし

・フィールド魔法

『聖夜』

「私のターナー！私は『デイスペアー・ソルジャー』を召喚！」

『デイスペアー・ソルジャー』 ATK1600

「『デイスペアー・ソルジャー』の効果が発動！手札の『デイスペアー・アイズ・クレイジー・ドラゴン』を墓地に送り、1枚ドロ〜……うん、まあいい。バトルだ！『デイスペアー・ソルジャー』でセットモンスターを攻撃！」

「セットモンスターは『赤鼻トナカイ』！守備力は驚愕の2500だぜ！」

「何だ?!?くっ！」

嵯峨 LP9000↓8100

「更にリバーズした『赤鼻トナカイ』の効果が発動！手札を1枚捨て、デッキから『サンタ・クロース』を特殊召喚！」

『サンタ・クロース』 ATK1200

もしかして、攻撃力1200で守備力2500か？分かりやすいな。

「カードを1枚伏せて、ターンエンドだ」

嵯峨 手札4

・モンスターゾーン

『デイスペアー・ソルジャー』

・魔法・罨ゾーン

伏せ1

「私のターン、ドローだぜ！『聖夜』の効果を発動！相手のライフを1000ポイント回復させる代わりに1枚ドロー！」

嗟哦 LP8100↓9100

「よし、そろったぜ！『サンタ・クロース』に装備魔法『白いプレゼント袋』と『赤鼻トナカイ』に装備魔法『赤のソリ』を装備！どちらも装備モンスターの攻撃力と守備力を入れ替える能力を持っているぜ！」

「何!？」

『赤鼻トナカイ』 ATK1200↓2500

『サンタ・クロース』 ATK1200↓2500

「バトルだぜ！『赤鼻トナカイ』で『デイスペアー・ソルジャー』を攻撃！『笑いものの幸福』！」

「トラップカード『パワー・フレイム』発動！『デイスペアー・ソルジャー』よりも攻撃力が高いモンスターに攻撃された時、その攻撃を無効にしてこのカードを『デイスペアー・ソルジャー』に装備する！装備モンスターの攻撃力はさっきの相手モンスターと自身の攻撃力の差の数値分アップする！」

『デイスペアー・ソルジャー』 ATK1600↓2500

「でもバトルは終わったわけじゃないんだぜ! 『サンタ・クロース』で『デイスペアー・ソルジャー』に攻撃!」

「攻撃力は同じだぜ……!? な、何故破壊されない!？」

「『サンタ・クロース』は『聖夜』がある限り、子供たちにプレゼントを与える役目がある以上、破壊されないんだぜ!」

「ああ、そういうことか!」

「納得してんじゃないの!」

霊夢からツツコミを入れられました。てへ

「カードを1枚伏せて、ターンエンドだぜ!」

マリサンタ 手札2

・モンスターゾーン

『赤鼻トナカイ』 ATK2500

『サンタ・クロース』 ATK2500

・魔法・罠ゾーン

『白いプレゼント袋』(装備:『サンタ・クロース』)

『赤いソリ』(装備:『赤鼻トナカイ』)

伏せ1

・フィールド魔法

『聖夜』

「私のターン……手札から『デイスペアー・デメリット・コール』を発動! このターンに私が自身のカードの効果で受けるダメージは倍になる! そして、自身のカードの効果でダメージを受ける度にデッキからレベル4以下の『デイスペアー』モンスターを守備表示で特殊召喚する!」

嵯峨の発動した『デイスペアー・デメリット・コール』が消えた後にすぐさま新たなカードが挿し込まれる。

「そして『火炎地獄』を発動！相手は1000、自分は500ポイントのダメージを受ける効果だが、『デイスペアー・デメリット・コール』の効果でお互いは1000ポイントのダメージを受ける！」

「あっつー！」

マリサンタ LP8000↓7000

嵯峨 LP9100↓8100

「そして『デイスペアー・デメリット・コール』の効果でデツキから『デイスペアー・ハツカー』を特殊召喚！」

『デイスペアー・ハツカー』DEF0

「そして効果！魔理沙は300、私は600ポイントのダメージを受ける！」

マリサンタ LP7000↓6700

嵯峨 LP8100↓7500

「そして『デイスペアー・デメリット・コール』の効果で『デイスペアー・ナイト』を特殊召喚！」

『デイスペアー・ナイト』DEF0

「ここで私も『聖夜』の効果を発動！1枚ドロー！」

マリサンタ LP6700↓7700

「来た！速攻魔法『Dスペア』！お互いが1000ポイント以上の効果ダメージを受けたターンに発動でき、デッキからレベル4・8の『デイスペアー』モンスターを1体ずつ手札に加えることができるぜ！私は『デイスペアー・クライマー』と『デイスペアー・ジャイアント』を手札に加え、『トレード・イン』を発動！『デイスペアー・ジャイアント』を墓地に送り、2枚ドローだ！こっちも準備は万全だ！魔法カード『テラ・フォーミング』！デッキからフィールド魔法を手札に加える！」

「そっちもフィールド魔法かぜ？」

「おうY0！私はフィールド魔法『チキンレース』を発動！こいつはライフを1000払うことで1枚ドローすることができる！」

嵯峨 LP7500↓6500

「そして『死者転生』を発動！手札を1枚捨て、墓地の『デイスペアー・アイズ・クレイジー・ドラゴン』を手札に加え、『融合』を発動！手札の『デイスペアー・アイズ・クレイジー・ドラゴン』とフィールドの『デイスペアー・ハッカー』で融合！堕ちてこい！『デイスペアー・アイズ・サッド・ドラゴン』！」

『デイスペアー・アイズ・サッド・ドラゴン』 ATK3000

『サッド・ドラゴン』の効果発動！相手フィールドの特殊召喚されたモンスターの数×300ポイントこのカードの攻撃力をアップし、相手のフィールドのモンスターの攻撃力は、自分フィールドのエクストラデッキから特殊召喚されたモンスター1体につき、300ポイントダウンする！」

『デイスペアーアイズ・サッド・ドラゴン』 ATK3000↓3300

『赤鼻トナカイ』 ATK2500↓2200

『サンタ・クロース』 ATK2500↓2200

「バトル！『デイスペアーアイズ・サッド・ドラゴン』で『赤鼻トナカイ』を攻撃！『悲しみの連鎖 サッドバースト』！」

『赤鼻トナカイ』は私のフィールドに『聖夜』が存在する限り、戦闘では破壊されない！」

「だがダメージは受けてもらう！」

「くっ！」

マリサンタ LP7700↓6600

「これでターンエンドだ！」

嵯峨 手札0

・モンスターゾーン

『デイスペアーアイズ・サッド・ドラゴン』 ATK3300

『デイスペアー・ナイト』 DEF0

・魔法・罨ゾーン

なし

・フィールド魔法
『チキンレース』

「私のターン、ドロローだぜ！まずは伏せていた罨カード『煙突内の悲劇』を発動！魔法カードの効果でライフポイントが回復する効果をこのターンの間だけダメージに変更することができるぜ！」

「何だと!？」

「と言う訳で嵯峨のフィールドの『チキンレース』の効果を発動！1000ポイントのライフを払い、『チキンレース』を破壊する！」

マリサンタ LP6600→5600

「そして『聖夜』の効果を発動！」

嵯峨 LP6500→5500

「ぐうう！」

「そしてカードを1枚ドロローするぜ！更に『聖なる夜景』を発動！このターンのみ、『サンタ・クロース』は直接攻撃することができる！」

「なんだと!？」

「バトルだぜ！『サンタ・クロース』でダイレクトアタック！」

「があっ！」

嵯峨 LP5500→3000

「そして『赤鼻トナカイ』で『デイスペアー・ナイト』を攻撃！そしてメインフェイズ2に入り、永続魔法『クリスマス・リース』を発動！自分のライフポイントする度に、このカードにクリスマススカウンターを1つ乗せて、このカードを墓地に送ることで乗っているカウンターの数だけ私はドローできるんだぜ！」

「強いな……」

「カードを1枚伏せて、ターンエンドだぜ！」

マリサンタ 手札1

・モンスターゾーン

『赤鼻トナカイ』ATK2500

『サンタ・クロース』ATK2500

・魔法・罨ゾーン

『白いプレゼント袋』（装備：『サンタ・クロース』）

『赤いソリ』（装備：『赤鼻トナカイ』）

『クリスマス・リース』

・フィールド魔法

『聖夜』

「くっ……私のターン、ドロー！『命削りの宝札』を発動。手札を3枚になるようにドローする……そしてこのターン、俺はモンスターを特殊召喚はできず、相手は全てのダメージが0になる。『堕天使ナースーレイキキュル』を通常召喚！」

『堕天使ナースーレイキキュル』ATK1700

「『レイキキュル』の効果は、相手のライフポイントが回復する効果をダメージに変更できる……そして『聖夜』の効果を発動！」

「なるほど、回復をダメージに変更して、『リース』の効果を回避。そして『命削りの宝札』の効果でダメージはなくなる……つまり私に何のメリットも与えなくしてきたか……やるな嵯峨！」

「ドロー……よし、カードを3枚伏せて、ターンエンドだ」

嵯峨 手札0

・モンスターゾーン

『デイスペアーアイズ・サッド・ドラゴン』ATK3000

『墮天使ナースーレフィキユル』ATK1700

・魔法・罨ゾーン

伏せ3

「私のターン、ドローだぜ！よっし、来たあ！永続魔法『クリスマス・リース』を墓地に送り、永続魔法『クリスマス・ツリー』を発動するぜ！」

「まじか……やばそうだな……」

「『クリスマス・ツリー』が存在する限り、攻撃宣言する度に自分モンスターの攻撃力を100ポイントアップさせるぜ！更に『聖夜』を効果で破壊させない！」

「めんどくせえ！」

「バトルだぜ！『赤鼻トナカイ』で『レフィキユル』を攻撃！この時、『クリスマス・ツリー』の効果を発動！」

『赤鼻トナカイ』ATK2500↓2600

『サンタ・クロース』ATK2500↓2600

「トラップ発動！『魅惑の墮天使』！『墮天使』を墓地に送ることで相手モンスターのコントロールをエンドフェイズまで得る！『サンタ・クロース』を対象！」

「なんだって!？」

『サンタ・クロース』コントロール→マリサンタ↓嵯峨

「攻撃が巻き戻って、『赤鼻トナカイ』で『レフィキユル』を攻撃する

ぜー！この時、『クリスマス・ツリー』の効果が発動する！」

『赤鼻トナカイ』 ATK 2600 ↓ 2700

「破壊されたか……」

「くっ、だが何もできないんだぜ……このままターンエンド」

「待った！リバースマジック『旗鼓堂々』！墓地の装備魔法を自分モンスターに装備できる！『サンタ・クロース』に『反目の従者』を装備！」

「そんなカードいつ……!?まさか、『死者転生』の時か……流石だぜ」

「ああ、このままエンドフェイズ時まで移行していいぜ。『魅惑の墮天使』の効果が終了して俺のフィールドの『サンタ・クロース』は魔理沙に渡る」

『サンタ・クロース』 コントローラー 嵯峨 ↓ マリサンタ

「そして『反目の従者』を装備したモンスターのコントロールが相手に移った時、そのモンスターの元々の攻撃力分のダメージを元々のコントロールに与える！『サンタ・クロース』は装備魔法『白いプレゼント』の効果により、元々の攻撃力が2500となっている！よつて、2500ポイントのダメージを受けろ！」

「いったく〜!?」

マリサンタ LP 5600 ↓ 3100

「同じくエンドフェイズ時に『旗鼓堂々』の効果は終了して『反目の従者』は破壊されるぜ！」

マリサンタ 手札 1

・モンスターゾーン

『サンタ・クロース』ATK2600

『赤鼻トナカイ』ATK2700

・魔法・罨ゾーン

『クリスマス・ツリー』

「私のターン、ドロロー！これで終いにするぞ！トラップカード『デイスペアーバーニング』！『デイスペアーアイズ・サッド・ドラゴン』の攻撃力を500ポイントアップさせて、デッキからカードを1枚ドロローする！」

『デイスペアーアイズ・サッド・ドラゴン』ATK3000↓3500

「いいカードだぜ！手札から『絶望の複撃』を発動。手札の『絶望』か『デイスペアー』魔法カードを墓地に送ることで、このターン、自分のモンスターは1度のバトルフェイズに2度の攻撃ができる。対象は『デイスペアーアイズ・サッド・ドラゴン』だ！」
「くっ！」

「墓地の『絶望の報復』の効果を発動！このカードをゲームから除外して、自分フィールドのエクストラデッキから特殊召喚されたモンスターの攻撃力を800ポイントアップさせる！」

『デイスペアーアイズ・サッド・ドラゴン』ATK3500↓4300

「さあ、行くぞ！『デイスペアーアイズ・サッド・ドラゴン』で『サンタ・クロース』を攻撃！『悲しみの連鎖 サッド・バースト』！」
「『クリスマス・ツリー』の効果！私のフィールドのモンスターの攻撃力を100ポイントアップさせる！」

『サンタ・クロース』ATK2600↓2700

『赤鼻トナカイ』ATK2700↓2800

「そして『サンタ・クロース』はフィールド魔法『聖夜』がある限り、破壊されない！」

「だが、ダメージは受けてもらう！」

マリサンタ LP3100↓1500

『『サッド・ドラゴン』でもう一度『サンタ・クロース』を攻撃！『セカンド・サッド・バースト』！』

『『クリスマス・ツリー』の効果……ッ！』

『サンタ・クロース』 ATK2700↓2800

『赤鼻トナカイ』 ATK2800↓2900

「くっ！攻撃力が足りないか……！きゃあああ！」

マリサンタ LP1500↓0

WINNER 嗟峨

「いよっし！金くれ」

「言い方が野蛮だぜ!?それにお金じゃなくてプレゼントだぜ!？」

「プレゼント……魔理沙……嫌な予感しかないんだけど」

「あ、ああ……今、後悔し始めた」

「酷いんだぜ二人とも……プレゼントはちゃんとしているんだぜ……」

ほら、これ！」

魔理沙が取り出したのは小さなドームにクリスマスツリーが入っている、昔、絶の兄貴が小さい女の子にプレゼントしていたやつにそっくりだ。ただ、その奴よりも雪が多く振っている。

「へえ……外の世界から流れ着いたのか。にしても壊れてなさそうだな」

「香霖が直してくれたんだぜ。ほら、これあげるぜ」

「ちよ、これ……売れるの？」

「売るなよ霊夢……」

「あはは……じゃあ、私はこれにて、メリークリスマス！」

魔理沙は箒に跨って飛び立ってしまった。

「……完全にハロウィンだな」

「ええ……これ、どうする？」

「……今のうちだけ飾っておこうぜ……それより、デュエルの熱も冷めて、寒くなってきた。こたつに入れさせてくれ」

「ま、また隣に来る気……？／＼／＼」

「その方が温かいだろ？」

「……みかん持ってきましょ」

「お、いいね」

「あれ？みかんがない……」

「おいおい……買い忘れか？」

「そんなわけ……あ、まさか……あいつ……」

「いやー、本当に靈夢が買ってくるみかんは本当おいしいぜー♪」

第1期

1. 「デュイスペアー」

ふむ……どうということなのだろうか、これは？

紫色の長い髪を靡かせ、男は腕を組み、唸る。

「ここは『幻想郷』か？しかし……俺は転生……いや、その前に死んだのか？」

こういうのは転生したというお決まりのパターンなのだが、死んだという記憶など心当たりはない。

だが、男が今見ている光景に驚くこともなく、冷静に周りを観察する。自然が広がり、どこを見ても森ばかり。

ここが幻想郷だという確証は一向もないが、男は直感的にここが幻想郷だと感じたのだろう。仕方ないと男はため息をつきながら歩を進めようとする。すると、

「あ？何だこの袋……」

男は足元に黒い袋を見つけ、中身をあさる。出てきたのは……

「デュエルディスク!?それにこれは俺のデッキ……」

それは自作したデュエルディスクに自分が愛用したデッキ。それにもう一つ……自分が作ったカードも一緒に入っていた。

「プロキシのやつまで……ん!?これは……本物のカードになってる? 一体どういう……」

そう言いかけた時、森の奥から同じ形のデュエルディスクを左腕につけた人が現れる。だが、その人からは生気の宿った瞳をしておらず、だらしなく口を開けっ放しにしている。

「GXのデュエルゾンビ!?!」

前世の記憶を一気に引っ張って目の前のソレがどういうものなのかを一瞬で把握する。

あのゾンビのようなデュエリストはそのまんまデュエルゾンビと命名されており、デュエルだけを求めるといふ存在。

「デュエルく……デュエルく……」

「くっそ、やるしかないのか……」

ジャキンという音とともにデュエルディスクに内蔵されているメモメントが回転を始め、お互いのデッキが自動的にカットされる。

そして世界がデジタル化していく……これは遊戯王ゼアルのARビジョンというシステム。疑似世界でデュエルするというこれもデュエリストとして憧れた場所。男は内心の興奮を抑えきれずにいた。そして、口を大きく開き、高らかに宣言する。

「デュエル!」

男 LP8000

ゾンビLP8000

「俺のターン」

先行をとったのはデュエルゾンビ（以後、ゾンビ）先行ドローはなので手札を1枚抜き取り、デュエルディスクに入れる。

「モンスターをセツト〜。カードを1枚伏せ、ターンエンド〜」

ゾンビ 伏せモンスター×1

伏せカード×1

「私のターン！ドロー！」

勢いよくデュエルディスクのデッキの一番上のカードをドローする男。一人称が私に変わっていることにゾンビは何の反応も示さないが、デュエリストとしてのプライドだけは持ち合わせているようだ。真剣(?)なのかは見た目では分からないが、敵である男をしっかりと見ている。

「これだよ……こんなデュエルを望んでたんだ！やるからにはゾンビが相手だろうと手加減なく……あ!？」

手札を見た男は俄然とする。それも当然だろう……自分のデッキを自信满满でディスクの方にセッティングしたのはいいが、どうやらARビジョンでデュエルディスクを使って、デュエルできることに興奮しすぎてしまったようで、デッキの確認もせずにデュエルディスクに装着してしまっていたのだ。それから導き出される答えは一つ。

「(オリジナルカードの方のデッキだー!?)……だが、これでもデュエル出来るように調整はしてある……デメリットは意外ときついが、このデッキで戦ってやる!それに……」

男はドローしたカードを見る。そこには見れば禍々しき故に恐れ慄く者さえ出てきそうな……それこそ、本当の化け物であるカードが

あった。

「私は手札から『デイスペアー・ソルジャー』を召喚！」

『デイスペアー・ソルジャー』 ATK1600

現れた兵士からはゾンビのように生気を感じられず、目は白目をむいている。剣を持つ力も明らかに弱く、盾はもはや足元に落としている程だ。だが、男は何よりソリットビジョンで自分が作ったカードが出てきたことに嬉しくてたまらないらしい。

「そして効果発動だ！このカードが召喚・特殊召喚に成功した時、手札の『デイスペアー』カードを1枚墓地に送ることによって1ドローする！更に、ドローしたカードがレベル4以下の『デイスペアー』モンスターだった時、特殊召喚できる！ドロー！」

「またもや勢いよくドローする。チラツと引いたカードを確認し、ニツと笑みを浮かべる。」

「ドローしたカードは『デイスペアー・ナイト』！こいつはレベル4モンスターだから特殊召喚する！来い！」

「

『デイスペアー・ナイト』 ATK2000

次に現れたのは馬に跨った鉄の鎧を着た騎士。騎士の鎧はボロボロに朽ちており、所々には敵の攻撃であろう矢が刺さっていて、馬もソルジャーの時と同様に白目をむいており、だらしなく口を開け、舌を出している。

「そして墓地に送られた『デイスペアー・ハッカー』の効果！このカー

ドを特殊召喚する！」

『デイスペアー・ハッカー』DEF0

現れたのはハッカー……見た目は廃人ネットゲオタクのそれと何ら変わりはないが、大量のパソコンを両手で捌くようにタイプしている姿はハッカーに見えなくもない。廃人ネットゲオタクの印象が凄すぎるからか、こいつに関してはソルジャーやナイトといった不気味さがある意味では感じられない。

「そしてナイトはお互いが効果ダメージを受けていないターン中は攻撃できない……が、ハッカーは特殊召喚に成功した場合、お互いに300ポイントのダメージを与える！ぐっ！」

男 LP8000↓7700

ゾンビLP8000↓7700

「たった300ポイントダメージを受けただけでこの衝撃……このスリル！いいねえ……味を占めちまったじゃんかよお！」

テンションが上がりすぎてキャラが早速ブレブレになってきてしまっている男だが、デュエルは続く。

「バトルだ！『デイスペアー・ナイト』でセットモンスターを攻撃！」

ナイトは馬を走らせ、力が入っていない剣を振り下ろし、裏側で置かれているモンスターを破壊する。

だが、破壊されたのは……

『エレキトンボ』DEF100

「……つち。『エレキトンボ』か……」

「戦闘破壊されたので……デツキから……『エレキングゴブラ』を特殊召喚」

『エレキングゴブラ』ATK1000

「サーチ効果付きのダイレクトアタックできるやつか……」

「更にトラップ発動『雷の裁き』発動。お前の『ディスプレイ・ソルジャー』を破壊する」

「何!?くそが……メインフェイズ2に入り、カードを1枚伏せて、私はターンエンドだ」

男 LP7700

手札3

ディスプレイ・ナイト ATK2000

ディスプレイ・ハッカーDEF0（ソルジャーの効果で攻撃力で0）

伏せカード1枚

ゾンビにターンが回る。

「ドロー。俺は永続魔法『エレキキュア』を発動し、バトル『エレキングゴブラ』でダイレクトアタック」

「ぐうー！」

永続魔法『エレキキュア』の効果で雷族モンスターの攻撃で相手に戦闘ダメージを与えた時、その数値分ライフを回復するという効果ある

ので、ゾンビの上空から光が降り注ぎ、（傷はないが）回復していく。

男 LP7700↓6700
ゾンビ LP7700↓8700

『エレキングゴブラ』がく直接攻撃によつてダメージを与えたのでく
デッキから『エレキ』モンスターである『エレキリギリス』を手札に
加えるく」
「……」

『エレキリギリス』は他の『エレキ』モンスターを攻撃対象と効果対象
にさせないというトンドデモ効果を持っているため、男は顔をしかめ
た。GXのデュエルゾンビなんだから切り込みロックしてればいい
んだよ……と、

「メインフェイズ2でく魔法カード『ワン・フォー・ワン』を発動く。
手札の『エレキツツキ』を捨て、デッキから『エレキリギリス』を特
殊召喚く」

『エレキリギリス』DEF0

「！……早速か……」

「俺は『エレキリギリス』を通常召喚しくターンエンドく」

ゾンビ LP7700

手札2

『エレキリギリス』DEF0

『エレキリギリス』ATK0

『エレキングゴブラ』 ATK1000

「私のターン！私は2体のモンスターをリリースし、『デイスペアー・ジャイアント』をアドバンス召喚！」

『デイスペアー・ジャイアント』 ATK2800

地面を砕き、現れたのは上半身裸の巨人。巨人というだけにはあつて、とんでもない迫力だが、相変わらず棍棒を持っていたとしても握る力は弱く、息が荒い。そしてなによりこの不気味さは絶望を感じさせる。だが、対戦相手はゾンビ……そんなことは微塵も感じるわけがなく、ボーっとしている。

「そして『デイスペアー・ジャイアント』の効果！アドバンス召喚に成功した場合、リリースしたモンスター1体を特殊召喚できる。戻れ！『デイスペアー・ハッカー』！そしてハッカーの効果でお互いは300ポイントのダメージを与える！」

『デイスペアー・ハッカー』 ATK800

男 LP6700↓6400

ゾンビ LP8700↓8400

「ダメージにはあらかた慣れた……私は魔法カード『綻びゆく絶望』を発動！お互いが効果ダメージを受けたターンのみ発動でき、私の場の『デイスペアー・ジャイアント』の攻撃力以下の相手モンスターを全滅させる！崩れる！バトルだ！『デイスペアー・ハッカー』と『デイスペアー・ジャイアント』でダイレクトアタック！」

ゾンビ LP 8400 ↓ 7600 ↓ 4800

「私はカードを2枚伏せ、ターン終了だ。」

男 LP 6400

手札1

『デイスペアー・ハッカー』 ATK 800

『デイスペアー・ジャイアント』 ATK 2800

「俺のターン〜1枚目の『エレキリン』を召喚〜。」

『エレキリン』 ATK 1200

「そして〜魔法カード『魔霧雨』を発動〜。俺の『エレキリン』の〜攻撃力以下の守備力を持つ〜相手モンスターを〜全て破壊する〜」

デイスペアーモンスターの守備力は全員が0となっていて、『魔霧雨』によって全て破壊されてしまう。

だが、『魔霧雨』のデメリット効果としてこのターンはバトルフェイズが行えなくなってしまう。

「カードを1枚伏せてターンエンド〜」

ゾンビ LP 4800

手札1

『エレキリン』 ATK 1200

「私の……」

ドクンツッ！胸が脈打つ……この瞬間をずっと待ち望んでいた……自分でも引くぐらい楽しんでいる……

「ターンツッ！」

カードを引く。ただ引くだけで風が吹くほどの勢いである。

「私は2枚の伏せカード『強欲な贈り物』を発動。相手はデッキからカードを2枚ドロウする。」

明らかにデメリットでしかないカードを発動した男はククツと笑う。

「私は魔法カード『絶望への道標』を発動。墓地の『デイスペアー』カードを任意の枚数除外して、除外した枚数、デッキからカードを墓地に送ることができる。私が除外するのは『デイスペアー・ソルジャー』1枚……よってデッキから1枚墓地に送る……フツ……墓地に送られたのは通常魔法の『混同する絶望』だ。そして墓地の『デイスペアー・ジャイアント』の効果発動！このカードを除外して墓地のレベル4『デイスペアー』モンスターを攻撃力を0にして、攻撃表示で特殊召喚する。甦れ！『デイスペアー・ハッカー』、『デイスペアー・ナイト』！そして『デイスペアー・ハッカー』の効果でお互いに300ポイントのダメージを受ける。」

『デイスペアー・ナイト』ATK↓2000↓0

『デイスペアー・ハッカー』ATK800↓0

男 LP 6400 ↓ 6100
ゾンビ LP 4800 ↓ 4500

「そして私は……2体のモンスターをリリース！這い上がれ……絶望の切り札よ……『デイスペアーアイズ・クレイジー・ドラゴン』！」

『デイスペアーアイズ・クレイジー・ドラゴン』 ATK 3000

地面に亀裂が生じ、地獄のような暗い奈落の底から這い上がって来たソレは竜の形をしているが、あくまでも空想上の生き物なのでどのような姿かはわからないが、この眼に睨まれたゾンビは感情を失ってさえも恐怖の表情を浮かべている。そう絶望を感じているのだ。

「『デイスペアーアイズ・クレイジー・ドラゴン』の効果発動！召喚に成功した場合、お互いは自身の手札の枚数×300ポイントのダメージを与える！『デイスペアー・ハウリング』」

「チェーンくカウンター罠『エレキキャンセル』発動く。手札の『エレキツツキ』を墓地に送りく相手モンスターの召喚を無効にしく破壊するく」

「チェーンだ。カウンター罠『魔宮の賄賂』発動。相手の魔法・罠を無効にして破壊し、相手は1ドローする」

チェーンが逆処理で解決するので『魔宮の賄賂』で『エレキキャンセル』が破壊され、ゾンビは1枚ドローする。そして『エレキキャンセル』の効果が無効化されているので、『デイスペアーアイズ・クレイジー・ドラゴン』の召喚は無効化されず、そのまま効果が発動する。ただ、男は手札が0枚なのでダメージはない。

ゾンビ LP4500↓3000

「そして私は墓地から魔法カード『混同する絶望』を発動！このカードを除外し、お互いは自身の墓地のカードの枚数×100ポイントのダメージを受け、この効果を使用した後にモンスターを特殊召喚する度に相手に200ポイントのダメージを与える」

ゾンビ LP3000↓2100

「バトルだ！『デイスペアーアイズ・クレイジー・ドラゴン』で『エレキリン』を攻撃！『デイスペアーバースト』！」

ゾンビ LP2100↓300

「……こいつで終わりだ！墓地から魔法カード『絶望の道標』の効果発動！自分フィールドの『デイスペアー』モンスター1体の攻撃力の半分のダメージを与え、その後、その『デイスペアー』モンスターの攻撃力を0にする！」

ゾンビ LP300↓0

ライフが0になった瞬間にゾンビが倒れて、ARビジョンが終了する。ソリットビジョンで現れた『デイスペアーアイズ』を眺めながらデュエルディスクが元に戻る。

「ふう……久しぶりにデュエルモードになったな……」

デュエルモードというのはこの男だと一人称が俺から私になるようなことである。言わば、中二病モードである。男は倒れているゾンビを見る。倒れている姿だけを見ると、隈があるだけでただの人間と一緒にだ。

まあ、元々は人間なのだが……

「こいつがいるってことは『ユベル』もいるのか？」

男はその可能性があることを懸念する。『ユベル』というのはモンスターの精霊でGXの主人公である子供時代の『遊城 十代』の相棒でヤンデレ。アニメでもTFでも酷かった。そいつとデュエルで負けたデュエリストがゾンビとなり、ゾンビに負けたら、負けた奴もゾンビにというバイオミタいな方法で人間をデュエルゾンビへと変えていった。でも『ユベル』は十代に諭され、一緒にいるはずなのに今更こんなことするわけもないだろう……

男は少しの間、考えるが……ふと、木の根元に寝かせているゾンビを見る。デュエルゾンビを元の人間に戻すには主犯を倒さなければいけないという凄じ分かりやすい方法でしか、直すことができない。でなければ永遠にデュエルを求めるゾンビのままである。

「ん？……ククッ……あはは……か〜んた〜ん！」

男はゾンビのデュエルディスクからデツキを抜き取る。デツキがないのならデュエル出来ないというシンプルな考えだったのだが、男は妙に喜んでその場から立ち去る。外の世界にいた時もアンティなんて日常的にやっていた男からすれば正当防衛と称して、大量のカードが手に入ることに喜びを感じているのだ。

「さてと……幻想郷にデュエルゾンビ……つまり異変つてことだな。
ということは『博麗 霊夢』が流石に動いているか……なら行くべき
場所はただ一つ」

目的地を決めた男は森の中を歩き始めた。

2. 「勘違いから」

「はあ……やつと、森を抜けられた……」

男は先ほどから数分経ってからやつとこさ森を抜けることができず。全くと言っていいほど目印になるものがないので本当に抜けられたのかは考えずにここまで来た。

「目の前に広がる光景が知っている場所であってほしい……頼むう！」

最後の言葉だけ声が高く、間抜けに聞こえるが、それほど男にとって大変だということである。恐る恐る眼を開ける。

「……よっし！ 『博麗神社』だ！」

男が今見ているボロボロな神社……それが博麗神社……それは幻想郷にある2つの神社の内の1つ。

男が一番幻想郷で行きたかった場所でもある。男はガッツポーズをする。

ここならゾンビも来ないだろうという考えもあった。

「それに『博麗 霊夢』がいるだろうし……」

博麗霊夢というのは博麗神社の巫女をやっている者で、主に幻想郷に仇をなす、『異変』を解決することを内容に活動している。彼女ならさっきのデュエルゾンビが生まれているこの異変に立ち向かっているのだろう。

「見つけたわ！」

「ん？」

話をすれば何とやら……神社の裏手から現れたのは腋出しの巫女服を着た女……件の博麗 霊夢だ。左腕には東方では見慣れないデュエルディスクが装着されている。どうやらこの世界では随分と浸透しているようなんだか嬉しい。霊夢の言葉から察するに何故か男のことを知っているようだ。不思議には思うがそれならば都合がよいと男が自己紹介しようと霊夢の方に近づこうとすると……

「何匹も何匹もしつこいゾンビ共ね！」

「……………はっ。」

どうやら霊夢は男のことを知っているわけではなく、デュエルゾンビだと勘違いしてしまっているようだ。

いやいや、これは軽率だ。俺も霊夢も……霊夢の場合はデュエルゾンビたちとたくさん戦ってきたものにも関わらず、ゾンビ共の特徴を全然理解できていない。俺がデュエルしたゾンビの場合だと、目は白目を向いていたし、顔色もかなり悪かった。俺の場合はデュエルゾンビがたくさんいるという予想を立てた癖に、東方キャラ（主に霊夢）に

勘違いされそうな同じタイプのデュエルディスクを簡単に付けていることだ。この点についてデュエリストとしての癖がついている言い訳も通用しなさそうだ。

「はあ……博麗 霊夢。俺はゾンビじゃない」

「嘘つくのも大概にしなさい！あんたみたいに同情を誘うタイプのゾンビもいるのよー！」

前言撤回、そんなタイプのゾンビもいんのかよ……

「めんどく……くっそ、こうなればいつそのことデュエルで分からせ

「やる」

流石デュエル脳。全ての揉め事はデュエルで決めるといふこの理……悪くない。

「デュエル！」

男 LP8000 手札5

霊夢 LP8000 手札5

「先行は私が貰おう……私のターン！」

「一人称が変わるタイプでもあったのね……」

あんのかよ……

「私は『デイスペアー・ストーカー』を召喚」

『デイスペアー・ストーカー』 ATK2000

現れたのは包丁を持って怪しい笑みを浮かべながら霊夢を覗く様に見てくる黒の長髪の女。ストーカーという存在自体が怪しいのに服から出てくる黒い霧が更にその不気味さを深めていつている。

「『デイスペアー』？見たことないカードね……」

だって俺が作ったカードだもん。

「私はカードを2枚伏せ、ターンエンド」

男 手札2

『デイスペアー・ストーカー』 ATK2000
伏せ2

「私のターン、ドロー！」

さあ、霊夢のターンだ。一体全体何デッキなんだ？霊夢っていうキャラを考えると……色々と当てはまりそうそうだな。ま、見ればいか……

「私は手札から『沼地の魔神王』を捨て、効果を発動するわ。デッキから『融合』を手札に加える」

うむ。敵ながらいいスタートだな。さて、何が出てくる？

「私はフィールド魔法の『竜の渓谷』を発動」

『竜の渓谷』？というドラゴンデッキか？いや、エレキデッキとかあったし、案外『ドラグニティ』だったり……

「そして『竜の渓谷』の効果発動！手札の『伝説の白石』を捨て、デッキからドラゴン族モンスター『エクリプス・ワイバーン』を墓地に送る！」

はい。まだ分からんね。『ブルーアイズ』も厄介だが、『エクリプス・ワイバーン』もまた面倒な……だが、絶対にこれだけは言う。『ドラグニティ』デッキではないです。

「墓地に送られた『伝説の白石』と『エクリプス・ワイバーン』の効果が発動！まず、『伝説の白石』の効果で『青眼の白竜』を手札に加え、『エクリプス・ワイバーン』の効果でデッキからレベル7以上の

光・闇属性のドラゴン族モンスターを1体除外する。よつて、『レッドアイス・ダークネスメタル・ドラゴン』を除外！」

ふむふむ……いい動きだね。多分、霊夢の手札に『アレ』か『アレ』がある……

「更に私は『正義の味方 カイバーマン』を召喚！」

『正義の味方 カイバーマン』 ATK200

はい、確実にブルーアイズデッキです。こんなの普通のカオドラにあんなの入ってねえもん。

『カイバーマン』の効果！このカードをリリースし、手札から『青眼の白竜』を特殊召喚する！来なさい！『ブルーアイズ』！」

『青眼の白竜』 ATK3000

「バトルよ！『ブルーアイズ』で『ディスプレイアーカー』を攻撃！」

『滅びの爆裂疾風弾』！
バーストストリーム

「ぐっ……！」

男 LP8000↓7000

「……破壊された『ディスプレイアーカー』の効果発動！このカードを戦闘破壊した相手モンスターを破壊する」

「何ですって!?!」

ストーカーの怨念がブルーアイズにまとわりつき、苦しみの声をあげさせて破壊する。

「『ブルーアイズ』！くっ……！メインフェイズ2でカードを1枚伏せ、ターンエンドよ！」

霊夢 手札2

伏せ1

フィールド『竜の溪谷』

「私のターン！私は『デイスペアー・ソルジャー』を召喚し、効果発動！手札の『デイスペアー』モンスターを墓地に送り、デッキからカードを1枚ドロウする。そしてドロウしたカードがレベル4『デイスペアー』モンスターならば、攻撃力を0にして、特殊召喚する。手札の『デイスペアー・ハッカー』を墓地に送り、ドロウ……引いたカードはレベル4『デイスペアー・チャレンジャー』！特殊召喚する！」

『デイスペアー・チャレンジャー』 ATK1200↓0

現れたのは額に『挑戦心』と書いてある鉢巻きを巻いている割には全くやる気や覇気が感じられない矛盾めいた男。それが寧ろ不気味さを漂わせている……のかもしれない。

「『デイスペアー・ハッカー』が手札から墓地に送られた場合、特殊召喚する！そして、特殊召喚に成功した時、お互いに300ポイントのダメージを受ける」

「くっ！その程度のダメージなら……」

男 LP7000↓6700

霊夢 LP8000↓7700

「永続魔法『連動する絶望』を発動。自分フィールドに『デイスペアー』モンスターが2体上いる時、デッキ・墓地からレベル8の『デイスペアー』モンスターを手札に加える。」

これで手札に加えるのは勿論、私の切り札！

「私は『デイスペアーアイズ・クレイジー・ドラゴン』を手札に！そして、第2の効果発動！自分フィールドのレベル4の『デイスペアー』モンスター……『デイスペアー・ソルジャー』とこのカードを墓地に送り、このターン、私は通常召喚権に加え、更に1度アドバンス召喚を行う！」

「何ですって!?!」

「私は2体のモンスターをリリースし、来たれ、絶望をその身に移し、人々を震撼させよ！」

『デイスペアーアイズ・クレイジー・ドラゴン』をアドバンス召喚！」

『ガールアアアアア!!』

現れた絶望を眼に移したその竜はけたたましい咆哮とともに、地面を裂いて現れる。霊夢もその強大な敵を見て、敵の強さを再確認する。

「こいつがあんたのエースモンスターね！」

『デイスペアーアイズ・クレイジー・ドラゴン』 ATK3000

「私の『ブルーアイズ』と同じ攻撃力……」

「『デイスペアーアイズ』の効果発動……召喚・特殊召喚に成功した時、お互いは自身の手札の枚数×300ポイントのダメージを受ける……『デイスペアー・ハウリング』！」

「しまった！私の手札は2枚だけどあいつの手札は0！」

霊夢 LP7700↓7100

「バトル……『デイスペアーアイズ』でダイレクトアタック！『デイスペアーバースト』！」

霊夢 LP7100↓4100

「くっ！でもやられっぱは性に合わないわ！トラップ発動！『ダメージ・コンデンサー』！手札を1枚捨て、受けた戦闘ダメージ以下のモンスターをデッキから特殊召喚するわ！来なさい『青眼の白竜』！そして捨てた『伝説の白石』の効果でデッキから3枚目の『青眼の白竜』を手札に加える」

……流石に3積みか……

「ターンエンド」

男 手札0

『デイスペアーアイズ・クレイジー・ドラゴン』 ATK3000
伏せ2枚

「私のターン！私は魔法カード『トレード・イン』発動！手札のレベル8モンスターを『ブルーアイズ』を墓地に送り、2枚ドロウ！そして私は手札の『沼地の魔神王』を捨て、デッキから『融合』を手札に加えるわ。そして速攻魔法『銀龍の轟砲』発動！墓地の通常モンスター『ブルーアイズ』を特殊召喚！

そして2体の『ブルーアイズ』を墓地に送り、融合！」

ゲツ……

「神すら破壊する獰猛なるドラゴン達よ！今2つの魂が1つとなりて真の姿へと生まれ変わらん！融合召喚！降臨せよ！」

ブルーアイズ・ツインバースト・ドラゴン
『青眼の双爆裂龍』！」

ブルーアイズ・ツインバースト・ドラゴン
『青眼の双爆裂龍』 ATK3000

超面倒なやつ来たー……

「バトルよ！『ブルーアイズ・ツインバースト』で『デイスペアーアイズ・クレイジー・ドラゴン』を攻撃！

ツインバーストストリーム
『破滅の双爆裂疾風弾』！」

本来は同じ攻撃力なので双方が破壊されるはずなのだが、ツインバーストは戦闘では破壊されない効果を持っている。

もし、今『デイスペアーアイズ』の攻撃力が3000よりも強くなっても、ツインバーストの第3の効果で除外されてしまう。ここは甘んじて喰らうしかない……

『『デイスペアーアイズ』が……』

「私はこれでターンエンドよ！」

霊夢 手札0

『青眼の双爆裂龍』 ATK3000

「私のターン……チィ……」

悔しいが何もできん。敵討ちができない……すまん『デイスペアー
アイズ』

「私はこれでターンエンド」

男 手札1

伏せ2

『連動する絶望』

「……私のターン、ドロー！（何もしてこない……？伏せカードで何かしてくる気かしら？でも『奈落』や『神宣』でもないようだし……もしその可能性があつたとしても……）臆さず行くわ！」

「私は永続トラップ『竜魂の城』を発動！墓地の『エクリプス・ワイバーン』を除外して『青眼の双爆裂龍』の攻撃力を700ポイントアップさせる！」

『青眼の双爆裂龍』 ATK3000↓3700

「そして除外された『エクリプス・ワイバーン』の効果で除外されていた『レッドアイズ・ダークネスメタル・ドラゴン』を手札に加え、私は墓地の『伝説の白石』を除外して、『暗黒竜 コラプサーベント』を特殊召喚！そしてこいつを除外して『レッドアイズ・ダークネスメタル・ドラゴン』を特殊召喚！」

『ガアアア!!』

『レッドアイズ・ダークネスメタル・ドラゴン』 ATK 2800

出た。ドラゴンを呼ぶドラゴン

「『レダメ』の効果で墓地の『ブルーアイズ』を特殊召喚して、バトルよ！私は『青眼の双爆裂龍』でダイレクトアタック！『滅びの双爆裂疾風弾』！」

男 LP 6700 ↓ 3000

「続けて『レダメ』でダイレクトアタック！」

「永続トラップ『リビングデッドの呼び声』発動！私は墓地の『デイスペアーアイズ』を特殊召喚して、特殊召喚時効果を発動！『デイスペアー・ハウリング』！」

男 LP 3000 ↓ 2700

霊夢 LP 4100 ↓ 3800

「またそのドラゴンね……『レダメ』の攻撃を中断して、『青眼の双爆裂龍』はモンスターに2回攻撃できるから『デイスペアーアイズ』を攻撃！」

「……！」

男 LP 2700 ↓ 2000

「『ブルーアイズ』でダイレクトアタック！『滅びの爆裂疾風弾』！」
「私は墓地の『デイスペアー・ハツカー』の効果を発動！このカードを除外し、攻撃を無効にする！」

「墓地からモンスター効果ですって!?!しぶといわね……私はこれでターンエンドよ!」

霊夢 手札0

『青眼の双爆裂龍』 ATK3700↓3000

『レッドアイズ・ダークネスメタル・ドラゴン』 ATK2800

『竜魂の城』 表側表示

「私のターンッ!」

男はデツキトップのカードに力を込めて引く。相手のフィールドには戦闘破壊されない攻撃力3000の『青眼の双爆裂龍』と無限にドラゴンを蘇らせる『レダメ』が存在する。突破するには……

「ドローオツツ!!」

「……!何か……来る!」

「……私は墓地の『デイスペアー・ソルジャー』の効果発動!」

「また墓地からモンスター効果!」

「このカードを除外し、デツキから『デイスペアー』カードである『デイスペアー・ジャイアント』を墓地に送り、お互いに500ポイントの効果ダメージを与える」

男 LP2000↓1500

霊夢 LP3800↓3300

「そして魔法カード『成金ゴブリン』を発動、相手は1000ポイントライフを回復して、私は1枚ドローする」

「え、いいの?」

「そういう効果だから」

「あ、じゃあ」

霊夢 LP3300↓4300

今、普通に会話したから完全に男がゾンビではないことが分かっているはずなのに霊夢は淡々と男のプレイを見ている。前々からデュエリストとしての血が強きデュエリストを求めていたのだろう。男はこの異変にかまけてお互いの了承もなしにアンティを始めたが、霊夢も相手がゾンビだからという理由で好き勝手にデュエルをしていたのだろう。霊夢は自分ですら気づいていたなかつた。フツ……と口元が若干上がっていたことを……

「そして永続魔法『連動する絶望』の効果で墓地の『デイスペアーアイズ・クレイジー・ドラゴン』を手札に！」

「！」

「そして魔法^{マジック}『トレード・イン』！手札の『デイスペアーアイズ・クレイジー・ドラゴン』を墓地に送り、2枚ドロロー！そして！私は『デイスペアーアイズ・コア・ドラゴン』を召喚！」

『キシヤアア!!』

『デイスペアーアイズ・コア・ドラゴン』 ATK0

現れたのは『デイスペアーアイズ・クレイジー・ドラゴン』の雛にも見える小さい竜。これほど小さくなると『デイスペアー』モンスター特有の禍々しさというかグロさも緩和されている。

「そして私は装備魔法『戦慄する絶望』を『デイスペアーアイズ・コア・ドラゴン』に装備！」

「一体何が起きるの!?!」

ワクワクが止まらない。俺も霊夢も……

『『デイスペアーアイズ・コア・ドラゴン』の効果発動！1ターンに1度、自分フィールドの『デイスペアー』モンスターは攻撃力の合計よりも高い攻撃力を持つモンスターが相手フィールド上に存在する時、そのモンスターを破壊する！私のフィールドの『デイスペアー』モンスターの攻撃力の合計は0……よって、私は『青眼の双爆裂龍』を破壊する！『ミニチュア・ハウリング』！』

『キャアアン！』

小柄の黒き龍が弱い咆哮を起こすと、何の奇跡か『青眼の双爆裂龍』が有無を言わずに壊れていく。

『『青眼の双爆裂龍』が……！』

「そして装備魔法『戦慄する絶望』の効果！装備モンスターの効果で装備モンスターよりも攻撃力が高いモンスターを破壊した時、

そのモンスターの攻撃力の半分のダメージを与え、その数値分の攻撃力をアップする！」

「くっ！」

霊夢 LP 4300 ↓ 2800

『デイスペアーアイズ・コア・ドラゴン』 ATK 0 ↓ 1500

「そして私が引いた最強カード……速攻魔法『ビッグリターン』を発動！『1ターンに1度』しか発動できないカード効果をもう一度発動できる！」

「何ですって!?!」

「私のフィールドの『デイスペアー』モンスターの総合攻撃力は1500……だが、『レッドアイズ・ダークネスメタル・ドラゴン』の攻撃力は2800！よって発動条件は満たしている！やれ！『デイスペアーアイズ・コア・ドラゴン』！『ミニチュア・ハウリング』！」

『キヤアアン！』

「そして装備魔法『戦慄する絶望』の効果で『レッドアイズ・ダークネスメタル・ドラゴン』の攻撃力の半分……1400ポイントのダメージを与え、『デイスペアーアイズ・コア・ドラゴン』の攻撃力を1400ポイントアップさせる！」

霊夢 LP2800→1400

『デイスペアーアイズ・コア・ドラゴン』 ATK1500→2900

「嘘……さつきまで攻撃力が0だったのに……」

「バトル！『デイスペアーアイズ・コア・ドラゴン』でダイレクトアタック！『ミニチュア・バースト』！」

「キヤアアアア！」

霊夢 LP1100→0

「ふう……強いよね、あんたゾンビだなんて言いがかり言っちゃってごめんなさいね」

「流石に分かっていたか……俺は『峰城みねしろ 嵯峨さか』だ。よろしく、博麗みんろ 霊夢」

「ええ、よろしく。またいつかデュエルしましょう」

「ああ望むところ」

「おーい！霊夢ー！」

遠くから霊夢を呼ぶ声が聞こえる。霊夢はその声の主を知っているのか、はあ……とため息をついて霊夢は嵯峨に話す。

「また『魔理沙』の奴だわ……嵯峨悪いけど、ウチに上がってて頂戴」
「おう分かった」

『霧雨 魔理沙』……魔法使いか……じゃあ、一体何デツキなんだろうなく。あー戦いたいなく。

そんなふうには嵯峨は考えながら博麗神社へと向かって歩いて行った。

3. 「妙な争い」

「ちよつと魔理沙！また落ち葉が舞ったじゃない！さつき掃除したばかりなのに！」

外で霊夢が、白黒をベースとした魔法使いの服を着た少女……魔理沙と呼ばれる少女に向かって怒鳴り散らす。それに対し魔理沙はうるさそうに耳を塞ぎ、

「あーあー、聞ーこーえーなーいー」

わざとらしく聞こえない宣言をする。馬鹿馬鹿しいことをしている魔理沙に対し、霊夢は怒りを顕わにし、

ゴツツ！

「痛ツ~~~~~!!!」

魔理沙は霊夢に殴られた頭を抱えて、転げまわる。クスクスとつい笑ってしまう。

その声に気づいたのか、魔理沙はむう……とほっぺたを膨らませていじける。超見てて面白い。

「くっそー！霊夢、拳骨は痛いんだぜ！」

「うっさいわねー」

「なあ!? うっさいとか言うんじゃないぜ！友人の家に行ってみたら、男連れ込んでた私の身にもなってみるんだぜ！」

「は、はあ!? お、男連れ込んでるって変な言い方すんじゃないわよ！」

「連れ込んでるったら連れ込んでたんだぜ！」

「へ、減らず口を……こうなったら魔理沙！デュエルよ！あんたをデュエルでぼっこぼっこにしてやるわ！」

「ふん！いいぜ！今日『も』霊夢にぎやふんと言わせてやるぜ！」
「今日『も』じゃないわ！今日『こそ』でしょ！それにそれを言うのはあんたよ！」

急過ぎて俺も困るわ。

「デュエル!!」

霊夢 LP8000 手札5

魔理沙 LP8000 手札5

「私が先行よ！私は魔法『増援』を発動。デッキからレベル4以下の戦士族モンスター『正義の味方 カイバーマン』を手札に加える。そして魔法『調和の宝札』を発動！手札の攻撃力1000以下のドラゴン族チューナー『伝説の白石』を墓地に送り、2枚ドロウする！」

おーおー、パナいことすんな霊夢さん。

「そして墓地に送られた『伝説の白石』の効果でデッキから『青眼の白龍』を手札に！そして『正義の味方 カイバーマン』を召喚！」

『正義の味方 カイバーマン』 ATK200

「『カイバーマン』の効果で自身をリリースし、手札から『青眼の白龍』を特殊召喚！」

『青眼の白龍』 ATK3000

「そして私はカードを1枚伏せて、ターンエンドよ！」

霊夢 手札3

『青眼の白龍』

伏せ！

初っ端『ブルーアイズ』は基本だな。流石は霊夢だ。

「いっくぜー！私のターン、ドロー！へへっ！いいカードを引いたぜ！私は魔法『黒魔術のカーテン』を発動！ライフを半分払い、デッキから『ブラック・マジシャン』を特殊召喚するんだぜ！来い！黒き魔導師よ！」

魔理沙 LP8000↓4000

『ブラック・マジシャン』 ATK2500

霊夢が『ブルーアイズ』デッキだったからまさかとは思ったが、魔理沙はやっぱり『ブラック・マジシャン』を主軸とした魔法使い族デッキか……面白い。見どころのあるデュエルになりそうだな。

「そして装備魔法『魔術の呪文書』を『ブラック・マジシャン』に装備！攻撃力が700ポイントアップするぜ！」

『ブラック・マジシャン』 ATK2500↓3200

「『ブルーアイズ』の攻撃力を上回った!？」

「バトルだぜ！私は『ブラック・マジシャン』で『青眼の白龍』に攻撃！『黒・魔・道』！」

「そう簡単にはいかないわ！私は永続トラップ『デプス・アミュレット』を発動！手札を1枚捨て、攻撃を無効にする！私は『青き眼の巫女』を捨てる！」

巫女繋がりだからってとんでもないのを捨てるな……

「くっそー。防がれたか……私はカードを1枚伏せて、ターンエンドだぜ！」

魔理沙 手札³

『ブラック・マジシャン』ATK3200

『魔術の呪文書』（ブラック・マジシャン装備）

伏せ¹

「私のターン！」

さて、超強い巫女様が墓地にいるけど、これやるよな？多分手札にあのカードがあるな……霊夢のことだし……

「私は墓地の『青き眼の巫女』の効果発動！フィールドの『ブルーアイズ』をデッキに戻し、このカードを特殊召喚する！」

『青き眼の巫女』DEF0

「そして『青き眼の乙女』を通常召喚」

『青き眼の乙女』ATK0

やっば。

「そして装備魔法『ワンダー・ワンド』を『青き眼の巫女』に装備するために『対象に取る』わ。そして攻撃力が500ポイントアップ」

守備表示の巫女の攻撃力を上げるために装備したわけじゃない。

「速攻魔法『ドロー・マッスル』を発動！守備表示の『青き眼の巫女』

を『対象』にとり、1ドロウ。そしてこのターン『巫女』は戦闘破壊されない。そしてカード効果の『対象』になった時、『青き眼の巫女』の効果発動！このカード以外の私のフィールドの効果モンスター『青き眼の乙女』を『対象』に『乙女』を墓地に送り、デツキから『ブルーアイズ』モンスターを2種類持つてくるわ」

「ほうほう」

「で、更に『対象』にとられた『青き眼の乙女』の効果が発動するわ」「へ？」

「デツキ・手札・墓地から『青眼の白龍』を特殊召喚するわ」

「あ、え？」

いきなりのことに魔理沙には理解できなかったようだ。確かに意味は分からんが……

「チェーンは逆処理だから『青き眼の乙女』の効果でデツキから『青眼の白龍』を特殊召喚し……」

『青眼の白龍』ATK3000

「そして『青き眼の巫女』の効果で『青き眼の乙女』を墓地に送り、デツキから『青眼の白龍』と『青眼の光龍』ブルーアイズ・シャイニング・ドラゴンを手札に加えるわ！そして装備魔法『ワンダー・ワンド』の効果発動！装備モンスターとこのカードを墓地に送り、2枚ドロウ！そして2枚目の魔法『調和の宝札』発動！手札の『伝説の白石』を捨て、2枚ドロウ！そして『伝説の白石』の効果でデツキから『青眼の白龍』を手札に加えるわ！そして手札の『沼地の魔神王』の効果！このカードを捨て、デツキから『融合』を手札に加え、発動！私は手札・フィールド上に存在する3体の『青眼の白龍』を融合！」

お？ついにあいつが来るのか？

「神すら滅ぼす穢れ無き龍達よ…今万物全てを破壊し尽くし、新たな世界を築き上げよ！融合召喚！現れ出でよ！」

ブルーアイズ・アルティメット・ドラゴン
『青眼の究極竜』！」

ブルーアイズ・アルティメット・ドラゴン
『青眼の究極竜』 ATK4500

「へっ！強そうなおドラゴンだが、このカードの前では何の意味もないぜ！私はトラップカード『黒魔族復活の棺』を発動するぜ！相手モンスターが召喚・特殊召喚に成功した時、そのモンスターと私のフィールドの『ブラック・マジシャン』を墓地に送り、デッキ・墓地から魔法使い族モンスターを特殊召喚するぜ！」

「そうはさせないわ！速攻魔法『融合解除』！」

すげえ……まるでGXだな……

「『青眼の究極竜』をエクストラデッキに戻して、墓地の『青眼の白龍』3体を特殊召喚するわ！」

『青眼の白龍』 ATK3000

『青眼の白龍』 ATK3000

『青眼の白龍』 ATK3000

「上手く躲されちゃったぜ！でも攻撃力が足りないぜ！」

「あつそ。魔法『融合』発動」

「え、ええええええ!!」

なあにこれえ？

「もう一回融合召喚！『青眼の究極竜』！」

『青眼の究極竜』 ATK4500

「そして『青眼の究極竜』をリリースして『青ブルーアイズ・シャイニング・ドラゴン眼の光龍』を特殊召喚！このカードの攻撃力は私の墓地のドラゴン族モンスター×300ポイントアップするわ！」

『青眼の光龍』 ATK3000↓4500

「バトルよ！『青眼の光龍』で『ブラック・マジシャン』を攻撃！『滅シャイニングバーストストリームびの爆裂疾風弾』！」
「ぐうう！」

魔理沙 LP4000↓2000

「うお!?破壊された『魔術の呪文書』の効果で1000ポイントライフを回復するぜ！」

魔理沙 LP2000↓3000

「私は魔法『マジック・プランター』で『永続トラップ』『デプス・アミュレット』を墓地に送って2枚ドロ！カードを1枚伏せて、私はこれでターンエンドよ！」

霊夢 手札1

『青眼の光竜』 ATK4500

伏せ1

「私のターン、ドロうだぜ！くっ……この手しかないか……！私は速

攻魔法『クリボーを呼ぶ笛』を発動！デツキから『クリボー』か『ハネクリボー』を特殊召喚するか、手札に加えられる！私はデツキから『クリボー』を特殊召喚！」

おろ？どういうことだ？クリボーは手札から捨てることで発動する効果だから、手札に加えるべきだと思うが……

「そして『クリボー』をリリースし、『ブラック・マジシャン・ガール』をアドバンス召喚するぜ！」

『ブラック・マジシャン・ガール』ATK2000↓2300

『ブラック・マジシャン・ガール』は墓地の『ブラック・マジシャン』の数×300ポイント攻撃力が上昇する。

「そして魔法『賢者の宝石』を発動！私のフィールドに『ブラック・マジシャン・ガール』が存在する時、デツキから『ブラック・マジシャン』を特殊召喚するぜ！」

『ブラック・マジシャン』ATK2500

「そして魔法『黒・魔・道・爆・裂・破』を発動！私のフィールドに『ブラック・マジシャン・ガール』が存在する時、相手フィールドのモンスターを全て破壊するぜ！」

「くっ！」

「そしてバトルだ！『ブラック・マジシャン』でダイレクトアタック！
『黒・魔・道』！」

「……トラップ『チェンジ・デステニー』の効果で攻撃を無効にして……無効にされたモンスターの攻撃力分、私にダメージを与えるか、自分が回復するか宣言しなさい」

「私は回復を宣言する！『チェンジ・デステニー』で『ブラック・マジ

シヤン』の攻撃を無効にしても……これは防げないぜ！やっちなまえ！
『ブラック・マジシヤン・ガール』！『黒・魔・道・爆・裂・破』！

霊夢 LP 8000 ↓ 5700

魔理沙 LP 3000 ↓ 4250

「どうだあ！これでターンエンド！」

魔理沙 手札1

『ブラック・マジシヤン』 ATK 2500

『ブラック・マジシヤン・ガール』 ATK 2300

「私のターン……」

ん？霊夢の雰囲気なんだが変わった……？

「私は魔法『テイク・オーバー5』^{ファイブ}を発動、デッキの上から5枚のカードを墓地に送る。そしてこのカードが墓地にある限り、お互いにデッキからカードを墓地に送れない。そして墓地の『テイク・オーバー5』の効果、墓地のこのカードとデッキから同名カードを除外し、1枚ドロロー。魔法『貪欲な壺』を発動……墓地の『青眼の光龍』『青き眼の乙女』『青き眼の巫女』『伝説の白石』2枚の合計5枚のモンスターをデッキに戻して、2枚ドロロー……『死者蘇生』発動……墓地の『青眼の究極竜』を特殊召喚」

『青眼の究極竜』 ATK 4500

お、おい……これで『青眼の究極竜』3回目の登場だぞ……

「そして魔法『ソウル・チャージ』を発動……墓地のモンスターを任意の数特殊召喚して、この効果で特殊召喚したモンスターの数×1000ポイントのライフを失う。私は『青眼の白龍』3体を特殊召喚」

『青眼の白竜』ATK3000

『青眼の白竜』ATK3000

『青眼の白竜』ATK3000

霊夢 LP5700↓2700

「3000ライフも失ってこの光景は凄すぎるぜ……」

「ただし、この効果を発動するターン、私は攻撃できない」

「それじゃ……私のターンかな？」

「墓地の魔法『シャッフル・リボーン』の効果発動……私のフィールドのカードをデッキに戻して、1枚ドロウする。私は『青眼の究極龍』を戻して、1ドロウ」

『シャッフル・リボーン』は『テイク・オーバー5』の時に墓地に送られてたのか……

しかし、これはかなりの賭けじゃないか？一番攻撃力の高い『青眼の究極龍』を1体失っても確かに『青眼の双爆裂龍』が出てくるが、魔理沙の手札に『黒・爆・裂・破・魔・道』ブラック・バーニング・マジックとかを持っていたら終わりだぞ……

「私が引いたカードは魔法『滅びの爆裂疾風弾』バーストストリーム！」

引きやがった……!!

「このカードは私のフィールドに『青眼の白龍』が存在する時、発動で

きる！相手フィールドのモンスターを全て破壊するわ！」

「なっ！うわっ……！」

「ただし、この効果を発動するターン、『青眼の白龍』は攻撃できない！」

もうバトルフェイズが行えない状況でこれは凄い。

「私はこれでターンエンドよ！さあ、どこからでもかかってらっしやい！」

霊夢 手札1

『青眼の白竜』 ATK3000

『青眼の白龍』 ATK3000

『青眼の白龍』 ATK3000

「私のターンツツ!!ドロー!!」

さあさあ、何引いたんだ？

「私も魔法カード『テイク・オーバー5』で、デッキからカードを5枚墓地に送るぜ！魔法『貪欲な壺』発動だぜ！墓地の『ブラック・マジシャン』2枚と『ブラック・マジシャン・ガール』『クリボー』『バスターブレイダー』の5枚をデッキに戻し、2枚ドロー！よっしやあ！私は『ガガガシスター』を召喚するぜ！」

『ガガガシスター』 ATK200

『ガガガ』も入っているのか……まあ、普通か……

「『ガガガシスター』の召喚時効果を発動！デッキから『ガガガ』魔法・罠カードを手札に加える！私は『ガガガリベンジ』を手札に加え、発

動！墓地の『ガガガ』モンスターを『ガガガマジシャン』を特殊召喚してこのカードを装備する！」

『ガガガマジシャン』ATK1500

「そして『ガガガマジシャン』の効果！レベル1〜8までの好きなレベルに変更できる！私は2を選択して、『ガガガジスター』の効果も発動！このカード以外の『ガガガ』モンスターのレベルとこのカードのレベルの合計のレベルにお互いを変更する！これで『ガガガマジシャン』と『ガガガジスター』はレベル4になるぜ！私はレベル4の『ガガマジシャン』と『ガガガジスター』でオーバーレイ！2体のモンスターでオーバーレイネットワークを構築！」

魔理沙のフィールドのモンスターが、黒い光になったかと思えば、突如として現れた銀河のような渦に入り、爆発する程の衝撃が発生する……

「エクシーズ召喚！来い！『ガガガガンマン』！そして墓地に送られた装備魔法『ガガガリベンジ』の効果で私のフィールドの全てのXモンスターは300ポイントアップするぜ！」

『ガガガガンマン』ATK1500↓1800

「バトルだぜ！『ガガガガンマン』で攻撃力が下がった『青眼の白龍』を攻撃！」

そして『ガガガガンマン』の効果が発動だ！このカードのOオーバーレイRユニットUを1つ取り除き、相手フィールドのモンスター『青眼の白龍』の攻撃力を500下げ、『ガンマン』の攻撃力を1000アップさせるぜ！」

『青眼の白龍』ATK3000↓2500

『ガガガガンマン』ATK1800↓2800

霊夢 LP2700↓2400

「私はカードを1枚伏せ、これでターンエンドだぜ」

『ガガガガンマン』 ATK2800↓1800

魔理沙 手札0

『ガガガガンマン』 ATK1800

伏せ1

「私のターンよ！ドロー！ふっ……遂にこのカードを見せる時が来たわね……」

「まさか……！」

「今回はあんたの負けよ。このカードが登場するのだからね！……私は墓地の『レベル・ステイラー』の効果を発動！私のフィールドのレベル4以上のモンスター『青眼の白龍』のレベルを1下げること！このカードを特殊召喚するわ！」

『青眼の白龍』 ☆8↓7

『レベル・ステイラー』 DEF0

「そして私は3体のモンスターをリリース」

3体リリース!?おいおい。まさか『ブルーアイズ』でそれってことは答えは一つしかないじゃないか……！

「降臨せよ！破壊の神！『オベリスクの巨神兵』!!!」

『オベリスクの巨神兵』 ATK4000

「あちゃー……これは……」

「バトルよ！このカードはカードの対象にならない！よってあなたの『ドレインシールド』の効果は使えないわよ！」
「ばれてた」

『ドレインシールド』か、『黒魔術のカーテン』でライフが減るから入れたんだろうね。というか相手が『ブルーアイズ』だから入れたんだろうな。

『オベリスクの巨神兵』で『ガガガガンマン』に攻撃！『ゴツドハンドクラッシュャー』！」

魔理沙 LP4250↓2050

「ターンエンドよ」

霊夢 手札1

『オベリスクの巨神兵』 ATK4000

「私のターン！墓地の『テイク・オーバー5』とデッキの同名カードを除外して1ドロー！そして相手のフィールドにしかモンスターが存在しないとき、このカードは自身のレベル4として召喚できる！『ガガヘッド』！」

『ガガヘッド』 ATK2100

「そして墓地の『ガガガ』モンスター2体を特殊召喚するぜ！甦れ！
『ガガガマジシャン』！『ガガガシスター』！」

『ガガガマジシャン』 ATK1500

『ガガガシスター』 ATK200

「そしてまた『ガガガマジシャン』の効果でレベルを2にして『ガガガシスター』の効果で『ガガガマジシャン』と『ガガガシスター』のレベルを4にする！そしてレベル4モンスター3体でオーバーレイ！3体のモンスターでオーバーレイネットワークを構築！エクシーズ召喚！ランク4『アルケミック・マジシャン』！」

『アルケミック・マジシャン』 DEF1500

「X素材になった『ガガガヘッド』の効果！1ドローするぜ！そしてエンドフェイズ時まで入るぜ！ここで『アルケミック・マジシャン』の効果！このカードのORUを1つ取り除き、手札を1枚捨てて、デッキから魔法カードを1枚伏せるぜ！」

魔理沙 手札1

『アルケミック・マジシャン』 DEF1500

伏せ1

「私のターン！このままバトルよ！『オベリスクの巨神兵』で『アルケミック・マジシャン』を攻撃！『ゴッドハンドクラッシャー』！これでターンエンド！」

霊夢 手札2

『オベリスクの巨神兵』 ATK4000

「私のターン、ドロー！私は伏せていたカード『ガガガドロー』を発動

するぜ！墓地の『ガガガ』モンスター3体を除外して2枚ドローする！そして速攻魔法『異次元からの埋葬』で今除外したモンスターたちを墓地に戻すぜ……そして相手にのみモンスターが存在するので『ガガガヘッド』をレベル4にして通常召喚して、効果発動！墓地の『ガガマジシャン』と『ガガガヘッド』を特殊召喚するぜ！」

『ガガガヘッド』 ATK 2100

『ガガガヘッド』 ATK 2100

『ガガガマジシャン』 ATK 1500

「そして『ガガガマジシャン』の効果でレベルを6にして3体のモンスターでオーバーレイ！3体のモンスターでオーバーレイネットワークを構築！エクシーズ召喚！ランク6『妖精騎士 イングナル』！」

『妖精騎士 イングナル』 ATK 2200

「そして『妖精騎士 イングナル』と2体の『ガガガヘッド』の効果発動！2枚ドローして、『イングナル』のORUを2つ取り除き、このカード以外のお互いのフィールドのカードを全て手札に戻す！そしてバトルだぜ！『イングナル』でダイレクトアタック！」

霊夢 LP 2400 ↓ 200

「へへっ！霊夢、悪いがこの勝負私の勝ちのようだぜ！」

「そうはいかないわよ！」

「私はカードを1枚伏せてターンエンドだぜ！」

魔理沙 手札³

『妖精騎士 イングナル』 ATK 2200

伏せ1

「私のターン！私は『手札抹殺』を発動するわ！お互いに手札全て捨て、捨てた枚数ドロウする」

「私は3枚捨て、3枚ドロウするぜ」

「私は1枚だけだから1枚ドロウするわ」

捨てたカード

霊夢↓エクリップス・ワイバーン

魔理沙↓ガガガガール、ガガガクラーク、千本サウザンドナイフ

「そして墓地に送られた『エクリップス・ワイバーン』の効果でデッキから『ダーク・アームド・ドラゴン』を除外！そして私は墓地の闇属性『レベル・ステイラー』と光属性『エクリップス・ワイバーン』を除外して『ライトパルサー・ドラゴン』を特殊召喚！」

『ライトパルサー・ドラゴン』ATK2500

「除外された『エクリップス・ワイバーン』の効果で『ダーク・アームド・ドラゴン』を手札に加え、墓地の闇属性のモンスターが3体だけなので特殊召喚！」

『ダーク・アームド・ドラゴン』ATK2800

「そして『ダムド』の効果発動！墓地の闇属性モンスター『終末の騎士』を除外して、『妖精騎士 イングナル』を破壊！（そして伏せは『イングナル』で戻した『ドレインシールド』！）私は『ダムド』の効果で墓地の『霊廟の守護者』を除外して伏せカードを破壊する！」

「ならチェーンだ！『威嚇する咆哮』を発動するぜ！このターン、バトルフェイズは行えないぜ！」

『ドレインシールド』じゃなかった……！くっ！私はこれでターンエ

ンド」

霊夢 手札1

『ライトパルサー・ドラゴン』 ATK2500

『ダーク・アームド・ドラゴン』 ATK2800

「私のターン、ドロロー！私は『ガガガシスター』を召喚して、効果でデッキから『ガガガリベンジ』を手札に！そして発動！『ガガガマジシャン』を特殊召喚してこのカードを装備！」

『ガガガシスター』 ATK200

『ガガガマジシャン』 ATK1500

「『ガガガシスター』の効果で『ガガガマジシャン』と『ガガガシスター』のレベルを6にする！そしてレベル6モンスター2体でオーバーレイ！2体のモンスターでオーバーレイネットワークを構築！エクシーズ召喚！ランク6『風紀宮司 ノリト』！そして装備魔法『ガガガリベンジ』の効果で私のXモンスターの攻撃力は300ポイントアップする！」

『風紀宮司 ノリト』 ATK2700↓3000

「私は『ノリト』で『ダムド』で攻撃！」

「私は墓地の『超電磁タートル』の効果！このカードを除外してバトルフェイズを終了させるわ！」

「凄いだか……私はカードを1枚伏せてターンエンド！」

魔理沙 手札3

『風紀宮司 ノリト』 ATK3000

伏せ1

「私のターン！」

伏せは確実に『ドレインシールド』だな。ダムドの効果がまだ1回使うことができるから、俺なら……やはり手札次第になってしまうかな……

「……私は『ダムド』の効果で墓地の『レダメ』を除外して、『風紀宮司 ノリト』を破壊！」

つまりこのターン決着はつかないか……？いや、待てよ……まじか？

「私は装備魔法『光の導き』を発動！」

「し、知らないカードだぜ!？」

「そりやそうよ。今日手に入れたカードだもの。さあて……私の墓地に『ブルーアイズ』モンスターが3体以上いる時、そのうちの1体を特殊召喚するわ！来なさい！『青眼の白龍』！そしてこのカードを装備して効果が無効になる……！知らない効果だけどね……！そしてこのターン、装備モンスターしか攻撃できないけれど墓地の『ブルーアイズ』の数だけ攻撃できる！私の墓地には2体！バトル！行きなさい『ブルーアイズ』！『滅びの爆裂疾風弾』ニレンダア！」

「くっ！一撃目はトラップ『ドレインシールド』で無効にして無効にしたモンスターの攻撃力分ライフを回復するぜ！」

魔理沙 LP2050↓5050

「2撃目は受けるぜ！」

魔理沙 LP5050↓2050

「う、受けきったぜ……だけど『ドレインシールド』の効果で回復した分が一気になくなっちゃったぜ……」

「何を勘違いしてるのかしら?」

「ひよ?」

「私のバトルフェイズはまだ終了してないわ! 私は速攻魔法『サイクロン』を発動する! これで『光の導き』を破壊! 装備モンスターは除外されるわ」

「な、何の意味があるんだぜ?」

「言ったでしょ。『光の導き』を装備したモンスターしか攻撃できないって」

「そ、そうだぜ……」

「『このターン』って書いてないでしょ。つまりこの他のモンスターは攻撃できないって効果は『光の導き』が存在する限りなのよ。だから『光の導き』が破壊されたことにより、その制約はなくなる……!」

「……なんだそれええええ!」

「バトルは続行しているのよ! 私は『ダムド』でダイレクトアタック!」

魔理沙 LP2050↓0

「……………ぎゃふん」

4. 「決闘異変」

霊夢は魔理沙に勝って、上機嫌のまま俺にお茶をくれた。魔理沙は拗ねているものの、良いデュエルだったからか、少し口が緩んでいる。さっきのデュエルについて霊夢と話していた俺はふと、あることを思い出す。

「そういえば霊夢……異変ってどうなっているんだ？」

「え、え？あ、いや……ちや、ちゃんと解決に向かって……」

「はつきり言ってるやっつてないぜ」

「ちよ、魔理沙！」

「外来人の嵯峨を騙そうたつてきつとばれるんだから真実を言うべきなんだぜ」

「霊夢でも解決できないほどなのか？」

異変解決のプロとか言ってたのに……

と嵯峨が少し霊夢への評価が少し下がったところで慌てて霊夢が言論する。

「そういう問題じゃないのよ！」

「そういう問題とは？」

「……異変の黒幕がいるの」

「うん……うん？じゃあそいつを倒しておしまいだろ？」

「そうはいかないから霊夢でも解決できていないんだぜ」

「ほお……その心は？」

「黒幕を倒したら次の黒幕が現れるの」

「しかもその繰り返しなんで、困ってるんだぜ」

黒幕倒したら次の黒幕。凄いクソゲーだな。無限ループですか、悔しいでしょうね〜

ってというか、霊夢のあの怒り具合的には何回もしてやられてんだらうな。

「……恐らく……私の勘だけど私が倒した黒幕っていうのは「真の黒幕が用意した変わり身ということ」そう……そういうって紫!？」

ワアオ……いきなり俺の頭上の空間に亀裂が生じたかと思うと金髪の紫色のドレスを着た女性が現れた。八雲 紫……幻想郷の作つた者で賢者とか呼ばれている。彼女の能力により、スキマと呼ばれる特別な空間に彼女はいる。

「紫さんとやら……俺の頭に自分の頭乗せないでくれませんか？」

「あら？『美少女』がこんな近くにいるのに萌え展開にも反応してくれないの?？」

「質問を質問で返さないでください。まあ、貴女が『美女』であることは否定したつもりはありませんが……」

「まあ、嬉しい。なら嵯峨、これからは私のことを紫お姉さんって呼んでもいいわよ」

「じゃあ、紫さん」

ズコツと紫が境界スキマの中でこける。俺の答えにいついだろうな。見てて、面白い。魔理沙はゲラゲラと笑い、霊夢は、はあ……ため息をつく。

「さ、嵯峨はデュエルだけでなく、私に容赦ないわね」

「悪いんですけど、俺の姉は一人だけなので……」

「あ、そういえばそうね」

「『そういえばそう』……?紫さんは俺の姉貴を知っているのか?」

「いいえ。でも、貴方の兄なら知っているわ。霊夢も魔理沙も知っているでしょう?あの絶という男のことを……」

「!」

「ねえ……霊夢、魔理沙」

突然話を振られる霊夢と魔理沙。だが、誰のことか鮮明に覚えてい
るからか、すうーと記憶の引き出しから引っ張り出せるようで次々と
口に出す。

「確かにいたわね。異変の時に黒幕の近くにいて、勘違いでデュエル
した」

流石に言うぞ？ 霊夢……学べ。

「そうそう！ それで霊夢がライフを1ポイントも削れずに負けたんだ
よな！」

へらへらととんでもない事実を述べる魔理沙にカチンときた霊夢
はお茶を一旦啜つてから、あざ笑うようにこう言う。

「あら？ そういう魔理沙こそ、デッキトップのカードだけで負けてた
わよね？」

「うぐ……」

「二人にももうデュエルをしたのか『兄貴』は……」

「そうよ。私ともね……」

紫も懐かしむように語る。嗟嘆にはそれが悔しそうにも見えた。
恐らく負けたのだらう……だが、負けて悔しいのは当然だ。紫のソレ
には若干の頬の緩みがあった。負けてでも楽しかったことの表れで
ある。

「紫さん……兄貴は今、どこに……？」

「彼は……」昨日、新しい黒幕が登場したのを皮切りに姿を眩ませた
わ。貴方のことを心配していたわ。急な環境変化についてこれるの

かなんて……まるで貴方が幻想郷に来ることを悟っていたかのよう
なことを言っていたわ……」

「何？俺を幻想郷に来させたのは紫さんじゃないのか？」

今の言い方だと紫さんが俺を幻想入りさせたのではないということになる。兄貴の勘は100%と言っていいほどよく当たるからそこはいいんだが……となると、俺はいつ、どこで、誰によって幻想入りさせられたんだ？俺の住んでいる家は別に富士の樹海が近いわけでもないのだが……

「ええ、私ではないわ。そうね……原因はやはり彼かしら？」

「兄貴か……兄貴なら確かにやりかねないが……」

「そんなことできるのかしら？」

「どうなんだぜ、紫？」

「うーん」

「いや、兄貴ならできる！すげえんだぜ兄貴は！デュエルも強いし、俺の揺ぎ無い憧れの存在なんだ！」

「ふくん……あ、そういえば……ねえ、紫。今日ここに来たってことはまた黒幕が現れたの？」

「ええ。そうなるわ」

「どうせ偽物なんだろう？倒してもまた現れるのが関の山だぜ」

「とはいえ、俺は見たことないからな……そういう意味でも黒幕に会ってみたい」

「フフフ……なら決まりね、場所は『妖怪の山』よ」

「妖怪の山とかそんないいから、俺の移動方法を教えてくれ」

「そうね。すっかり忘れてたわ……貴方以外は空を飛べるからね。なら今回は出血大サービスよ。私のスキマを使っいいわ」

「(出血大サービス……?)」

霊夢と魔理沙が首をかしげているが、嵯峨は紫にありがとうと感謝の気持ちを述べる。

そして俺たちの目的地である妖怪の山……そこは天狗やら河童やら本^{マジ}当モンの妖怪がたくさん住み着いている山。神様も住んではいるが、主な種族は妖怪だ。妖怪もデュエルをするのだろうか……楽しみだな。

そんなワクワクした気持ちを抑えながら俺はスキマに入った。

5. 「幻想郷最速の」

スキマが開き、次に現れた光景は森の奥地と連想させる自然に包まれた場所。

鳥の囀る声が聞こえ、ザーザーと少しばかり遠くの方から滝から落ちる水の音が聞こえる。

(昔、兄貴と一緒に探検しに行った所に似ているな……)

嵯峨は昔のことを懐かしみながら、周りを見る。

霊夢と魔理沙が周囲を警戒しながら進んでいる。

しかし、霊夢の場合、ただデユエリストを求めているようにも見えてしまう。

戦闘狂だからだろうか……とはいえ、紫さんがここに俺たちを進ませたということはこの近くに異変の黒幕がいるということだ。気を付けるに越したことはない。

嵯峨も注意深く辺りを見回すと視界の中で何かが高速で通り過ぎる。

慌ててその通り過ぎたモノを追うように目を動かすが、どこにも見当たらない……

「後ろですよ……」

嵯峨が話しかけられて、後ろを振り向くとそこには……

「射命丸 文か……」

「そうです。清く正しい射命丸 文です。……所で貴方は？ 霊夢さんと魔理沙さんと一緒にいるということは敵ではないようですが……」

「うーん。そうだな。俺は峰城 嵯峨。通りすがりの決闘者だ」
デユエリスト

「決闘者……なら貴方もこの異変を？」

「ああ、友人の頼みは断れない性格なんだ」

後、ついでDSだ。

「……なら、これで貴方の実力を測らせてもらいます」

が、
そうやって文はデュエルディスクを展開する。一応嵯峨も構える

「何故だ？俺とお前では戦う理由がない」

「いえ、私が黒幕の居場所を知っています」

「!」

「ですが……その黒幕は……」

そうやって文は俯く。察しのいい嵯峨は頷き、文の言いたかったことを先に言う。

「つまり黒幕がお前の友人だから怪我をさせないと……」

「……はい」

「甘ったれんじゃねええ!」

「っ!?!」

嵯峨の怒鳴った声にビクツと身を震わす文。何だ何だと霊夢と魔理沙が戻ってくる。

文が涙目になっていて、嵯峨が怒っている。この状況から迷探偵の魔理沙はピコン!遊戯王的にはカンコンツ!?!と来る。

「ははーん。そういうことかぜ。また文がやらかしたんだな」

『また』?当事者である嵯峨と文は首をかしげながら魔理沙の方を向く。魔理沙は得意げに話を進める。

「どうせ、文が外来人で幻想郷に関して無知である嵯峨に自分の新聞をとることを進めたんだ。紫からは聞いたことがあるけど、最近、外の世界ではそういうふうに言っただけ金を騙し取る『詐欺』っていうのが流行っていて、嵯峨は……えっと……つまり、そういうことだな!」

つまりどういふことなのだろうか……まあ、詐欺の説明は間違っただけじゃなかったし、文もそういうことは何回もやっているだろう……その『また』か……

文 s i d e

一体どこをどう見たらそうなるんですか?と魔理沙さんに言いたいんですが、しかし、私も身に覚えが無いということはありません。ありませんが……この状況下で新聞の勧誘する程、私も馬鹿じゃありませんよお(泣)前にも霊夢さんに言ったかもしれないですが、今の私は普通の新聞売りの射命丸 文ではなく、妖怪の山に住まう天狗の一人である射命丸 文なんです。そして……今の黒幕の友人でもある……

「私は……」

この三人と戦わなければいけない……霊夢さんと魔理沙さんに真実を……私が異変の黒幕がどこにいるのかをデュエルで教えるべきなのだ……

文は自分の口から嵯峨に言ったことを霊夢と魔理沙にも伝えようと口を開いた……

その時、

「いやはや、中々の名推理^迷だったぞ、魔理沙」

「おっ?」

「正解!」

「ふふん!」

「え?」

嵯峨が文の言葉を遮った。

「不届き者にはデュエルで制裁してやる! さあ! デュ(→)エル(←)だあ!」

「ええっ!? デュ、デュエル!」

嵯峨はよく意味の分からない理由をこじつけにデュエルディスクを展開する。それにつられ、文もデュエルディスクを起動させる。

「先行は私が頂く! 私のターン!」

嵯峨 LP8000

文 LP8000

「私は永続魔法『絶望の天秤』を発動!」

嵯峨が一枚のカードを発動した時、絶の横に黒い怪しい天秤が現れる。

「このカードはお互いが効果ダメージを受けた時、このカードに『ディスペアーカウンター』を1つ乗せる。カウンター1つにつき、相手が受ける効果ダメージを100下げて、私が受ける効果ダメージを10

0上げる」

「ダメージしかないカード……」

何かあると文は身構える。

「そして永続魔法『自虐する絶望』を発動。このカードが存在する限り、私が自分のカードの効果でダメージを受けた時、その数値分、私のフィールドのモンスター1体の攻撃力に加えることができる。そして永続魔法『黒蛇病』を発動して、自分フィールドに永続魔法が3枚以上存在する時、手札から『バッド・エンド・クイーン・ドラゴン』を特殊召喚！」

『バッド・エンド・クイーン・ドラゴン』ATK1900

「そしてカードを1枚伏せ、ターンエンド」

嗟哦 手札0

『バッド・エンド・クイーン・ドラゴン』ATK1900

『絶望の天秤』

『自虐する絶望』

『黒蛇病』

伏せ1

「私のターンです！私は永続魔法『黒い旋風』を発動します！そして『BF―隠れ蓑のスチーム』を通常召喚！」

『BF―隠れ蓑のスチーム』ATK800

「そして『黒い旋風』の効果、通常召喚したBFの攻撃力未満のBFをデッキから手札に加えます！私は『BF―天狗風のヒレン』を手札に！そして速攻魔法『スワローズ・ネスト』を発動！フィールドの『ス

チーム』をリリースし、同じレベルの鳥獣族モンスターをデッキから特殊召喚します！来なさい！『BF―上弦のピナーカ』を特殊召喚！」

『BF―上弦のピナーカ』ATK1400

「そしてフィールドを離れた『隠れ蓑のsteam』の効果！レベル1の『steam・トークン』を特殊召喚！」

『steam・トークン』ATK0

「そして魔法『ワン・フォー・ワン』を発動！手札の『天狗風のヒレン』を墓地に送り、デッキから『BF―蒼天のジェット』を特殊召喚！」

『BF―蒼天のジェット』ATK100

「そして私はレベル1の『蒼天のジェット』とレベル1の『steam・トークン』にレベル3の『上弦のピナーカ』でチューニング！」

『ピナーカ』が3つの緑の輪となって『ジェット』と『トークン』を包み、光を放つ。

「煌めく星よ、今、我が手に勝利の風を吹き起こせ！シンクロ召喚！レベル5『BF―煌星のグラム』！」

『BF―煌星のグラム』ATK2200

『グラム』がシンクロ召喚に成功した時、手札のレベル4以下のチューナー以外のモンスターを特殊召喚します！来なさい『BF―精鋭のゼピュロス』を特殊召喚！」

『BF―精鋭のゼピュロス』ATK1600

「そしてバトルです！私は『煌星のグラム』で『バッド・エンド・クイーン・ドラゴン』を攻撃！」
「くっ！」

嗟峨 LP8000↓7700

「続けて『ゼピュロス』でダイレクトアタックします！」

嗟峨 LP7700↓6100

「私はカードを1枚伏せ、これでエンドですが、エンドフェイズにフィールドから墓地に送られた『BF―上弦のピナーカ』の効果でデッキから『BF―極北のブリザード』を手札に加えます。これで本当にターンエンドです」

文 手札1

『BF―煌星のグラム』ATK2200

『BF―精鋭のゼピュロス』ATK1600

『黒い旋風』

伏せ1

「私のターン、スタンバイフェイズに墓地の『バッド・エンド・クイーン・ドラゴン』の効果発動！私のフィールドの永続魔法『自虐する絶望』を墓地に送り、『バッド・エンド・クイーン・ドラゴン』を墓地より特殊召喚する！甦れ！」

『バッド・エンド・クイーン・ドラゴン』 ATK1900

「そして墓地に送られた『自虐する絶望』は1ターンに1度、墓地のこのカードを発動する」

「何ですって!?!」

そう、これは無限ループ!

「そしてスタンバイフェイズはまだ終わらない! 『黒蛇病』の効果! お互いは200ポイントのダメージを受ける」

嵯峨 LP6100↓5900

文 LP8000↓7800

「そして『絶望の天秤』の効果と『自虐する絶望』の効果で『天秤』に『ディスプレイカウンター』を1つ乗せ、『バッド・エンド』の攻撃力を200ポイントアップする」

『バッド・エンド・クイーン・ドラゴン』 ATK1900↓2100

「だけど、まだ『グラム』の方が攻撃力は上です!」

「それはどうかな?」

お決まりの言葉を言っておこう。

「私は魔法カード『望みを裁ちし者の夢』を発動。私の場のモンスターが1体のみの時、そのモンスターはこのターン、戦闘では破壊されない。バトルだ! 『バッド・エンド・クイーン・ドラゴン』で『BF―煌星のグラム』に攻撃! 『トラジエディ・ストリーム』!」

「攻撃力は低いままなのには!?」

「この瞬間『望みを裁ちし者の夢』の更なる効果が発動する!そのモンスターが攻撃する時1度だけお互いは300ポイントのダメージを受ける。そして自分モンスターが自分よりも攻撃力の高い相手モンスターに攻撃した場合、相手モンスターにもう一度攻撃できる!」

「また効果ダメージ……!」

「そして『絶望の天秤』にカウンターが1つ乗っているのでお前が受けるダメージは100下がり、私が受けるダメージは100上がる」

嵯峨 LP5900↓5500

文 LP7800↓7600

「そして『絶望の天秤』にまた『デイスペアーカウンター』が1つ乗り、『自虐する絶望』の効果で私が受けた効果ダメージの数値400ポイント分『バッド・エンド』の攻撃力をアップさせる!」

『バッド・エンド・クイーン・ドラゴン』ATK2100↓2500

「っ、強い……!」

文が驚くのも無理はない……俺もこんなに回るとは思っていなかったからな……

文 LP7600↓7300

「相手に戦闘ダメージを与えた時、『バッド・エンド』の効果発動!相手は自身の手札を1枚選んで墓地に送り、私は1枚ドロウする」

『プリザード』が……」

「まだ『バッド・エンド』は『望みを裁ちし者の夢』の効果でもう一度、モンスターに攻撃できる……いけ！ 『バッド・エンド』！ 『BF―精鋭のゼピュロス』に攻撃！」

文 LP7300↓6400

『バッド・エンド』の効果は相手の手札が0だと発動できない……
ターンエンドだ」

嗟哦 手札1

『バッド・エンド・クイーン・ドラゴン』

『絶望の天秤』デイスペアーカウンター×2

『自虐する絶望』

『黒蛇病』

伏せ1

「私の……ターン！」

文から凄まじい闘気を感じる。BF強いし、やばそうだな……

「引きました！ 相手フィールドにのみ、モンスターが存在するので『BF―暁のシロツコ』はリリース無しで召喚できます！」

『BF―暁のシロツコ』 ATK2000

「そして『黒い旋風』の効果で攻撃力2000未満の『BF』をデッキから手札に加えます『BF―白夜のグラデウス』を手札に加え、自分フィールドの『BF』が1体のみの時、このカードは特殊召喚でき

ます！」

『BF―白夜のグラディウス』DEF1500

「そして墓地の『BF―隠れ蓑のチーム』の効果を発動します！デュエル中に1度のみ、自分フィールドの『BF―暁のシロッコ』をリリースしてこのカードを特殊召喚します！」

『BF―隠れ蓑のチーム』DEF1200

「レベル3『BF―白夜のグラディウス』にレベル3『BF―隠れ蓑のチーム』をチューニング！自由に羽ばたく鳥よ、今星の影をその翼に映し、勝利の風を我が元に！シンクロ召喚！来たれ！レベル6『BF―星影のノートウング』！」

『BF―星影のノートウング』ATK2400

「『ノートウング』が特殊召喚に成功した場合、相手に800ポイントのダメージを与えます」

「確かそれは……」

「はい。強制効果なんです」

「いいだろう……『絶望の天秤』の効果で200ポイントダメージがアップするので、1000のダメージを与える」

嵯峨 LP5500↓4500

「『その後』！」

あ……タイミング逃すんだっけ……まあ、『自虐する絶望』は『自分

のカード効果』じゃないとパワーアップできないからな……

『バッド・エンド・クイーン・ドラゴン』の攻撃力を800ポイントダウンさせます！」

『バッド・エンド・クイーン・ドラゴン』ATK2500↓1700

「そしてリバースカード『ダーク・バースト』を発動！攻撃力1500以下の闇属性モンスター『BF―極北のブリザード』を手札に加えます。そして『BF―星影のノートウング』の効果でもう1度『BF』を通常召喚できます。なので『BF―極北のブリザード』を通常召喚」

『BF―極北のブリザード』ATK1300

「『黒い旋風』の効果で攻撃力1300未満の『BF』をデッキから手札に加えます。『BF―砂塵のハルマッタン』を手札に……更に『ブリザード』の効果！召喚に成功した時、墓地のレベル4以下の『BF』を守備表示で特殊召喚します！もう一度来なさい！『BF―精鋭のゼピュロス』！」

『BF―精鋭のゼピュロス』DEF1000

「そしてフィールドに『BF』が存在する時、このカードを特殊召喚します！」

『BF―砂塵のハルマッタン』DEF800

「このカードが特殊召喚に成功した時、『BF―精鋭のゼピュロス』のレベル分、このカードのレベルをアップさせます！」

『BF―砂塵のハルマッタン』レベル2↓6

「レベル6になった『砂塵のハルマツタン』にレベル2の『極北のブリザード』をチューニング！」

あ……一番ヤベエのが来るな、これは……ちよつと調子に乗りすぎたか？

「黒き風が痛みを吹き飛ばし、勝利へと続くその姿！我が元に飛翔せよ！シンクロ召喚！吹き荒れる！『ブラックフェザー・ドラゴン』！」

『ブラックフェザー・ドラゴン』 ATK 2800

「バトルです！『BF―星影のノートウング』で『バッド・エンド・クイーン・ドラゴン』に攻撃！」

「……トラップ発動！『絶望の裁定』！自分フィールドのモンスターが攻撃対象になった時、お互いが300ポイントのダメージを受ける！」

「ですが！『ブラックフェザー・ドラゴン』の効果により、効果ダメージを受ける代わり、このカードに『黒羽カウンター』を乗せる！『ブラックフェザー・ドラゴン』の攻撃力は『黒羽カウンター』1つにつき、700ポイント下がります！」

『ブラックフェザー・ドラゴン』 ATK 2800↓2100

「くっ！どちらかが効果ダメージを受けなければ、この効果ダメージは発生しない……よって、私もダメージは受けない」

「つまり『バッド・エンド・クイーン・ドラゴン』の攻撃力は上がりません！」

嗟哉 LP 4500↓3800

「行け！『ブラックフェザー・ドラゴン』！ダイレクトアタック！『ノーブルストーム』！」
「ぐ……!!」

嵯峨 LP3800↓1700

「私はこれでターンエンドです」

文 手札0

『BF―星影のノートウング』ATK2400

『ブラックフェザー・ドラゴン』ATK2100（黒羽カウンター×
1）

『黒い旋風』

6. 「荒れ狂う旋風」

嵯峨 手札¹

『絶望の天秤』（デイスペアーカウンター×2）

『自虐する絶望』

『黒蛇病』

文 手札⁰

『BF―星影のノートウング』ATK2400

『ブラックフェザー・ドラゴン』ATK2100（黒羽カウンター×¹）

『黒い旋風』

「私のターン……スタンバイフェイズに『バッド・エンド・クイーン・ドラゴン』の効果で『自虐する絶望』を墓地に送って特殊召喚！」

『バッド・エンド・クイーン・ドラゴン』ATK1900

「そして墓地に送られた『自虐する絶望』の効果で墓地からこのカードを発動する！そして『黒蛇病』の効果で200ポイントのダメージの倍の400ポイントのダメージを与える！」

「ですが、『ブラックフェザー・ドラゴン』の効果でこのカードに黒羽カウンターを1つ乗せることでダメージは発生しません！」

『ブラックフェザー・ドラゴン』ATK1400

「しかしこれで『バッド・エンド・クイーン・ドラゴン』の攻撃力の方が『ブラックフェザー・ドラゴン』の攻撃力を上回った！バトルだ！『バッド・エンド・クイーン・ドラゴン』で『ブラックフェザー・ドラゴン』を攻撃！」

「くっ！」

文 LP6400↓5900

「これでターンエンドだ」

嵯峨 手札2

『バッド・エンド・クイーン・ドラゴン』 ATK1900

『絶望の天秤』

『自虐する絶望』

『黒蛇病』

「私のターンです！ドロー！このままバトルフェイズに入ります！
『BF―星影のノートウング』で『バッド・エンド・クイーン・ドラゴン』を攻撃！」

嵯峨 LP1700↓1200

「私はカードを1枚伏せてターンエンドです」

文 手札0

『BF―星影のノートウング』 ATK2400

『黒い旋風』

伏せ1

「私のターン、ドロ！。スタンバイフェイズに『バッド・エンド・クイーン・ドラゴン』の効果で『自虐する絶望』を墓地に送り、甦れ！」

『バッド・エンド・クイーン・ドラゴン』 ATK1900

「そして『自虐する絶望』の効果で墓地よりこのカードを発動！更に『黒蛇病』の効果でさっきの効果ダメージの更に倍、800ポイントのダメージをお互いは受ける！だが、『絶望の天秤』に『デイスペアーカウンター』が2つ乗っているので、相手には200ポイント効果ダメージを下げ、私は200ポイント効果ダメージが増加する！」

嵯峨 LP1200↓200

文 LP5900↓5300

「嵯峨の残りライフはもう後200に……！」

「絶対絶命だぜ……」

「そして『絶望の天秤』の効果で『デイスペアーカウンター』を1つ乗せ、『自虐する絶望』の効果で『バッド・エンド・クイーン・ドラゴン』の攻撃力は私が受けた効果ダメージ分、上昇する」

『バッド・エンド・クイーン・ドラゴン』 ATK1900↓2900

「攻撃力2900……！」

「バトルだ！『バッド・エンド・クイーン・ドラゴン』で『BF―星影のノートウング』を攻撃！」

文 LP5300↓4800

「カードを1枚伏せて、ターンエンドだ」

嵯峨 手札2

『バッド・エンド・クイーン・ドラゴン』 ATK2900

『絶望の天秤』（デイスペアーカウンター×3）

『自虐する絶望』

『黒蛇病』

伏せ1

「私のターン……ドロー……カードを1枚伏せてターン……エンド」

「いや、エンドフェイズに速攻魔法『非常食』を発動！『黒蛇病』と『絶望の天秤』と『自虐する絶望』を墓地に送り、3000ポイントライフを回復する！」

嵯峨 LP2000↓3200

「『自虐する絶望』の効果でこのカードを墓地から発動！」

文 手札0

『黒い旋風』

伏せ2

「私のターン、ドロー！バトル！『バッド・エンド・クイーン・ドラゴン』でダイレクトアタック！」
「うっ！」

文 LP4800↓1900

「で、ですが、私がダイレクトアタックで2000ポイント以上の戦闘ダメージを受けた時、墓地より『BF―天狗風のヒレン』の効果発動！このカードと墓地のレベル3の『BF』を1体効果を無効にして特殊召喚する！来なさい！『BF―上弦のピナーカ』！」

『BF―天狗風のヒレン』DEF2100

『BF―上弦のピナーカ』DEF1000

「そういえばいたな……チィ……私はカードを1枚伏せ、ターンエンド」

「エンドフェイズに速攻魔法『スワローズ・ネスト』を発動！『ピナーカ』をリリースして『BF―極夜のダマスカス』を特殊召喚！」

『BF―極夜のダマスカス』DEF700

「そしてフィールドから墓地に送られたターンのエンドフェイズなので『ピナーカ』の効果で『BF―そよ風のフリーズ』を手札に加えます！そして『BF―そよ風のフリーズ』の効果でデッキから手札に加わった時、このカードを特殊召喚します！」

『BF―そよ風のフリーズ』DEF300

「おいおい……私のターン中に4体もモンスターを特殊召喚してるぞ」

嗟峨 手札2

『バッド・エンド・クイーン・ドラゴン』ATK2900

『自虐する絶望』

伏せ1

「まだまだこれからです！私のターン！私はレベル3の『BF―極夜のダマスカス』にレベル5の『BF―天狗風のヒレン』をチューニング！黒き嵐の中、甦る痛みからの連鎖から我が元に勝利の風を！シンクロ召喚！レベル8『玄翼竜 ブラック・フェザー』！」

『玄翼竜 ブラック・フェザー』ATK2800

「そして『黒い旋風』を手札に戻し、墓地から『BF―精鋭のゼピュロス』を特殊召喚！」

『BF―精鋭のゼピュロス』ATK1600

「その後、私は400ポイントのダメージを受けます！」

文 LP1900↓1500

「そして私がダメージを受けた時、『玄翼竜 ブラック・フェザー』の効果でデッキからカードを5枚まで任意の数を墓地に送り、その中にモンスターが1体でもいれば攻撃力を400ポイントアップさせます！」

『ブラック・ソニック』、『ブラック・サンダー』、『BF―大旗のヴァーユ』、『BF―弔風のデス』、『BF―陽炎のカーム』

「よし、これで攻撃力は400ポイントアップします！」

『玄翼竜 ブラック・フェザー』ATK2800↓3200

「そして今手札に戻した『黒い旋風』を再び発動！そしてレベル4『BF―精銳のゼピュロス』にレベル3の『BF―そよ風のフリーズ』をチューニング！黒き風よ、今自由に飛び立つ鳥の羽を包み込み、我が手の元に勝利の風を吹き荒せ！シンクロ召喚！レベル7『BF T―漆黒のホーク・ジョー』！」

『BF T―漆黒のホーク・ジョー』 ATK2600

「『ホーク・ジョー』の効果で墓地のレベル5以上の『BF―星影のノートウング』を特殊召喚！」

『BF―星影のノートウング』 ATK2400

「そして『ノートウング』が特殊召喚に成功した時、相手に800ポイントのダメージを与えた後、『バッド・エンド・クイーン・ドラゴン』の攻撃力を800ダウンさせる！」

嵯峨 LP3200↓2400

『バッド・エンド・クイーン・ドラゴン』 ATK2900↓2100

「『BF―逆巻のトルネード』を召喚！」

『BF―逆巻のトルネード』 ATK1000

「『トルネード』の効果と『黒い旋風』の効果が発動します！『黒い旋風』の効果で『BF―突風のオロチ』を手札に加え、『トルネード』の効果で相手フィールドに特殊召喚されたモンスターが存在するので墓地からチューナーモンスター『BF―上弦のピナーカ』を特殊召喚

！」

『BF―上弦のピナーカ』DEF1000

「レベル4の『BF―逆巻のトルネード』にレベル3の『BF―上弦のピナーカ』をチューニング！黒き風が痛みすら耐え抜く体を作り出し、自由に羽ばたき、勝利の風を我が元に！シンクロ召喚！レベル7『BF―アーマード・ウイング』！」

『BF―アーマード・ウイング』ATK2500

「1ターンに3回もシンクロ召喚だ?!」

「まだです！私は墓地から『BF―大旆のヴァーユ』の効果発動！」
「何だ?!」

「墓地のこのカードとチューナー以外の『BF』モンスター……『BF―暁のシロッコ』を除外して、2体のモンスターのレベルの合計の『BシンクロF』Sモンスターをエクストラデッキから効果を無効にして特殊召喚します！2体のレベルの合計は6！よって『BF―アームズ・ウイング』を特殊召喚！」

『BF―アームズ・ウイング』ATK2300

「一気にフィールドに5体のシンクロモンスターだつて!」

「これで準備はできましたバトルです！『玄翼竜 ブラック・フェザー』で『バッド・エンド・クイーン・ドラゴン』を攻撃！」

「そうはさせせん！毘発動！『絶望への進歩』！私のフィールドのレベル8以下のモンスターは戦闘では破壊されない！そして私が受ける戦闘ダメージを半分にする！」

「ですが、ダメージは受けてもらいます！」

嗟峨 LP 2400 ↓ 1850

「続けて『ホーク・ジョー』で『バッド・エンド・クイーン・ドラゴン』を攻撃！」

嗟峨 LP 1850 ↓ 1600

「まだまだ行きます！私は『アームズ・ウイング』で『バッド・エンド・クイーン・ドラゴン』を攻撃！」

「こつちもまだまだだ！」

嗟峨 LP 1600 ↓ 1500

「『アーマード・ウイング』で『バッド・エンド・クイーン・ドラゴン』を攻撃！」

嗟峨 LP 1500 ↓ 1300

「『ノートウング』で『バッド・エンド・クイーン・ドラゴン』を攻撃！」

嗟峨 LP 1300 ↓ 1000

「……私はこれでターンエンド。エンドフェイズに『上弦のピナーカ』の効果で『BF―月影のカルート』を手札に加えます」

文 手札2

『玄翼竜 ブラック・フェザー』ATK3200

『BF T―漆黒のホーク・ジョー』ATK2600

『BF―アーマード・ウイング』ATK2500

『BF―星影のノートウング』ATK2400

『BF―アームズ・ウイング』ATK2300

『黒い旋風』

伏せ1

やべえよ……シンクロモンスターが5体。しかもこれを突破しなきゃ負けてしまう。なのに文の手札には『BF―月影のカルート』がある。『カルート』は『BF』が戦闘を行うダメージステップ開始時からダメージ計算前にこのカードを墓地に送ることで『BF』の攻撃力を1400ポイントアップする効果を持っている。つまり『BF』と戦闘では勝てない。もし勝てたとしても他のモンスターに突破されてしまう。

「私のターン！ドロー！悪いがファイナルターンにさせてもらうぞ！私は墓地の罫カード『絶望への進歩』の効果により、私のフィールドのレベル8以下のモンスター1体を選択して、このカードを除外して発動できる！私はデッキから『デイスペアーアイズ・クレイジー・ドラゴン』を墓地に送り、対象のモンスターをエンドフェイズ終了時点で、墓地に送ったモンスターと同名モンスターとして扱う。その後、私は800ポイントのダメージを受ける」

『バッド・エンド・クイーン・ドラゴン』↓『デイスペアーアイズ・クレイジー・ドラゴン』

嵯峨 LP1000↓200

「そして魔法カード『融合』を発動！」

「嵯峨が融合を?!」

「私は『デイスペアーアイズ・クレイジー・ドラゴン』となっている『バッド・エンド・クイーン・ドラゴン』と手札の『デイスペアー・ストーカー』で融合！」

嵯峨の後ろに『融合』のカードの背景が現れ、『デイスペアーアイズ』と『ストーカー』が交わる。

「絶望の器を背負いし、悲しき終わりの龍よ、絶望という幻を追い求める追跡者よ！今こそその姿形を新たな龍へと昇華し、堕ちてこい！融合召喚！レベル8『デイスペアーアイズ・サッド・ドラゴン』！」

『デイスペアーアイズ・サッド・ドラゴン』 ATK3000

「新たなモンスターが！」

「『デイスペアーアイズ・サッド・ドラゴン』の効果を発動！相手フィールドの特殊召喚されたモンスターの数×300ポイント『サッド・ドラゴン』の攻撃力をアップさせる！文のフィールドの特殊召喚されたモンスターの数は5体！よって攻撃力は1500ポイントアップする！」

『デイスペアーアイズ・サッド・ドラゴン』 ATK3000↓4500

「攻撃力……4500！」

「更に相手フィールドのモンスターの攻撃力は私のフィールドのエク

ストラデツキから特殊召喚されたモンスターの数×300ポイント
ダウンさせる！」

「何ですって!?!」

『玄翼竜 ブラック・フェザー』 ATK 3200 ↓ 2900

『BF T―漆黒のホーク・ジョー』 ATK 2600 ↓ 2300

『BF―アーマード・ウイング』 ATK 2500 ↓ 2200

『BF―星影のノートウング』 ATK 2400 ↓ 2100

『BF―アームズ・ウイング』 ATK 2300 ↓ 2000

「これでバトルだ! 『デイスペアーアイズ・サッド・ドラゴン』で『玄翼竜 ブラック・フェザー』を攻撃!」

「ですが、私も負けられません! 私は罠カード『フェイク・フェザー』を発動!」

「何だと!?!」

「まずい! 私の墓地には……っ!」

「手札の『BF―月影のカルート』を墓地に送り、相手の墓地に存在する通常罠カードの効果はこのカードにコピーします! 私がコピーするのは『絶望の裁定』! 自分モンスターが攻撃対象になった時、お互いに300ポイントのダメージを与える!」

「そうはいくか! 私は手札から速攻魔法『デイスペアー・ハウリング』を発動! 私のフィールドの『デイスペアーアイズ』モンスターの攻撃力以下のダメージが発生した時、私が受ける効果ダメージを全て私の代わりに相手に与える!」

「そんな……っ!」

文 LP1500 ↓ 900

「終わりだ！行け！」『デイスペアーアイズ・サッド・ドラゴン』！『悲しみの連鎖 デイスペアー・サッド・ストリーム』！！」
「キャアアアアッ！」

文 LP900↓0

「参りました……成る程。これなら私も信用できます。では、皆さんを黒幕のところへ……」

「黒幕ですって？魔理沙。とんだ迷推理だったわね」
「あれー？」

今更ですかい……

魔理沙が霊夢に言われて慌てていると、森の奥から一人の人影が現れる。

「フフフ……ここにいたのか……異変解決者たちよ……そう……我が黒幕だ」

「『ニトリ』！」

文は何故ここにと驚いている。黒幕と名乗った人物は『川城 ニトリ』。この山に住んでいる河童という種族の一人。エンジンアで幻想郷にある全てのデュエルディスクを作ったと霊夢たちから聞いた。

数分前のスキマの中にて

今まで霊夢たちが戦ってきた黒幕たちの状況を聞いていた。嗟峨

はふむ……と顎に手をやると、

「成る程な……それは確実に操られているな」

「ええ、やっと分かってくれたかしら？他の誰かに操られているのが『自称黒幕』、でも本物の黒幕は証拠を残さない。操られている本人そのものの霊力だったり、妖力に別の霊力やら妖力やらが乗っ取っているのだけど、糸のように出ているわけでもないの」

「成る程……」

何だろうな……どつかで見たな……操られている。別の人物へと乗り移る。

「ま、取り敢えず見てからのお楽しみって奴だぜ」

「はあ……魔理沙……あんたって奴は……」

く現在く

「お前が黒幕……いい機会だ。友人の頼みなんでね……お前を倒す！」

「ギャハハハ！いいだろう……異変解決者よ！我と闇の決闘デュエルを始めようか！」

「ああ！」

「決闘デュエル！」

7. 「堕ちてこい！侵略の龍！」

嵯峨 LP8000

黒幕 LP8000

嵯峨はデュエルディスクを展開するとともに、5枚のカードをドロウする。そして、

「先行は私だ！私は魔法カード『ディスプレイ・デメリット・コール』を発動！このターン、自身のカードの効果で私がダメージを受ける時、その数値は倍になる。そして私が自身のカード効果でダメージを受ける度、デッキからレベル4の『ディスプレイ』モンスターを守備表示で特殊召喚する」

「成る程……ダメージを受けて展開するつもりか……」

「更に魔法カード『ディスプレイ・エントリー』を発動。そのカード効果で私は500ポイントのダメージを受ける。しかし、『ディスプレイ・デメリット・コール』の効果でその数値は倍となる」

嵯峨 LP8000↓7000

「そして同じく『ディスプレイ・デメリット・コール』の効果でデッキから『ディスプレイ・ナイト』を特殊召喚」

『ディスプレイ・ナイト』DEF0

「まだだぜ。更に『ディスプレイ・エントリー』の効果により、『ディスプレイ』モンスターが特殊召喚に成功する度、私はデッキからカードを1枚ドロウする。そして、『ディスプレイ・ソルジャー』を通常召

喚！」

『デイスペアー・ソルジャー』 ATK1600

「そして召喚時効果を発動！手札の『デイスペアー』モンスター……『デイスペアー・ハッカー』を墓地に送り、デッキからカードを1枚ドロウする。そしてそれがレベル4以下の『デイスペアー』モンスターならば特殊召喚できる……チィ」

嵯峨は『ソルジャー』の効果でドロウしたカードを見て、顔をしかめる。

「だが、墓地に送った『デイスペアー・ハッカー』の効果が発動！カードの効果で手札から墓地に送られた場合、このカードを特殊召喚する」

『デイスペアー・ハッカー』 DEF0

「このモンスターが特殊召喚に成功した時、お互いに300ポイントのダメージを受ける。だが、私だけは『デイスペアー・デメリット・コール』の効果で倍の600ポイントのダメージを受ける」

嵯峨 LP7000↓6400

黒幕 LP8000↓7700

「そして『デイスペアー・エントリー』の効果で1ドロウ、『デイスペアー・デメリット・コール』の効果でデッキから『デイスペアー・チャレンジャー』を特殊召喚」

『デイスペアー・チャレンジャー』DEF0

「『チャレンジャー』の特殊召喚に成功したので『デイスペアー・エントリー』の効果で1ドロー。手札から『デイスペアー・コンストラクター』のモンスター効果を起動！このカードを除外して、種族を1つ宣言する。そしてこのターン、私のフィールドの『デイスペアー』モンスターは宣言した種族になる。私は『ドラゴン族』を宣言」

『デイスペアー・ナイト』悪魔族↓ドラゴン族

『デイスペアー・ソルジャー』悪魔族↓ドラゴン族

『デイスペアー・ハッカー』悪魔族↓ドラゴン族

『デイスペアー・チャレンジャー』悪魔族↓ドラゴン族

「カードを2枚伏せ、魔法カード『ドラゴニック・タクティクス』を発動！私のフィールドの『ドラゴン族』モンスターを2体リリースして、デッキからレベル8の『ドラゴン族』モンスターを特殊召喚する！私は『デイスペアー・ソルジャー』と『デイスペアー・チャレンジャー』の2体をリリースし、出でよ……絶望の器を背負いし龍よ！『デイスペアーアイズ・クレイジー・ドラゴン』！」

『デイスペアーアイズ・クレイジー・ドラゴン』ATK3000

「そして『デイスペアーアイズ・クレイジー・ドラゴン』の効果を発動！お互いは自身の手札の枚数×300ポイントのダメージを受ける『デイスペアー・ハウリング』！そして『デイスペアー・エントリー』の効果で1ドロー。だが私は『デイスペアー・デメリット・コール』の効果で倍のダメージを受ける」

嵯峨 LP6400↓4600

黒幕 LP7700↓6200

「そして『デイスペアー・デメリット・コール』の効果でデッキから『デイスペアー・ストーカー』を特殊召喚」

『デイスペアー・ストーカー』DEF0

「『デイスペアー・エントリー』の効果で1ドロロー。よし、『融合』発動！フィールドの『デイスペアーアイズ・クレイジー・ドラゴン』と『デイスペアー・ストーカー』で融合する！絶望の器を背負いし、悲しき終わりの龍よ、絶望という幻を追い求める追跡者よ！今こそその姿形を新たな龍へと昇華し、堕ちてこい！融合召喚！レベル8『デイスペアーアイズ・サッド・ドラゴン』！」

『デイスペアーアイズ・サッド・ドラゴン』ATK3000

「『デイスペアー・エントリー』の効果で1ドロロー。これでターンエンドだ」

嗟峨 手札4

『デイスペアーアイズ・サッド・ドラゴン』ATK3000

『デイスペアー・ナイト』DEF0

『デイスペアー・ハツカー』DEF0

伏せ2

「俺様のターンだ、ドロロー！俺様は永続魔法『ダイナミスト・チャージ』を発動！」

『ダイナミスト』だど!?

友人がよく使っていたテーマなのでよく知っている。恐竜をモ

チーフにした機械で、体の至る所から水蒸気が噴射しているから水属性の割にはかなりの熱を持っていると思われ……なんていいか。

俺の下らない妄想だった。いけないいけない。アジアチャンプの人も言っていた。ファンには必ずサービスをするのが俺のモットーだと、いついかなる時もその心情を忘れないと……流星、DD魔導賢者トーマス・アークライトだ。

と、俺の憧れのファンサービスさんは置いといて、黒幕のデツキは『ダイナミスト』。最低攻撃力が1800というふざけたテーマだ。このターンで俺の盤面は覆されるだろうな……

「このカードの発動処理で『ダイナミスト』モンスターを1体、手札に加えられる。

俺様は『ダイナミスト・プテラン』を手札に加えるぜ。

そしてスケール3の『ダイナミスト・プテラン』とスケール8の『メタルフォーゼ・ヴォルフレイム』でペンデュラムスケールをセッティング！

これでレベル4から7までのモンスターを同時に召喚できる。

そして、『メタルフォーゼ・ヴォルフレイム』のペンデュラム効果を発動するぜ！

自分フィールドのこのカード以外の表側表示のカードを破壊し、デツキから『メタルフォーゼ』魔法・罫カードを1枚をセットする。

俺様は『ダイナミスト・プテラン』を破壊し、そしてデツキから『メタルフォーゼ・カウンター』をセットするぜ。この時、ペンデュラムモンスターは墓地へは行かず、

エクストラデツキに表側表示で置かれる。更に永続魔法『ダイナミスト・チャージ』の効果で『ダイナミスト』モンスターがエクストラデツキに加わった場合、

そのカードを手札に戻す。そしてスケール3の『ダイナミスト・ステゴザウラー』でペンデュラムスケールをセッティング！ペンデュラム召喚！出でよ、俺様の下僕共よ！『ダイナミスト・プテラン』、『ダ

イナミスト・レックス』！」

『ダイナミスト・プテラン』 ATK1800

『ダイナミスト・レックス』 ATK2400

「そしてフィールド魔法『ダイナミック P』パワーロードを発動。フィールドの『ダイナミスト』モンスターの攻撃力・守備力を300ポイントアップさせるぜ」

『ダイナミスト・プテラン』 ATK1800↓2100

『ダイナミスト・レックス』 ATK2400↓2700

「バトルだ！『ダイナミスト・プテラン』で『デイスペアー・ナイト』を攻撃！」

「チィ……（俺は今『ダイナミック P』パワーロードの効果で『ダイナミスト』モンスターと戦闘を行う場合、ダメージステップ終了時までカード効果を発動できなくなっている……つまり、俺が伏せている自分モンスターと同名モンスターのトークンを作る『デイス・ペア』と相手モンスターの攻撃力を半分にして、ダイレクトアタックを可能にさせる『デイスペアーチ』が使えない……だが、今はまだ使うタイミングじゃないから大丈夫だろう）」

「そして『ダイナミスト・プテラン』の効果で相手モンスターを破壊した時、デッキから『ダイナミスト』カードを手札に加える。よつて、『ダイナミスト・ラッシュ』を手札に加えるぜ。そして『ダイナミスト・レックス』で『デイスペアー・ハッカー』を攻撃！」

「くそが……！」

「そして『レックス』が相手モンスターを攻撃したダメージステップ終了時にこのカード以外の『ダイナミスト』をリリースして効果を発動するため、『ダイナミスト・プテラン』をリリースするぜ。そして俺様は『レックス』の2つある効果の中から1つを選ぶ。そうだなあ……：ヒヤハハハ！俺様は『デイスペアーアイズ・サッド・ドラゴン』を対

象にして、エクストラデッキへと戻させてもらうぜえ！」

「……」

「ヒヤハハハ！更に『レックス』の攻撃力は1000ポイントアップする！」

『ダイナミスト・レックス』 ATK 2700 ↓ 2800

「俺様はカードを1枚伏せ、ターンエンド」

黒幕 手札1

『ダイナミスト・レックス』 ATK 2800

『メタルフォーゼ・ヴォルフレイム』スケール8

『ダイナミスト・チャージ』

『ダイナミック パワーロード P』

伏せ2

「私のターン。私は墓地の『デイスペアー・ソルジャー』の効果を発動！このカードをゲームから除外して、デッキから『デイスペアー』モンスターを墓地に送る。私は『デイスペアー・ジャイアント』を墓地に送る。更にお互いは500ポイントの効果ダメージを受ける。そして『デイスペアー・ネゴシエイター』を通常召喚」

嵯峨 LP 4600 ↓ 4100

黒幕 LP 6200 ↓ 5700

『デイスペアー・ネゴシエイター』 ATK 1000

「『ネゴシエイター』の効果を発動。私のフィールドのモンスターがこのカードのみの時、デッキから『絶望』または『デイスペアー』魔法・

罨カードを墓地に送り、ゲームから除外されている『デイスペアー』モンスターを特殊召喚する。私は『戦慄する絶望』を墓地に送り、『デイスペアー・ソルジャー』を特殊召喚する」

『デイスペアー・ソルジャー』 ATK1600

「そして『ソルジャー』の効果で『デイスペアー・パントマイナー』を墓地に送り、1枚ドロロー……ッ！私が引いたカードはレベル1の『デイスペアーアイズ・コア・ドラゴン』！よってこのカードを特殊召喚！」

『デイスペアーアイズ・コア・ドラゴン』 ATK0

「墓地の『戦慄する絶望』の効果！デュエル中に1度のみ、『デイスペアーアイズ・コア・ドラゴン』に装備でき、『デイスペアーアイズ・コア・ドラゴン』の効果を発動！私のフィールドの『デイスペアー』モンスターの攻撃力の合計の2600よりも攻撃力が高い、攻撃力2800の『ダイナミスト・レックス』を破壊する！ミニチュア・ハウリング！」

「ヒヤハハハ！破壊されてしまったか！だが、『ダイナミスト・チャージ』の効果で『レックス』は手札に戻るぜ」

「そして『デイスペアーアイズ・コア・ドラゴン』に装備された『戦慄する絶望』の効果で、破壊したモンスターの攻撃力の半分のダメージを与え、その数値だけ、装備モンスターの攻撃力がアップする」

黒幕 LP5700↓4500

『デイスペアーアイズ・コア・ドラゴン』 ATK0↓1200

「更にリバーズカードオープン『デイス・ペア』！『デイスペア・ソルジャー』の名前とステータスをコピーした『トークン』を特殊召喚する！」

『デイスペア・ソルジャー（トークン）』 ATK1600

「そして今特殊召喚した『デイスペア・ソルジャー』の効果を発動。手札の『デイスペア・ハングライダー』を墓地に送り、1ドロー。ドローしたカードはレベル4の『デイスペア・クライマー』！よつて、このカードを特殊召喚！」

『デイスペア・クライマー』 ATK1200

「『デイスペア・クライマー』は『デイスペア』モンスターの効果で特殊召喚に成功した時、1枚ドローする」

ドクンツ！ドローしたカードを見て、嗟峨の心臓が跳ね上がる。何かに意識を奪われそうな理性が吹き飛ぶ感覚が嗟峨を襲う。

「俺は魔法カード『カタストロフドロー』を発動！」

「俺!?!」

デュエルモード中の嗟峨の一人称は『私』だったはずなのにと霊夢と魔理沙は驚く。

「俺のフィールドのモンスターを5体を破壊し、2枚ドローする！」

「ヒヤハハハ！ハイリスクなカードだなあ！」

「うるせえよ……貴様のこのデュエルからは……絶望を超える勇氣も希望を掴む努力も感じられない！俺がドローしたカードは『デイスペア・フュージョン』！エクストラデッキの融合モンスターの素材をフィールド・墓地の『デイスペア』モンスターを除外し、融合召喚

を行う！俺は墓地の『デイスペアーアイズ・クレイジー・ドラゴン』と『デイスペアー・ソルジャー』、『デイスペアー・ナイト』を除外し、融合！絶望の器背負いし、宿命の龍よ、絶望を恐れ戦場を逃げ惑う兵士よ、忠誠を誓う主を失った騎士よ、異なる絶望たちが入り交じり、光を侵食し、姿形を龍へと具象化し、堕ちてこい！融合召喚！レベル10！『デイスペアーアイズ・エリミネーション・ドラゴン』！」

『デイスペアーアイズ・エリミネーション・ドラゴン』 ATK 3300

『『デイスペアーアイズ・エリミネーション・ドラゴン』の効果！このモンスターの融合召喚に成功した時、お互いは1500ポイントのダメージを受ける！『エリミネーション・ハウリング』！」

嵯峨 LP 4100 ↓ 2600

黒幕 LP 4500 ↓ 3000

「速攻魔法『D^{デー}スピア』を発動！お互いが1000ポイント以上の効果ダメージを受けたターンに発動でき、デッキからレベル4、8の『デイスペアー』モンスターを1体ずつ手札に加えられる。俺はレベル4の『デイスペアー・ドクター』とレベル8の『デイスペアー・トラベラー』を手札に加え、更なる魔法カード『憑りつく絶望』を発動！手札の『デイスペアー』モンスターを2体までデッキに戻し、戻した枚数＋1枚ドロウする。今加えた『デイスペアー・トラベラー』と『デイスペアー・ドクター』をデッキに戻し、3枚ドロウ！」

「うるせえ！バトルだ！『デイスペアーアイズ・エリミネーション・ドラゴン』でダイレクトアタック！『侵略のデイスペアー・エネミー・バースト』！」

「ヒヤハハハ！苦肉だな！リバースカード『揺れる眼差し』を発動！」

『ダイナミスト・ラッシュ』じゃないだ?!』

「全てのPゾーンのカードを破壊し、破壊した枚数によって効果が増幅する。まず1枚以上の時、相手に500ポイントのダメージを与える」

嵯峨 LP2600↓2100

「くっ……!」

「2枚以上の時、デツキからPモンスターを1体手札に加えられる。俺様は『メタルフォーゼ・ステイエレン』を手札に加えるぜ。そしてそしてPゾーンの『メタルフォーゼ・ヴォルフレイム』が破壊されたので『メタルフォーゼ・カウンター』を発動!デツキから『メタルフォーゼ・ゴルドライバー』を特殊召喚!」

『メタルフォーゼ・ゴルドライバー』DEF500

「くそが!俺は『デイスペアーアイズ・エリミネーション・ドラゴン』を攻撃対象を変更し、『メタルフォーゼ・ゴルドライバー』を攻撃!『侵略のエネミー・バースト』!俺はカードを1枚伏せ、ターン終了だ」

嵯峨 手札3

『デイスペアーアイズ・エリミネーション・ドラゴン』ATK3300

伏せ2

「俺様のターン、ドロウするぜ。ギャハハハ!俺様はスケール3の『ダイナミスト・スピノス』とスケール8の『メタルフォーゼ・ステイエレン』でペンデュラムスケールをセッティング!そして『メタルフォーゼ・ステイエレン』のペンデュラム効果発動!『ダイナミスト・

スピノス』を破壊し、デッキから『メタルフォーゼ・フュージョン錬装融合』をセットするぜ、更に永續魔法『ダイナミスト・チャージ』の効果で『スピノス』を手札に戻し、再びペンデュラムスケールにセッティング！4から8までのモンスターが特殊召喚できる！再び俺様の下僕よ復活せよ！ペンデュラム召喚！『ダイナミスト・レックス』、『ダイナミスト・プテラン』、『ダイナミスト・ステゴザウラー』、『メタルフォーゼ・ゴルドライバー』、『メタルフォーゼ・ヴォルフレイム』！」

『ダイナミスト・レックス』ATK2400↓2700（ダイナミックPの効果）

『ダイナミスト・プテラン』ATK1800↓2100（ダイナミックPの効果）

『ダイナミスト・ステゴザウラー』ATK1600↓1900（ダイナミックPの効果）

『メタルフォーゼ・ゴルドライバー』ATK1900

『メタルフォーゼ・ヴォルフレイム』ATK2400

「一気に4体のモンスターが!?!」

「ヒヤハハハ！驚くのはまだまだまだ早いぜ！俺様は伏せていたメタルフォーゼ・フュージョン

『メタルフォーゼ・フュージョン錬装融合』を発動！場の『メタルフォーゼ・ゴルドライバー』と

『メタルフォーゼ・ヴォルフレイム』で融合！黄金と赤熱の魂タマハガネ鋼よ、世界の終末に呼応し、絶対に欠けることのない真の姿へと生まれ変われ！融合召喚！レベル8！『メタルフォーゼ・オリハルク』！」

『メタルフォーゼ・オリハルク』ATK2800

「墓地の『メタルフォーゼ・フュージョン錬装融合』を発動！このカードをデッキに戻し、1枚ドロウするぜ。ギャハハハ！そしてバトルだ！『メタルフォーゼ・オリハルク』で『デイスペアーアイズ・エリミネーション・ドラゴン』を攻撃！」

「……ああ、そういうことかよ！トラップ発動！『デイスペアーチ』！

相手の攻撃モンスターの攻撃力を半分にダイレクトアタックに変更する！」

「そんな『オリハルク』の方が攻撃力が低いのにそれを回避するなんて！」

魔理沙の驚きもオリハルクの効果知らない人からすれば当然だ。

「『オリハルク』はフィールドから墓地に送られた場合、俺のカードを1枚破壊する。つまり、奴は自縛特攻で『エリミネーション・ドラゴン』を破壊しようとしたのさ」

「ギャハハハ！読まれていたか……！だが、ダメージは受けてもらうぞ！」

「それもない！トラップカード『レインボー・ライフ』を発動！手札のカードを1枚墓地に送り、このターンの俺への全てのダメージを回復に変更する！」

嵯峨 LP2100↓3500

「なるほどな……だが、そいつを残すわけにもいかない……『ダイナミスト・レックス』で『ディスプレイ・エリミネーション・ドラゴン』を攻撃！この瞬間、『ダイナミスト・スピノス』のペンデュラム効果を発動！このカード以外の『ダイナミスト』モンスターへの戦闘破壊か相手のカード効果による破壊の身代わりができる！」

「だが、戦闘ダメージは発生する！」

黒幕 LP3000↓2400

「そして攻撃を終えた『ダイナミスト・レックス』の効果で『ダイナミスト・ステゴザウラー』をリリースし、『ディスプレイアーム・エリミネーション・ドラゴン』をエクストラデッキに戻させる！そして攻撃力を100ポイントアップする」

『ダイナミスト・レックス』 ATK 2700 ↓ 2800

「俺様はカードを1枚伏せ、ターンエンドだぜ」

黒幕 手札1

『ダイナミスト・レックス』 ATK 2800

『ダイナミスト・プテラン』 ATK 2100

『メタルフォーゼ・オリハルク』 ATK 1400 ↓ 2800

『メタルフォーゼ・ステイエレン』スケール8

『ダイナミスト・チャージ』

『ダイナミックP』

伏せ1

8. 「這い寄れ！デイス子さん」

嵯峨 LP3500

手札2

黒幕 LP2400

手札1

『ダイナミスト・レックス』 ATK2800

『ダイナミスト・プテラン』 ATK2100

『メタルフォーゼ・オリハルク』 ATK2800

『メタルフォーゼ・ステイエレン』 スケール8

『ダイナミスト・チャージ』

『ダイナミックP』

伏せ1

「嵯峨のフィールドにモンスターどころか、伏せカードも0！手札はたったの2枚……確かに嵯峨のライフポイントは相手よりも多いが、相手モンスターの数は3体……かなりピンチな状況だぜ……」

「ありがとう魔理沙。それは勝利フラグだ。もうデッキトップのカードが

『R U M―七星の剣』ランクアップマジック ザ・セレンス・ワンな気しかない。

もはやシャイニングドロージャーリアンズカオスドロージャーをしなくても引けるわ（フラグ）

「俺のターン……お？」

私が引いたカードは『R U M―七星の剣』ランクアップマジック ザ・セレンス・ワン！ではなく、『異次元の宝札』。こんなカード入れたのを忘れてた。

このカードが除外された場合、次の自分のスタンバイフェイズ時に

手札に戻し、

お互いに2枚ドロウするカード。これで手札の心配はしなくてもよさそうだ……後は……このカードで……よし。

「俺は手札より、魔法カード『絶望の賭け』を発動！このカードはお互いが手札のカードが1枚以上ある時、発動でき、お互いはデッキからカードを1枚ドロウし、手札を2枚除外する」

「ここで手札を削る作戦かあ？見苦しいな」

「言ってる。そしてこの効果で除外した魔法カードはレベル4、罠カードはレベル6のモンスターカードとして扱う」

「？」
「そしてお互いはこの効果で除外するモンスターカードの合計レベル21以上になるまでデッキからカードをドロウできる」

「……まさか貴様」

「さあ、闇のゲームなんだろう？始めようじゃないか……お互いはライフを賭ける。好きな数値を決めようぜ」

「この男……正気か？これは『ブラックジャック』だ」

「ブラックジャック？」

「別のカードゲームだ。最初は1枚のカードを手札として持ち、21以下で21に最も近い数値になれば勝ちだ。22以上という数値になった瞬間、負けとなる。勿論、好きな枚数ドロウできる」

「……俺様はライフを1000賭け、デッキからカードを1枚引くぜ」
「除外された1枚目のカードは、相手も確認できる」

「はっ！好きにしな」

そうやって黒幕が除外したカードは通常罠『ダイナミスト・エラプション』……今はレベル6となっている……

「俺は2000ライフポイントだ。そして俺も1枚ドロ……1枚目のカードはマジックカード『異次元の宝札』だ」

「……そうかよ……（あのデツキはレベル4かレベル8しかないであろうデツキだ。つまり、少なくともレベル12は除外してある……だが、追加のドロローがないということは罠カード……いや、前のターンに伏せたのが奴の手札にあった全ての罠カードのはず……つまり、奴は少なくともレベル8モンスターを1体以上除外している……いや、待てよ？ 奴が除外した2枚のカードがどちらもレベル8モンスターならば、レベルの合計は20！ 俺様はレベル5モンスターと罠カード2枚……俺様のカードのレベルの合計は17……奴の除外したレベル8が1枚だとしてもさつきドロローしたカードが罠カードじゃない確証はどこにもねえ……その場合はレベル18ということになる……つまりもう1枚ドロローしなければ必ず負ける……）」

「これで終了か？」

「いや、もう1枚ドロローさせてもらうぜ」

黒幕はいつものにやけた顔でドロローする……が、

「ば、馬鹿な!？」

「ふっ……マジックカードか」

「くっ……!」

「そしてレベルの合計は22以上となった……違うか？」

「くー!」

『絶望の賭け』の効果で俺は賭けた2000ポイントのライフを回復する」

嗟哦 LP3500→5500

「そして貴様は賭けた1000ポイントのライフを失う」

「チィ……！」

黒幕 LP2400↓1400

「そしてこの効果で除外したカードは次のターンプレイヤーのスタンバイフェイズに手札に戻る」

「この俺様が、ゲームで負けるなんて……久方ぶりだぜ！」

「……」

「さあ、来いよ！お前のターンはまだ終わってないはずだぜ？手札はもう1枚しかないがな！」

「俺は墓地の『デイスペアー・クライマー・ジャイアント』のモンスター効果を発動！このカードを除外し、墓地のレベル4『デイスペアー』モンスターを2体、攻撃力を0にして攻撃表示で特殊召喚する！俺は『デイスペアー・クライマー』と『デイスペアー・パントマイナー』を特殊召喚！」

『デイスペアー・クライマー』 ATK1200↓0

『デイスペアー・パントマイナー』 ATK1800↓0

「『デイスペアー・クライマー』の効果で『デイスペアー』モンスターの効果で特殊召喚に成功したので1枚ドロー！『デイスペアー・パントマイナー』の効果！このカードが特殊召喚に成功した時、お互いのフィールドが特殊召喚されたモンスターのみの場合に発動でき、フィールドに表側表示で存在する、相手モンスターを1体破壊する！」

対象は『メタルフォーゼ・オリハルク』だ！」

「だが、フィールドから墓地に送られた『オリハルク』の効果で『デイスペアー・パントマイナー』を破壊するぜ」

「しかし、『パントマイナー』のもう一つの効果！相手のカード効果で破壊された時、フィールドのレベル4モンスターを全て破壊する！」

「チィ……！」

「そしてこのカードは手札がこのカードのみの時、特殊召喚できる！
来い！『E・HERO バブルマン』を特殊召喚！」

「『HERO』ですって（だって）!?!」

「希望の戦士だと……?」

『E・HERO バブルマン』DEF1200

「このカードが特殊召喚に成功し時、自分フィールドと手札がこの
カードのみの場合、デッキから2枚ドロー！……ッ！魔法カード
フュージョン・リカバリー『融合回収』！墓地の融合素材1枚と『融合』を手札に加える。俺
は墓地から『デイスペアー・ストーカー』と『融合』を手札に加える。
そして『融合』を発動！『E・HERO バブルマン』と『デイスペ
アー・ストーカー』で融合！絶望という幻を追い求める追跡者よ、希
望を与える英雄よ、絶望と希望が入り交じり、混濁とし、姿形を我が
下僕へと進化し、堕ちてこい！融合召喚！レベル8『デイスペアーア
イズ・バランスブレイカー』！」

『デイスペアーアイズ・バランスブレイカー』ATK2400

「『バランスブレイカー』の効果！相手モンスターの攻撃力のアップダ
ウンを逆転させる！」

「何!?!」

『ダイナミスト・レックス』ATK2800↓2000

『ダイナミスト・プテラン』ATK2100↓1500

「バトルを行う！『バランスブレイカー』で『ダイナミスト・レックス』
を攻撃！『ルールブレイカー』！」

黒幕 LP1400↓1000

『バランスブレイカー』が相手フィールドで最も攻撃力が高い相手モンスターを破壊した場合、もう1度だけ、相手モンスターに攻撃できる！続けていけ『バランスブレイカー』！『ダイナミスト・プテラン』を攻撃！『ルールブレイカー』！」
「ぐううう！」

黒幕 LP1000↓100

「俺はカードを1枚伏せ、ターンエンド」

嗟峨 手札0

『デイスペアーアイズ・バランスブレイカー』ATK2400

伏せ1

「俺様のターン！スタンバイフェイズにお前の『絶望の賭け』の効果で除外していた俺様のカードは手札に戻るぜ」

「……来るか」

「俺様は手札よりスケール3の『ダイナミスト・スピノス』をセットティングし、『メタルフォーゼ・ステイエレン』のペンデュラム効果で『スピノス』を破壊し、デッキより『メタルフォーゼ・フュージョン錬装融合』をセット！そして再び、『ダイナミスト・スピノス』をセットティングし、ここでペンデュラム召喚！エクストララデッキより現れよ！我が下僕共！『ダイナミスト・レックス』『ダイナミスト・プテラン』『ダイナミスト・ステゴザウラー』『メタルフォーゼ・ヴォルフレイム』！そして俺様の精霊獣！『ディアバウンド・カーネル』！」

『ダイナミスト・レックス』 ATK 2400 ↓ 2100
『ダイナミスト・プテラン』 ATK 1800 ↓ 1500
『ダイナミスト・ステゴザウラー』 ATK 1600 ↓ 1300
『メタルフォーゼ・ヴォルフレイム』 ATK 2400
『ディアバウンド・カーネル』 ATK 1800

「やはり来やがったか……!」

「ほお?ということは俺様の正体に気づいていたって訳だな。流石は外の世界の住人。俺様の精霊獣^カを知っていたとしても何も不思議はねえな」

「ああ、お前はよく知っているぜ、『盗賊王バクラ』!」

「ヒヤハハハ!その名で呼んでもらって嬉しいぜ!」

「お前が異変の黒幕だったのか!」

「ククク……半分正解で半分不正解だ」

「何?」

「まあ、真実を知りたくば俺様に勝つてからにするんだな!俺様は『ディアバウンド・カーネル』のモンスター効果を発動!その効果で相手モンスターに憑りつき、このカードの攻撃力分、攻撃力をダウンさせる!」

『デイスペアーアイズ・バランスブレイカー』 ATK 2400 ↓ 600

「そしてセットカードの『メタルフォーゼ・フュージョン錬装融合』の効果を発動!フィールドの『メタルフォーゼ・ヴォルフレイム』と『ダイナミスト・プテラン』、『ダイナミスト・ステゴザウラー』で3体融合!『メタルフォーゼ』モンスター+攻撃力3000以下のモンスター2体で融合する!燃え盛る魂よ、冷え切った機械竜たちよ、全ての力を溶け合わせ、新世界への幕を開ける!融合召喚!レベル9!『メタルフォーゼ・カーディナル』!」

『メタルフォーゼ・カーディナル』 ATK 3000

「そして罫カード『ダイナミスト・ラツシュ』を発動！デッキから『ダイナミスト』モンスターを特殊召喚し、このターン、そのモンスターは他の効果を受けず、エンドフェイズ時に破壊される。俺様は『ダイナミスト・アンキロス』を特殊召喚！」

『ダイナミスト・アンキロス』 ATK1500

あれ？あれは新規の『ダイナミスト』さん！そうだ。前回『ダイナミスト』モンスターの最低攻撃力は1800だとか言ってたけど、こいつのせいで若干微妙になってしまったんだ。

「そして俺様は『ダイナミスト・アンキロス』をリリースし、2体目の『ディアバウンド・カーネル』をアドバンス召喚！」

『ディアバウンド・カーネル』 ATK1800

アイエエ!?

「バトルフェイズだ！『ディアバウンド・カーネル』で『デイスペアー・アイズ・バランスブレイカー』を攻撃！」

嗟哦 LP5500↓4300

「『ディアバウンド・カーネル』は破壊したモンスターの力を得る！しかも『デイスペアー・アイズ・バランスブレイカー』の効果もなくなるぜ！」

『ディアバウンド・カーネル』 ATK1800↓2400

『ダイナミスト・レックス』 ATK 2100 ↓ 2700

「憑りついていた『ディアバウンド・カーネル』も戻ってくるぜ。そして『ダイナミスト・レックス』でダイレクトアタックだ！」

「トランプ発動！『異次元からの絶望』！除外されている2体の『デイスペアー』モンスターを効果を無効にして特殊召喚する！ただし、この効果で特殊召喚したモンスターと同名モンスターの墓地効果を封印する。出でよ、『デイスペアー・ジャイアント』！『デイスペアーアイズ・クレイジー・ドラゴン』！」

『デイスペアー・ジャイアント』 ATK 2800

『デイスペアーアイズ・クレイジー・ドラゴン』 ATK 3000

「バトルは続くぜ！『ダイナミスト・レックス』で『デイスペアーアイズ・クレイジー・ドラゴン』を攻撃！」

「だが、攻撃力はこちらの方が上だ！」

「そいつはどうか？俺様はダメージステップ時に速攻魔法『リミッター解除』を発動！」

「そうか、しまった！」

「俺様のフィールドの機械族モンスターの攻撃力を倍にする！」

『ダイナミスト・レックス』 ATK 2800 ↓ 5600

「『デイスペアーアイズ』！ぐっ……！」

嗟哉 LP 4300 ↓ 1700

「そして『メタルフォーゼ・カーディナル』で『デイスペアー・ジャイアント』を攻撃！」

嵯峨 LP1700↓1500

「これでおしまいだ！2体目の『ディアバウンド・カーネル』でダイレクタアタック！」

「嵯峨！」

霊夢と魔理沙の叫び声に反応する間もなく、ディアバウンド・カーネルの尻尾の蛇から放たれた『青眼ブルーアイズ・ホワイト・ドラゴンの白龍』の必殺技『滅びの爆裂疾風弾』バーストストリームよく似たレーザーが嵯峨へと直撃する。

「ヒヤハハハ！」

バクラの笑い声が響く。だが、

「ヒヤハハ……な、何!?馬鹿な……そのトラップカードはさつき使用したはず!?!」

嵯峨のフィールドには1枚のトラップカードが輝いていた。

「墓地でもトラップカード『異次元からの絶望』は発動でき、その効果を使用していたのさ！俺の墓地の最もレベルの低い『ディスプレイ』モンスターを除外することで、そのモンスターのレベル×200ポイント、相手モンスター全ての攻撃力を下げる。俺が除外したのはレベル1の『ディスプレイ・アイズ・コア・ドラゴン』だ！」

『ディアバウンド・カーネル』 ATK1800↓1600

『ディアバウンド・カーネル』 ATK 2400 ↓ 2200
『メタルフォーゼ・カーディナル』 ATK 3000 ↓ 2800
『ダイナミスト・レックス』 ATK 5600 ↓ 5400

嗟峨 LP1700 ↓ 100

「クソ……俺様はカードを2枚伏せてターンエンドだ。エンドフェイズ時に『リミッター解除』の効果で『ダイナミスト・レックス』を破壊する」

黒幕 手札0

『ディアバウンド・カーネル』 ATK 2400

『ディアバウンド・カーネル』 ATK 1800

『メタルフォーゼ・カーディナル』 ATK 3000

伏せ2

「エンドフェイズ時に『異次元からの絶望』の更なる効果を発動できる！このカードの効果で除外したモンスターは『墓地で発動する』効果を発動できる！『ディスプレイアイズ・コア・ドラゴン』はデュエル中に1度のみ、墓地の『ディスプレイアイズ・クレイジー・ドラゴン』を効果を無効にして特殊召喚する！」

『ディスプレイアイズ・クレイジー・ドラゴン』 ATK 3000

「そして俺のターンだ！ドロー！スタンバイフェイズ時に『絶望の賭け』の効果で除外していたカードを手札に戻す。だが、この瞬間、除外していた『異次元の宝札』の効果を発動！除外された次の自分のスタンバイフェイズ時にこのカードを手札に戻し、お互いにデッキからカードを2枚ドローする」

「ヒヤハハハ！なら喜んでドロ―させてもらおうぜ」

「まだまだ！俺はエクストラデッキの『デイスペアーアイズ・エリミネイション・ドラゴン』の効果を発動！」

「な、何!?エクストラデッキからモンスター効果だと!?!」

「『デイスペアーアイズ・エリミネイション・ドラゴン』がフィールドから相手カード効果でエクストラデッキに戻された2ターン後の自分のスタンバイフェイズ時に俺のフィールドと手札のモンスターで『デイスペアーアイズ・エリミネイション・ドラゴン』を融合召喚できる！俺の場の『デイスペアーアイズ・クレイジー・ドラゴン』と手札の『デイスペアー・トラベラー』、『デイスペアー・ドクター』の3体で融合召喚！」

『デイスペアーアイズ・エリミネイション・ドラゴン』 ATK3300

「だがこの時、モンスター効果は無効となる。そして手札から速攻魔法『トラップ・ブースター』を発動！手札のカードを1枚墓地に送り、このターン、手札からトラップカードを1枚発動できる！そして罠カード『妖怪のいたずら』を発動する！フィールドの全てのモンスターのレベルを2下げる！」

『デイスペアーアイズ・エリミネイション・ドラゴン』 ☆10 ↓8

『ディアバウンド・カーネル』 ☆5 ↓3

『ディアバウンド・カーネル』 ☆5 ↓3

『メタルフォーゼ・カーディナル』 ☆9 ↓7

「魔法カード『死者蘇生』！墓地の『デイスペアー・ドクター』を特殊召喚！」

『デイスペアー・ドクター』 DEF0

不気味な医者が闇の奥底から現れる。両手にはメスを持っていて、

手袋はしていない。藪医者にしか見えないが、おそらくはそうだろう。

「『ドクター』のモンスター効果、エクストラデッキから特殊召喚されたモンスターをこのモンスターのレベル分、下げることができる！対象は『メタルフォーゼ・カーディナル』だ！」

「そんなことして何の意味がある！」

「これでお前に勝てるのさ！」

『メタルフォーゼ・カーディナル』☆7↓3

「墓地の『デイスペアー・チャレンジャー』の効果を発動！俺のフィールドにレベル4、8の特殊召喚された『デイスペアー』モンスターが1体ずつ存在する場合、そのモンスターたちのレベルを半分にして、自身のレベルを半分にして、特殊召喚する！」

『デイスペアーアイズ・エリミネーション・ドラゴン』☆8↓4

『デイスペアー・ドクター』☆4↓2

『デイスペアー・チャレンジャー』☆4↓2 DEF0

「そして『チャレンジャー』自身とこの効果を受けたモンスターは墓地には行かず、除外される。そして『チャレンジャー』は『チューナー』モンスターだ！」

「何!?!」

「俺はレベル4『デイスペアーアイズ・エリミネーション・ドラゴン』とレベル2『デイスペアー・ドクター』にレベル2の『デイスペアー・チャレンジャー』をチューニング！意図せず集う絶望たちよ、宇宙そらに願い、8つの星を結ぶ付け！激情のままにその姿形を龍へと昇華し、堕ちてこい！シンクロ召喚！レベル8！『デイスペアーアイズ・アングリーン・ドラゴン』！」

『デイスペアーアイズ・アングリー・ドラゴン』 ATK3000

「怒りの龍、『デイスペアーアイズ・アングリー・ドラゴン』のモンスター効果を発動！このモンスターは攻撃力を相手フィールドのモンスター1体の攻撃力分ダウンさせることで、相手モンスター全ての攻撃力をその数値分、ダウンさせる。対象は『メタルフォーゼ・カーディナル』……だが！」

「しまった！俺様の『ディアバウンド・カーネル』は『デイスペアーアイズ・バランスブレイカー』の効果を得ている！その効果は相手モンスターは攻撃力のアップダウンの逆転！」

『デイスペアーアイズ・アングリー・ドラゴン』 ATK3000↓6000

『ディアバウンド・カーネル』 ATK2200↓0

『ディアバウンド・カーネル』 ATK1600↓0

『メタルフォーゼ・カーディナル』 ATK3000↓0

「バトルだ！『デイスペアーアイズ・アングリー・ドラゴン』で『メタルフォーゼ・カーディナル』を攻撃！『怒りの連鎖 アングリー・バースト』！」

「俺様は速攻魔法『決戦融合 バトル・フュージョン』を発動！『メタルフォーゼ・カーディナル』の攻撃力をバトルしている『デイスペアーアイズ・アングリー・ドラゴン』の攻撃力分アップさせるぜ！」

『メタルフォーゼ・カーディナル』 ATK0↓6000

「だが、『アングリー・ドラゴン』は俺の墓地のカードをランダムに5枚除外し、破壊を免れることができる！」

「チツ！なら俺様はトラップカード『和睦の使者』を発動！戦闘ダメージを0にし、戦闘破壊も無効にするぜ！」

「これじゃあ、あいつにダメージを与えることができない！」

「まだまだ！『デイスペアーアイズ・アングリー・ドラゴン』は相手のレベル4以下のモンスターを攻撃した場合、続けて攻撃出来る！そして相手モンスターを攻撃する度に相手のデッキからカードを3枚墓地に送る！」

「何？まさかこれは……」

「そうだ！俺は『デイスペアーアイズ・アングリー・ドラゴン』で『ディアバウンド・カーネル』を攻撃！」

「チィ……！『和睦の使者』の効果で『ディアバウンド・カーネル』は破壊されず、俺様は戦闘ダメージを受けない！」

「だが、『アングリー・ドラゴン』の効果でバクラ！貴様は自分のデッキからカードを3枚墓地に送れ！」

「無限ループか……ッ！」

「そうさ、『アングリー・ドラゴン』はレベル4以下のモンスターに、再び攻撃をすることが出来る。だが、お前のデッキは無限じゃない！この効果でいつかは全て墓地へと行く。お前に相応しい末路だぜ！」

「くそお……！おのれえ！」

そして『アングリー・ドラゴン』の連続攻撃によって、バクラのデッキは尽きた。

「俺はこれでターンエンド。だが、お前のデッキは0、カードを引けないのなら……お前の負けだ！」

WINNER 嵯峨

「さて、敗者は勝者に従え、バクラ！」

「ヒヤハハハ！負けてしまったか……なら約束通り、真実を教えてやろう……まずは、俺様は今回の異変の黒幕じゃない」

「何だと？」

「今回の異変に便乗して混乱を起こしただけさ……それに俺様の本体は封印されちまったし、残留思念つてところだ」

「……それで、今回の異変の犯人を知っているのか」

「ああ、そうだとも……その巫女や魔法使いも知っている人物さ」

「私らも？」

「知っている？」

霊夢と魔理沙はまるであてがないように首をかしげている。

「知人ってことか？」

「ヒヤハハハ……答えはこのカードさ」

そう言つて、バクラが嵯峨に渡したのは魔法カード『終わりの始まり』。

『『終わりの始まり』？』

「よおく意味を考えるんだな……」

「待て……お前は川城ニトリ以外に憑りついた奴はいるか？」

「いいや、この女は俺様がここに流れ着いた時、近くに居ただけさ。そうそう……異変が大きく動きそうだけ。急ぐなら今の内だな」

「まだある。お前をほつとくのは俺が無理だ」

「それで？どうするっていうんだ？」

「ニトリから離れろ」

「ヒヤハハハ！無理な話だな…俺様は他人に寄生していなければ一瞬で消えちまう霊体だからな」

「心配ない。俺の体を使え」

「嵯峨！」

霊夢が嵯峨の名を呼ぶ。バクラに精神を乗っ取られれば異変解決どころではなくなる。

「心配ないって言ったはずだぜ、霊夢……さあ、どうするバクラ」
「……ヒヤハハハ！俺様は盗賊。欲しいもんは自力で奪う。そのためなら何だっしてしてやる……が、自分から俺様に居場所を提供するのはお前が初めてだ……いいぜ、お前のその根性に免じて乗っ取りはやめて、ルームシェアといこうぜ」

バクラはそういうとニトリの体から黒い煙となって、排出され、嵯峨の体内へと入っていく。

「……どうなったんだぜ？」

「……ヒヤハハハ……痛い！冗談だから、霊夢。お祓い棒で叩くのはやめてくれ」

「本当に？本当に本当ね？」

「はあ……さっさと行こうぜ」

「行ってくつて……どこにだぜ？」

「真の黒幕のところだ、分かったんだよ……『終わりの始まり』の意味がな」

9. 「左腕の代償」

「それで嵯峨……異変の黒幕の正体って本当に分かったの？」

霊夢と魔理沙と共に山を下りていく嵯峨は「ああ」と頷いて答える。

『『終わりの始まり』の意味ってのはな……まず『終わり』ってのは何の『終わり』かと考えればすぐわかることだった』

「何の終わりか……？うくん。異変は幻想郷を脅かすもんだって紫が言ってたぜ」

「そう……終わりってのは『幻想郷の終わり』。つまり『異変』って置き換えられる。そういう意味で言うと、『終わりの始まり』は……」
『『異変の始まり』？私にはまだ何も……うん？『異変の始まり』ってことは……まさか最初の『黒幕』が真の黒幕だと言うの!？』

霊夢が驚くのも無理もない。俺もこれしか『終わりの始まり』の意味を捉えるしかなかったんだ。でも、こういうことだ。

俺は心の中に存在するもう一つの部屋をノックし、口を開く。

『そうだろ、バクラ？』

『ヒヤハハハ！まあ、正解だ』

『だが、一つ解せないのは何でそうなったか……だ』

『お前は分らないのか？』

『ああ、伝染病のように黒幕が別の人に感染しているみたいだった。お前みたいに寄生できるものかと思っただが……一周周って戻ってくるなんてのはおかしすぎる』

『ヒヤハハハ！それがお前の限界か……つまりだな……最初の黒幕がどんな奴か知らないからお前はそれが言えるのさ』

『なんだと？……ツ！まさかお前が言っていたのはそういうことだったのか!？』

「そうか……つまり最初の黒幕は……『外来人』だな?」

「!」

「そうだ!確かに……ある時期、大量の人間が外からやってきて、その中の一人が『黒幕』だったんだぜ!ああ、そういえば確かにおかしい点が沢山ある!」

そのことに気づいた魔理沙は苛立ちを隠しきれず、頭をかきむしる。よほど、悔しいのだろう……霊夢も顎に手を当て、ふむつと一呼吸おいて、語りだす。

「そうね……倒して次の日には別の黒幕がいた……言い訳じみているけど『最初の黒幕』のことなんか今の今まで忘れていたわ」

「ああ、おそらく『黒幕』は伝染病だ。最初の黒幕が接触した相手が既に次の黒幕になっていた……そして時を見計らって黒幕を名乗り出たんだ」

「完全に黒幕の手のひらの上で弄ばれているわね……してやられた……ま、何十倍にもして返そうかしら」

「(怖えく……)」

「……あ、そういえば嵯峨はなんで……さっきの奴……バクラだっけか?そいつとのデュエルの時、『俺』って言ってたんだぜ?」

「ん?……ああ、素に戻ったんだ。あっちの気に押されて負けじと口悪い方にな……」

「そうなのかぜ……?」

「そうなんだ……と、見つけた」

嵯峨は山を下ってすぐに立ち止まる。それにつられて霊夢と魔理沙も立ち止まるが……三人の目の前にいた人物は何の躊躇もなしにこちらへと向かってくる。

「また……お会いしましたね……異変解決者のお二人方と……そちらの方は、なるほど。貴方も異変解決者のおひとりですか」
「さて……何十倍にして変えすつもりだったかしら」
「お前にはしてやられたぜ」
「はて……? 何のことでしようか?」
「白を切るのもうやめにしようぜ……なあ……」

『レクス・ゴドウィン』!」

「……ふ、フツハハハ……! 貴方も外来人か……それで」
「お前……この異変で何をするつもりだ」
「貴方なら分かるのでありませんか?」

ゴドウィンの言葉にぎりつと歯ぎしりをする嵯峨……嫌な汗が止まらなくなるほどである。

「お前……! 一度ならず、二度までも繰り返すというのかツ!」
「そう私は失敗して、そして学んだのだ……そして今度こそ作り出す

のだ！神の世界を！」

ゴドウインの体が紫色に輝き出し、

「デカっ！」

魔理沙が驚くのも無理はない。アニメだから何でもありではあったが、当時の俺もまさかこいつが筋肉ムキムキの体格になるとは思ってもみなかった。

「フハハハ！これから我は儀式に入る……『冥府の王』を招来させるのだ！」

「馬鹿な！ここには『シグナー』は居ないし、『祭壇』もない！そんなところに『冥府の王』はこないはず！」

『冥府の王』が復活するための条件もあるが、それは目の前のゴドウインが『シグナー』と対を成す『ダークシグナー』だというのならば、達成しているだろう。だが、『冥府の王』は自らの『祭壇』へと行動を始めるはず……

「そのための以前からの我の行動だ……異変解決者である君たちのデュエルからは凄まじいパワーを放っている……つまり、君たちが何度もデュエルをする度にその力は増幅するのだ！」

「まさかその力がシグナーと同等の力を持っているっていうのか……？」

「そう……もはや『冥府の王』にとって、『赤き竜』の力にも似た危機感を感じているのだ！……そしてこの我が君たち三人をこのデュエルで倒すことにより、我の計画は成就されるのだ！」

既にゴドウインに左腕がある。ゴドウインは昔、サテライトとネオドミノシティを繋げるダイダロスブリッジを作ろうとして、セキユリ

テイに追われ、ダイダロスブリッジから逃亡したが、その時に左腕を失って以来、義手で過ごしていた。

だが、ネオドミノシティで4人の『シグナー』に『ダークシグナー』が負けた後に登場し、今いる姿に変身後、『ダークシグナー』の長期的存在であり、兄の『ルドガー・ゴドウィン』の左腕を自らに合体させた。

ルドガーには右腕にダークシグナーの蜘蛛の痣があり、左腕に赤き竜の頭の痣があった。ルドガーがダークシグナーになると決意するため、左腕を切り離し、弟のレクスに渡していたのだ。

その後、レクス・ゴドウィンはダークシグナーとなり、兄の左腕を自らにつけ、シグナーの力を手に入れて、5000年周期で起きるダークシグナーが扱う『地縛神』と赤き竜とその戦士であるシグナー達が扱う『シグナーの竜』の戦いに終始符をうったため、冥府の王の破壊の力で世界を無くし、赤き竜の再生の力でその因縁で結ばれない世界を創ろうとして、『シグナー』である『不動 遊星』、『ジャック・アトラス』、『クロウ・ホーガン』に倒された。

そして遊星に諭されたゴドウィンは兄のルドガーと共に地縛神と冥府の王の力を封印した……はずだった……

「いいわ……あんたが言いたいことはよくわからないけれど、要は私たちの危機を脅かすこと……そんなことは断じて許しはしないわ!」
「そうだぜ!お前みたいな変な奴が危ない状況って奴を作り出そうとしてるんだったら……私たちはそれを阻止する!それが異変解決者の仕事なんだぜ!」

「……そうだ、ゴドウィン!お前の好きには決してさせはしない!」
「愚かな……我に立ち向かうのか……ならば我も全力で相手をしてやろう!そして冥府の王を復活させるのだ!」

「^{デュエル}「決闘!!」」

嵯峨 LP8000

霊夢 LP8000

魔理沙 LP8000

VS

ゴドウィン LP24000

「最初は私のターンだぜ！私は『ガガガマジシャン』を召喚！」

『ガガガマジシャン』 ATK1500

「このバトルロイヤルでは最初のターンは誰も通常ドロップができず、攻撃できないぜ……ターンエンド」

魔理沙 手札4

『ガガガマジシャン』

「次は私のターンよ、私は『エクリプス・ワイバーン』を召喚！」

『エクリプス・ワイバーン』 ATK1600

「これでターンエンド、嵯峨！」

霊夢 手札4

『エクリプス・ワイバーン』 ATK1600

「ああ！私のターン！私は『デイスペアー・ストーカー』を召喚！」

『デイスペアー・ストーカー』 ATK2000

「ターンエンドだ！」

嗟峨 手札4

『デイスペアー・ストーカー』 ATK2000

「では、私のターン……私は魔法カード『魔封印の宝札』を発動！このターン、このカード以外の魔法カードの発動を封印することで2枚ドローする。そして相手フィールドにのみモンスターが存在し、私のフィールドにモンスターが存在しない時、手札から『太陽の神官』を特殊召喚！」

『太陽の神官』 DEF2000

「そしてチューナーモンスター『赤蟻 アスカトル』を通常召喚」

『赤蟻 アスカトル』 ATK700

「私はレベル5の『太陽の神官』にレベル3の『赤蟻 アスカトル』をチューニング！太陽昇りし時、全ての闇を照らし出す。降り注げ光よ！シンクロ召喚！レベル8『太陽龍インティ』！」

『太陽龍インティ』 ATK3000

「そして墓地のチューナーモンスター『赤蟻 アスカトル』を除外し、『泣き神の石像』を特殊召喚！」

『泣き神の石像』 DEF500

「そしてLPを1000ポイントを支払い、『DダークTチューナー 黒の女神 ウイタカ』を特殊召喚！」

ゴドウィン LP24000↓23000

『ダークチューナーD T 黒の女神 ウイタカ』ATK0

『ウイタカ』の効果を発動、自分フィールドのシンクロモンスターと同じレベルになる」

『ダークチューナーD T 黒の女神 ウイタカ』☆3↓8

「レベル8モンスターが2体になった……エクシーズかぜ!?」
「いや……」

「我はレベル2の『泣き神の石像』にレベル8の『ダークチューナーD T 黒の女神 ウイタカ』をダークチューニング!」

「『ダークチューニング!?!』」

「奴は『泣き神の石像』のレベルに『ダークチューナー』のレベルを引くつもりだ!」

「じゃあ、レベル6!?そんなシンクロモンスターが……!?!」

「あるのだよ……これが我の力だ!シグナーとダークシグナーの両方の力を手に入れた我の力!闇に月満ちる時、魔の囁きが聞こえ出す。死へと誘え!ダークシンクロ!レベル6!『月影龍クイラ』!」

『月影龍クイラ』ATK2500

「我はこれでターンエンドだ。そしてエンドフェイズ時に『月影龍クイラ』はそのモンスター効果により、その身を墓地へと送る」

ゴドウィン 手札2

『太陽龍インティ』ATK3000

「はっ！大層なモンスターだったが、すぐにいなくなっちゃったぜ！私のターンだ！ドロロー！やった！私は『ガガガガール』を通常召喚」

『ガガガガール』 ATK1000

『ガガガガール』のモンスター効果でこのカード以外の『ガガガ』モンスターと同じレベルになる。私は『ガガガマジシャン』を選択」

『ガガガガール』 ☆3 ↓4

「そして私はレベル4モンスター2体をオーバーレイ！2体のモンスターでオーバーレイネットワークを構築！エクシーズ召喚！ランク4！『ガガガガンマン』！」

『ガガガガンマン』 ATK1500

「そして『ガガガガール』のモンスター効果が発動！このカードを素材にエクシーズ召喚に成功した時、相手モンスターの攻撃力を0にするぜ！」

「何？」

「対象は『太陽龍インティ』だぜ！」

『太陽龍インティ』 ATK3000 ↓0

「へへっどうだ！『ガガガガンマン』の効果を発動！オーバーレイユニットORUを1つ取り除き、バトルだぜ！『ガガガガンマン』で『太陽龍インティ』を攻撃！この瞬間に『ガガガガンマン』の効果でこのカードの攻撃力を1000ポイントアップさせ、相手モンスターの攻撃力を500ポイントダウンさせるぜ！」

『ガガガガンマン』 ATK1500 ↓2500

「ぐっ！」

ゴドウィン LP23000↓20500

「どうだ！」

「……太陽に近づいたものは罰を受ける」

「何?」

『太陽龍インティ』のモンスター効果! 『インティ』を破壊したモンスターを破壊し、そのモンスターの攻撃力分のダメージを与える!」

「何だって!」

「そうはさせるか! 私は手札から『デイスペアー・ハングライダー』のモンスター効果を発動!」

『太陽龍インティ』の欠片が放ったビームが『ガガガンマン』を貫き、魔理沙へと向かっているその瞬間にどこからともなく、ハングライダーに乗ったうつろな目をした男が現れ、その攻撃に衝突する。

「……何?」

『『デイスペアー・ハングライダー』の効果は私のフィールドに『デイスペアー』モンスターが存在する時のみ、このカードを除外することで発動でき、フィールドに閥属性モンスターがいないプレイヤーはこのターン、効果ダメージを受けない!」

「……あ、ありがとう。助かったぜ嗟峨」

「ちっ……だが、我もこの瞬間、墓地から『月影龍クイラ』の効果が発動! 太陽が沈み、月が昇り始める」

『月影龍クイラ』 ATK2500

「私はカードを1枚伏せてターンエンドだぜ」

「……エンドフェイズ時に『ハングリライダー』の更なる効果で私は1000ポイントのダメージを受ける！ぐうっ！」

「え!？」

嵯峨 LP8000↓7000

リアルにダメージが……やはり闇のデュエルが始まっているのか……

魔理沙 手札3

伏せ1

「……私のターンよ！ドロ……私は『霊廟の守護者』を召喚」

『霊廟の守護者』 ATK0

「そして魔法カード『ドラゴニック・タクティクス』を発動！フィールドの『エクリプス・ワイバーン』と『霊廟の守護者』の2体をリリースし、デッキからレベル8のドラゴン族モンスターを特殊召喚するわ！私は自らの魂のカード！『青フルーアイズ・ホワイト・ドラゴン眼の白龍』を特殊召喚！」

『青眼の白龍』 ATK3000

「そして墓地へ送られた『エクリプス・ワイバーン』のモンスター効果でデッキから『レッドアイズ・ダークネスメタル・ドラゴン』を除外し、更に墓地の『エクリプス・ワイバーン』を除外して『暗黒竜 コ
ラプサーペント』を特殊召喚！」

『暗黒竜 コラプサーペント』 ATK1800

「墓地から除外された『エクリプス・ワイバーン』の効果で除外していた『レッドアイズ・ダークネスメタル・ドラゴン』を手札に加え、バトルフェイズに入るわ！私は『青眼の白龍』で『月影龍クイラ』を攻撃！『滅びの爆裂疾風弾』バーストストリーム！」

「この瞬間に『月影龍クイラ』の効果！このカードを攻撃したモンスターの攻撃力の半分の数値分、我がライフを回復させる！」

そ^oつ^cち^gの効果まで!?

ゴドウィン LP20500↓22000↓21500

「だが、月が沈みまた太陽が昇りだす……『月影龍クイラ』の効果で『太陽龍インティ』が蘇る」

『太陽龍インティ』 ATK3000

「しつこい奴らね……私はこれでターンエンド」

霊夢 手札2

『青眼の白龍』 ATK3000

『暗黒竜 コラプサーペント』 ATK1800

「私のターン、ドロ……カードを1枚伏せ、魔法カード『テイク・オーバー5』発動。デッキからカードを5枚墓地に……そして魔法カード『混同する絶望』を発動、フィールドにレベル8以上のモンスターがいるプレイヤーはそのモンスターのレベル×100ポイントのダメージ

ジを受ける」

嵯峨 LP7000↓6200

ゴドウィン LP21500↓20700

「っ！そしてお互いが効果ダメージを受けたターンに今、伏せたトランプカードはセットしたターン中に発動できる！『デイスペアアウトプット』！相手モンスター1体を破壊し、そのモンスターの攻撃力と同じ攻撃力を持つ、『デイスペア』モンスターをデツキから特殊召喚する！出でよ！『デイスペア・クレイジー・ドラゴン』！」

『太陽龍インテイ』が破壊された場合、墓地の『月影龍クイラ』の効果により、

『月影龍クイラ』を復活させる」

『デイスペア・アイス・クレイジー・ドラゴン』 ATK3000

『月影龍クイラ』 ATK2500

『『デイスペア・アイス』のモンスター効果！召喚・特殊召喚に成功した時、お互いは自身の手札の枚数×300ポイントのダメージを受ける……』『デイスペア・ハウリング』！」

嵯峨 LP6200↓5600

霊夢 LP8000↓7400

魔理沙 LP8000↓7100

ゴドウィン LP18800↓18500

「私は更にカードを1枚伏せてターンエンド」

嵯峨 手札0

『デイスペアーアイズ・クレイジー・ドラゴン』 ATK3000

『デイスペアー・ストーカー』 ATK2000

伏せ1

「私のターン、我は『月影龍クイラ』で『デイスペアーアイズ・クレイジー・ドラゴン』を攻撃！」

「だが、攻撃力はこちらの方が上だ！」

「寧ろそうでなくては困るぐらいだ」

ゴドウィン LP20700↓20200

「この瞬間に『クイラ』の効果で『太陽龍インティ』を墓地より、復活させる！」

『太陽龍インティ』 ATK3000

「まだ、バトルは続いている！『インティ』で『デイスペアーアイズ・クレイジー・ドラゴン』を攻撃！」

「相打ち……！だが……」

「そう……我は墓地から『月影龍クイラ』が復活する」

『月影龍クイラ』 ATK2500

「そして『月影龍クイラ』で『デイスペアー・ストーカー』を攻撃！」

嵯峨 LP5600↓5100

「『ストーリーカー』の効果でこのモンスターを戦闘破壊した『月影龍クイラ』を……破壊する……!」

『デイスペアー』モンスターの効果はとんでもなく強力だが、デメリットになりうる効果は全て強制効果なのである。そのため、『ストーリーカー』の怨念が『クイラ』にまわりつき、破壊してしまう……

「『クイラ』が破壊された場合、『インティ』が復活する」

『太陽龍インティ』 ATK3000

「バトル、『太陽龍インティ』で『青眼の白龍』を攻撃」

「また……相打ち!」

「墓地の『クイラ』を復活させる」

「まだよ!墓地の『霊廟の守護者』は私のフィールドのドラゴン族モンスターが戦闘・効果で破壊された場合、墓地より特殊召喚される!」

『霊廟の守護者』 DEF2200

「そして墓地に送られたドラゴン族モンスターが通常モンスターならば手札に戻す!」

「バトルはまだ終わってはいない。『月影龍クイラ』で嵯峨へダイレクトアタック!」

「嵯峨!」

「……!」

嵯峨 LP5100↓2600

「ガアアア！くっ……………はぁ……………はぁ……………」

「このデュエルは闇のデュエル……………2500ポイントのダメージがどれほどのものか、嗟峨……………彼の疲労度を見れば一目瞭然だろう……………」

「嗟峨……………」

「ま、ただ……………墓地からトラップカード『デイスペアアウトプット』発動！2000ポイント以上の戦闘ダメージを受けて、効果ダメージを受けていないターンにのみ、発動でき……………墓地のこのカードを除外して、このターン、戦闘破壊された全てのモンスターを墓地から効果を無効にして特殊召喚する！甦れエー！」

『デイスペアアアイス・クレイジー・ドラゴン』ATK3000

『デイスペア・ストーカー』ATK2000

「……………その後、1枚ドロウする」

「……………なら我はカードを1枚伏せ、ターンエンドだ」

ゴドウィン 手札2

『月影龍クイラ』ATK2500

伏せ1

「（嗟峨がもう見ていられないぜ！）私のターン……………ッ！このカードは……………取り敢えず、太陽と月のスパイラルを取り払ってやるぜ！私は『ガガガシスター』を召喚！」

『ガガガシスター』ATK200

「『シスター』の召喚時に効果発動！デッキから『ガガガ』魔法・罠カードを手札に加えるぜ！私は装備魔法『ガガガリベンジ』を手札に加え、発動！墓地の『ガガガマジシャン』を特殊召喚し、このカードを装備

する」

『ガガガマジシャン』（『ガガガリベンジ』装備中）ATK1500

「そして『ガガガマジシャン』の効果で自身のレベルを1〜8の好きな数値に変更できるぜ。私は5を選択！」

『ガガガマジシャン』☆4↓5

「更に『ガガガシスター』の効果を発動！『ガガガマジシャン』とこのカードのレベルを2体のレベルを合わせた数値に変更するぜ！よって『マジシャン』と『シスター』のレベルは7だ！」

『ガガガマジシャン』☆5↓7

『ガガガシスター』☆2↓7

「私は『ガガガマジシャン』と『ガガガシスター』でオーバーレイ！レベル7モンスター2体でオーバーレイネットワークを構築！エクシーズ召喚！出でよ、古代の魔術師！ランク7『幻想の黒魔導師』！」

『幻想の黒魔導師』ATK2500

「そして『ガガガリベンジ』の効果で私のエクシーズモンスターの攻撃力を300ポイントアップさせるぜ！」

『幻想の黒魔導師』ATK2500↓2800

「だが、我を倒すには攻撃力が足りないな……」

「それはどうかな？私は『幻想の黒魔導師』の効果を発動！ORUを1つ取り除き、デッキ・手札・墓地から魔法使い族通常モンスターを特殊召喚する！来たれ！『ブラック・マジシャン』！」

『ブラック・マジシャン』ATK2500

「バトルだ！『ブラック・マジシャン』で『月影龍クイラ』を攻撃！

ブラック・マジック
『黒・魔・導』！」

「攻撃力2500で同じ攻撃力2500の『クイラ』を攻撃だと？迎え撃て！『月影龍クイラ』！」

「ここで『幻想の黒魔導師』の更なる効果が発動！魔法使い族通常モンスターが攻撃宣言をした時に発動する！相手フィールドのカードを1枚除外するぜ！対象は『月影龍クイラ』だ！」

「残念だが、その攻撃は神には届かない！トラップ発動！『王宮の鉄壁』！」

「何!？」

「全てのプレイヤーはカードを除外できない！よって『月影龍クイラ』は健在だ！」

「そんな……」

「相打ちだが、『クイラ』の効果で『太陽龍インティ』を蘇生させる！」

『太陽龍インティ』ATK3000

昔、ゴドウインは不動 遊星の『ジャンク・アーチャー』の効果で『太陽龍インティ』を除外されている……その対策か！

「ドジっちゃまった。私はカードを1枚伏せてターンエンドだぜ」

魔理沙 手札2

『幻想の黒魔導師』ATK2800

伏せ2

「私のターン……ドロー!……私は『手札抹殺』を発動!全ての手札を捨て、捨てた枚数ドローするわ……!私は『青き眼の巫女』を召喚!」

『青き眼の巫女』 ATK0

「更に魔法カード『復活の福音』を発動！墓地のレベル7・8ドラゴン族モンスターを特殊召喚！戻れ！『青眼の白龍』！」

『青眼の白龍』 ATK3000

「レベル8の『青眼の白龍』にレベル1の『青き眼の巫女』をチューニング！青き眼に浮かびし、その力、神秘に触れ今ここに現れよ！シンクロ召喚！レベル9！」

『青眼の精霊龍』!!」

ブルーアイズ・スピリット・ドラゴン
『青眼の精霊龍』 DEF3000

「『コラプサーペント』を攻撃表示から守備表示に変更して、ターンエンドよ」

霊夢 手札1

『一青眼の精霊龍』ブルーアイズ・スピリット・ドラゴン DEF3000

『暗黒竜 コラプサーペント』 DEF1700

『霊廟の守護者』 DEF2200

「私の……ターンッ！ドロー……墓地の『テイクオーバー5』の効果で墓地のこのカードとデッキの同名カードを除外することで更に1ドロー……私はカードを1枚伏せてターンエンド」

嵯峨 手札3

『デイスペアーアイズ・クレイジー・ドラゴン』 ATK3000

『デイスペアー・ストーカー』 ATK2000

伏せ2

「私のターンだ……私は『太陽龍インティ』で『幻想の黒魔導師』を攻撃！」

魔理沙 LP7100↓6900

「うう……」

「私はカードを1枚伏せ、フィールド魔法『召喚制限——エクストラネット』を発動。エクストラデッキからモンスターが特殊召喚された場合、そのカードのコントローラーから見て、相手プレイヤーはデッキからカードを1枚ドロウする。これでターンエンドだ」

「ま、まだ……だぜ！私にはリバースカードをオープンする！永続トラップ『永遠の魂』！手札・墓地から『ブラック・マジシャン』を特殊召喚するぜ！墓地より再び現れよ！『ブラック・マジシャン』！」

『ブラック・マジシャン』 ATK2500

ゴドウィン 手札1

『太陽龍インティ』 ATK3000

『王宮の鉄壁』

『召喚制限——エクストラネット』

伏せ1

10. 「兄を持つ者として」

嵯峨 LP2600

手札2

『ディスプレイ・アイズ・クレイジー・ドラゴン』 ATK3000

『ディスプレイ・ストーカー』 ATK2000

伏せ2

霊夢 LP7400

手札1

『一青眼の精霊龍《ブルーアイズ・スピリット・ドラゴン》 DEF
3000

『暗黒竜 コラプサーペント』 DEF1700

『霊廟の守護者』 DEF2200

魔理沙 LP6400

手札2

『ブラック・マジシャン』 ATK2500

『永遠の魂』

伏せ1

ゴドウィン LP20200

手札0

『太陽龍インティ』 ATK3000

『王宮の鉄壁』

『召喚制限——エクストラネット』

伏せ1

「私のターン、ドローだぜ！私は『チョコ・マジシャン・ガール』を召喚！」

『チョコ・マジシャン・ガール』 ATK1600

『チョコ・マジシャン・ガール』……？あれは確か映画記念で出たパツクの……（嵯峨は映画を見ていない）

『チョコ・マジシャン・ガール』の効果！手札の『レモン・マジシャン・ガール』を墓地に送り、1枚ドロ！そして永続トラップ『永遠の魂』を発動！デッキから『黒・魔・導』か『千本ナイフ』を手札に加えられるぜ。私は『千本ナイフ』を手札サウザンドに加え！このカードを発動！

よし！『千本ナイフ』は『ブラック・マジシャン』が存在していれば相手モンスターを破壊することができる！そうすれば『ブラック・マジシャン』よりも攻撃力が高い『太陽龍インテイ』を破壊して尚且つ、攻撃力2500の『月影龍クイラ』に代わる！

『幻想の黒魔導師』の攻撃力は装備魔法『ガガガリベンジ』の効果で2800。

攻撃力が2500である『クイラ』を攻撃して『ブラマジ』で『インテイ』を攻撃。

その時、『王宮の鉄壁』を除外して霊夢のターンに繋げられる！

………はず！

………それに奴はまだ発動していないが、『インテイ』は誘発効果で自身の攻撃力を0にする効果を持っている………どんなモンスターでも奴を破壊できてしまうということだ………

さあ、どうするつもりだ？魔理沙！

『私は『千本ナイフ』の効果で『太陽龍インテイ』を破壊！』

「まだ分からねぬのか………！『太陽龍インテイ』が破壊されたことにより、墓地で『月影龍クイラ』のモンスターが発動する！太陽が沈み、ま

た月が昇る！現れよ、『月影龍クイラ』！」

『月影龍クイラ』 ATK 2500

「へっ！この幻想郷は太陽と月の永遠ループの常識さえ通用しないんだぜ！」

この瞬間にトラップ発動！『黒魔族復活の棺』！」

「あのカードは……！」

「自分フィールドの魔法使い族モンスターとお前が今、特殊召喚した『月影龍クイラ』を墓地へ送る！」

「何だと!？」

「そしてデッキ・墓地から魔法使い族・闇属性モンスターを特殊召喚するぜ！今、墓地に送った『ブラック・マジシャン』を特殊召喚！」

『ブラック・マジシャン』 ATK 2500

「バトルだぜ！『ブラック・マジシャン』と『チョコ・マジシャン・ガール』でダイレクトアタックだ！」

「グッ！」

ゴドウィン LP 20200 ↓ 16100

「私はカードを2枚伏せてターンエンドだぜ！」

魔理沙 手札0

『ブラック・マジシャン』 ATK 2500

『チョコ・マジシャン・ガール』 ATK 1600

『永遠の魂』

伏せ2

「続けて行くわ！私のターン！『青眼の精霊龍』のモンスター効果！自身をリリースし、エクストラデッキから光属性・ドラゴン族シンクロモンスターを守備表示で特殊召喚する！聖なる守護の結界が、闇を照らす美しい楽園と化す。降誕せよ！レベル9！『蒼眼の銀龍』！」

『蒼眼の銀龍』 DEF3000

「この瞬間、フィールド魔法『召喚制限——エクストラネット』の効果で我はカードを1枚ドロ―」

「『蒼眼の銀龍』の効果！このカードが特殊召喚に成功した時、私のフィールドのドラゴン族モンスターは次のターンのエンドフェイズ時まで効果対象にとられず、効果は破壊されない！更に魔法カード『死者蘇生』。墓地の『レッドアイズ・ダークネスメタル・ドラゴン』を特殊召喚！」

『レッドアイズ・ダークネスメタル・ドラゴン』 ATK2800

「『レッドアイズ・ダークネスメタル・ドラゴン』の効果で墓地の『青眼の白龍』を特殊召喚！」

『青眼の白龍』 ATK3000

「魔法カード『ドラゴニック・タクティクス』を発動！フィールドの『霊廟の守護者』と『暗黒竜 コラプサーペント』をリリースし、デッキから『青眼の白龍』を特殊召喚！」

『青眼の白龍』 ATK3000

「そして墓地に送られた『暗黒竜 コラプサーペント』の効果でデッキから『輝白竜 ワイバースター』を手札に加える……そしてバトル

フェイズよ！2体の『青眼の白龍』と『レッドアイズ・ダークネスメタル・ドラゴン』でダイレクトアタック！」

「グウウウー！」

ゴドウィン LP16100↓13100↓10100↓7300

「エンドフェイズ時に『青眼の精霊龍』の効果で特殊召喚したモンスターは破壊されるけれど、『蒼眼の銀龍』の効果で破壊されないわ！次の嵯峨のターンであんたの意味が分からない計画は終わりよ！」

霊夢 手札1

『青眼の白龍』 ATK3000

『青眼の白龍』 ATK3000

『レッドアイズ・ダークネスメタル・ドラゴン』 ATK2800

『蒼眼の銀龍』 DEF3000

「ああ……だが、その前に教えろゴドウィン！なんでお前は過ちを繰り返す気なんだ！」

「我は確かに……不動遊星に諭され、兄であるルドガーと共に地縛神を封印し、5000年周期の戦いに終止符を打つ……そのつもりであつた……」

「つもり？」

「我とルドガーは敗北した……ルドガーは我をかばい、彼一人の手で地縛神のほとんどを封印した……その時、我にはある感情がまた芽生え始めていた」

「嫉妬か……同じ兄を持つ者として確かに嫉妬の一つ芽生えたことくらいある……だが、それとこの異変は関係ない……はずだ」

「いや、我のこの心境は『地縛神』の力を強めるのには最適だったのだ

……元ダークシグナーである我と『地縛神』は共鳴し合い、そして再びダークシグナーへと舞い戻った。ダークシグナーとしての使命は世界を破滅へと向かわせることだ！」

「……聞いて損した……お前の兄は最後まで戦っていたじゃないか！」

「黙れッ！貴様にも分かるだろう……！兄と見比べられるこの劣等感を！我は恐怖を超え、神となった！兄ルドガーを超えたのだ！」

「違う！兄というものがあるから挑戦できるものがある！お前は目標を失ってでも得たかった力は『ソレ』じゃないはずだ！」

「ならば貴様が正しいとデュエルで証明して見せよ！」

「ああ、私のターン！ドロロー！私は『ディスプレイ・クレイジー・ドラゴン』と『ディスプレイ・ストーカー』をリリースし、『ディスプレイ・ジャイアント』をアドバンス召喚！」

『ディスプレイ・ジャイアント』 ATK 2800

『ディスプレイ・ジャイアント』がアドバンス召喚に成功した時、アドバンス召喚のためのリリースに使用された『ディスプレイ・モンスター』を1体特殊召喚する！戻れ！『ディスプレイ・クレイジー・ドラゴン』！」

『ディスプレイ・アイズ・クレイジー・ドラゴン』 ATK 3000

『ディスプレイ・アイズ』の効果！お互いは自身の手札の枚数×300ポイントのダメージを受ける！『ディスプレイ・ハウリング』！」

嵯峨 LP 2600 ↓ 2000

霊夢 LP 7400 ↓ 7100

魔理沙 LP 6400 ↓ 6100

ゴドウィン LP 7300 ↓ 7000

「そしてトラップ発動！『デイスペアー・ゲットアップ』！全てのプレイヤーが効果ダメージを受けた場合、発動でき、全てのプレイヤーが受けたダメージの合計分の数値、自分フィールドの最もレベルが高いモンスターに加える！」

『デイスペアー・アイズ・クレイジー・ドラゴン』 ATK3000↓4500

「よし！これで嵯峨のモンスターの攻撃力の合計は7300！」

「バトルフェイズだ！『デイスペアー・アイズ・クレイジー・ドラゴン』でダイレクトアタック！『デイスペアーバースト』！」

「グアアア！」

ゴドウィン LP7000↓2500

「これで終わりだ！『デイスペアー・ジャイアント』でダイレクトアタック！」

「……まだだ！我はトラップカード『名誉の贄』を発動！」

「チィ……！」

「私のライフが3000ポイントよりも少ない時、相手モンスターのダイレクトアタックを無効にして、私のフィールドに『贄の石碑トークン』を2体特殊召喚する」

『贄の石碑トークン』 DEF0

『贄の石碑トークン』 DEF0

「『贄の石碑トークン』はアドバンス召喚以外のリリースには使用できず、シンクロ素材にも使用できない。更に！我はデッキから『ある

カード』を手札に加える……!」

「なんつう量の効果だぜ!」

「当然だ!我は自らの体に神を刻み込んだ真の神なのだからな!」

「くっ……!私はカードを1枚伏せる。ターンエンド……この時、

『デイスペアー・ゲットアップ』の効果も終了し、『デイスペアーアイズ・クレイジー・ドラゴン』の攻撃力は元に戻る」

嵯峨 手札1

『デイスペアーアイズ・クレイジー・ドラゴン』 ATK4500

↓3000

『デイスペアー・ジャイアント』 ATK2800

伏せ2

「私のターン!我は『贄の石碑トークン』2体をリリースし、『地縛神 Wiracha Rasca』!」

『地縛神 Wiracha Rasca』 ATK1

「攻撃力……たったの1ポイント?」

「やばいな……来るぞ!」

「我は『地縛神 Wiracha Rasca』の効果を発動!私のバトルフェイズをスキップすることで相手ライフポイントを『1』にする!」

「なんですって(だつて)!!」

「対象のプレイヤーは博麗霊夢……君だ!」

「くっ!」

「そうはさせないぜ!トラップ発動!『ライフ・エクステンジ』を発動!ライフポイントの変化する効果の対象を私に変更する!」

「『魔理沙!』」

「後は……任せたぜ」

「またそのカードか……なら君から絶望を与えてやろう……!行け!

地縛神Wirraqocha Rasca!霧雨魔理沙のライフを1にしろ!『ポラスター・オベイ!』」
「ぐっ……!うわあああ!」

魔理沙 LP6100↓1

「ぐっ……『ライフ・エクステンジ』の……更なる効果……この効果でライフポイントが減少した場合、相手……フィールドのカード1枚を破壊……する……私は『王宮の鉄壁』を選択……!」

『ライフ・エクステンジ』の効果で『王宮の鉄壁』が破壊されると同時に魔理沙は倒れてしまう。

「姑息な真似を……我はカードを2枚伏せ、ターンエンドだ」

ゴドウィン 手札0

『地縛神Wirraqocha Rasca』ATK1

『召喚制限——エクストラネット』

伏せ2

「私のターンよ!ドロ!私は魔法カード『埋葬呪文の宝札』を発動!墓地の『ドラゴニック・タクティクス』2枚と『手札抹殺』を除外して、デツキからカードを2枚ド

ロー!更に墓地の『暗黒竜 コラプサーペント』を除外して『輝白竜 ワイバースター』を特殊召喚!そして『青眼の白龍』2体と『輝白竜 ワイバースター』の計3体をリリースし、『オベリスクの巨神兵』をアドバンス召喚!」

『オベリスクの巨神兵』ATK4000

「『オベリスクの巨神兵』だと？なるほど……異変解決者であり、最強の巫女と言われるだけはある……」

「……『オベリスクの巨神兵』の召喚時にはどんな効果も発動させない……よって墓地の『輝白竜 ワイバーン』の効果は発動しない……そして『レッドアイズ・ダークネスメタル・ドラゴン』の効果で墓地から『青眼の白龍』を蘇生。そして『オベリスクの巨神兵』の効果で果発動！私のフィールドの『青眼の白龍』と『蒼眼の銀龍』をリリースし、相手フィールドのモンスターを全て破壊する！『ゴッドハンド・インパクト』！」

「だが、神すら地縛神には通用しない！カウンター罠『バイパーマーセの癩癩』！私のフィールドに『地縛神』が存在する場合、相手の効果モンスターの効果の発動を無効にして破壊する！」

「そんな……『オベリスクの巨神兵』までもが……」

「諦めるな霊夢！私は自分フィールドの『デイスペアー・ストーカー』をリリースし、速攻魔法『エナジー・リフレクト』を発動！このターン、モンスター1体は相手にダイレクトアタックを行える！対象は『レッドアイズ・ダークネスメタル・ドラゴン』！」

「！『レッドアイズ・ダークネスメタル・ドラゴン』でダイレクトアタック！」

「甘い！永続トラップ『光の護封霊剣』！1000のライフポイントを犠牲にすることでダイレクトアタックを無効にする！」

「そんな……カードを伏せて、ターン……エンド」

ゴドウィン LP2500↓1500

霊夢 手札0

『レッドアイズ・ダークネスメタル・ドラゴン』 ATK2800

伏せ1

「私のターン！私は魔法カード『絶望仕掛けの人形』を発動！墓地の『デイスペア』モンスターを5体除外することでエクストラデッキから『デイスペアーアイズ』融合モンスターを召喚条件を無視し、効果を無効にして守備表示で特殊召喚する！出でよ！

『デイスペアーアイズ・エリミネイション・ドラゴン』！」

『デイスペアーアイズ・エリミネイション・ドラゴン』DEF0

「この瞬間にフィールド魔法『召喚制限——エクストラネット』の効果で我は1枚ドロ——」

「更に魔法カード『絶望仕掛けの屋敷』を発動！墓地の『絶望』または『デイスペア』魔法・罠カードを全て除外する……ちなみに『デイスペアアウトプット』はルール上『デイスペア』罠カードとして扱う。その後、エクストラデッキから『デイスペアーアイズ』^{シンクロ}Sモンスターを召喚条件を無視し、効果を無効にして守備表示で特殊召喚する！現れよ！『デイスペアーアイズ・アングリィ・ドラゴン』！」

『デイスペアーアイズ・アングリィ・ドラゴン』DEF0

「守備力たったの0のモンスターを並べて何の意味がある！『召喚制限——エクストラネット』の効果で1枚ドロ——」

「トラップカード！『絶望への生贄』を発動！自分フィールドに融合、シンクロ、エクシーズモンスター……もしくはどちらもが存在する場合、墓地の『絶望』または『デイスペア』魔法・罠カードを1枚除外して発動できる！フィールドの融合・シンクロ・エクシーズ・儀式モンスター以外のモンスターの召喚時効果を発動できる！対象は『デイスペアーアイズ・クレイジー・ドラゴン』！」

「嵯峨!？」

霊夢と魔理沙の手札は0枚。よって魔理沙はライフが0にはなら

ないが、嵯峨のライフポイントはたったの1700にまでになってしまふ。

「『デイスペアーアイズ・クレイジー・ドラゴン』の効果により、全てのプレイヤーは自身の手札の枚数×300ポイントのダメージを受ける。『デイスペアー・ハウリング』！グッ！」

嵯峨 LP2000↓1700

ゴドウィン LP1500↓900

「はあ……はあ……この時、除外された『絶望仕掛けの人形』と『絶望仕掛けの屋敷』の効果……フィールドにいる融合・シンクロモンスターを全て破壊し、そのモンスターの守備力の合計分のダメージを私は受けるが、『デイスペアーアイズ』たちの守備力は0！よつて、ダメージは受けない……！カードを1枚伏せてターンエンド！」

嵯峨 手札0

『デイスペアーアイズ・クレイジー・ドラゴン』 ATK3000

伏せ1

「私のターン！私は『地縛神Wiragochi Rascia』の効果で相手ライフを1にする！対象は今度こそ君だ博麗霊夢！」

「……フツ……いいわ！来なさい！」

「そうはさせない！」

「!？」

「トランプ発動！『デイスペアー・キャノン』！私の手札が0枚の時、デッキのカードが半分になるようにゲームから除外することでこの効果で除外したカードの枚数×100ポイントのダメージを与える……除外したカードは11枚！その数値は1100ポイントだ！」

「甘いわあ！我は速攻魔法『非常食』発動！場の永続罨『光の護封靈剣』を墓地に送り、1000ポイントのライフを回復する！」
「何だと!？」

ゴドウィン LP900↓1900↓800

『地縛神Wiraqocha Rasca』の効果で博麗靈夢のライフを1にする！『ポラスター・オベイ』！
「きゃああああー！」

靈夢 LP7100↓1

「靈夢……まで……！」
「自らの弱さを知り、そして敗北を知れ！峰城 嗟哦！我はこれでターンエンドー！」

ゴドウィン 手札2

『地縛神Wiraqocha Rasca』ATK1
『召喚制限——エクストラネット』

「カードを引けないプレイヤーにターンは回ってこない……よって貴様のターンだ！」
「弱さなんて自覚してる……！後は覚悟だけだ！私のターン……ッ！ドローー！」

……来た！魔法カード『絶望の異常召喚』！私の墓地の融合・シン

クロ・エクシードズモンスターを全て除外し、相手の墓地に存在する通常モンスターを除外した枚数だけ特殊召喚する！甦れ！『青眼の白龍』！『ブラック・マジシャン』！」

『青眼の白龍』 ATK3000

『ブラック・マジシャン』 ATK2500

「そしてこの効果で2体以上のモンスターが特殊召喚に成功した場合、最もレベルが高い方のモンスターは相手にダイレクトアタックができる！バトルフェイズだ！」

「そうはさせせん！墓地の永続罫『光の護封霊剣』を除外し、このターン、相手はダイレクトアタックできない！」

「くっ……！ターンエンドだ……」

嵯峨 手札0

『デイスペアーアイズ・クレイジー・ドラゴン』 ATK3000

ブルーアイズ・ホワイト・ドラゴン

『青眼の白龍』 ATK3000

『ブラック・マジシャン』 ATK2500

「私のターン、我は『地縛神Wiraqocha Rasca』の効果を発動！嵯峨、君にも絶望を見せてやろう！『地縛神Wiraqocha Rasca』よ、嵯峨のライフを1にしろ！『ポラスター・オベイ』！」

「来てみる……私は絶対に絶望しない！」

嵯峨 LP1700↓1

「ぐっ……うっ……あ……」

この衝撃を霊夢と魔理沙は受けたのか……俺は……耐えたいんだがな……くっ！もう目の前が暗く……

『ヒヤハハハ！どうやらピンチみたいだなあ？』

「バク……ラ……」

『この瞬間にお前の体に乗っ取ってもいいんだぜ？』

「(ギリツ)」

『おーおー怖いねえ……ま、一つプレゼントがあるんだよ』

「プレ……ゼント……だと？」

『そうそう……ま、言っちゃえば『宿代』ってことでもいい。俺様があの地縛神のダメージを半減させてやるよ』

「できる……のか……？」

『おいおい主人格様よ……俺様のこと見くびってもらっちゃ困るぜえ？こう見えても俺様は生身の人間の体で神の攻撃を2回も喰らってのような化け物だぜ！』

闇バクラと呼ばれる彼は初代デュエルキング武藤遊戯が操る『オシリスの天空竜』と当時マリクが操っていた『ラーの翼神竜』の攻撃を喰らって死んでいなかったような奴だ。信用は……できない。だって『オシリス』の時は無事だったが、『ラー』の時は殆ど消滅していた……俺じゃ、生きていける気がしないが……

「いい賭けじゃねえか……乗った」

『いいねえ！お前のそういうノリは好きだぜ！』

「……ハツ……このデュエルを終わらしたらお前のデツキ作ってやるよ」

『ヒヤハハハ！面白れえ！』

「フフフフフ……！ハハハハ！今度こそこれで終わった！」

「いいや……まだだ！」

「馬鹿な……!? 貴様等はまだ諦めんというのか!？」

「当たり前だ！何度だって、チャンスさえ訪れれば絶対に挑戦する……俺はそう学んだ！」

遊馬先生に！

「だから負けない！」

「くっ……我はカードを1枚伏せて、ターンを終了する……！」

ゴドウィン 手札2

『地縛神Wiragochha Rascia』 ATK1

『召喚制限——エクストラネット』

伏せ1

「私の……私たちのターン……！ドロオオオオ！」

カンコンツ！

「私は魔法カード『絶望の宝札』を発動！デッキからカードを3枚選択して手札に加え、残りのカードを墓地に送る！」

「デッキが0に……！」

「このターンで決めてやる！」

「フン！貴様はもう終わっているのだ！トラップ発動！『メテオ・プロミネンス』！手札を2枚捨て、相手に2000ポイントのダメージを与える！」

原作効果で相手ライフポイントは関係ないか……だが！

「墓地のトラップカード『デイスペアー・キャノン』の効果発動！このカードを除外することで『デイスペアー・キャノン』以外の除外されている『絶望』または『デイスペアー』罫カード1枚の『除外して発動する』効果を得る！私は『デイスペアー・ゲットアップ』の効果を使う！自分のライフポイントが1000以下の時にのみ、発動でき、相手からの効果ダメージを0にする！」

「チィ……ッ！」

「魔法カード『絶望への渴望』を発動！手札のカードを1枚除外するこ
とで相手フィールドの表側表示の魔法カードを1枚除外する！私は『召喚制限——エクストラネット』を選択する！」

「クツ……ッ！」

これで『地縛神』の効果は無効になった。そしてエンドフェイズ時に破壊されるのだが、そんな原作効果はどうでもいい！

「魔法カード『ギャラクシー・クイーンズ・ライト』発動！自分フィールドのレベル7以上のモンスター1体を対象に全ての自分モンスターは対象に取ったモンスターと同じレベルになる！私は『デイスペアーアイズ・クレイジー・ドラゴン』を選ぶ！」

『ブラック・マジシャン』☆7↓8

「私はレベル8の『デイスペアーアイズ・クレイジー・ドラゴン』、『青眼の白龍』、『ブラック・マジシャン』の3体をオーバーレイッ！3体のモンスターでオーバーレイネットワークを構築！」

黒の閃光と白の閃光が混じりあって、銀河のような場所に身を捧げ、爆発する。

「我が全ての絶望さえも喰らい尽くす影よ、光の束縛を払い除け、その影が姿形を龍へと昇華し、堕ちてこい！エクシース召喚！ランク8！」

『デイスペアーアイズ・シャドー・ドラゴン』！」

『デイスペアーアイズ・シャドー・ドラゴン』 ATK0

「攻撃力……0のエクシースモンスター……」

「『デイスペアーアイズ・シャドー・ドラゴン』はメインフェイズ時1
オーバーレイユニット
にORUを1つ取り除かなければ攻撃はできず、バトルフェイズ
さえ行えない。……よってORUを1つ取り除く！そして魔法カー
ド『死者蘇生』で『ブラック・マジシャン』を蘇生！」

『ブラック・マジシャン』 ATK2500

「バトルだ！『デイスペアーアイズ・シャドー・ドラゴン』で『地縛神
Wiraqocha Rasca』を攻撃！」

「馬鹿な！『デイスペアーアイズ・シャドー・ドラゴン』の攻撃力は0
！『地縛神Wiraqocha Rasca』の攻撃力1ポイントに
すら届いていない！」

「ハッ！今度はこちらがお前にも絶望を与えてやる……『デイスペ
アーアイズ・シャドー・ドラゴン』の効果！『デイスペアーアイズ』を
素材にエクシース召喚に成功している場合、戦闘を行うダメージス
テップ終了時まで攻撃力を3000にする！」

「何だ?!」

『デイスペアーアイズ・シャドー・ドラゴン』 ATK0↓3000

「更に霊夢のリバースカード『竜魂の城』を発動！墓地の『デイスペ
アーアイズ・クレイジー・ドラゴン』を除外して『デイスペアーアイ
ズ・シャドー・ドラゴン』の攻撃力を700ポイントアップさせる！」

『デイスペアーアイズ・シャドー・ドラゴン』 ATK3000↓3700

「更に魔理沙のリバースカード『ブラック・スパイラル・フォース』を発動！私のフィールドに『ブラック・マジシャン』が存在する時、自分フィールドのモンスター1体の攻撃力を2倍にする！」

『デイスペアーアイズ・シャドー・ドラゴン』 ATK3700↓7400

『シャドー・ドラゴン』他者の絶望の形へと姿を変える……

それはまさしく赤き竜であった。

「馬鹿な……攻撃力7400……だと!?それに赤き竜!?馬鹿な……赤き竜は……神たる我を選んだのではなかったのか!？」

「赤き竜を絶望として見ているお前に力なんかは貸さないだろうさ……」

そして、7399ポイントの大ダメージで『地縛神』もさっさと復活なんぞ懲りて消えろ！『影の連鎖 デイスペアーシャドーバースト』！」

「グアアアアアッ!!」

ゴドウィン LP800↓0

「うつ……倒したのかぜ……?」

魔理沙が目を覚ます。続けて霊夢も……

「そう……みたいね……」

「二人とも……」

「嗟哦！」

「はあ……無事で良かった……」

バタンツ！嗟哦は急に倒れる。霊夢と魔理沙の悲痛な呼び声さえも聞こえない程に摩耗して意識を闇に沈めた。

11. 「異変を終えて 明日に備えて」

「ゲホツ！ゴホツ！」

「全く……信じられない！」

「す、すまん……」

「謝って済む話じゃない！」

「はい、すいません……」

俺は今……博麗神社の客間に敷かれたベットのの上に横たわり、頭の上にはどっかから妖精から作られたという氷を入れたビニールを乗せられ、霊夢に叱られている。どうしてこうなっているかと説明を入れようかと思つたが、魔理沙が来たので彼女に説明を任せよう……体が怠いんでね……

「いよっすー！どうだ霊夢？『風邪ひいているのに4回、しかもそのうちの1回は命を懸けたデュエルをした大馬鹿デュエリスト』の調子は？」

何も言い返せねー。まさか、そこにデュエルがあるからさと霊夢に言い訳したら拳骨を喰らつたでござる。その分、氷を追加されたが……それに十数分間続く霊夢の説教も色んな意味で耳が痛いし、体に響くだけで頭に入つてこない。霊夢は一通り説教を言い終わって、疲れたのか、お茶をグイツと一杯飲み、食材と薬を買いに人里へと出かけていった。残ったのは魔理沙だけ……そういえば魔理沙と二人きりになったのは今回が初めてかもしれないな……

「なあ……嗟哦」

「……ん？」

「ぶつちやけた話をするとさ……」

な、なんでござんしよ？

「霊夢とデキてるのかぜ？」

「……デキてるって？」

「付き合っているのかって話だぜ」

「んな馬鹿な……まだ会ってから1日しか経ってないぜ」

「1日しか経ってないのによくあんなに仲良くなってるなって話だぜ」

「それがデュエルモンスターズ」

キリツ、あ、引かないで魔理沙。

「はあい嵯峨君？紫お姉さんだよ」

わあい、紫お姉さん……頼むから俺の体の上に乗らないで……風邪ひいているから重いじゃないって金縛りレベルなんだよ。紫さんの体を支えられない。

「何の用っすか」

「まずは異変解決おめでどう、そしてありがとう。明日にでも風邪は治るでしょうし、

明日には宴会を開くことを独断で決めて教えに来ました」

「余計に具合が悪くなりそうな気がするんですがそれは……」

「病み上がりにお酒はきついだろうぜ……」

「まあまあ……後は『招待状』よ」

「『招待状』？」

「そう……デュエル大会のね」

「いつっすか！」

「食い気味になるほどなのかぜ!？」

「まあ、元々は黒幕をおびきだすために大会だったのだけど、貴女のおかげでまともな大会になりそうよ」

「……んなこと言われてもな……俺だけの力で勝ったわけじゃないか

「らな……な？」

「おう！」

「ウフフ……あ、そうそう……この戦いタッグ形式だから……魔理沙は『アリス・マーガトロイド』と組む……っと」

アリス・マーガトロイド……魔理沙と同じく、魔法の森に棲む魔女。『マリ×アリ』とかの人である……偏見じゃないです。

「おいおい……それだと俺のパートナー決まってるみたいない方だな」

「ええ、霊夢でしょ？」

「霊夢だろうぜ？」

「……なんでそうなる」

「性格（ついでにデッキ）の相性が良いから！」

「ぐぬぬ……何も言い返せん」

「それに優勝賞品もあるわよ」

「おおっ！なんか本格的だな！」

「見直したかしら魔理沙！」

「うんうん！」

「馬鹿にしたことを否定しないのな……」

それからしばらくの時間がたったのち、熱が下がって体が軽くなったのを機に自分のカードプールを確認する。

『おっ。やっと俺様のデッキを作るのか』

「と言つても、俺のデッキと相性が良いからいつものにギミックを追加する程度になっちゃますがな」

『ヒヤハハハ！ならどうせならこのカードを使い』

「採用」

『早いな』

「ロマンカードじゃないか……ん？じゃあ、この『白紙のカード』は？」

『さて、招待状にあった奴だ。俺様は知らないな』

一体このカードは……まさか『シユータイング・スター・ドラゴン』
なわけでも『レジェンド・オブ・ハート』な訳でもないだろう……し
かも扱えないし……おろ？招待状の封筒の奥にのりで何かくっつい
ている……底の方にくっついていて気づかなかった。

また手紙？

『そのカードは貴女の心を映すカード。平たく言えばスペルカードみ
たいなものよ。これは異変を解決してくれた貴女へのお礼の気持ち
として受け取ってちょうだい』

ほーびか……褒美なら仕方ないな……と言えど、クリアマインドし
たことない俺にこのカードは危ない賭けじゃないですかね……俺
洗脳マインドダイスしか使えねえよ。

『それ俺様の力じゃねえか』

……
良いツツコミをありがとう……さて、そろそろ寝るとしますかね

……
翌日

チウンチウンと雀の囀る音と共に目を開けた嵯峨。ぐぐつと背を
伸ばし、台所へと向かう……どうやら霊夢はまだ起きていないよう
だ。まだ朝早いし……早すぎるかもな。

さて、ちやつちやつと朝飯作るか。流石に材料に余裕はあるしな
……よし。

トントントントンというリズムカルな音が不意に止む。人間は突然、繰り返されていたことがなくなる違和感を感じるようになる……それは眠りが浅い人にはそれが強く感じ、目を覚ますことも多々ある。それは霊夢も例外ではなかった。

「……何の音?」

重い瞼をこすりながら音がした台所へと向かうと、

「あ、おはよう霊夢」

すっかり元気になった嵯峨が笑顔であいさつした。その眩しい笑顔に霊夢の眠気はどこへやら、吹っ飛んで行ってしまった。

「あ、おは……よう……あんたつて……料理できたんだ」

「まあ、兄貴に勝ちたいと思って切磋琢磨した技術の一つだけだな。これでも妹、弟たちには評判がいいんだぜ?」

「あんた何人家族なの?」

「いいや、一人っ子だ」

「は?」

意味が分からないと霊夢は首をかしげる。嵯峨はできた料理をさらに乗せ、居間に持っていく。霊夢も慌てて料理を持っていく。一通り置いた後、嵯峨は一呼吸置いて、

「霊夢、さっきの話は食後にしよう」

「え、ええ……そうね」

「二頂きます」

パクツ……霊夢が先に食べる。さて、お味の程は……

「……おいしい」

眼を見開くほどでしたか、それは嬉しい。そして十数分後、二人の皿には綺麗さっぱり何も残っていないかった。

「ふ、いい食いつぶりだったな霊夢。明日は宴会だから夕食は控えめにしておくぞ。それに食った分、消化するためにも一時間後にはジョギングするぞ」

「なんで私用のスケジュール作ってんのよ」

「私生活が変化したら確実に君は甘えるだろ？」

「ぐっ……何も言い返せない」

昨日のお返しだ。ざまあみそづけ……

「あ、食後の話」

チツ、そっちは憶えてやがったか。

「……別に面白い話じゃない。俺たちは孤児院っていう……実親に捨てられた身寄りのない奴らが集まる場所で育った仲間たちだ」

「親に捨てられた？」

「外の世界じゃな、親が事故にあっっていなくなって引き取り先がない奴とか、金がねえから捨てられた奴もいるし、病気で親が死んだままとかよくあるんだよ。絶の兄貴もそういうクチさ」

「……ごめん」

「いいさ。いずれ紫さんが勝手に言いそうだったしな」

「それもそうね」

と二人で笑う。

「おっと、そうだ……ほれ」

「ウチんとこの酒じゃない。明日宴会なのに飲むの？」

「当たり前だ、まずはお互いの労役を称えるのと次のデュエル大会でのパートナーになったお祝いとして……」

「なるほどね……じゃあ、」

「乾杯」

12. 「宴会での決闘！上」

飲みや騒げやとワイワイと妖怪たちが群となっている博麗神社。酒臭い奴ら共が楽しそうに酒を飲み、デュエルをしている……俺もやりたんだけど……と見ていたら霊夢さんに怒られちゃいました。悔しいですね。

……仕方ない。遠くで見てるか……と思ったら後ろの霧？密度が濃くないっすか？この状況下で現れる人なんて……いや、『鬼』なんて一人だけだよってやっぱり……

「……こんにちは」

「なんだよ。少しは驚いてくれよ」

と少しつまらなさそうに言った幼女の名は伊吹萃香。鬼である……妖怪最強の一族で昔妖怪の山を統治していた程の実力者のうちの一人。ということはデュエルの腕も……

「私は『伊吹萃香』。紫から聞いてるよ。今回の異変解決者の嵯峨だろ？」

よし、私とデュエ「ふざけたこと言ってんじゃないわよ！」

ポカッ

「ったー！何するのさ霊夢」

「さっき言ったでしょ、嵯峨は病み上がりだからデュエルできる状態じゃないの」

「……人間ってもらいんだな。それでも男か」

カチン。言ってくれるじゃねえか……

「ムッ、なめられたもんだな。ただのデュエルならもう普通にできる」

「そうこなくつちやな！」

「ちよ、ちよつと嗟哦」

「許せ霊夢。しかし、霊夢のパートナーとしての責任を持たなければいけないんだ！」

「くっつ！／＼／＼」

「おー……熱いね〜」

「それはお前が酒を飲み過ぎてているからだ。変にプレミとかしてもらっっちゃ困るぞ」

「言うじゃないか……鬼は酔った方がうまくできるんだよーだ！」

実際に酒パワーを借りてデュエルしている人だっているからなあ
……

「それじゃいくぞー」

「デュエル決闘ー！」

「先行は私からだー。私は永続魔法『冥界の宝札』を2枚発動。私が2体以上のモンスターをリリースしてアドバンス召喚に成功したら2ドローできる。それが2枚だから4枚ドローだ！」

「……それはきつい」

「ふふ、じゃあ行くぞー！速攻魔法『終焉の炎』の効果で『黒炎トークン』2体を特殊召喚ー！」

『黒炎トークン』DEF0

『黒炎トークン』DEF0

「このトークンは闇属性モンスターのアドバンス召喚のためのリリースにしか使えない。そして『終焉の炎』を発動するターン、私は召喚・反転召喚・特殊召喚はできないけど……セットは別だ。私は『黒炎トークン』2体をリリースし、モンスターをアドバンスセット」

??? DEF ???

「この瞬間に2枚の永続魔法『冥界の宝札』の効果で合計カードを4枚
ドロー！」

……ふむふむ……私はカードを2枚伏せてターンエンド」

萃香 手札3

??? (セットモンスター) DEF???

『冥界の宝札』

『冥界の宝札』

伏せ2

つよ……セットカード……『連撃』と『烈旋』じゃねえだろうな？
だったらもう太刀打ちできんぞ……

「私のターン、カード……ヒッ！」

「うん……？」

「ヒヤハハハ！ここからは俺様は独壇場だぜ！主人格様よお！」

「バクラ!?あんたまさか……！」

「おいおい怖い巫女さんだねえ……ちよつとばかし今回は俺様がデュエルだけだぜ。なあ、鬼さんよ！」

「二重人格ってやつかい……？まあ、デュエルに支障がでないならいいんだけどね」

「よくしよし。じゃあ、俺様のターン……ドロー！ヒヤハハハ！」

『儀式の下準備』を発動だ！このカードはデッキより儀式魔法を選択し、

そのカードにより儀式召喚できるモンスターをデッキ・墓地から
選択した2枚のカードを手札に加えるぜ」

「1枚のカードで2枚のカードを手札に加えられるのか!？」

「ヒヤハハハ！『闇の支配者との契約』を選択して、

このカードと『^{ダーク・マスター}闇の支配者——ゾーク』を手札に加えるぜ。
そして俺様は永続魔法『昇華する魂』を発動。

儀式魔法『闇の支配者との契約』を発動！手札の『デイスペアーアイズ・クレイジー・ドラゴン』をリリースし、現れよ！我が『闇の支配者——ゾーク』を儀式召喚！」

『闇の支配者——ゾーク』ATK2700

「そしてここで『昇華する魂』の効果で今、儀式召喚のための素材となった『デイスペアーアイズ・クレイジー・ドラゴン』を手札に戻し、そして今、手札に加えた『デイスペアーアイズ・クレイジー・ドラゴン』を墓地に送り、『トレード・イン』発動！

2枚ドロ―するぜ。そこで俺様は『闇の支配者——ゾーク』の効果を発動するぜ！

ダイスを1度振り、出た目によって効果が変わるぜ」

「ほうほう……」

「1・2はクリティカルだ、相手フィールドのモンスターを全て破壊する」

「えっ!？」

「3・4・5が出た場合、相手モンスター1体を対象を取らずに破壊する」

「それは強い」

「6はファンブル。自分フィールドのモンスターを全て破壊しちまう効果だ」

「なるほどね……」

「じゃあ、いくぜえ！『ゾーク』の効果『洗脳^{マインド}ダイス』！」

嵯峨(闇バクラ)が投げたサイコロが地面に弾み、やがて止まる。出目は……

「ヒヤハハハ！『1』！全ての相手モンスターを破壊だ！『ゾーク・インフェルノ』！」

「くっ！トラップ発動！『闇霊術——「欲」』！セットモンスターをリ

リリースし、2枚ドローする。ただし、相手は自身の手札の魔法カードを見せることでこの効果を無効にできる」

「……いいぜ、ドローしな」

「ドローー！」

「セットモンスターは『闇より出でし絶望』か……主人格様と戦ってたらブチ切られてたところだぜ。ま、変なモンスターじゃなかったおかげでお前の場はがら空き……」

『ゾーク』でダイレクトアタック！『ゾーク・インフェルノ』！」

「そうもさせない！永続罫『デモンズ・チェーン』！『ゾーク』の効果を無効にして、攻撃宣言も封印させる！」

「チツ……カードを3枚伏せてターンエンドだ（『デモンズ・チェーン』があるのなら『ゾーク』の破壊効果も防げたはず……『闇霊術——欲』でドローするのが目的か、

それとも俺様の手札に『サイクロン』のような魔法・罫破壊のカードがあるのを確認したかったのか……まあ、どうでもいいが）」

バクラ 手札0

『闇の支配者——ゾーク』ATK2700

『昇華する魂』

伏せ3

「私のターン、ドローだ！私は手札の『ダーク・ネフティス』を墓地に送り、

『ダーク・グレファア』を特殊召喚する」

『ダーク・グレファア』ATK1700

「そして『ダーク・グレファア』の効果、手札の『トーチ・ゴーレム』を墓地に送り、デッキから『レベル・ステイラー』を墓地に送るよ。そして『ダーク・グレファア』をリリースし、『邪帝ガイウス』をアドバンス召喚！」

『邪帝ガイウス』 ATK2400

「『邪帝ガイウス』……!」

「『ガイウス』のアドバンス召喚時の効果で『闇の支配者——ゾーク』を除外!」

「くっ!」

「更に闇属性モンスターを除外したので相手に1000ポイントのダメージを与える!」

「……!」

バクラ LP8000↓7000

「そして『ガイウス』のレベルを1つ下げること墓地から『レベル・ステイラー』を特殊召喚!」

『邪帝ガイウス』☆6↓5

『レベル・ステイラー』DEF0

「『ガイウス』でダイレクトアタックだ!」

「通用する訳ねえだろうが! 永続トラップ『闇次元の解放』! 除外されている『ゾーク』を攻撃表示で特殊召喚!」

『闇の支配者——ゾーク』 ATK2700

「くっ……バトルは中断してカードを2枚伏せる。ターンエンドだ」

萃香 手札1

『邪帝ガイウス』 ATK2400

『レベル・ステイラー』 DEF 0

『冥界の宝札』

『冥界の宝札』

『デモンズ・チエーン』（対象なし）

伏せ2

「俺様のターン、ドローカード！俺様はリバースカード、永続罫『出たら目』を発動！サイコロの出目を奇数なら6に、偶数なら1にする！」
「そうか！『ゾーク』の全体破壊を2分の1にまで上げるためか！だけど、自爆効果も2分の1になっているね」

「ヒヤハハハ！俺様だって危険な賭けの一つや二つするさ。『ゾーク』の効果を発動！『洗脳ダイス』！」

「そうはさせないよ！永続罫『連撃の帝王』！相手のメインフェイズ時と自分のバトルフェイズ時に自分はアドバンス召喚を行える！」

「まさかまた『邪帝ガイウス』か!？」

「いいや、速攻魔法『帝王の烈旋』を発動！このターン、相手モンスターをアドバンス召喚のためのリリースに使用できる！」

「何い!？」

「私は『レベル・ステイラー』と『闇の支配者——ゾーク』をリリースし、『ダーク・ホルス・ドラゴン』をアドバンス召喚する！」

『ダーク・ホルス・ドラゴン』 ATK 3000

「そして2枚の『冥界の宝札』の効果で4枚ドロー！」

「チィ……小癪な真似を……魔法カード『テイク・オーバー5』発動。デッキからカードを5枚墓地に送るぜ」

「この瞬間、『ダーク・ホルス・ドラゴン』の効果で墓地のレベル4闇属性モンスターの『ダーク・グレファア』を特殊召喚する」

『ダーク・グレファア』 ATK 1700

「……後手に回り過ぎてるな……俺様はリバーズカード『マジック・プランター』発動。永続罨『出たら目』を墓地に送り、2枚ドロ……手札から『非常食』発動、『闇次元の解放』と『昇華する魂』を墓地に送り、2000ポイントのライフを回復するぜ」

バクラ LP7000↓9000

「速攻魔法『魔力の泉』を発動だ。このカードは相手フィールドの表側表示の魔法・罨カードの数だけドロし、自分フィールドの表側表示の魔法・罨の数だけ捨てる。」

「ヒヤハハハ！4枚ドロして1枚……『デイスペアー・ハッカー』を墓地に送るぜ！」

更に『デイスペアー・ハッカー』の効果で自身を蘇生！」

『デイスペアー・ハッカー』DEF0

「『ハッカー』の特殊召喚時の能力を発動するぜ！お互いは300ポイントのダメージを受ける！」
「ハッ！効かないね」

バクラ LP9000↓8700

萃香 LP8000↓7700

「俺様は『復活の福音』を発動、墓地のレベル7か8のドラゴン族モンスターを復活させる『デイスペアーアイズ・クレイジー・ドラゴン』を蘇生！」

『デイスペアーアイズ・クレイジー・ドラゴン』 ATK3000

『デイスペアーアイズ』の特殊能力でお互いは自身の手札の枚数×3
00ポイントのダメージを受ける」

「それはちよつと痛いね」

バクラ LP8700↓8100

萃香 LP7700↓6500

「バトルだ！ 『デイスペアーアイズ・クレイジー・ドラゴン』で『ダーク・ホルス・ドラゴン』を攻撃！ 『デイスペアーバースト』！」

「攻撃力は同じ……相打ち狙いかい？」

「いや、そんな浅はかな訳ねえだろうが！ 俺様は墓地の『復活の福音』の効果により、『デイスペアーアイズ』の破壊の代わりにコイツを除外できる！」

よつて沈むのは貴様だけだ！」

「くつ……！ 『ダーク・ホルス』！」

「俺様はカードを1枚伏せてターンエンドだ」

バクラ 手札1

『デイスペアーアイズ・クレイジー・ドラゴン』 ATK3000

伏せ1

「私のターン……くつ…… 『邪帝ガイウス』のレベルを更に1つ下げ
て、墓地から『レベル・ステイラー』を特殊召喚」

『邪帝ガイウス』☆5↓4

『レベル・ステイラー』 DEF0

『ガイウス』と『ダーク・グレフアー』を守備表示にして、カードを伏せて、ターンエンドだ」

『邪帝ガイウス』 ATK2400↓DEF1000

『ダーク・グレフアー』 ATK1700↓DEF1600

萃香 手札4

『邪帝ガイウス』 DEF1000

『ダーク・グレフアー』 DEF1600

『レベル・ステイラー』 DEF0

『冥界の宝札』

『冥界の宝札』

『デモンズ・チェーン』（対象なし）

『連撃の帝王』

伏せー

『これは……恐らく萃香の手札にはあのコンボがそろっているな』

『何だ？』

『『ダーク・シムルグ』と『魔封じの芳香』によるロックだ。『シムルグ』は相手にセットさせないという効果。『魔封じの芳香』の効果は魔法カードはセットし、尚且つ次の自分ターンじゃなければ使えなくなる』

『なるほど……で、つまりそれをやらないということは『デイスペアーアイズ』よりも攻撃力が低いからだろうか？』

『ああ、だが、破壊系のカードが伏せられているかもしれない。気を付けろ』

「ヒヤハハハ！ いうには及ばねえよ俺様のターン！ 墓地の『テイク・オーバー5』の効果でデッキから同名カードを除外して、1ドローし、バトルだ！

『デイスペアーアイズ・クレイジー・ドラゴン』で『邪帝ガイウス』を

攻撃！」

「くっ……トラップ発動！『パワー・フレーム』！攻撃を無効にして、このカードは『ガイウス』の装備カードとなり、装備モンスターは相手モンスターの攻撃と同じ攻撃力になる！」

『邪帝ガイウス』 ATK 2400 ↓ 3000

「攻撃力3000になっちゃったか……仕方がないな。俺様はこれでターンエンド」

バクラ 手札3

『デイスペアーアイズ・クレイジー・ドラゴン』 ATK 3000

伏せ1

「私のターン！『邪帝ガイウス』と『レベル・ステイラー』を攻撃表示に変更しバトル！『邪帝ガイウス』で『デイスペアーアイズ・クレイジー・ドラゴン』を攻撃！」

そして『レベル・ステイラー』でダイレクトアタックだ！」

「小癩な……」

バクラ LP 8100 ↓ 7500

「メインフェイズ2に入り、魔法カード『デビルズ・サンクチュアリ』を発動！」

『メタルデビル・トークン』を特殊召喚する！」

『メタルデビル・トークン』 ATK 0

「そしてこの『メタルデビル・トークン』と『レベル・ステイラー』

をリリースし、『ダーク・シムルグ』をアドバンス召喚！」

『ダーク・シムルグ』ATK2700

「来やがったか……！」

「まずは2枚の『冥界の宝札』の効果で4ドロウ！うん、もう十分かな？

『非常食』！4枚墓地に送るから4000ポイントライフ回復！

あ、そうそう『ダーク・シムルグ』のレベルを1つ下げて『レベル・ステイラー』を特殊召喚！」

萃香 LP6500↓10500

『レベル・ステイラー』DEF0

「それでカードを3枚伏せて、これでターンエンドだよ！」

「(あの内の1枚は『魔封じの芳香』！魔法の発動を禁止させる気だ……！)」

萃香 手札2

『ダーク・シムルグ』ATK2700

『レベル・ステイラー』DEF0

伏せ4

「そして俺様のターンだ！ドロウカード！」

「この瞬間にトラップ発動！『魔封じの芳香』！知っているかもしれないけど『魔封じの芳香』の効果により、お互いに魔法カードはセットして、更に次のターンに回さないと発動できなくなるのさ……そして

『ダーク・シムルグ』がいる限り、お前はカードをセットすることはできない。

」

「それじゃあ、魔法・罫は使えないってことになるじゃない!？」

「巫女の驚きももつともだが、俺様のフィールドには1枚リバーズカードがセットされているんだぜ?もしかすれば、そのコンボを打ち崩すトラップカードかもしれねえ……!」

「ふふん、本当にそうなのならちやっちやと使えばいいさ」

「ケツ……俺様はこれでターンエンドだ」

バクラ 手札4

伏せ1

13. 「宴会での決闘！下」

バクラLP7500

手札4

伏せ1

萃香 LP10500

手札2

『ダーク・シムルグ』ATK2700

『レベル・ステイラー』DEF0

『魔封じの芳香』

伏せ3

「やっぱり、嘘か……鬼に嘘をつくなんて度胸のある奴だが、ここまで
のようだな！」

私のターン！」

私が引いたカードは……うん。今は遅いんだよなあ……『冥界
の宝札』の効果の時に引きたかったけど仕方ないね。

「トラップ発動『始原の帝王』！トラップモンスターとして特殊召喚
し、手札を1枚捨てることで、閻属性モンスターのアドバンス召喚の
ためのリリースとして使用する際、1体で2体分として扱える！」

『始原の帝王』DEF2400

「そして私は『始原の帝王』をリリースし、『デモニック・モーター・
オメガΩ』をアドバンス召喚！」

『デモニック・モーター・Ω』ATK2800

「そしてフィールド魔法『ダーク・ゾーン』を発動！闇属性モンスターの攻撃力を500アップさせ、守備力を500下げる」

『ダーク・シムルグ』 ATK2700↓3200

『デモニック・モーター・Ω』 ATK2800↓3300

『レベル・ステイラー』 ATK600↓1100

「『デモニック・モーター・Ω』の効果で攻撃力を1000ポイントアップさせる。

ただし、この効果を使用したターンのエンドフェイズ時に『Ω』は破壊されるが、

それなら逆に好都合だ、リバーズカード『リミッター解除』！」

『デモニック・モーター・Ω』 ATK3300↓4300↓8600

「攻撃力8600だとお!？」

「この一撃でお終いさ！『デモニック・モーター・Ω』でダイレクトアタック！」

……無論、その最後のセットカードはトラップなんだろうが、私は真っ直ぐ行くのさ！

「ヒヤハハハ！トラップカード『死霊ゾーマ』を発動！こいつもトラップモンスターで守備表示で特殊召喚される！更に『ダーク・ゾーン』の効果で守備力はダウンする！」

『死霊ゾーマ』 DEF500↓0

「さあ、どうしたあ!?!さっさとこんな弱小モンスターを潰してこいよお！守備力たったの……0なんだからさ！」

……っ。奴が出した『死霊ゾーマ』は攻撃力が1800（『ダークゾーン』の効果で2300）なのにも関わらず、守備表示で特殊召喚されている……つまり、破壊された時に何かしてくるカード……だが、ここで攻撃を止めれば何の活躍もできずに『デモニック・モーター・Ω』は破壊されてしまう。ならここは……！

「乗ってやろうじゃないか！『デモニック・モーター・Ω』で『死霊ゾーマ』を攻撃！」

「ヒヤハハハ！破壊された『ゾーマ』の効果はコイツを破壊したモンスターの攻撃力分のダメージを相手に与える！『デモニック・モーター・Ω』の攻撃力は8600！」

「自ら上げた攻撃力を前に自爆しなあ！」
「ぐっ!!」

萃香 LP10500↓1900

「だけど残念だったね！私は手札から『ダメージ・メイジ』の効果を発動！効果ダメージを受けた時、手札から特殊召喚できる！『ダークゾーン』の効果で攻守変動！」

『ダメージ・メイジ』DEF1200↓700

「そして今受けた効果ダメージ分、私はライフを回復する！」

萃香 LP1900↓10500

「ヒヤハハハ！これさえ読んでいるのさ！俺様は手札から『E Mラ

エンタメイト

イフ・ソードマン』の効果を発動し、このカードを特殊召喚！」

『EMライフ・ソードマン』ATK0

「そして相手が回復してきた数値分、『ライフ・ソードマン』の攻撃力はアップするぜ！」

「何!?まさか……!」

「そうそのまさか!『ライフ・ソードマン』の攻撃力は8600だ!」

『EMライフ・ソードマン』ATK0↓8600

「くっ……私は伏せていた速攻魔法『エネミー・コントローラー』を発動するよ!これで『ライフ・ソードマン』を守備表示に変更させる!」

『EMライフ・ソードマン』ATK8600↓DEF0

「何!?くっ……『ライフ・ソードマン』の守備力は0!」

「『ダーク・シムルグ』で『ライフ・ソードマン』を攻撃、そして『レベル・ステイラー』を守備表示にして、ターンエンド。」

この時、『デモニック・モーター・Ω』は自身と『リミッター解除』の効果で破壊される」

萃香 手札0

『ダーク・シムルグ』ATK3200

『レベル・ステイラー』DEF0

『ダメージ・メイジ』DEF700

『魔封じの芳香』

『ダーク・ゾーン』

「俺様のターン!ドローカード!チィ……俺様のフィールドにモンス

ターが存在せず、相手フィールドにモンスターが2体以上存在する場合、手札より『デイスペアー・デビル』を特殊召喚！更に『ダークゾーン』の効果で攻守変動」

『デイスペアー・デビル』ATK2000↓2500

「『デイスペアー・デビル』の効果を発動するぜ。手札のカードを1枚デッキトップに置くことで、相手の全てのモンスターは攻撃表示となり、表示形式も変更できず、

更に次の相手ターン、全てのモンスターは『デイスペアー・デビル』にアタックしなければいけない。これでターンエンドだ」

『ダメージ・メイジ』DEF0↓ATK600↓1100

『レベル・ステイラー』DEF0↓ATK600↓1100

バクラ 手札1

『デイスペアー・デビル』ATK2500

「攻撃を強制させるだつて……？何を考えているのかは知らないが、乗ってやるのが鬼の流儀つてね！バトルだ！私は『ダーク・シムルグ』で『デイスペアー・デビル』を攻撃！」

「ヒヤハハハ！攻撃宣言時に『デイスペアー・デビル』のモンスター効果！カードを1枚ドロし、そのカードが魔法カードならば相手モンスターへの攻撃を無効にできる！」

違うカードならば墓地に送り、このカードを破壊する」

「賭けつてことかい？いや、既にデッキトップは操作しているのか……でも何度も使える効果じゃないよ」

「ヒヤハハハ！初心に帰る……だ！ドロ！俺様が引いたカードは魔法カード！よつて攻撃は無効だ！」

「やるじゃないか……でも攻撃は続いてしまうよ！今度は『ダメージ・メイジ』で『デイスペアー・デビル』を攻撃！」

『『デイスペアー・デビル』の効果でドロワー！引いたカードはトラップカード！よって、引いたこのカードは墓地に送られ、『デビル』も破壊される』

「そして攻撃は巻き戻される！『ダメージ・メイジ』と『レベル・ステイラー』でダイレクトアタック！」

「ヒヤハハハ！それぐらいは喰らってやるよお！」

バクラ LP7500↓6400↓5300

「私はこれでターンエンドだ！」

萃香 手札1

『ダーク・シムルグ』 ATK3200

『レベル・ステイラー』 ATK1100

『ダメージ・メイジ』 ATK1100

『魔封じの芳香』

『ダーク・ゾーン』

「俺様のターン！」

「これで私とお前のライフの差は倍近く離れてた……はつきり言うけどそつちの勝ち目は薄い」

「それで？」

「え？」

「ヒヤハハハ！悪いが往生際が悪い性分でね！無いのならともかく、薄いのなら濃くしてやるのさ！ドロワー！ヒヤハハハ！俺様の引きは強いんだよお！まずはコイツで確実のものにさせてもらうぜ！墓地のトラップカード『デイスペアー・バーニング』の効果を発動！」

「墓地からトラップカードだって!?いや、そんなことよりもそんなカードがいつ墓地へ!？」

『『デイスペアー・デビル』の効果で引いたトラップカードさ』

「！あの時か……」

「このカードは除外することでこのターン、相手フィールドの表側表示で存在する魔法・罫の効果は無効にする！そしてカードを1枚ドロウする！」

『『魔封じの芳香』が！』

「そして魔法カード『ダーク・デイスペアー・デストラクション』発動！闇属性モンスターを全て破壊する！」

「な、何ー!?!」

「そして破壊した数まで手札の『デイスペアー』モンスターを守備表示で特殊召喚する！現れ出でよ！『デイスペアー・ジャイアント』、『デイスペアー・ヴァンパイア』！そして『ダーク・ゾーン』の効果で攻守変動！」

『デイスペアー・ジャイアント』DEF0

『デイスペアー・ヴァンパイア』DEF0

『まさかこんな手札事故レベル8ばかりしかできないとはたまげたなあ……』

『は、ハッカーを引いているだろうが』

『結果論で言うとよかったがな』

「ケツ！口の減らねえ主人格様だ！墓地の『デイスペアー・デビル』の効果を発動！このカードを除外することで自分フィールドの『デイスペアー』モンスターは攻撃表示となる！」

『デイスペアー・ジャイアント』DEF0↓ATK2800↓3300

『デイスペアー・ヴァンパイア』DEF0↓ATK2000↓2500

「そして装備魔法カード『契約の履行』！ライフポイントを800支払うことで墓地の儀式モンスターを特殊召喚し、このカードを装備する！甦れ！『闇の支配者——ゾーク』！そして『ダーク・ゾーン』の効

果で攻撃力上昇！」

バクラ LP5300↓4500

『闇の支配者——ゾーク』ATK2700↓3200

「バトルだ！『ジャイアント』、『ヴァンパイア』、『ゾーク』でダイレクトアタック！」

萃香↓10500↓7200↓4700↓1500

「ぐう……!!」

「そして墓地の魔法カード『ダーク・デイスペアー・デストラクション』の効果！」

このカードを除外し、自分フィールドの闇属性モンスターを全て破壊し、このカードの第1の効果で破壊したモンスターを全て相手フィールドに特殊召喚する！蘇れ！『ダーク・シムルグ』！『ダメージ・メイジ』！『レベル・ステイラー』！そして『ダーク・ゾーン』の効果で攻撃力上昇！」

『ダーク・シムルグ』ATK2700↓3200

『ダメージ・メイジ』ATK600↓1100

『レベル・ステイラー』ATK600↓1100

「な、私のモンスターを蘇生させただつて!？」

「破壊された『デイスペアー・ヴァンパイア』の効果が発動するぜ！自分ライフを1000支払い、相手フィールドの攻撃力が最弱であるモ

ンスターの元々と同じ攻撃力となって、俺様のフィールドに舞い戻る
！」

バクラ LP 4500 ↓ 3500

『デイスペアー・ヴァンパイア』 ATK 600 ↓ 1100

「バトルは続く！『ヴァンパイア』で『レベル・ステイラー』を攻撃
！」

「相打ち……ってそういうことか！」

「『ヴァンパイア』の効果で1000のライフを生贄に復活！」

バクラ LP 3500 ↓ 2500

『デイスペアー・ヴァンパイア』 ATK 600 ↓ 1100

「『ヴァンパイア』で『ダメージ・メイジ』を攻撃！」

「また……っ！」

「『ヴァンパイア』の効果で1000のライフを生贄に復活！」

バクラ LP 2500 ↓ 1500

『デイスペアー・ヴァンパイア』 ATK 2700 ↓ 3200

「『ヴァンパイア』で『ダーク・シムルグ』を攻撃！ターンエンドだ！」

バクラ 手札0

「ヒヤハハハ！これでライフポイントは互角……ここからが本当のドロ―勝負だ！」

「いいねえ！そういうの嫌いじゃないよ！じゃあ、私のターン……ドロオ!!」

フツ……ターンエンド！」

萃香 手札2

『魔封じの芳香』

『ダーク・ゾーン』

「俺様のターン……ドロ―！俺様は『デイスペアー・ソルジャー』を召喚！」

そして『ダーク・ゾーン』の効果で攻撃力上昇」

『デイスペアー・ソルジャー』 ATK1600↓2100

「こいつで終いだ！」

「させないよ！手札から『バトル・フェーダー』の効果を発動！このカードを特殊召喚してバトルフェイズを終了させる！」

『バトル・フェーダー』DEF0

「ちつ……ターンエンド」

バクラ 手札0

『デイスペアー・ソルジャー』 ATK2100

「私のターン、ドロ―！私は『バトル・フェーダー』をリリースし、『邪帝ガイウス』をアドバンス召喚！そして『ダーク・ゾーン』の効果で

攻撃力上昇！」

『邪帝ガイウス』 ATK2400↓2900

「またそいつか……！」

『邪帝ガイウス』がアドバンス召喚に成功したので、効果を発動！

『デイスペアー・ソルジャー』を除外して1000ポイントのダメージを与える！」

「ぐっ！」

バクラ LP1500↓500

『ガイウス』でダイレクトアタック！」

「墓地の『デイスペアー・ハッカー』の効果でこのカードを除外して、攻撃を無効にするぜ！」

「カードを伏せて、ターンエンドだ！」

萃香 手札1

『邪帝ガイウス』 ATK2900

伏せ1

『魔封じの芳香』

『ダーク・ゾーン』

「俺様のターン、ドローカード！カードを伏せて、ターンエンド！」

バクラ 手札0

伏せ1

「私のターン、ドロー！墓地の『レベル・スティーラー』の効果で『邪

帝ガイウス』のレベルを1つ下げることです特殊召喚できる！」

『邪帝ガイウス』☆6↓5

『レベル・ステイラー』DEF0

「バトルだ！『邪帝ガイウス』でダイレクトアタック！」

「墓地の『デイスペアー・ヴァンパイア』の効果を発動！ライフを半分支払い、このカードを除外することで、相手フィールドのモンスターへの攻撃を無効にして、そのモンスターの攻撃力を半分のダメージを相手に与える！」

「くっ！これも防がれるか……」

バクラ LP500↓250

萃香 LP1500↓50

「私はリバーズカード、装備魔法『ミスト・ボディ』を『レベル・ステイラー』に装備、これで戦闘破壊されなくなる。私はこれでターンエンド」

萃香 手札1

『邪帝ガイウス』ATK2900

『レベル・ステイラー』DEF0

『ミスト・ボディ』（レベル・ステイラー付）

『魔封じの芳香』

『ダーク・ゾーン』

「俺様のターン……ドロー！ヒヤハハハ！！トラップ発動！『絶望の盗掘』！」

ライフを半分支払い、自分の手札のモンスターカードを1枚捨てる

ことで、相手の墓地のレベル4モンスターを1体攻撃表示で特殊召喚するぜ！」

俺様が選択するのは『ダーク・グレフアー』だ！

「くっ！私のモンスターを盗むってのかい……」

「俺様は手札のモンスターカード『デイスペアー・ユニコーン』を墓地に送り、『ダーク・グレフアー』を特殊召喚！そして『ダーク・ゾーン』の効果で攻撃力上昇！」

バクラ LP250↓125

『ダーク・グレフアー』 ATK1700↓2200

「バトルだ！『ダーク・グレフアー』で『邪帝ガイウス』を攻撃！」

「だけどこっちの方が攻撃力は上だ！」

「そいつはどうかかな？」

「何!？」

「墓地の『デイスペアー・ユニコーン』の効果を発動！このカードを除外する事で、このバトルで発生するダメージを0にし、互いのモンスター戦闘破壊も無効にして、

戦闘しているモンスターたちを効果破壊する！」

「くっ！」

「そして破壊されたモンスターの元々のコントローラーに300ポイントのダメージを与える！」

「引き分け狙いかい!?!……ん?！」

「いいや、『ダーク・グレフアー』の元々のコントローラーは貴様だ！よって、俺様はダメージを受けない！」

「そ、そうか！だから私のモンスターを利用して！」

「これで終わりだ！やれ！『デイスペアー・ユニコーン』！『サンライ

ト・デイストラクション』！」
「うわあああ！」

萃香 LP50↓0

「いや／＼あつはつはつは！参った参った！流石、異変解決者ならではのね！」

「はあ……そりやどうも（嵯峨に戻った）」

「いいね、いいね！また大会で会えるといいねえ……」

「もうやりたくないねえよ、あんたのデツキ……対策が面倒臭え……」

数時間後……

宴会も無事（？）に終了し、深夜。霊夢と一緒にデツキの構築の話
をば、

「大会の形式はタッグデュエルなんだから、お互いをサポートできる
魔法・罫を重点的に入れよう」

「ええ、それに面白いことにこういうのだと同名カードを二人合わせ
て6枚も入れられるのね」

「ああ、だから『トレード・イン』は必ず必要だな」

「そうね」

「あ、そうそう……確か、俺『あのカード』作ってたような……」
「？」

「あつた……やれやれ、昔の俺は何を考えていたのやら……」

「何そのカード……フツッ！アハハ……！」

「フツ、こ、これ……採用かな？」

「ええ！面白いわね！」

翌朝に二日酔いになったのは言うまでもないだろう……

14. 「大会開始！上」

ここは紫さんの能力、『境界を操る程度の能力』によるスキマの間。

そこに存在するコロシウムが今回の大会の開催地だそうだ。

「中々に人もいるし、場所も広いな……うん！良いデュエリストが多そうだ！」

相変わらずのデュエル脳である俺氏。後ろにはミニ賽銭箱を持っている霊夢。

確かに勝ち進んでいけばお賽銭もらえるかもしれないが、霊夢よ。やめとけ。逆効果に見えてくる。

「さてと、霊夢行くぞ。もうそろそろで大会が始まるんだからな」

「え、じゃあこの賽銭箱どこに置けばいい？」

「もうそこらに置いとけよ……どうせ、とられやしないんだからさ」

「じゃあ、ちよつと待ってて頂戴。大会の人に預けて来るわ」

「そうしてくれ……」

数分後……

「ふう……さてと、行きますか」

「ああ、行くか……」

コロシウムはローマにあるような形で、周りの席は見渡す限り埋まっております。

皆の熱気が伝わってくる。そして遂に司会がマイクをその手にとった。

「皆様！お待たせいたしました！これより、第一回デュエル大会の選手入場です！」

「「「おおおおおー！！」」」

「計32名、16組でお送りします！さて、まずはルール説明の方を」

①：プレイヤーは自分のタッグプレイヤーとフィールド・墓地・除外されているカードを共有する。

②：相手ターンの終了と自分ターンの開始の間にそのプレイヤーはタッグプレイヤーと交代する。

③：タッグプレイヤーはお互いのプレイヤーに効果を及ぼすカード効果を受けない。（例：手札抹殺など……）

「大体のルール説明はここで終了します！さてさて、では第一回戦を始めましょう！」

「「「おおおおおー！！」」」

「まずは第一回戦！紅魔館より、レミリア・スカーレット&十六夜 咲夜チームVS

天界より、比那名居 天子&永江 衣玖チーム！」

「ふん、咲夜。あの不良がまた懲りずに私に挑戦しに来たようだ。

もはや返り討ちは生ぬるいと思うのだが？」

「はい。私もそう思います……」

「ふーん。言ってくれるじゃない……！このぺったんこがつ！」

「ほお？自分の事を棚に上げてよくそんなことが言えるな……」

私は胸は小さかろうが、器は大きいのだ」

「はっ！そう言っているのが、器の小ささを主張しているのよ！」

「言うじゃないか……負け犬の不良の天人が……！」

「天人なめんじゃないわよ吸血鬼……！」

「「お互い大変ですね〜」」

『おおー！早くもヒートアップだー！それでは第一回戦デュエル開始
いいいー!!!』

「「「オオオオオオオオーーーー!!!」」」」

「衣玖！さつさとこいつらを倒すわよ！」

「ええ、分かりました」

「咲夜、私たちの力を見せつけるぞ。こいつらと観客にな」

「承知いたしました。お嬢様」

「「「決闘^{デュエル}！」」」

レミリア&咲夜 LP8000

天子&衣玖 LP8000

ターン順

天子↓咲夜↓衣玖↓レミリア↓（以下エンドレス

先行をとったのは天子

！
「私のターン、行くわよ！吸血鬼！私は永続魔法『魂吸収』を2枚発動

このカードがある限り、除外されたカード1枚につき、私のライフを500回復させる。それが2枚で1000ポイント回復ってこと

よ」

「ふん、それぐらいやってもらわないとな……つまらないだろう」

「言ってなさい！魔法カード『天空の宝札』を発動！」

手札の天使族モンスター『大天使クリスティア』を除外して、2枚のカードをドロロー！そして、このターン、私は特殊召喚もバトルフェイズも行えない……

ま、先行は元からバトルフェイズは行えないからあんまり変わんないし、いいわよね。

じゃあ、2枚の『魂吸収』の効果で1000ポイント回復！」

天子&衣玖 LP8000↓8500↓9000

「更に魔法カード『強欲で謙虚な壺』！デッキからカードを3枚めくり、

その中から1枚のカードを手札に加え、残りのカードはデッキに戻す」

1枚目『ヘカテリス』、2枚目『アテナ』、3枚目『コート・オブ・ジャスティス』。

「私は『ヘカテリス』を手札に加えるわ。そして、『強欲で謙虚な壺』のデメリットとして私はこのターン、特殊召喚できないわ。まあ、過ぎたことよね。『神秘の代行者 アース』を召喚！」

『神秘の代行者 アース』ATK1000

「『アース』の効果でデッキから『代行者』を手札に加える。私は『奇跡の代行者 ジュピター』を手札に加え、フィールド魔法『天空の聖域』を発動！これで天使族モンスターの戦闘によって発生する天使族

モンスターのコントローラーへの戦闘ダメージは0になるわ。そして、手札の『ヘカテリス』の効果！このカードを捨て、デッキから『神の居城―ヴアルハラ』を手札に加え、私はカードを1枚伏せて、ターンエンドよ」

天子&衣玖 手札2

・モンスターゾーン

『神秘の代行者 アース』ATK1000

・魔法・罨ゾーン

『魂吸収』

『魂吸収』

伏せ1

・フィールド魔法

『天空の聖域』

「私のターンですね。ドロー！」

「この瞬間に永続罨『奇跡の降臨』を発動！除外されている天使族モンスターを特殊召喚するわ！来なさい！『大天使クリスティア』！」

『大天使クリスティア』ATK2800

「『クリスティア』の永続効果でお互いは特殊召喚できないわ！さあ、超えられるものなら超えてみなさい！」

「はあ、まあやるだけやりましょう。フィールド魔法『光の結界』を発動！『アルカナフォース』のコイントスの表裏を決めることができる。

『アルカナフォースⅢ―THE EMPRESS』！」

『アルカナフォースⅢ―THE EMPRESS』ATK1300

「『THE EMPRESS』は召喚・反転召喚・特殊召喚に成功した時、コイントスを行い、表か裏。でた方により効果が変わります。で

すが、フィールド魔法『光の結界』の効果でコイントスを行わず、結果だけを生み出します！過程を飛ばし、表を選択する！これにより、『THE EMPRESS』が存在する限り、相手がモンスターを通常召喚する度に手札の『アルカナフォース』を特殊召喚できる」

「そいつが天使族モンスターなのは気に食わないけど『クリスティア』がいるからその効果も無駄ね」

「それはどうかしらね？バトルフェイズ！『THE EMPRESS』で『大天使クリスティア』に攻撃！」

「いくら戦闘ダメージを受けないからって攻撃力が低いモンスターで攻撃なんて……」

「い、いや違うー！」

「ダメージステップ計算時に手札から『オネスト』の効果を発動！『THE EMPRESS』の攻撃力はバトルしている『クリスティア』の攻撃力分アップする！」

『アルカナフォースⅢ—THE EMPRESS』 ATK1300 ↓
4100

「くっ！『奇跡の降臨』も破壊されるけれど、『天空の聖域』の効果で私は戦闘ダメージを受けないわ！更に『クリスティア』はフィールドから墓地に送られる代わりにデッキトップに置かれる！」

「ですがこちらの『光の結界』の効果を発動！『アルカナフォース』が相手モンスターを戦闘で破壊した場合、破壊したモンスターの元々の攻撃力の数値分のライフを回復する！」

レミリア&咲夜 LP8000 ↓ 10800

「ターンエンドです」

レミリア&咲夜 手札3

・モンスターゾーン

『アルカナフォースⅢ—THE EMPRESS』ATK4100↓1300

・魔法・罨ゾーン

なし

・フィールド魔法

『光の結界』

「任せたわよ、衣玖」

「ええ、では、私のターンですね。ドロ〜!……とは言っても私も準備から入らなければいけないのですけどね。私は手札から『サンダー・シーホース』の効果を発動!このカードを捨て、デッキから攻撃力1600以下の雷族・光属性・レベル4同名モンスターを2体手札に加えます。これにより、『Okasander』2体を手札に加えます。そして私もこのターン、特殊召喚できません。そして『強欲で謙虚な壺』発動」

1枚目『リビングデッドの呼び声』、2枚目『電池メン—ボタン型』、3枚目『電池メン—角型』。

「私は『電池メン—角型』を手札に加え、これを召喚!」

『電池メン—角型』ATK1000

「この瞬間に、『THE EMPRESS』の効果を発動!手札の『アルカナフォースⅣ—THE EMPEROR』を攻撃表示で特殊召喚!」

『アルカナフォースⅣ—THE EMPEROR』ATK1400

「そして『光の結界』の効果で『表』を選択。『THE EMPEROR』はコイントスの結果が『表』の時、フィールドの『アルカナフォース』の攻撃力を500ポイントアップさせるわ」

『アルカナフォースⅢ—THE EMPRESS』 ATK1300↓
1800

『アルカナフォースⅣ—THE EMPEROR』 ATK1400↓
1900

「ですが、『角型』の効果も発動。デッキから『電池メン』を手札に加え、攻撃力を倍にします。私は『電池メン—単三型』を手札に加えます」

『電池メン—角型』 ATK1000↓2000

「バトル! 『角型』で『THE EMPRESS』を攻撃!」

「『天空の聖域』の効果で戦闘ダメージは0よ」

「ええ、私はカードを1枚伏せてターンエンドです。エンドフェイズに『角型』は破壊されます」

天子&衣玖 手札6

・モンスターゾーン

『神秘の代行者 アース』 ATK1000

・魔法・罠ゾーン

『魂吸収』

『魂吸収』

伏せ1

・フィールド魔法

『天空の聖域』

「では、私のターンか、ドロウする。スタンバイフェイズ時に『光の結

界』の効果発動。コイントスで表が出れば何もなし、裏が出ればこのカードの効果を次の自分のスタンバイフェイズ時まで無効にする」

結果は……表。継続となる。

「バトルを行う」

『おおーっ?!?レミリア選手、手札にモンスターがないのかー!?!』

「こういうノリがいいな。楽しめそうだ。『THE EMPEROR』で

『神秘の代行者 アース』を攻撃」

『天空の聖域』の効果で戦闘ダメージは受けません」

「お互いフィールド魔法に助けられているな。『光の結界』の効果で『アース』の攻撃力の数値分、私のライフを回復させる。カードを2枚伏せてターンエンドだ」

レミリア&咲夜 LP10800↓11800

レミリア&咲夜 手札4

・モンスターゾーン

『アルカナフォースIV—THE EMPEROR』ATK19

00

・魔法・罨ゾーン

伏せ2

・フィールド魔法

『光の結界』（コイントスの結果『表』）

「はっ！大層なことを言いながら全然大したことしてないじゃない！」

「序盤から展開する必要もないということだ」

「負け惜しみね……私のターン！神の居城―ヴァルハラ」を発動。効果も発動！自分フィールドにモンスターがいない場合、手札の天使族モンスター『大天使クリスティア』を特殊召喚！」

『大天使クリスティア』 ATK2800

「バトルよ！『クリスティア』で『THE EMPEROR』を攻撃！」

「無論、ダメージはない」

「ターン終了よ」

天子&衣玖 手札0

・モンスターゾーン

『大天使クリスティア』 ATK2800

・魔法・罫ゾーン

『魂吸収』

『魂吸収』

『神の居城―ヴァルハラ』

伏せ1

・フィールド魔法

『天空の聖域』

「私のターン……ドロー！スタンバイフェイズに『光の結界』の効果でコイントスを行う……まあ、結果は『表』。効果は継続ね……攻撃力2800はかなり辛いわね……」

「ふふん！どうよ！」

「咲夜、任せたぞ」

レミリアの言葉にはつとなり、咲夜は伏せてあるカードを確認すると、フツと笑う。

「………ああ、そういうことですか。リバースカード発動！『手札

抹殺』！私は手札4枚を墓地に送り、新たに4枚のカードをドロ―！魔法『死者転生』！手札の『死の花―ネクロ・フルール』を墓地に送り、墓地の『オネスト』を手札に加え、『アルカナフォースVI―THE LOVERS』を召喚！『光の結界』の効果で『表』を選択し、更に『THE EMPEROR』の効果で攻撃力アップ！」

『アルカナフォースVI―THE LOVERS』ATK1700↓2200

「バトル！『THE EMPEROR』で『大天使クリスティア』を攻撃！ダメージステップ開始時に手札から『オネスト』の効果！」

『アルカナフォースIV―THE EMPEROR』ATK1900↓4700

「でも、『天空の聖域』の効果で戦闘ダメージは受けず、『大天使クリスティア』の効果でこのカードをデッキトップに置くわ」

「『光の結界』の効果！2800ポイント回復します！」

レミリア&咲夜 LP11800↓14600

「バトルは続く！『THE LOVERS』でダイレクトアタック！」
「くっ！」

天子&衣玖 LP9000↓6800

「トラップ発動！『フリッグのリンゴ』！今受けた戦闘ダメージ分のライフを回復させるわ！」

天子&衣玖 LP6800↓9000

「そして受けたダメージと同じ攻撃力・守備力を持つ『邪精トークン』を特殊召喚する！」

『邪精トークン』 ATK?↓2200

「残念ですがトラップ発動、『破壊輪』！『邪精トークン』を破壊します。」

ただし、そのモンスターには元々の攻撃力は存在しないのでダメージはありません。ターンエンドです」

レミリア&咲夜 手札1

・モンスターゾーン

『アルカナフォースIV—THE EMPEROR』 ATK1900

『アルカナフォースVI—THE LOVERS』 ATK2200

・魔法・罠ゾーン

伏せ2

・フィールド魔法

『光の結界』（コイントスの結果『表』）

15. 「大会開始!下」

天子&衣玖 LP9000

手札0 (天子) 手札6 (衣玖)

・モンスターゾーン

なし

・魔法・罨ゾーン

『魂吸収』

『魂吸収』

『神の居城―ヴァルハラ』

・フィールド魔法

『天空の聖域』

レミリア&咲夜 LP14600

手札4 (レミリア) 手札1 (咲夜)

・モンスターゾーン

『アルカナフォースIV―THE EMPEROR』 ATK19

00

『アルカナフォースVI―THE LOVERS』 ATK22

00

・魔法・罨ゾーン

なし

・フィールド魔法

『光の結界』(コイントスの結果『表』)

「私のターンです!ドロー!私は『Ok aサンダー』を召喚」

『Ok aサンダー』 ATK1400

「『Ok aサンダー』の効果で雷族・光属性・レベル4モンスターを召喚する。『Ot oサンダー』を召喚します」

『Ottoサンダー』 ATK1300

「『Ottoサンダー』の効果も『Okasサンダー』と同じなので、手札から『電池メン―角型』を召喚します」

『電池メン―角型』 ATK1000

「『角型』の効果で『充電池メン』を手札に加え、攻撃力を倍にする」

『電池メン―角型』 ATK1000↓2000

「『Ottoサンダー』と『Okasサンダー』でオーバーレイ！2体のモンスターでオーバーレイネットワークを構築！エクシーズ召喚！現れなさいランク4！『輝光子パラディオス』！」

『輝光子パラディオス』 ATK2000

「^{デュアルサモン}『二重召喚』発動。もう一回の通常召喚を行えます。

『角型』をリリースし、『充電池メン』をアドバンス召喚」

『充電池メン』 ATK1800

「『充電池メン』の効果で手札・デッキから『電池メン』モンスターを特殊召喚する。デッキより『電池メン―単三型』を特殊召喚」

『電池メン―単三型』 ATK0

「この瞬間、『地獄の暴走召喚』発動！このカードは相手フィールド上に表側表示でモンスターが存在し、自分フィールドに攻撃力1500以下のモンスター1体が特殊召喚に成功した時に発動でき、デッキ・

手札・墓地より同名モンスターを攻撃表示で特殊召喚する。デッキより更に2体の『単三型』を特殊召喚」

『電池メン―単三型』 ATK0

『電池メン―単三型』 ATK0

「そして相手も自身のフィールドのモンスター1体を選択して、デッキ・手札・墓地より同名モンスターを可能な限り、特殊召喚できます」
「では、『アルカナフォースIV―THE EMPEROR』2体をデッキより、特殊召喚！『光の結界』の効果で2体ともコイントスの結果は『表』です！」

『アルカナフォースIV―THE EMPEROR』 ATK1900↓

2900

『アルカナフォースIV―THE EMPEROR』 ATK1400↓

2900

『アルカナフォースIV―THE EMPEROR』 ATK1400↓

2900

『アルカナフォースVI―THE LOVERS』 ATK2200↓

3200

「これで攻撃力2900のモンスターが3体のモンスターになりました。」

「ありがとうございます」

「いえいえ、こちらも『単三型』の効果が発動します。『単三型』の数×1000ポイントの攻撃力分アップします」

『電池メン―単三型』 ATK0↓3000

『電池メン―単三型』 ATK0↓3000

『電池メン―単三型』 ATK0↓3000

「『パラディオス』の効果も発動。オーバーレイユニット O R Uを2つ取り除き、相手モンスター1体の効果を無効にして、攻撃力を0にします！対象は『THE EMPEROR』です！」

『アルカナフォースIV—THE EMPEROR』 ATK2900↓
0

『アルカナフォースIV—THE EMPEROR』 ATK2900↓
2400

『アルカナフォースIV—THE EMPEROR』 ATK2900↓
2400

『アルカナフォースVI—THE LOVERS』 ATK3200↓
2700

「自分フィールドに『電池メン』モンスターが2体以上存在するので手札から『燃料電池メン』を特殊召喚します！」

『燃料電池メン』 ATK2100

「バトルフェイズです！『パラディオス』で攻撃力が0になっている『アルカナフォースIV—THE EMPEROR』を攻撃！」
「ですが、『天空の聖域』の効果でダメージは発生しません！」

「『単三型』で『アルカナフォースIV—THE EMPEROR』を攻撃！破壊したので、そちらのモンスターたちの攻撃力は500下がります！」

『アルカナフォースIV—THE EMPEROR』 ATK2400↓
1900

『アルカナフォースVI—THE LOVERS』 ATK2700↓
2200

「『燃料電池メン』で『アルカナフォースIV—THE EMPEROR』

を攻撃！更に破壊したので、攻撃力が500下がります！」

『アルカナフォースVI—THE LOVERS』 ATK2200↓
1700

『単三型』で『THE LOVERS』攻撃！そして最後の『単三型』
でダイレクトアタック！」

「受けましょう」

レミリア&咲夜 LP14600↓11600

「カードを2枚伏せて、これでターンエンドです」

天子&衣玖 手札0

・モンスターゾーン

『輝光子パラディオス』 ATK2000

『燃料電池メン』 ATK2100

『電池メン—単三型』 ATK3000

『電池メン—単三型』 ATK3000

『電池メン—単三型』 ATK3000

・魔法・罨ゾーン

『魂吸収』

『魂吸収』

『神の居城—ヴァルハラ』

伏せ2

・フィールド魔法

『天空の聖域』

「……少し、動こうか……私のターン、ドロー。『光の結界』のコイン

トス……裏か……もはや、私のターンには関係ないな」

効果が無効になったので『光の結界』は石化する。

「相手フィールドにのみ、モンスターが存在する場合、手札から『バイス・ドラゴン』を特殊召喚する。ただし、この効果で特殊召喚に成功した時、このモンスターの攻撃力・守備力は半分となる」

『バイス・ドラゴン』 ATK2000↓1000

「そして『フレア・リゾネーター』を召喚」

『フレア・リゾネーター』 ATK300

「レベル5の『バイス・ドラゴン』にレベル3の『フレア・リゾネーター』をチューニング！女王の覇道、今天を続け、地を揺るがす。唯一無二なる我が力をその身に刻むがいい！シンクロ召喚！レベル8！我が魂！『レッド・デーモンズ・ドラゴン・スカークライト』！」

『レッド・デーモンズ・ドラゴン・スカークライト』 ATK3000

「そしてシンクロ素材として使用された『フレア・リゾネーター』の効果で『スカークライト』の攻撃力を300ポイントのアップさせる」

『レッド・デーモンズ・ドラゴン・スカークライト』 ATK3000↓3000

「そして墓地の2体の『レベル・ステイラー』の効果を発動。『スカークライト』のレベルを下げて、特殊召喚」

『レッド・デーモンズ・ドラゴン・スカークライト』 ☆8↓6

『レベル・ステイラー』DEF0
『レベル・ステイラー』DEF0

「そして『スカーライト』の効果を発動！フィールドのこのカード以外の『スカーライト』の攻撃力以下の特殊召喚された効果モンスターを全て破壊し、そのモンスターの数×500ポイントのダメージを与える！『アブソリュート・パワー・フレーム』！」

「私のモンスターが全滅……！で、ですが、『パラディオス』の効果で1枚ドロウします！」

天子&衣玖 LP9000↓5500

「バトルだ、『スカーライト』でダイレクトアタック。『灼熱のクリムゾン・ヘル・バーニング』！」
「きゃあああ!!」

天子&衣玖 LP5500↓2200

「カードを2枚伏せてターンエンドだ」

レミリア&咲夜 手札1

・モンスターゾーン

『レッド・デーモンス・スカーライト』ATK3300

・魔法・罨ゾーン

伏せ2

・フィールド魔法

『光の結界』（コイントスの結果『裏』）

「私のターンよ！ドロー！リバースカード『トレードイン』！手札の『テュアラティン』を墓地に送り、2枚ドロー！そして更にリバース！『手札抹殺』！2枚捨てて、2枚ドロー！よし！墓地の『神秘の代行者アース』を除外して、『マスター・ヒュペリオン』を特殊召喚！『魂吸収』×2枚の効果で1000ライフ回復！」

『マスター・ヒュペリオン』 ATK2700

天子&衣玖 LP2200↓2700↓3200

「『ヒュペリオン』の効果発動！墓地の『ヘカテリス』を除外して、『レッド・デーモンズ・ドラゴン・スカールライト』を破壊するわ！」

「甘いな、『バスターモード』発動！『レッド・デーモンズ・ドラゴン』をリリースすることで、デッキから、『レッド・デーモンズ・ドラゴン』スラッシュ

／『バスター』を特殊召喚する！」

「でもあんたのフィールドには『スカールライト』しか、」

「十分だ。フィールド・墓地の『レッド・デーモンズ・ドラゴン・スカールライト』は『レッド・デーモンズ・ドラゴン』としても扱うのだ。よつて、『スカールライト』をリリースし、『レッド・デーモンズ・ドラゴン』スラッシュ
／『バスター』を特殊召喚！」

『レッド・デーモンズ・ドラゴン』スラッシュ／『バスター』 ATK3500

「くっ！対象を失ったことにより、不発となるけど、『魂吸収』の効果が発動！」

天子&衣玖 LP3200↓3700↓4200

「でも残念だったわね! 『マスター・ヒュペリオン』の破壊効果は『天空の聖域』がある時、1ターンに2度まで使えるのよ! 墓地の『テュアラティン』を除外して、『レッド・デーモンズ・ドラゴン^{スラッシュ} / バスター』を破壊する!」

「ふん、無駄だ。『/バスター』は破壊された時、墓地の『レッド・デーモンズ・ドラゴン』を特殊召喚する。そして、さっきも言ったようにファイールド・墓地の『レッド・デーモンズ・ドラゴン・スカーライト』は『レッド・デーモンズ・ドラゴン』としても扱う。よって『/バスター』の効果で『スカーライト』を特殊召喚!」

『レッド・デーモンズ・ドラゴン・スカーライト』 ATK3000

「くっ! 『魂吸収』の効果、発動」

天子&衣玖 LP4200↓4700↓5200

「なら装備魔法『ダグラの剣』を『マスター・ヒュペリオン』に装備」

『マスター・ヒュペリオン』 ATK2700↓3200

「バトル! 『マスター・ヒュペリオン』で『レッド・デーモンズ・ドラゴン・スカーライト』を攻撃!」
「ふん」

レミリア&咲夜 LP11600↓11400

『ダグラの剣』の効果で破壊したモンスターの攻撃力の数値分のライフを回復させる」

天子&衣玖 LP5200↓8200

「ターンエンドよー!」

天子&衣玖 手札0

・モンスターゾーン

『マスター・ヒュペリオン』 ATK3200

・魔法・罨ゾーン

『魂吸収』

『魂吸収』

『神の居城―ヴァルハラ』

『ダグラの剣』

・フィールド魔法

『天空の聖域』

「私のターン、ドロー!スタンバイフェイズに『光の結界』の効果でコイントスを行う……当然『表』よ。トラップ発動!『強化蘇生』。墓地のレベル4以下のモンスターのモンスターを特殊召喚する。この効果で特殊召喚されたモンスターは攻守が100ずつ上がり、レベルも1つ上がる。『アルカナフォースIV―THE EMPEROR』を特殊召喚!」

『アルカナフォースIV―THE EMPEROR』 ATK1400↓1500

「そして『光の結界』の効果でコイントスの結果を『表』に」

『アルカナフォースⅣ―THE EMPEROR』ATK1500↓
2000

☆4↓5

「そしてレベルを1つ下げて、『レベル・ステイラー』を特殊召喚！」

『アルカナフォースⅣ―THE EMPEROR』☆5↓4
『レベル・ステイラー』DEF0

「そして2体のモンスターをリリースし、出だよ！最強のタロットカード！『アルカナフォースⅣ―THE WORLD』！」

『アルカナフォースⅣ―THE WORLD』ATK3100

「そして『光の結界』で選択するコイントスの結果は『表』！もうこれにより、あなた達の時間は私のもの……墓地の2体の『レベル・ステイラー』を『THE WORLD』のレベルを下げて、特殊召喚！」

『アルカナフォースⅣ―THE WORLD』☆8↓6
『レベル・ステイラー』ATK600
『レベル・ステイラー』ATK600

「バトルフェイズ！『THE WORLD』で『マスター・ヒュペリオン』を攻撃！」

『オーバー・カタストロフ』！
『攻撃力3100の『THE WORLD』では攻撃力3200の『マ

スター・ヒュペリオン』を倒すことはできないぞー!?!』

「速攻魔法発動! 『九十九スラッシュ』! 自分のモンスターが、そのモンスターよりも攻撃力が高いモンスターに攻撃する時にのみ、発動できます! ダメージ計算時のみ、自分と相手ライフの差の数値分、『THE WORLD』の攻撃力はアップする!」

「そんな……! 私たちのライフの差は……4200!」

「よって、『THE WORLD』の攻撃力は……」

『アルカナフォースXXI—THE WORLD』 ATK 3100 ↓
7500

「こ、攻撃力7500ですって!?!でも、『マスター・ヒュペリオン』は破壊されても『天空の聖域』の効果で私は戦闘ダメージを受けないわ!」

「なら2体の『レベル・ステイラー』でダイレクトアタック!」

天子&衣玖 LP 8200 ↓ 7600 ↓ 7000

「ならエンドフェイズです」

「では、私の……」

「この時、『THE WORLD』の効果を発動します。自分フィールドの2体の『レベル・ステイラー』を墓地に送り、相手ターンをスキップさせ、もう一度、自分ターンを行う!」

「な、なんですって!?!」

『何となんと! 比那名居 天子&永江 衣玖チームのターンが消えてしまったー!』

天子と衣玖だけでなく、観客たちもターンスキップには大絶叫と

言ったところだ。

「ターンスキップですって!？」

「ああ……そしてこの勝負……決着が着いたな」

レミリア&咲夜 手札0

・モンスターゾーン

『アルカナフォースXXI―THE WORLD』ATK31
00

・魔法・罨ゾーン

『強化蘇生』（対象なし）

・フィールド魔法

『光の結界』

「タッグデュエルなので、次は私のターンとなる！ドロー！私は『THE WORLD』のレベルを下げて、『レベル・ステイラー』を特殊召喚！」

『アルカナフォースXXI―THE WORLD』☆6↓4

『レベル・ステイラー』ATK600

『レベル・ステイラー』ATK600

「そして『レベル・ステイラー』をリリースし、『サルベージ・ウオリアー』をアドバンス召喚」

『サルベージ・ウオリアー』ATK1900

「効果発動。手札・墓地のチューナーを特殊召喚する。墓地より、『フレア・リゾネーター』を特殊召喚！」

『フレア・リゾネーター』DEF1300

「レベル5の『サルベージ・ウォリアー』にレベル3の『フレア・リゾネーター』をチューニング！女王の鼓動が今烈火となる！天地鳴動の力、しかと目に焼き付けるがいい！シンクロ召喚！レベル8、我が魂！『レッド・デーモンズ・ドラゴン』！」

『レッド・デーモンズ・ドラゴン』ATK3000

「墓地の『フレア・リゾネーター』の効果の説明は不要だな。『レッド・デーモンズ・ドラゴン』の攻撃力を300ポイントアップする」

『レッド・デーモンズ・ドラゴン』ATK3000↓3300

「バトルフェイズ。『THE WORLD』でダイレクトアタック！『オーバー・カタストロフ』！」

天子&衣玖 LP7000↓3900

「『レベル・ステイラー』でダイレクトアタック！」

天子&衣玖 LP3900↓3300

「これで止めだ！『レッド・デーモンズ・ドラゴン』でダイレクトアタック！森羅万象！全てを突き貫け！『アブソリュート・パワーフォース』！」

「きやあああ！」

天子&衣玖 LP3300↓0

『決まったー!! Aブロック第一試合、勝者はレミリア・スカーレット
&十六夜 咲夜チームだー!!』

「「「おおおおお!!」」」

「ふん、口ほどにもなかったな……戻るぞ咲夜」

「かしこまりました」

嵯峨 side

「レミリアたちが私たちの次の次の敵ね」

「勝った宣言は止めてくれ。次の敵が面倒くさくなりそうだ」

「ふっ、私たちの初めてのタッグデュエルなんだから楽しめる相手だ
といいわね」

「……はっ、そりやそうだわ」

16. 「二回戦！俺達のデュエル！上」

『白熱した試合はまだまだこれからだー！』

第二回戦は博麗 霊夢&峰城 嵯峨チームVS星熊 勇儀&伊吹
萃香チームだー！！』

「「「おおおおお！！」」」

「フラグ回収しちまったー！」

頭を抱え込んでしまう嵯峨。

「絶対……絶対にあのデッキはやだ。めんどい……」

「もう、やる前から卑屈になってんじゃないわよ」

「あつはっは！なんだいなんだい？霊夢はやっぱりそいつと付き合っ
てんのかい」

「な、なな……ち、違うわよ！」

「面白そうな匂いだな！萃香！こいつはやりがいがありそうだ！」
「…………めんどい」

なんだかなんで似た者同士の嵯峨と霊夢。

『それでは第二回戦……デュエルスター……！！』

「「「デュエル！！」」」

ターン順

萃香↓霊夢↓勇儀↓嵯峨↓（以下エンドレス

嵯峨&霊夢 LP8000

萃香&勇儀 LP8000

先行はまた、あなたですか萃香さんよお……
もうめんどくてもうしょうがねえ！最高のファンサービスで向かい
合ってるよお！

「先行は私だ！私はモンスターをセットしてターンエンド！」

??? (セットモンスター) DEF???

萃香&勇儀 手札4

・モンスターゾーン

??? (セットモンスター) DEF???

・魔法・罨ゾーン

なし

「次は私のターンよ！ドロー！『トレード・イン』発動！手札の『青眼の白竜』を墓地に送り、2枚のカードをドロー！『調和の宝札』も発動！『太古の白石』ホワイト・オブ・エンシエントを墓地に送り、更に2枚ドロー！『ドラゴン・目覚めの旋律』を発動！手札の『青き眼の乙女』ブルーアイズ・オルタナティブを墓地に送り、デッキから『青眼の白竜』と『青眼の巫白竜』ブルーアイズ・オルタナティブ・ホワイト・ドラゴンを手札に加えるわ！」

「うん？見たことない『ブルーアイズ』だな……」

ふうん。そいつを3枚そろえるのに何千円かかったと思ってる
!?
こうなれば確実に優勝を狙うまでだ！

「そして私は手札の『青眼の白竜』を見せることで『青眼の巫白竜』ホワイト・ドラゴンを特殊召喚！」

「な、なんて簡単な召喚条件！」

『青眼の亜白龍』 ATK3000

「永続魔法『補給部隊』を発動して、バトルよ！『青眼の亜白龍』でセツトモンスターを攻撃！『滅びのバーンストリーム』！」

「残念だったな！セツトモンスターは『ファイアー・ハンド』！戦闘破壊された時、相手モンスター1体を破壊するんだ！」

「くっ！」

「そして『アイス・ハンド』を特殊召喚する！」

『アイス・ハンド』 DEF1600

「まだよ！私のモンスターが破壊されたので『補給部隊』の効果で1枚カードをドローして、よっし！速攻魔法『デーモンとの駆け引き』！私のフィールドのレベル8以上のモンスターが墓地に送られたターンにのみ発動できる！手札・デッキより、『バーサーク・デッド・ドラゴン』を特殊召喚する！」

『バーサーク・デッド・ドラゴン』 ATK3500

「攻撃力3500のモンスターか！」

「バトルは終わらない！『バーサーク・デッド・ドラゴン』で『アイス・ハンド』を攻撃！」

「くっ！でも『アイス・ハンド』の効果も発動するよ！『補給部隊』を破壊して、『ファイアー・ハンド』を特殊召喚！」

『ファイアー・ハンド』 ATK1600

「カードを1枚伏せて、エンドフェイズ時に『太古の白石』の効果が発動！デッキから『青眼の白龍』を特殊召喚！」

『青眼の白龍』 ATK3000

「そして『バーサーク・デッド・ドラゴン』は私のターンのエンドフェイズ時毎に攻撃力を500ポイント下げる」

嗟峨&霊夢 手札3

・モンスターゾーン

『バーサーク・デッド・ドラゴン』 ATK3500↓3000

『青眼の白龍』 ATK3000

・魔法・罨ゾーン

伏せ1

「私のターンだね。ドロー！私は『グラディアルビースト剣闘獣ラクエル』を召喚！」

『剣闘獣ラクエル』 ATK1800

「カードを3枚伏せて、ターンエンドだ」

萃香&勇儀 手札2

・モンスターゾーン

『ファイアー・ハンド』 ATK1600

『剣闘獣ラクエル』 ATK1800

・魔法・罨ゾーン

伏せ3

「私のターンだ！ドロー！私は手札の『デイスペアーアイズ・クレイジー・ドラゴン』を墓地に送り、魔法カード『トレード・イン』を発動！デッキからカードを2枚ドローし、更に魔法カード『絶望の戦線離脱』を発動！このターン、『デイスペアー』モンスター以外のモンスター同士がバトルする時、手札の『デイスペアー』モンスターを相手に見せることで、そのバトルを無効にして相手に500ポイントのダメージを与えることができる！バトルだ！『バーサーク・デッド・ド

ラゴン』は相手の場の全モンスターに1回ずつ攻撃することができる！『ファイアー・ハンド』に攻撃！この時、手札の『デイスペアー・ユニコーン』を見せて、バトルを無効にする！」

「またそのカードか……！」

「させないよ！永続罠『ウイルトゥース・オブ・グラディアルピースト剣闘獣の雄心』！相手は『剣闘獣』しか攻撃できない！」

「くっ！だが、バトルは無効だ！」

萃香&勇儀 LP8000↓7500

「更に『青眼の白龍』で『剣闘獣ラクエル』を攻撃！『滅びの爆裂疾風弾』！もう一回、『デイスペアー・ユニコーン』を見せて、バトルを無効に！」

萃香&勇儀 LP7500↓7000

「メインフェイズ2に入り、カードを1枚伏せて、ターンエンド」

嵯峨&霊夢 手札4

・モンスターゾーン

『青眼の白龍』 ATK3000

『バーサーク・デッド・ドラゴン』 ATK3000↓2500

・魔法・罠ゾーン

伏せ2

「私のターンだ！ドロロー！私はレベル4の『ファイアー・ハンド』と『剣闘獣ラクエル』でオーバーレイ！2体のモンスターでオーバーレイネッ

トワークを構築！エクシーズ召喚！生まれ落ちよNo. 106！その巨大な手で全てを握りつぶせ！『巨岩掌ジャイアント・ハンド』！」

0 『No. 106巨岩掌ジャイアント・ハンド』ORU2 ATK200

「ち、だがそのモンスターでは俺達のフィールドのモンスターは倒せないぞー！」

「そんなことないよ！……罨カード『ロケットハンド』を発動！発動後、攻撃力800以上のモンスターに装備でき、攻撃力を800アップさせる！」

0 『No. 106巨岩掌ジャイアント・ハンド』ATK2000↓280

『『ジャイアント・ハンド』で『バーサーク・デッド・ドラゴン』を攻撃！』

「くっー！」

嗟峨&霊夢 LP8000↓7700

「更にトラップ発動！『ミラクル・ルーカス奇跡の軌跡』！相手はカードを1枚引く代わりに自分のモンスターの攻撃力は1000ポイントアップし、2回攻撃できる！『ジャイアント・ハンド』で『青眼の白龍』を攻撃！」

0 『No. 106巨岩掌ジャイアント・ハンド』ATK2800↓380

「だが、『奇跡の軌跡』の効果で俺達は戦闘ダメージを受けない！」

「でも『青眼の白龍』は破壊されるよ！メインフェイズ2でカードを3枚伏せて、ターンエンド！」

萃香&勇儀 手札2

・モンスターゾーン

『No. 106 巨岩掌ジャイアント・ハンド』ORU2 ATK
3800↓2800

・魔法・罨ゾーン

ウイルトウリス・オブ・グラディアルビースト
『剣 闘 獣 の 雄 心』

『ロケットハンド』（対象『ジャイアント・ハンド』）
伏せ3

「私のターン……ドロー！墓地の『太古の白石』の効果を発動！このカードを除外して、墓地の『ブルーアイズ』モンスターを手札に戻す。私が戻すのは『青眼の白龍』！嵯峨が伏せていた装備魔法カードディファレント・テイメンション・リバイバル『D・D・R』を発動！手札を1枚捨て、除外されている自分モンスターを特殊召喚してこのカードを装備する！来い！『太古の白石』！」

『太古の白石』 ATK600

『復活の福音』を発動！墓地の『青眼の白龍』を特殊召喚！」

『青眼の白龍』 ATK3000

「更に『青眼の白龍』をデッキに戻し、墓地の『青き眼の巫女』を特殊召喚！」

『青き眼の巫女』 DEF0

「フィールド魔法『光の霊堂』を発動。そして効果を発動！対象は『青

き眼の巫女』！そしてカード効果の対象となった『巫女』の効果が発動！『太古の白石』を墓地に送り、デッキから『ブルーアイス』を2種類まで手札に加える！私が手札に加えるのは『SIN青眼の白龍』と『青眼の亜白龍』！『光の霊堂』の効果解決で、デッキから『青眼の白龍』を墓地に送り、そのモンスターのレベル×100ポイント『巫女』の攻撃力をアップさせるわ！」

『青き眼の巫女』 ATK0↓800

「そして手札の『青眼の白龍』を相手に見せることで『青眼の亜白龍』を特殊召喚！」

『青眼の亜白龍』 ATK3000

「伏せていた『トレード・イン』を発動！『SIN青眼の白龍』を墓地に送り、2枚ドロロー！『青眼の亜白龍』の効果が発動！攻撃を放棄する代わりに相手モンスターを破壊する！」

「させるか！『ジャイアント・ハンド』の効果が発動！ORUを2つ取り除くことで、相手モンスターの効果を無効にする！更に『ジャイアント・ハンド』がいる限り、表示形式も変更できない！」

「別にどうだっていいわ！私はレベル8の『青眼の亜白龍』にレベル1の『青き眼の巫女』をチューニング！青き眼に浮かびしその力、神秘に触れ今ここに現れよ！シンクロ召喚！レベル9！」

『青眼の精霊龍』!!」

『青眼の精霊龍』 DEF3000

「そして魔法カード『強欲で貪欲な壺』！デッキの上からカードを10枚裏側で除外して2枚ドロロー！そして魔法『手札抹殺』を発動！2枚捨てて、2枚ドロロー！更に『龍ドラゴンズの鏡ミラー』を発動！墓地の『青眼の亜白龍』は『青眼の白龍』として扱うため、私は墓地の『青眼の亜白龍』2

体と『青眼の白龍』を除外し、融合召喚！『青眼の究極竜』！
フルーアイズ・アルティメット・ドラゴン

『青眼の究極竜』 ATK4500

「バトル！『青眼の究極竜』で『ジャイアント・ハンド』を攻撃！」

「『ロケットハンド』の効果を発動！このカードを墓地に送り、『青眼の究極竜』を破壊する！」

「墓地の『復活の福音』を除外して、破壊を無効にするわ！」

「くっ！『ロケットハンド』の効果で『ジャイアント・ハンド』の攻撃力は0となり、表示形式は変更できない……でも、トラップ発動！」

「ホーリーライフバリア」！手札を1枚捨て全てのダメージを0にするよ！更に『ボーン・テンプル・ブロック』を発動！更に手札を1枚捨て、お互いに墓地からレベル4以下のモンスターを特殊召喚する！ただし、次のターンのエンドフェイズ時には破壊される！」

「私は『青き眼の巫女』を守備表示で特殊召喚する！」

『青き眼の巫女』 DEF0

「私は『剣闘獣ラクエル』を攻撃表示で特殊召喚！」

『剣闘獣ラクエル』 ATK1800

「でも攻撃対象は変わらないわよ！そしてメインフェイズ2でカードを1枚伏せて、エンドフェイズ時に『超再生能力』を発動！デッキからこのターンに捨てた、リリースしたドラゴン族の数だけドロウできるわ……4枚ドロウして、ターンエンド」

嗟峨&霊夢 手札4

・モンスターゾーン

『青眼の究極竜』 ATK4500

『青眼の精霊龍』 DEF3000

『青き眼の巫女』DEF0

・魔法・罨ゾーン

伏せ1

・フィールド魔法

『光の霊堂』

「私のターン、ドロロー！『剣闘獣ベストロウリイ』を召喚！」

『剣闘獣ベストロウリイ』ATK1500

「『剣闘獣』が2体……来るぞ霊夢！」

「……！」

「『剣闘獣』は決められた融合素材をフィールドからデッキに戻すことで『融合』のカード無しで融合召喚を行える！私は『剣闘獣ベストロウリイ』と『剣闘獣ラクエル』をデッキに戻し、融合召喚！現れよ！『剣闘獣ガイザレス』！」

『剣闘獣ガイザレス』ATK2400

「『ガイザレス』の融合召喚成功時にフィールドのカードを2枚まで破壊する！」

「『青眼の精霊龍』の効果を発動！自身をリリースして、エクストラデッキから『蒼眼の銀龍』を守備表示で特殊召喚！」

『蒼眼の銀龍』DEF3000

「更に『蒼眼の銀龍』の効果で私のフィールドのドラゴン族モンスターは次のターンの終了時までカード効果の対象にならず、カード効果では破壊されない！」

「なら霊夢のフィールドの伏せカードと『光の霊堂』を破壊する！バトルだ！『剣闘獣ガイザレス』で『蒼眼の銀龍』を攻撃！」

「なっ！こっちの守備力の方がそっちの攻撃力を上回っているのに……」

萃香&勇儀 LP7000↓6400

「バトルフェイズ終了時に『ガイザレス』の効果が発動！このカードをエクストラデッキに戻すことで、デッキから『剣闘獣ベストロウリイ』以外の『剣闘獣』を2体特殊召喚する！現れよ『剣闘獣セクトル』！『剣闘獣ホプロムス』！」

『剣闘獣セクトル』DEF300

『剣闘獣ホプロムス』DEF2100↓2400

『『ホプロムス』は『剣闘獣』の効果で特殊召喚された場合、元々の守備力は2400になる……私はカードを2枚伏せて、ターンエンド。この時、『ボーン・テンプル・ブロック』の効果で霊夢のフィールドの『青き眼の巫女』は破壊される」

萃香&勇儀 手札0

・モンスターゾーン

『剣闘獣セクトル』DEF300

『剣闘獣ホプロムス』DEF2400

・魔法・罫ゾーン

『剣闘獣の雄心』

伏せ3

「私のターン、ドロ……」

嗟峨は手札を見て、再び勇儀のフィールドを見る……『剣闘獣の雄

心』の効果で直接攻撃もできない……というかあんなカードあったか？新規……？ARC―V見れないから分からないな……ならまだ何かあるな……あんなのただぶん殴るだけのデッキだとか思っていたが、よくよく考えれば2006年だかの世界大会優勝デッキだったんだ……やばいに決まっているか……

「私はスタンバイフェイズに『蒼眼の銀龍』の効果で墓地の『青眼の白龍』を攻撃表示で特殊召喚」

『青眼の白龍』ATK3000

「バトルだ！『青眼の白龍』で『剣闘獣ホプロムス』を攻撃！」

「トラップ発動！『アルケミー・サイクル』！『ホプロムス』と『セクトル』の攻撃力を0になる！」

「何を……！」

「更にトラップカード『遺言の札』を発動！自分モンスターの攻撃力が0になった時に発動でき、手札を5枚になるようにドロウする！」

「まさかそれが狙いか……！だが、破壊させてもらおうぞ！『滅びの爆裂疾風弾』！」

「『アルケミー・サイクル』の効果を受けたモンスターが破壊された時、デッキからカードを1枚ドロウする！」

「なら『青眼の究極竜』で『セクトル』を攻撃！『アルティメット・バースト』！」

「永続トラップ『メダリオン・オブ・グラディアルピリスト剣闘獣の勲傷』を発動！『剣闘獣』の戦闘破壊を無効にする代わり戦闘ダメージを倍にする！」

「何だど!?それじゃあ、俺達は『剣闘獣の雄心』と『剣闘獣の勲傷』の効果で攻撃を封じられたのか！」

そんなコンボカードが存在するだと……最近ってすごいよね（震え）

「それだけじゃない！『剣闘獣』の効果で特殊召喚された『セクトル』のモンスター効果により、デッキから『剣闘獣』を2体特殊召喚する！『剣闘獣ベストロウリイ』！『剣闘獣ダリウス』！」

『剣闘獣ベストロウリイ』 ATK1500

『剣闘獣ダリウス』 ATK1700

「『ベストロウリイ』の効果は使えないけど、『ダリウス』の効果は発動できる！墓地の『剣闘獣』を効果を無効にして特殊召喚する！蘇れ！『ホプロムス』！」

『剣闘獣ホプロムス』 DEF2100

「メインフェイズ2に入る……モンスターを裏守備表示でセット！」

セットモンスターDEF???

「カードを4枚伏せて、ターンエンド！」

嗟峨&霊夢 手札1

・モンスターゾーン

『青眼の究極竜』 ATK4500

『蒼眼の銀龍』 DEF3000

『青眼の白龍』 ATK3000

セットモンスターDEF???

・魔法・罫ゾーン

伏せ4

17. 「二回戦！俺達のデュエル！下」

萃香&勇儀 LP6400

手札0 (萃香) 6 (勇儀)

・モンスターゾーン

『剣闘獣セクトル』DEF300

『剣闘獣ホプロムス』DEF2400

・魔法・罨ゾーン

『剣闘獣の雄心』

『剣闘獣の勲傷』

嵯峨&霊夢 LP7700

手札1 (嵯峨) 手札4 (霊夢)

・モンスターゾーン

『青眼の究極竜』ATK4500

『蒼眼の銀龍』DEF3000

『青眼の白龍』ATK3000

セットモンスターDEF???

・魔法・罨ゾーン

伏せ4

「私のターン、ドロー！（嵯峨の手札は1枚……あれは『デイスペア』ユニコーン』。つまり、『オネスト』や手札誘発系のカードは特に気にしないでいいけど……4枚も伏せているから……まあ、いいや！勇儀のターンに任せようか！）私はレベル4の『ホプロムス』と『ダリウス』でオーバーレイ！2体のモンスターでオーバーレイネットワークを構築！エクシース召喚！ランク4！『恐牙狼ダイヤウルフ』！」

『恐牙狼ダイヤウルフ』ORU2 ATK2000

『ダイヤウルフ』のORUを1つ取り除き効果を発動！『ベストロウ

リイ』と『青眼の究極竜』を破壊する！」

『恐牙狼ダイヤウルフ』ORU2↓1

「ちっ」

「永続魔法『炎舞―「天キ」』を発動！デッキから『速炎星―タイヒヨウ』を手札に加え、フィールドの獣戦士族モンスターの攻撃力を100ポイントアップさせる！『タイヒヨウ』を召喚！」

『速炎星―タイヒヨウ』ATK0↓100

「『タイヒヨウ』は自身をリリースして、デッキから『炎舞』をセットできる！『炎舞―「揺光」』をセット！これでターンエンド！」

「エンドフェイズ時に『インフェニティ・インフェルノ』を発動！私は手札を2枚まで捨て、デッキから『インフェルニティ』モンスターを捨てた枚数だけ墓地に送る……手札を1枚捨てて、デッキからは『インフェルニティ・ポーン』を墓地に送る！」

更に永続罠『絶望の手札演算』を発動！私が手札のカードを捨てる・墓地に送る度に相手は同数だけドロしななければいけない！1枚捨てた！」

「ええ!?ド、ドロするよ……（そうか……『ディスプレイ・ユニコーン』の墓地効果で『セクトル』を効果破壊しよう……あれ?でも、あのカードの効果は自分よりも攻撃力が高いモンスターじゃなきゃダメだったよな……ならまだ安心だな）」

萃香&勇儀 手札1

・モンスターゾーン

『剣闘獣セクトル』DEF300

『恐牙狼ダイヤウルフ』ORU1 ATK2000

・魔法・罠ゾーン

『剣闘獣の雄心』

『剣闘獣の勲傷』

『炎舞―「天キ」』

伏せ1

「私のターン！」

「この瞬間、墓地の『インフェルニティ・ポーン』の効果を発動！こいつが墓地にいる限り、俺達のドローフェイズ時に通常ドローは行えない！」

『な、なんだとくくく!?み、自らドローカードを封印したー！ー！一体、何を考えているんだー！』

「……スタンバイフェイズ時に『蒼眼の銀龍』の効果……つていきいたところだけど、私たちの墓地には通常モンスターはいない……でも手札は4枚……ま、やるだけやりますか……『暗黒界の取引』。お互いにカードを1枚ドローして1枚捨てる。じゃあ、永続罫『絶望の手札演算』の効果であんたはカードを1枚ドローしなさい」

「わ、わかった」

「じゃあ、もう1枚『暗黒界の取引』を発動！」

「ええ!?1枚ドローして、1枚捨てて、もっかい1枚ドローする……よ」

「カードを1枚伏せて、そしてこれで私の手札は1枚……」

「一体これでどうするつもりだい……?」

「通常ドローを封印されるのはタッグである私も予想外だったわ……だけど……魔法カード『命削りの宝札』を発動するには十分だわ！」

『命削りの宝札』は手札を3枚になるようにドローできるカード！

『インフェルニティ・ポーン』はあくまで通常ドローしか封印できない……」

「よって、3枚ドロー！そしてこのターン、相手はダメージを受けず、私はモンスターを特殊召喚することもできず、エンドフェイズ時に自分の手札を全て捨てることになる……けれど！バトルよ！『青眼の白

龍』で『セクトル』を攻撃！『滅びの爆裂疾風弾』！この瞬間に墓地の『デイスペアー・ユニコーン』の効果を発動！」

「ば、馬鹿な！そのカードの効果は自分よりも攻撃力が高いモンスターに攻撃した時しか発動できないはずだ！」

「ええ、そうよ……『青眼の白龍』の攻撃力は……0だもの！」
「なっ！」

……
萃香は霊夢の場から発動されたトラップカードを見た。それは

「そっちも『アルケミー・サイクル』のコンボか……！」

「そうよ！お互いのモンスターは破壊され、300ポイントのダメージを受ける！」

「でも、私は『命削りの宝札』のデメリットによりダメージを受けないよ！」

嵯峨&霊夢 LP7700↓7400

「メインフェイズ2にカードを1枚伏せて、ターンエンド！この時、『命削りの宝札』の効果で2枚捨てる……じゃあ、永続トラップ『絶望の手札演算』の効果で2枚ドロしなさい！」
「お、おう……ドローするよ」

嵯峨&霊夢 手札0

・モンスターゾーン

『蒼眼の銀龍』DEF3000

セットモンスターDEF???

・魔法・罨ゾーン

『絶望の手札演算』

「私のターン！何を考えているか知らないが、私の『剣闘獣』の攻撃を耐えられるかな！『ダイヤウルフ』の効果を発動！対象は『ダイヤウルフ』とセットモンスターだ！」

『ダイヤウルフ』ORU2↓1

「くっ！『シフトチェンジ』！『蒼眼の銀龍』に対象を移すわ！」

「更に魔法カード『グラディアル・リターン』を発動！墓地の『ホプロムス』、『セクトル』、『バストロウリイ』の3体の『剣闘獣』をデッキに戻し、デッキからカードを1枚ドロロー！リバーズカードオープン！永続魔法『炎舞ー「揺光」』！手札の獣戦士族『剣闘獣アンダル』を墓地に送り、『絶望の手札演算』を破壊する！」

「相手が手札のカードを捨てた・墓地に送った時に『絶望の手札演算』の効果が発動！このカードが発動して手札を捨てた・墓地に送った枚数だけドロローできる！私と嗟嗟を合わせて5枚なので、5枚ドロロー！その後、このカードを墓地に送る！」

「……でも遅いね！手札から魔法カード『スレイブ・フュージョン』を発動！」

『スレイブ』って……『スレイブタイガー』とか『スレイブエイプ』とかの融合!?あいつら融合できんの!?え、ちよつと、なんだか興奮する……ただのサブじやなくなるんだあいつら……

「手札の『スレイブタイガー』と『スレイブエイプ』を墓地に送り融合モンスターの召喚条件を無視して、融合召喚できる！」

……あれれ？召喚条件を無視？なんだか雲行きが怪しくなってきたよ

「融合召喚！現れよ！『グラフィアルビースト・ティーマ剣闘獣総監エーデイトル』！」

『剣闘獣総監エーデイトル』DEF2400

ザツケンナ！やつぱり剣闘獣じゃないか！なんで、なんでこんなに慈悲がないんだよ。『スレイブ〇〇』でよかったじゃんか！ネーミングどうにかしろ！かっこいいかもしれないぞ！なんだ「レベル5以上の剣闘獣2体」って『スレイブ』関係ないだろいい加減にしろ！

「『エーデイトル』の効果を発動！1ターンに1度、エクストラデッキの『剣闘獣』を召喚条件を無視して特殊召喚する！出でよ！『剣闘獣アンダバタエ』！」

『剣闘獣アンダバタエ』ATK1000

また新規かよお！

「『アンダバタエ』の効果を発動！このカードが特殊召喚に成功した場合、エクストラデッキから『剣闘獣』モンスターを召喚条件を無視して特殊召喚する！」

……は？待て待てそれだったらループしてんじゃないの！

「どうやら分かったようだね……現れよ2体目の『エーデイトル』！」

『剣闘獣総監エーデイトル』ATK2400

「2体目の『エーデイトル』の効果を発動！2体目の『アンダバタエ』を特殊召喚する！」

『剣闘獣アンダバタエ』 ATK1000

「2体目の『アンダバタエ』の効果で3体目の『エーデイトル』を特殊召喚する！」

『剣闘獣総監エーデイトル』 ATK2400

「どんだけ総監いるんだよ、多すぎだろ……！」

『『エーデイトル』の効果を発動！』

「まだあんの!?!」

「場に『剣闘獣』が2体以上存在する場合、フィールドのモンスターを破壊し、そのカードのコントローラーはそのモンスターの攻撃力分のダメージを受ける！対象はセットモンスター！」

「……」

「嗟哦のセットモンスターは破壊される。だが、表側表示ではないのでダメージはない。」

「バトルだ！『エーデイトル』でダイレクトアタック！」

『『エーデイトル』は思いっきり雷を帯びた鞭を振り回し、それはターンプレイヤーである霊夢ではなく、嗟哦へと鞭を振り下ろす……』

「嗟哦！」

「……」

嗟哦&霊夢 LP7400↓5000

「『アンダバタエ』でダイレクトアタック！」
「……」

嵯峨&霊夢 LP5000↓4000

「『エーデイトル』でダイレクトアタック！」
「……トランプ発動！『バーストリバース』。ライフを2000
払い、墓地のモンスターを裏守備表示で特殊召喚するわ！」
「なっ」

嵯峨&霊夢 LP4000↓2000

セットモンスターDEF???

「でも、バトルは続く！『エーデイトル』でセットモンスターを攻撃！」
「セットモンスターは……」

カードの裏側のまま破壊されたモンスターはその破片が集まって
その姿を現す。

「……『メタモルポット』？……なんで、『蒼眼の銀龍』なら……」

そう、『蒼眼の銀龍』ならば確かに『エーデイトル』の攻撃だけでな
く、後続のモンスターの攻撃も防げた。

『メタモルポット』の効果にチェインして、『準備不足の絶望』を発動
！手札のカードを好きな枚数、除外してこのターン、受けるダメージ

を除外した枚数だけ0にできる！と言っても除外できるカードの手札の上限は3枚……よって、3枚を除外したわ！」

「くっ……『アンダバタエ』の効果で特殊召喚されたさっきの『エーデイトル』はエクストラデッキに戻り、『アンダバタエ』の攻撃力はこのターンまで『エーデイトル』の攻撃力分、アップする！」

『剣闘獣アンダバタエ』 ATK1000↓3400

『剣闘獣アンダバタエ』 ATK1000↓3400

「どうせダメージがないのなら思いっきり戦闘を行ってやろうじゃないか！『アンダバタエ』と『エーデイトル』でダイレクトアタック！」

「無駄無駄！」

『『エーデイトル』はエクストラデッキに戻るよ！そして『アンダバタエ』の効果発動！』

『剣闘獣アンダバタエ』 ATK3400↓5800

『剣闘獣アンダバタエ』 ATK3400↓5800

「バトルフェイズ終了時に2体の『アンダバタエ』と『エーデイトル』の効果が発動！この3体をエクストラデッキに戻し、デッキから『剣闘獣』を特殊召喚する！『アンダバタエ』は2体ずつ、『エーデイトル』は1体だ！来い！『剣闘獣ホプロムス』！『剣闘獣セクトル』！『剣闘獣ラクエル』！『剣闘獣ベストロウリイ』！『剣闘獣エクイテ』！」

『剣闘獣ホプロムス』 DEF2100↓2400

『剣闘獣セクトル』 DEF300

『剣闘獣ラクエル』 DEF400

『剣闘獣ベストロウリイ』 DEF800

『剣闘獣エクイテ』 DEF1200

『『エクイテ』の効果で墓地の『剣闘獣ダリウス』を手札に戻す！カードを1枚伏せて、ターンエンド！』

萃香&勇儀 手札4

・モンスターゾーン

『剣闘獣ホプロムス』DEF2100

『剣闘獣セクトル』DEF300

『剣闘獣ラクエル』DEF400

『剣闘獣ベストロウリイ』DEF800

『剣闘獣エクイテ』DEF1200

・魔法・罫ゾーン

『剣闘獣の雄心』

『剣闘獣の勲傷』

『炎舞―「天キ」』

『炎舞―「揺光」』

伏せ！

「私のターン、『インフェルニティ・ポーン』の効果により、ドローはできない……が！『準備不足の絶望』の効果で除外していたカードは次のターンに戻ってくる！よって、私の手札は3枚！魔法カード『儀式の下準備』発動！デッキから儀式魔法『闇の支配者との契約』と『闇の支配者ゾーク』を選択して手札に加える！」

「そのカードは！」

「ヒヤハハハ！『ゾーク』の復活だア！……なんてな。私は『闇の支配者との契約』を発動！手札の『白き靈龍』をリリースして、手札から『闇の支配者ゾーク』を儀式召喚！」

『闇の支配者ゾーク』ATK2700

「『ゾーク』の効果を発動！サイコロを1つ振り、出た目によって、効果が変わる！『洗脳^{マインド}ダイス』！」

コロコロと転がっていくサイコロの目は……1で止まる。

「ヒヤハハハ！クリティカルだ！相手フィールドのモンスターを全て破壊する！『ゾーク・インフェルノ』！」

「そんな……！」

だが……相手フィールドのモンスターは全滅しても、伏せカードがまだある……いや、ここは臆さず攻める！

「『デイスペアー・メーカー』を召喚！」

『デイスペアー・メーカー』 ATK500

「『デイスペアー・メーカー』の効果を発動！1ターンに1度、デッキの魔法カードを1枚墓地に送り、このカードをチューナーモンスターとして扱う！」

「チューナーモンスターだって!?まさか『ゾーク』と?！」

「いやいや、今墓地に送った『絶望の渴望』の効果を発動！このカードを除外し、デッキから自分のライフポイントと同じ攻撃力を持つレベル4の『デイスペアー』モンスターを守備表示で特殊召喚する！来い！『デイスペアー・ストーカー』！」

『デイスペアー・ストーカー』 DEF0

「レベル4『デイスペアー・ストーカー』にレベル4の『デイスペアー・メーカー』をチューニング！意図せず集う絶望たちよ、宇宙そらに願ひ、8つの星を結ぶ付け！激情のままにその姿形を龍へと昇華し、堕ちてこい！シンクロ召喚！レベル8！『デイスペアーアイズ・アングリー・ドラゴン』！」

『デイスペアーアイズ・アングリー・ドラゴン』 ATK3000

「バトルだ！『アングリー・ドラゴン』でダイレクトアタック！『怒りの連鎖 アングリーバースト』！この瞬間、『アングリー・ドラゴン』の効果で相手はデッキの上からカードを3枚墓地におくらなければいけない！」

「くっ、うわああ！」

萃香&勇儀 LP6400↓3400

「更に『ゾーク』でダイレクトアタック！『ゾーク・インフェルノ』！」「ぐうう！」

萃香&勇儀 LP3400↓700

「ターンエンドだ」

嵯峨&霊夢 手札0

・モンスターゾーン

『デイスペアーアイズ・アングリー・ドラゴン』 ATK3000

『闇の支配者ゾーク』 ATK2700

・魔法・罫ゾーン

なし

「私のターン……ドロー！リバースカード『マジック・プランター』！フィールドの『剣闘獣の勲傷』を墓地に送り、デッキからカードを2枚ドローする！」

……なんだ。様子が……

「バリアンズカオスドロー！」

な、まさか……！

来るのか！

「私が引いたカードは『R U M—七星の剣』！このカードを発動し、エクストラデッキ・墓地から『N o. 106 巨岩掌ジャイアント・ハンド』を特殊召喚し、それを素材にランクが1つ高いC N o. エクシーズモンスターへとランクアップできる！」

『N o. 106 巨岩掌ジャイアント・ハンド』ORUO ATK2000

「私は『ジャイアント・ハンド』1体でオーバーレイ！1体のモンスターでオーバーレイネットワークを再構築！カオスエクシーズチェンジ！現れよ『C N o. 106』！全てを握りつぶす巨大な手のひらよ、灼熱の熱さで全てを溶かし潰せ！『溶岩掌ジャイアント・ハンド・レッド』！」

『溶岩掌ジャイアント・ハンド・レッド』CORUI ATK2600

『何ということだー！萃香選手！エクシーズモンスターのランクを上げて、進化させたぞ——！』

アニメ効果TUEE！

「くっ！だが、効果は強大でも攻撃力が足りねえぜ！」

「そんなこともさ！魔法カード『ジエネレーション・フォース』を発動

！自分フィールドにエクシーズモンスターが存在する場合、デッキから『エクシーズ』カードを手札に加える……私が手札に加えるのは……『エクシーズ・ユニット』！このカードを『ジャイアント・ハンド・レッド』に装備！ランク×200ポイント攻撃力をアップさせるよ！」

『CNo. 106 巨岩掌ジャイアント・ハンド・レッド』 ATK 260
0↓3600

「攻撃力3600……！」

「バトルだ！『ジャイアント・ハンド・レッド』で『闇の支配者ゾーク』を攻撃！万死紅掌ばんしこうしよう！」

「……っ！墓地の『ディスプレイ・メーカー』の効果を発動！レベル8以上のモンスターがバトルする場合にこのカードを除外して発動できる！この戦闘で受けるダメージを倍にする代わり、次のターンにデッキから2枚、ドローできる！ぐっ！わああああ！」

嵯峨&霊夢 LP 2000↓200

「大丈夫嵯峨!？」

「ああ……それより、次のターンだ……！」

「……どうやら仕掛けてくる気だね。ならこちらも全力で立ち向かうまで！速攻魔法『非常食』！『剣闘獣の雄心』、『炎舞―「天キ」』、『炎舞―「揺光」』の3枚のカードを墓地に送り、3000ポイント、ライフを回復させる！」

萃香&勇儀 LP 400↓3400

「……カードを2枚セット！さあ、来な！これでターンエンドだ！」

萃香&勇儀 手札3

・モンスターゾーン

『CNo. 106 溶岩掌ジャイアント・ハンド・レッド』COR

U1 ATK3600

・魔法・罨ゾーン

『エクシーズ・ユニット』（『ジャイアント・ハンド・レッド』対象）

伏せ2

「私のターン！この瞬間に『インフェルニティ・ポーン』の効果を発動！ドローは封じられるが、スタンバイフェイズ時に『デイスペアー・メーカー』の効果で2枚ドロー！来たわ！魔法カード『死者蘇生』！墓地の『デイスペアーアイズ・クレイジー・ドラゴン』を特殊召喚するわ！」

「無駄だね！『ジャイアント・ハンド・レッド』の効果を発動！COR Uを1つ取り除き、フィールドのこのカード以外のカード効果をエンドフェイズ時まで無効にする！」

『CNo. 106 溶岩掌ジャイアント・ハンド・レッド』ATK360

0↓2600

「いえ、無駄なんかないわ！『ジャイアント・ハンド・レッド』の効果は自分フィールドにも効果が及ぶ！つまり『エクシーズ・ユニット』の効果が無効になって、攻撃力が下がったわ！」

「でも、『デイスペアーアイズ・アングリー・ドラゴン』だけじゃ、私たちのライフは削れない……」

「そのための一手よ！魔法カード『魔法石の採掘』！手札を2枚捨て、墓地の『死者蘇生』を手札に戻すわ！『埋葬呪文の宝札』を発動！墓

地の『死者転生』、『魔法石の採掘』、『龍の鏡』ドラゴンズ・ミラーを除外して、2枚ドロ―！そしてお待ちかねの『死者蘇生』を発動！今度こそ『デイスペア―アイズ・クレイジー・ドラゴン』を特殊召喚するわ！

『デイスペア―アイズ・クレイジー・ドラゴン』ATK3000

「『デイスペア―アイズ・クレイジー・ドラゴン』のモンスター効果を発動！『デイスペア―ハウリング』！」

「まさか自爆する気かい？」

「そんなわけではないでしょ、速攻魔法『デイスペア―ハウリング』！『デイスペア―アイズ』モンスターの攻撃力よりも低い効果ダメージが発生した場合、私がそのダメージを受ける代わりにあんたたちが受ける！」

「トラップ発動！『ライジング・エナジー』！手札を1枚捨てて、『ジャイアント・ハンド・レッド』の攻撃力を1500ポイントアップさせる！くっ！」

『CNo. 106 溶岩掌ジャイアント・ハンド・レッド』ATK2600
0↓4100

萃香&勇儀 LP3400↓1900

「バトルよ！『デイスペア―アイズ・アングリー・ドラゴン』で『ジャイアント・ハンド・レッド』を攻撃！『怒りの連鎖 アングリーバースト』！」

「馬鹿な……攻撃力が低いモンスターで攻撃するだって……？一体何を……」

「速攻魔法『絶望の錯乱』！墓地の『絶望』魔法・罫カードを全て除外し、発動する！この効果で除外したカードが10枚を超えている場

合、相手のセットされている魔法・罨ゾーンのカードを強制発動させる！」

「なっ……ち、発動せよ！『バイス・ハンド』！自分フィールドに『ハンド』モンスターがいる時に相手モンスターの攻撃宣言時に発動でき、攻撃を無効にした後、このターンの攻撃をもう一度、無効にする！更に1度めの攻撃を無効にした際、そのモンスターの攻撃力分のダメージを相手に与える！」

「墓地から『デイスペアー・ゲットアップ』の効果が発動！自分ライフが1000ポイント以下の時にこのカードを除外して、発動！相手からの効果ダメージを0にする！更に追撃よ！『デイスペアー・アイズ・クレイジー・ドラゴン』で『ジャイアント・ハンド・レット』を攻撃！『デイスペアーバースト』」

「くっ！『バイス・ハンド』の効果で無効に……！」

「来た！速攻魔法『ダブル・アップ・チャンス』！モンスターの攻撃が無効となった時、そのモンスターの攻撃力を倍にし、もう1度バトルを行う！」

「何だっ!?」

『デイスペアー・アイズ・クレイジー・ドラゴン』 ATK3000↓6000

「こ、攻撃力6000！」

「『デイスペアー・アイズ・クレイジー・ドラゴン』の攻撃！『セカンド・デイスペアーバースト』！」

「うわああ！」

萃香&勇儀

LP1900→0

18. 「三回戦！駆ける虹！羽ばたけ黒羽！上」

二日目だぞー！

おつす！嗟峨だ……いやあ、霊夢さんがまさか朝シャワー派だとはつい知らず、寝ぼけ眼で風呂場に行ったら目と目が合ってしまった、死にかけてたぜ。そのため、霊夢は先に観客席に行っちゃったぜ☆後で謝っておこう。

「しかし、霊夢のピンタは効いたぜ……まだ腫れているよ……ん？」

なんだ？角に誰かが話し合っている？気になるな……盗み聞きしよう。

「おいおい、私たちの出番まだかよー。まだ眠いから寝ていいか？」

そう言っているのは鬼人正邪。天邪鬼で性格が悪すぎる。多分、ゲス顔とおんなじくらい。いや、話を聞けない頑固な性格でもあるので、ゲス顔よりもたち悪いかも……

「……そうも言っていられない。いつか対戦する時に必要な情報だ。勝者を見極め、対策しなければいけない」

そう言ったのは……誰？黒いローブを被って、顔が分からない。

「それはお前がやっておけよ。私は眠い」

「……なら、お前は一生寝てろ」

ポカッと、ローブの男が正邪の頭に拳骨をかます。

「ったー！あーはいはい。わかったわかりましたよーだ！行けばい

いんだろ！」

ふてくされた正邪は黒いローブの男と一緒に観客席へと移動した。

「……………何者だ？」

嵯峨はその男を不思議に思ったが、司会の声が聞こえてきて、こうしてはいられないと急いで霊夢を探しに観客席へと移動した。

『さあ、いよいよ始まるぞー！Bブロック第一回戦！蓬萊山 輝夜 & 八意 永琳チームVS射命丸 文&姫海棠 はたてチームの対決だー！』

「「「うおおおおおおお！！」」」

「あやや！これはこれは！NET同士の戦いですか！」

「働きたくないでござるー！」

「輝夜……………まあ、私たちが勝手に始めておきましょうか、鴉天狗」

「どうも永琳さん！清く正しい射命丸文です！是非、文と呼んでくださいー！」

「ふふふ……………似た者同士のデュエルというのは初めてよ文」

「私ですよ、お互い、パートナー運がないですね。ほら、行きますよはたてー！」

「私たちも行きましょう輝夜」

「ええ」

「息ピッタシね（ですね）。さてと、」

「「「デュエル！」」」

ターン順

輝夜↓はたて↓永琳↓文

蓬莱山 輝夜&八意 永琳 LP8000

射命丸 文&姫海棠 はたて LP8000

先行は輝夜。

「先行は私よ。私は永続魔法『宝玉の樹』を発動！」

「これは……輝夜さんの」

「そう『蓬莱の玉の枝』によく似ているでしょ？ま、それは置いといて、

私は『宝玉獣サファイア・ペガサス』を召喚！」

『ヒヒーン!!』

『宝玉獣サファイア・ペガサス』 ATK1800

「『サファイア・ペガサス』の効果、『サファイアコーリング』の効果が発動！このカードが召喚に成功した時、デッキから『宝玉獣』1体を永続魔法扱いで置くことができる！」

「モンスターを永続魔法にするですって!？」

「現れなさい！『宝玉獣コバルト・イーグル』！」

現れたのは宝玉。そして、宝玉が置かれた瞬間、宝玉の樹の実が光りだす。

「更に『宝玉の樹』の効果も発動！『宝玉獣』が『宝玉』として魔法・

罨カードゾーンに置かれる度にこのカードにジェムカウンターを1つ乗せる」

『宝玉の樹』ジェムカウンター×0↓1

「そしてカードを2枚伏せて、ターンエンドよ」

輝夜&永琳 手札1

・モンスターゾーン

『宝玉獣サファイア・ペガサス』ATK1800

・魔法・罨ゾーン

『宝玉獣コバルト・イーグル』（永続魔法扱い）

『宝玉の樹』ジェムカウンター×1

伏せ2

「私のターンね、ドロー！」

「はたて、ここは一気に行ってしましましょう！」

「そんな無茶なこと言わないでよ文。私のデッキはワンクッション必要なのよ！私は『RRーバナシング・レイニアス』を召喚！」

『RRーバナシング・レイニアス』ATK1300

「『バナシング・レイニアス』の効果を発動！このカードが召喚に成功したターンに手札のレベル4以下の『RR』を特殊召喚する！私は『RRートリビュート・レイニアス』を特殊召喚！」

『RRートリビュート・レイニアス』ATK1800

「『トリビュート・レイニアス』の効果！このカードが召喚に成功したターンにデッキから『RR』カードを墓地に送る！私は『RRーミニクリー・レイニアス』を墓地に送り、今、墓地に送った『ミニクリー』

の効果を発動！このカードが墓地に送られたターンに除外することで、デッキから『RR』カードを手札に加えられるわ！私は永続魔法『RR―ネスト』を手札に加え、これが発動！自分フィールドの『RR』モンスターが2体以上が存在する場合、デッキ・墓地から『RR』モンスターを手札に加えられる！2体目の『バニシング・レイニアス』を手札に加える。そして2体のモンスターでオーバーレイ！黒き翼の鳥が敵の策略を見抜く眼力で真実を掴みとる！エクシーズ召喚！リンク4！『RR―フォース・ストリクス』！」

『RR―フォース・ストリクス』ORU2 DEF2000

「『RR―フォース・ストリクス』の効果！ORUを1つ取り除き、効果を発動！」

『RR―フォース・ストリクス』ORU2↓1

「デッキから鳥獣族・闇属性・レベル4モンスターを手札に加えられる！私は『RR―ファジー・レイニアス』を手札に加える。そしてこのカードは場に『ファジー・レイニアス』以外の『RR』が存在する場合に特殊召喚できる！」

『RR―ファジー・レイニアス』DEF1500

「更に自分フィールドにエクシーズモンスターが存在する場合、手札から『RR―シッキング・レイニアス』を特殊召喚する！」

『RR―シッキング・レイニアス』DEF100

「そして『ファジー』と『シッキング』でオーバーレイ！エクシーズ召喚！現れよ2体目！『RR―フォース・ストリクス』！」

『RRーフォース・ストリクス』ORU2 DEF2000

「まさかの2体目……中々やるわね」

「まだまだ！『RRーフォース・ストリクス』は自分フィールドの他の鳥獣族モンスターの数×500ポイント、攻撃力守備力をアップする！」

『RRーフォース・ストリクス』DEF2000↓2500

『RRーフォース・ストリクス』DEF2000↓2500

「2体目の『RRーフォース・ストリクス』の効果でORUを1つ取り除き、効果を発動！」

『RRーフォース・ストリクス』ORU2↓1

「3体目の『RRーバニシング・レイニアス』を手札に加える。更にORUとして墓地へ送られた『RRーファジー・レイニアス』の効果が発動！デッキから同名モンスターを手札に加える。私はカードを2枚伏せて、ターンエンド」

文&はたて 手札3

・モンスターゾーン

『RRーフォース・ストリクス』ORU1 DEF2500

『RRーフォース・ストリクス』ORU1 DEF2500

・魔法・罨ゾーン

『RRーネスト』

伏せ2

「では、私のターン、ドロー。手札から魔法カード『融合』を発動。私は手札の『月光蒼猫』と『月光紫蝶』で融合！蒼き闇を

徘徊する猫よ、紫の毒持つ蝶よ！月の引力により渦巻きて、新たなる力と生まれ変わらん！融合召喚！現れ出でよ！月明かりに舞い踊る美しき野獣！『月光舞猫姫』！』

ムーンライト・キャット・ダンサー
『月光舞猫姫』ATK2400

「いきなり融合モンスターね……でも2体の『RRーフォース・ストリクス』の守備力は2500！そのモンスターじゃあ突破できないわよ」

「ええ。このモンスターではね。私は更に『融合回収』フュージョン・リカバリーを発動。墓地の『融合』の魔法カードと、『月光紫蝶』を手札に加えて、再び『融合』発動！フィールドの『月光舞猫姫』と手札の『月光紫蝶』を融合！紫の毒持つ蝶よ、月明かりに舞い踊る美しき野獣よ！月の引力により渦巻きて、新たなる力と生まれ変わらん！融合召喚！現れ出でよ！月光の原野で舞い踊る、しなやかなる野獣！『月光舞豹姫』！』

ムーンライト・パンサー・ダンサー
『月光舞豹姫』ATK2800

『月光舞豹姫』の効果を発動！このターン、相手フィールドのモンスターは全て1度戦闘破壊されない！』
『おおーっとおお！?!これはどういうことだ！わざわざ相手モンスターに戦闘破壊耐性を付与させたぞー！』

嗟峨&霊夢 side

「ねえ、嗟峨。あれは……?」

「あ、ああ……（なんとか仲直りできてよかった）『月光舞豹姫』はあの効果を使用した場合、相手フィールドのモンスター全てに2度攻撃を行えるのさ」

「そうか、攻撃回数を増やす能力というわけね……でも、それに何の意

味が……?」

「これなら、2体の『フォース・ストリクス』をどつちも処理できる。ついでに言うとおの効果を使用したバトルフェイズの間だけ戦闘破壊する度に攻撃力を200ポイントアップできるからな……そして奴は相手カードの効果では破壊されない」

「なるほど、厄介ね……」

輝夜&永琳、文&はたて side

「バトル! 『月光舞豹姫』で『RRーフォース・ストリクス』を攻撃!」

「でも、貴方のカードの効果で1度、戦闘では破壊されないわ!」

「そうね。でも無駄よ、『月光舞豹姫』は相手モンスター全てに2回ずつ攻撃することができる!これで確実に2体とも倒すことができるわ!2度目の攻撃!」

「くっ!」

「……そして『サファイア・ペガサス』でダイレクトアタック!」

文&はたて LP8000↓6200

「ふむ……私はメインフェイズ2に入り、カードを1枚伏せて、ターンエンドよ」

輝夜&永琳 手札1

・モンスターゾーン

『月光舞豹姫』 ATK2800

『宝玉獣サファイア・ペガサス』 ATK1800

・魔法・罨ゾーン

『宝玉獣コバルト・イーグル』（永続魔法扱い）

『宝玉の樹』ジエムカウンター×1

伏せ3

「私のターンです。ドロロー！私は魔法カード『ワン・フォー・ワン』を発動します！手札の『BF―上弦のピナーカ』を墓地に送り、デッキから『BF―蒼天のジェット』を特殊召喚！」

『BF―蒼天のジェット』DEF800

「そして永続魔法『黒い旋風』を2枚発動。そして『BF―極北のブリザード』を召喚し、効果を発動！更に2枚の永続魔法『黒い旋風』の効果も発動します！」

『BF―極北のブリザード』ATK1300

「まず、2枚の『黒い旋風』の効果で召喚した『ブリザード』の攻撃力未満の『BF』をデッキからサーチできます。私は『BF―砂塵のハルマッタン』と『BF―突風のオロシ』を手札に加えます。そして『ブリザード』の効果で墓地のレベル4以下の『BF―上弦のピナーカ』を特殊召喚！」

『BF―上弦のピナーカ』DEF1000

「そしてきつき手札に加えた『ハルマッタン』と『オロシ』はそれぞれ場に『BF』が存在する場合、特殊召喚することができます！」

『BF―砂塵のハルマッタン』DEF800

『BF―突風のオロシ』DEF600

「一気にフィールドにモンスターが五体に……！」

「そして『ハルマッタン』の効果で場の他の『BF』1体のレベル分、

このカードのレベルを上げることができます。私は『ブリザード』のレベル分、アップさせます」

『BF―砂塵のハルマッタン』☆2↓4

「そして、レベル4になった『砂塵のハルマッタン』にレベル2の『極北のブリザード』をチューニング！自由に羽ばたく鳥よ、今星の影をその翼に映し、勝利の風を我が元に！シンクロ召喚！来たれ！レベル6『BF―星影のノートウング』！」

『BF―星影のノートウング』 ATK2400

「このカードの特殊召喚に成功したので、効果発動！相手に800ポイントのダメージを与える！その後、相手モンスターの攻撃力を800ポイント下げます！対象はとりません！」

「なんですつて？……くっ！」

輝夜&永琳 LP8000↓7200

『月光舞豹姫』 ATK2800↓2000

「まだまだですよ！私は『ノートウング』の効果で更に『BF』の召喚権を1度得ます！私は『BF―残夜のクリス』を召喚！」

『BF―残夜のクリス』 ATK1900

「そして再び『黒い旋風』の効果で『BF―蒼炎のシユラ』と『BF―月影のカルート』を手札に加えます。そしてレベル4の『BF―残夜のクリス』にレベル3の『上弦のピナーカ』をチューニング！雷鳴と

共に走る黒き翼！勝利の風に雷の斬撃を乗せて現れよ！シンクロ召喚！レベル7『A B F―驟雨のライキリ』！」

『A B F―驟雨のライキリ』ATK2600

『『ライキリ』の効果！フィールドのこのカード以外の『B F』の数だけ相手フィールドのカードを破壊できます！』

「させないわ。罨カード『スキル・プリズナー』を発動。『ライキリ』の効果は無効よ」

「くっ……！ならレベル1の『蒼天のジェット』にレベル1の『突風のオロシ』をチューニング！愚かに飛ぶ黒き翼、2つに交じり合いて、勝利の風を吹き荒せ！シンクロ召喚！レベル2！『A B F―雨隠れのサヨ』！」

『A B F―雨隠れのサヨ』DEF100

「バトルです！『ノートウング』で『サファイア・ペガサス』を攻撃！」「受ける」

輝夜&永琳 LP7200↓6600

「でも、『サファイア・ペガサス』は私たちの魔法・罨カードゾーンに永続魔法扱いで置くことができる。そして『宝玉の樹』にカウンターが乗る」

『宝玉の樹』ジェムカウンター×1↓2

「そして『ライキリ』で『月光舞豹姫』を攻撃！」
「それも受ける」

輝夜&永琳 LP6600↓6000

「私はエンドフェイズ時にフィールドから墓地に送っていた『ピナールカ』の効果でデッキから『BF―追い風のアリゼ』を手札に加えて、ターンエンドです」

文&はたて 手札3

・モンスターゾーン

『ABF―驟雨のライキリ』ATK2600

『BF―星影のノートウング』ATK2400

『ABF―雨隠れのサヨ』DEF100

・魔法・罠ゾーン

『黒い旋風』

『黒い旋風』

『RR―ネスト』

伏せ2

「私のターン、ドロロー。リバースマジック『ダブル・サイクロン』。私のセットカードと『RR―ネスト』を破壊する」
「……！」

「そして破壊された『宝玉の解放』の効果を発動！デッキから『宝玉獣』を永續魔法扱いで私のフィールドに置くことができる。私は『宝玉獣アメジスト・キャット』を置き、更に『宝玉の樹』にカウンターが乗る」

『宝玉の樹』ジェムカウンター×2↓3

「そして魔法カード『レア・ヴァリユール』を発動！私のフィールドに永続魔法扱いの『宝玉獣』が2枚以上存在する場合、相手はその中から1枚『宝玉獣』を選んで墓地に送り、私はデッキから2枚ドロウする」
「……私は『サファイア・ペガサス』を選びます」
「ええ、なら『サファイア・ペガサス』を墓地に送り、2枚ドロウ！フィールド魔法『虹の古代都市・レインボー・ルイン』発動！このカードは私のフィールドの永続魔法扱いの『宝玉獣』の数だけ効果が増幅するカードよ！」

「な、なんですって!?!」

「まず、1枚以上の場合、このカードはカード効果で破壊されない。そして2枚以上の場合は私が受ける戦闘ダメージを1ターンに1度半分にできる。今、この2つの能力が発動中よ。でもそれだけじゃ終わらない！私は永続魔法『宝玉の樹』の効果を発動！このカードを墓地に送り、乗っていたジェムカウンターの数だけデッキから『宝玉獣』を永続魔法扱いで私のフィールドに置ける！私は『宝玉獣ルビー・カーバンクル』、『宝玉獣エメラルド・タートル』、『宝玉獣アンバー・マンモス』を置くわ！」

「一気に5つの宝玉を……!?!」

「そして『レインボー・ルイン』の効果も追加されるわ！まず3枚以上の場合、モンスターゾーンの『宝玉獣』を墓地に送ることで魔法・罫を発動を無効にして、破壊できる！そして4枚以上の場合、デッキからカードを1枚ドロウできる！そして5枚以上の場合、永続魔法扱いの『宝玉獣』を1体特殊召喚できるわ！」

「5つもの効果を持ったフィールド魔法……!?!」

「まず、4枚以上の効果を発動して1枚ドロウ！そして5枚以上の効果で宝玉を解放させる！『宝玉獣アンバー・マンモス』を特殊召喚！」

『宝玉獣アンバー・マンモス』 ATK1700

「そして『宝玉の氾濫』を発動！永続魔法扱いの『宝玉獣』を4枚墓地

に送り、発動できるわ。フィールドの全てのカードを墓地に送る！」
「な、なんですって!?!」

「フフフ……これで終わりね」

「そ、そうはいきません! 『リビングデッドの呼び声』をチェインして発動! 墓地の『ピナーカ』を特殊召喚します!」

『BF—上弦のピナーカ』 ATK1200

「……そうか! 『ピナーカ』は確か、フィールドから墓地に送られて効果を発動できるモンスターだったわね」

「これでエンドフェイズにデツキから『BF』を手札に加えられます!」

「でも、こちらの方が展開は早いわ! 『宝玉の氾濫』の更なる効果! 墓地に送った相手カードの数だけ墓地の『宝玉獣』を特殊召喚できるわ! 皆来なさい!」

『宝玉獣サファイア・ペガサス』 ATK1800

『宝玉獣アンバー・マンモス』 ATK1700

『宝玉獣コバルト・イーグル』 ATK1400

『宝玉獣アメジスト・キャット』 ATK1200

『宝玉獣エメラルド・タートル』 ATK600

「これは……!」

「フフフ……まずは『サファイア・ペガサス』の効果でデツキから最後の宝玉……『宝玉獣トパーズ・タイガー』を永続魔法扱いで私のフィールドに置く。さて、『宝玉獣』達の攻撃力の合計は6700。あなた達のライフは6200……どうやらこれで終わりのようね……行きなさい! 『宝玉獣』たちよ!」

その攻撃に文とはたては……

「そうはいきません！」

「ええ、そうよ！私は墓地から罫カード『RRーレディネス』を発動！墓地にこのカード以外の『RR』カードがある場合、このカードを除外することで、このターン、私たちが受ける全てのダメージは0になる！」

宝玉獣たちの突進攻撃は文とはたての二人の前に現れたバリアに弾かれる。

「防がれたか……でも、『宝玉獣エメラルド・タートル』は攻撃をし終わったら守備表示に変更できる……」

『宝玉獣エメラルド・タートル』 ATK600↓DEF2000

「私はこれでターンエンド」

「エンドフェイズ時に『ピナーカ』の効果で『BFー大旗のヴァーユ』を手札に加えます」

輝夜&永琳 手札1

・モンスターゾーン

『宝玉獣サファイア・ペガサス』 ATK1800

『宝玉獣アンバー・マンモス』 ATK1700

『宝玉獣コバルト・イーグル』 ATK1400

『宝玉獣アメジスト・キャット』 ATK1200

『宝玉獣エメラルド・タートル』 DEF2000

・魔法・罫ゾーン

『宝玉獣トパース・タイガー』（永続魔法）

「私のターンよ、ドロー！私は『RRーバニシング・レイニアス』を召喚！」

『RRーバニシング・レイニアス』 ATK1300

「『バニシング・レイニアス』の効果で更に手札の『RRーバニシング・レイニアス』を特殊召喚！」

『RRーバニシング・レイニアス』 ATK1300

「更に2体目の『バニシング・レイニアス』の効果で手札の『RRーファジー・レイニアス』を特殊召喚！」

『RRーファジー・レイニアス』 DEF1500

「レベル4モンスターが3体……来るわね」

「私は2体の『バニシング・レイニアス』と『ファジー・レイニアス』をオーバーレイ！3体のモンスターでオーバーレイネットワークを構築！雌伏の隼よ……因果渦巻く逆境の中で反逆の翼を翻せ！エクシーズ召喚！ランク4！『RRーライズ・ファルコン』！」

『RRーライズ・ファルコン』 ORU3 ATK100

「このカードは特殊召喚に成功した全ての相手モンスター全てに1度ずつ攻撃できる！」

「攻撃力……たったの100」

「気を付けなさい輝夜。きっと何かあるわ」

「分かってるわよ」

「『ライズ・ファルコン』の効果！1ターンに1度、ORUを1つ取り除き、特殊召喚された相手モンスター1体の攻撃力分、このカードを攻撃力をアップさせる！対象は『サファイア・ペガサス』！」

「そういうことね……！」

『RRーライズ・ファルコン』 ORU3↓2 ATK100↓1900

「今、墓地に送った『ファジー・レイニアス』の効果でデッキから3枚目の『ファジー・レイニアス』を手札に加え、バトル! 『ライズ・ファルコン』で全てのモンスターを攻撃! 『ブレイブクロー・レボリユーション』!」

「……っ! だけど貴女。忘れてるじゃないかしら?」

「まずいです! はたて! 輝夜さんたちの墓地には『スキル・プリズナー』が既に……!」

「そう! このカードは墓地から既に発動していたわ! よって、『ライズ・ファルコン』の攻撃力アップする効果は無効になったわ!」

『RR—ライズ・ファルコン』 ATK1900↓100

「返り討ちよ!」

『ライズ・ファルコン』は攻撃力が下がったにもかかわらず、『サファイア・ペガサス』を攻撃しようと、向かう。だが、『サファイア・ペガサス』は既にその角にエネルギーを溜めて、レーザーを放っていた。

ドカーン! と、煙が巻き起こる。

「フフフ……これで『ライズ・ファルコン』撃破!」

「それはどうかしら?」

「な、何……これは!」

『ライズ・ファルコン』は燕返しをして、『サファイア・ペガサス』の反撃を回避していたのだ。

「速攻魔法『ランクアップマジック R U M—レボリユーション・フォース』を発動! この

カードの効果で『RR』エクシーズモンスター1体でオーバーレイ! ランクが1つ高い『RR』エクシーズモンスターへとランクアップで

きる！ 凜猛なる隼よ、その運命のように赤い翼翻し、寄せ来る敵を撃退せよ！ ランクアップエクシースチエンジ！ ランク5！ 『RRーブレイズ・ファルコン』！」

『RRーブレイズ・ファルコン』 ORU3 ATK1000

「ランクアップして反撃を回避した……！ でも攻撃力はたったの1000よ！」

「『ブレイズ・ファルコン』はORUがある限り、相手プレイヤーにダイレクトアタックできる！ 行け！ 『ブレイズ・ファルコン』！」

「何ですって!? ……くっ！」

輝夜&永琳 LP6000↓5000

「そしてメインフェイズ2で『ブレイズ・ファルコン』の効果を発動！ ORUを1つ取り除き、特殊召喚された相手モンスターを全て破壊し、破壊したモンスターの数×500ポイントダメージを与える！」

「ぐうぐううう！」

『RRーブレイズ・ファルコン』 ORU3↓2

輝夜&永琳 LP5000↓2500

「け、けれど……破壊された『宝玉獣』たちは私のフィールドに永続魔法扱いで置く。私は『アメジスト・キャット』と『コバルト・イーグル』以外の『宝玉獣』を永続魔法扱いで置くわ」

「私は『RRーファジー・レイニアス』を守備表示で特殊召喚！ 私はこ

れでターンエンドよ！」

『RRーファジー・レイニアス』DEF1500

文&はたて 手札0

・モンスターゾーン

『RRーブレイズ・ファルコン』ORU2 ATK1000

『RRーファジー・レイニアス』DEF1500

・魔法・罫ゾーン

なし

「私のターン、ドロロー。私は『ムーンライト・クリムゾン・フォックス月光紅狐』を召喚！」

『月光紅狐』ATK1800

「バトル。『月光紅狐』で『ブレイズ・ファルコン』を攻撃！
「くっ！」

文&はたて LP6200↓5400

「カードを伏せて、ターンエンド」

輝夜&永琳 手札0

・モンスターゾーン

『月光紅狐』ATK1800

・魔法・罫ゾーン

『宝玉獣サファイア・ペガサス』（永続魔法）

『宝玉獣アンバー・マンモス』（永続魔法）

『宝玉獣エメラルド・タートル』（永続魔法）

『宝玉獣トパーズ・タイガー』（永続魔法）

伏せ！

「私のターン、ドロロー！私は『手札抹殺』を発動！永琳さんは手札がないので、私だけ4枚捨てて、4枚ドロローします。よし！『貪欲な壺』！『月影のカルート』、『極北のブリザード』、『蒼天のジエツト』、『突風のオロシ』、『砂塵のハルマツタン』の5体の『BF』をデッキに戻して、2枚ドロローします！私は『BF―逆巻のトルネード』を召喚！」

『BF―逆巻のトルネード』ATK1000

「『逆巻のトルネード』の効果で墓地のチューナーモンスター『上弦のピナーカ』を特殊召喚します！」

『BF―上弦のピナーカ』ATK1200

「更に私はチューナーモンスターの『上弦のピナーカ』とチューナー以外の『逆巻のトルネード』を除外し、このモンスターを特殊召喚します！現れよ！極限をゆく黒き翼！『BF―極光のアウロラ』！」

『BF―極光のアウロラ』ATK？

「レ、レベル10の『BF』モンスター……攻撃力が決まっていない？」「そうです。そして『アウロラ』の効果！エクストラデッキの『ABF―涙雨のチドリ』を除外し、その名前と攻撃力と効果をコピーします！」

「な、なんですって!？」

『BF―極光のアウロラ』（涙雨のチドリ）ATK?↓2600

「更に『チドリ』となった『アウロラ』の効果！墓地の『BF』の数×

300ポイント!このカードの攻撃力をアップすることができます!
私の墓地の『BF』の数は6体!よって、1800ポイントアップ
します!」

『BF―極光のアウロラ』(涙雨のチドリ) ATK2600↓4400
「こ、攻撃力4400ですって!?!」

「バトル!『アウロラ』で『月光紅狐』を攻撃!」

「この攻撃が通れば私たちの勝ちよ!」

「永琳!」

「ええ!トラップ発動!『ガード・ブロック』!戦闘ダメージを0にし
て、1枚ドローする!」

「……私はこれでターンエンドです。このターンの終了により、『アウ
ロラ』の効果は終了します」

文&はたて 手札3

・モンスターゾーン

『BF―極光のアウロラ』 ATK4400↓0

『RR―ファジー・レイニアス』 DEF1500

・魔法・罫ゾーン

なし

「私のターン……ドロー!……フ、フフフ……私たちのフィールド上、
または墓地に合計七種類の『宝玉獣』たちが存在する場合、私が今、ド
ローしたこのモンスターは特殊召喚できる」

「そ、そんな召喚条件のモンスターが……」

「フフフ……これが最高の難題よ……あなた達に解けるかしら?現れ
よ!『究極宝玉神 レインボー・ドラゴン』!」

『究極宝玉神 レインボー・ドラゴン』 ATK4000

「攻撃力……4000」

「バトル! 『レインボー・ドラゴン』で『極光のアウロラ』を攻撃! 『オーバー・ザ・レインボー!』」
「キャアアア!!」

文&はたて LP5400↓1400

「カードを1枚伏せて、ターンエンド」

輝夜&永琳 手札0

・モンスターゾーン

『究極宝玉神 レインボー・ドラゴン』 ATK4000

・魔法・罨ゾーン

『宝玉獣サファイア・ペガサス』(永続魔法)

『宝玉獣アンバー・マンモス』(永続魔法)

『宝玉獣エメラルド・タートル』(永続魔法)

『宝玉獣トパーズ・タイガー』(永続魔法)

伏せ1

19. 「三回戦！駆ける虹！羽ばたけ黒羽！下」

文&はたて LP1400

手札3 (文) 手札0 (はたて)

・モンスターゾーン

『RRーファジー・レイニアス』DEF1500

・魔法・罨ゾーン

なし

輝夜&永琳

手札0 (輝夜) 手札1 (永琳)

・モンスターゾーン

『究極宝玉神 レインボー・ドラゴン』ATK4000

・魔法・罨ゾーン

『宝玉獣サファイア・ペガサス』(永続魔法)

『宝玉獣アンバー・マンモス』(永続魔法)

『宝玉獣エメラルド・タートル』(永続魔法)

『宝玉獣トパーズ・タイガー』(永続魔法)

伏せ1

『なんとということだあああああ！あれほどのライフポイントの差が一気にひっくり返ってしまったー！なんというパワー！これぞ神の名を持つカード『究極宝玉神 レインボー・ドラゴン』！』

嵯峨&霊夢 side

「中々やるわね。あいつら」

「そりゃ、月の……ごほん！ここの大会に出場している奴に弱いのはいないんじゃないのか？」

「？それもそうね……」

(焦ったー！心臓バクバクだわ！そうだ、俺の謎もまだ解けてねえんだ。霊夢や魔理沙と仲が良くなつたからって、俺を不思議に思っているだろうからな……妙なことを言うのは避けなければ面倒なことになりそうだな)

「私のターン……(ライフポイントが絶望的ね……起死回生のドローを……)」

「はたて……」

「大丈夫よ文……ドロー……来たわね。『RRーインペイル・レイニアス』を召喚！」

『RRーインペイル・レイニアス』ATK1700

「『インペイル・レイニアス』の効果発動！攻撃表示のモンスターを準備表示に変更できる！」

「なっ!？」

「『究極宝玉神 レインボー・ドラゴン』は攻撃力こそ高いものの、その守備力はたったの0！」

『究極宝玉神 レインボー・ドラゴン』ATK4000↓DEF0

レインボー・ドラゴンはその場に伏せてしまい、無防備な姿をさらしてしまう。

「『ファジー・レイニアス』を攻撃表示に変更！」

『RRーファジー・レイニアス』DEF1500↓ATK500

「『ファジー・レイニアス』で『レインボー・ドラゴン』を攻撃！」

「まさか『レインボー・ドラゴン』が破壊されるとは……！」

「そして『インペイル・レイニアス』でダイレクトアタック！」
「……………受けるわ！」

輝夜&永琳 LP2500↓800

少しばかりの間があったものの、リバースカードは確認せず、ダメージを受けた輝夜に少し不思議に見える文とはたて。輝夜の考えはこうだ。輝夜たちのライフポイントが800以下になるということは、先ほど見せられた文のシンクロモンスター『星影のノートウング』が出てきたらゲームオーバー。そのため、守り札を永琳が使うために伏せカードを発動しておくべきなのか、そうでないのかについて考えていたのだ。

「メインフェイズ2に入って、『インペイル・レイニアス』の効果！攻撃を行ったメインフェイズ2に墓地の『RR』を特殊召喚できる。私は墓地の『RR』トリビュート・レイニアス』を守備表示で特殊召喚するわ！」

『RR』トリビュート・レイニアス』DEF400

『トリビュート・レイニアス』の効果で『ミミクリー・レイニアス』を墓地に送り、『ミミクリー・レイニアス』の効果で除外して、『RR』レディネス』を手札に加え、そしてセット！そして『インペイル・レイニアス』と『ファジー・レイニアス』の2体でオーバーレイ！現れよ3体目！エクシース召喚！『RR』フォース・ストリクス』！」

『RR』フォース・ストリクス』ORU2 DEF2000↓2500

『ORU1』つ取り除き、『フォース・ストリクス』の効果でデッキから

『RRーブースト・ストリクス』を手札に加えて、これで私はターンエンドよ！」

『RRーフォース・ストリクス』ORU2↓1

「エンドフェイズ時にトラップカード！『リターン・ソウル』を発動！このターン中に破壊された自分モンスターを3体までデッキに戻すことができる！『レインボー・ドラゴン』をデッキに戻す！」

文&はたて 手札1

・モンスターゾーン

『RRーフォース・ストリクス』ORU1 DEF2500

『RRートリビュート・レイニアス』DEF400

・魔法・罫ゾーン

伏せ1

「私のターン……ドロー！よし、私はスケール1の『月光狼』をペンデュラムスケールにセッティングする！そして『月光狼』のペンデュラム効果発動！フィールド・墓地の『月光』モンスターを除外する事で、そのモンスターたちを素材に『月光』融合モンスターを融合召喚できる！」

「くっ！」

「私は墓地の『月光舞豹姫』と『月光紫蝶』、
ムーンライト・ブルー・キャット『月光蒼猫』の三体で融合！」

永琳の後ろに融合の背景と同じ渦が現れ、墓地の『月光舞豹姫』と『月光紫蝶』、『月光蒼猫』が現れて、とけていく。

「月光の原野で舞い踊るしなやかなる野獣よ、蒼き闇を徘徊する猫よ、紫の毒持つ蝶よ！月の引力により渦巻きて、新たなる力と生まれ変わ

らん！融合召喚！現れ出でよ！月光の原野の頂点に立って舞う百獣の王！『月光舞獅子姫』！』

『月光舞獅子姫』 ATK3500

「『月光舞獅子姫』は1度のバトルフェイズ中に2回攻撃できる！バトル！『月光舞獅子姫』で『RRーフォース・ストリクス』を攻撃！」「攻撃宣言時、手札の『RRーブースト・ストリクス』の効果！『RR』が攻撃対象になった時、このカードを手札から除外することで攻撃したモンスターを破壊できる！」

「無駄よ！『月光舞獅子姫』は相手カードの効果の対象にならず、破壊もされない！」

「なら、トラップ発動！『RRーレディネス』！このターン、『RR』は戦闘破壊されな」

「ダメージステップ終了時に『月光舞獅子姫』の効果で相手フィールドの特殊召喚されたモンスターを全て破壊する！」

「何ですって!?!」

「『月光舞獅子姫』の2度目の攻撃！ダイレクトアタック！」

「くっ！今、墓地へといった『レディネス』を除外して、ダメージを0に！」

「メイン2。カードを伏せて、ターンエンド」

輝夜&永琳 手札0

・モンスターゾーン

『月光舞獅子姫』 ATK3500

・Pゾーン

『月光狼』スケール1

・魔法・罨ゾーン

『宝玉獣サファイア・ペガサス』（永続魔法）

『宝玉獣アンバー・マンモス』（永続魔法）

『宝玉獣エメラルド・タートル』（永続魔法）

『宝玉獣トパーズ・タイガー』（永続魔法）

伏せ！

「私のターン……ドロー！私は『BF―極北のブリザード』を通常召喚！」

『BF―極北のブリザード』 ATK1300

「『極北のブリザード』の効果で墓地の『BF―熱風のギブリ』を守備表示で特殊召喚！」

『BF―熱風のギブリ』 DEF1600

「レベル3の『熱風のギブリ』にレベル2の『極北のブリザード』をチューニング！黒き翼、烈風を起こし、絆を結ぶ勝利の風へ！シンクロ召喚！『ABF―五月雨のソハヤ』！」

『ABF―五月雨のソハヤ』 ATK1500

「『ソハヤ』はシンクロ召喚に成功した時、効果発動！墓地の『ABF』を特殊召喚します！甦れ！『驟雨のライキリ』！」

『ABF―驟雨のライキリ』 ATK2600

「更に『五月雨のソハヤ』は『BF』モンスターを素材にシンクロ召喚に成功している場合、チューナーモンスターとして扱う！」

「何ですって!?!」

「私はレベル7の『驟雨のライキリ』にレベル5の『五月雨のソハヤ』をチューニング！」

「レベル12のシンクロモンスターですって!?!」

「漆黒の翼、雷雲に溶け込み、雷鳴と共に勝利の嵐を巻き起こせ！シン

クロ召喚！来たれ！『ABF―神立のオニマル』！」

『ABF―神立のオニマル』ATK3000

「バトル！『神立のオニマル』で『月光舞獅子姫』を攻撃！」

「攻撃力の低いモンスターで攻撃するですって……？何かあるわね。速攻魔法『非常食』！4枚の『宝玉獣』永続魔法を墓地に送り、4000ポイントライフを回復！」

輝夜&永琳 LP800↓4800

「『オニマル』はシンクロモンスターのみにシンクロ召喚に成功している場合、攻撃する時のみ、攻撃力をダメージステップの間だけ3000ポイントアップする！」

『ABF―神立のオニマル』ATK3000↓6000

「攻撃力6000！……くっ！」

輝夜&永琳 LP4800↓2300

「私はカードを2枚伏せて、ターンエンドです」

文&はたて 手札1

・モンスターゾーン

『ABF―神立のオニマル』ATK3000

・魔法・罨ゾーン

伏せ2

「私のターン、ドロー。モンスターをセットしてターンエンドよ」

輝夜&永琳 手札0

・モンスターゾーン

??? (セットモンスター) DEF???

・魔法・罨ゾーン

なし

「私のターン、ドロー。このままバトル！『神立のオニマル』でセットモンスターを攻撃！」

『ABF―神立のオニマル』 ATK3000↓6000

「セットモンスターは『メタモルポッド』！リバース効果発動！お互いは手札を全て捨て、その後5枚ドローする！」
「くっ……カードを伏せて、ターンエンド」

文&はたて 手札4

・モンスターゾーン

『ABF―神立のオニマル』 ATK3000

・魔法・罨ゾーン

伏せ2

「私のターン、ドロー！魔法カード『強欲で貪欲な壺』！デッキの上から10枚のカードを裏側で除外し、2枚ドローする！速攻魔法『異次元からの埋葬』！除外されている『月光舞豹姫』、『月光紫蝶』、『月光蒼猫』を墓地に戻し、『貪欲な壺』発動！墓地の『月光舞獅子姫』、『宝玉獣 コバルト・イーグル』、『宝玉獣 ルビー・カーバンクル』、『宝玉獣 アメジスト・キャット』、『宝玉獣 エメラルド・タートル』の

5体のモンスターをデッキに戻し、2枚ドロ！『月光狼』のペンデュラム効果！墓地の『月光舞豹姫』、『月光紫蝶』、『月光蒼猫』を除外して、『月光舞獅子姫』を再度融合召喚！」

『月光舞獅子姫』 ATK3500

「バトル！『月光舞獅子姫』で『神立のオニマル』を攻撃！」

「トラップ発動！『攻撃の無敵化』！『オニマル』は戦闘と効果では破壊されないわ！」

「でもダメージは受けてもらう！」

文&はたて LP1400↓900

「私はカードを2枚伏せて、ターンエンド」

輝夜&永琳 手札1

・モンスターゾーン

『月光舞獅子姫』 ATK3500

・Pゾーン

『月光狼』スケール1

・魔法・罠ゾーン

伏せ1

「私のターン、ドロです！永続魔法『黒い旋風』を発動！『BF―月影のカルート』を召喚」

『BF―月影のカルート』 ATK1400

「『黒い旋風』の効果でデッキから『BF―そよ風のブリーズ』を手札

に加える。『ブリーズ』はデッキからカード効果で手札に加わった場合、特殊召喚できる！」

『BF—そよ風のブリーズ』 ATK1100

「レベル3の『月影のカルート』にレベル3の『そよ風のブリーズ』をチューニング！シンクロ召喚！『BF—星影のノートウング』！」
「来たわね！」

『BF—星影のノートウング』 ATK2400

「『ノートウング』の特殊召喚時効果発動！相手に800ポイントダメージを与え、その後、対象を取らない相手モンスターの攻撃力を800下げます」

輝夜&永琳 LP2300↓1500

『月光舞獅子姫』 ATK3500↓2700

「バトル！『神立のオニマル』で『月光舞獅子姫』を攻撃！この時、『オニマル』の攻撃力は3000ポイントアップする！」

「トラップ発動！『砂塵のバリアーダスト・フォースー』！相手の攻撃表示モンスターを裏守備表示にして、表示形式の変更を封じる！」
「くっ……ターンエンドです」

『ABF—神立のオニマル』（表側表示↓セット） ATK3000↓6000↓DEF2000

『BF—星影のノートウング』（表側表示↓セット） ATK2400↓DEF1600

文&はたて 手札0

・モンスターゾーン

『ABF―神立のオニマル』（セット）DEF2000

『BF―星影のノートウング』（セット）DEF1600

・魔法・罨ゾーン

伏せ1

「私のターン、ドロ―！フィールド魔法『Sin World』を発動
！」

輝夜が発動した新たなフィールド魔法により、会場の周りがデジタル空間へとなり、広がっていく。

「そして私はデッキから『究極宝玉神 レインボー・ドラゴン』を除外し、『Sin レインボー・ドラゴン』を特殊召喚！」

『Sin レインボー・ドラゴン』ATK4000

「そして『Sin レインボー・ドラゴン』と『月光舞獅子姫』のレベル10モンスター2体でオーバーレイ！2体のモンスターでオーバーレイネットワークを構築！エクシーズ召喚！ランク10！『超弩級砲塔列車グスタフ・マックス』」

『超弩級砲塔列車グスタフ・マックス』ORU2 ATK3000

『グスタフ・マックス』効果！ORUを1つ取り除き、相手に2000ポイントのダメージを与える！」

「墓地の最後の『RR―レイディネス』を除外して、ダメージを0にします！」

「……（『メタモルポッド』の時ね）では、次よ。『Sin パラレルギ

ア』を召喚」

『Sin パラレルギア』 ATK 0

『Sin パラレルギア』の効果で手札の『Sin』モンスターのみとシンクロ召喚できる。私は手札の『Sin ブルーアイズ・ホワイト・ドラゴン 青眼の白龍』をチューニング！シンクロ召喚！『Sin パラドックス・ドラゴン』！」

『Sin パラドックス・ドラゴン』 ATK 4000

『Sin パラドックス・ドラゴン』の効果、自分か相手の墓地のシンクロモンスターを特殊召喚できる！」

「な、何ですって!?!」

『驟雨のライキリ』を特殊召喚！」

『ABF—驟雨のライキリ』 ATK 2600

「バトル！『驟雨のライキリ』で『神立のオニマル』を攻撃！『グスタフ・マックス』で『星影のノートウング』を攻撃！」
「くっ！」

「ターンエンド」

輝夜&永琳 手札2

・モンスターゾーン

『Sin パラドックス・ドラゴン』 ATK 4000

『超弩級砲塔列車グスタフ・マックス』ORU1 ATK 300

0

『ABF—驟雨のライキリ』 ATK 2600

・魔法・罨ゾーン

なし

「私のターン……ドロー！速攻魔法『異次元からの埋葬』！『ミミクリー・レイニアス』2体を墓地に戻す。そして『RR―ナパーム・ドラゴニアス』を召喚！」

『RR―ナパーム・ドラゴニアス』 ATK1000

「『ナパーム・ドラゴニアス』の効果で相手に600ポイントのダメージを与える！」

輝夜&永琳 LP2300↓1700

「そして『スワローズ・ネスト』を発動！『ナパーム・ドラゴニアス』をリリースし、デッキから『RR―ミミクリー・レイニアス』を特殊召喚！」

『RR―ミミクリー・レイニアス』 ATK1100

「そしてこの瞬間、速攻魔法『地獄の暴走召喚』発動！2体の『ミミクリー・レイニアス』を墓地から特殊召喚するわ！」

『RR―ミミクリー・レイニアス』 ATK1100

『RR―ミミクリー・レイニアス』 ATK1100

「私のフィールドのモンスターはエクストラデッキから出たモンスターだから特殊召喚はないわ」

「なら『ミミクリー・レイニアス』の効果を発動！召喚・特殊召喚に成功したターンのメインフェイズ時に発動でき、場の『RR』のレベルを全て1つ上げる！」

『RRーミミクリー・レイニアス』☆4↓5

『RRーミミクリー・レイニアス』☆4↓5

『RRーミミクリー・レイニアス』☆4↓5

「2体目の『ミミクリー・レイニアス』の効果発動！」

『RRーミミクリー・レイニアス』☆5↓6

『RRーミミクリー・レイニアス』☆5↓6

『RRーミミクリー・レイニアス』☆5↓6

「『ミミクリー・レイニアス』3体でオーバーレイ！レベル6モンスター3体でオーバーレイネットワークを構築！誇り高き隼よ、英雄に勝るその傷だらけの翼翻し、革命を巻き起こし羽ばたけ！エクシーズ召喚！ランク6！『RRーレボリューション・ファルコン』！」

『RRーレボリューション・ファルコン』ORU3 ATK2000

「『レボリューション・ファルコン』の効果発動！ORUを1つ取り除くことで、相手の特殊召喚された全てのモンスターに1回ずつ攻撃することができる！バトル！『レボリューション・ファルコン』で『Sin パラドックス・ドラゴン』に攻撃！」

「でもこちらの方が攻撃力は高いわ！」

「そんなことはないわ！『レボリューション・ファルコン』の効果発動！相手の特殊召喚されたモンスターとバトルする時、そのモンスターの攻撃力・守備力はダメージ計算時に0なる！」

「そ、そんな……！」

「『レボリューション・ファルコン』の攻撃力は2000！そしてあなたたちの『パラドックス・ドラゴン』の攻撃力は0になる！」

『Sin パラドックス・ドラゴン』ATK4000↓0

「……見事ね」

輝夜&永琳 LP1700↓0

WINNER 文&はたてチーム

20. 「四回戦！機械VS妖精！」

『さあ、まだまだヒートアップは収まらない！Bブロック第二回戦！九十九 弁々&九十九 八橋チームVSチルノ&大妖精チームの対戦だー！』

「「「うおおおおお!!」」」

「ふん！最強のあたいの踏み台になってもらうんだから！」

「あれあれ。これはタッグ戦。姉妹の私たちに敗北はないわ」

「わ、私たちがだってコンビ力で負けるつもりはありません！」

「言うね、じゃあデュエルで決めよっか」

「「「デュエル！」」」

先行は弁弁からだ。

「先行は私か…っと、私はカードを3枚伏せ、『カードカード』を召喚」

カードカード ATK800

『『カードカード』の効果を発動。自身をリリースし、デッキからカードを2枚ドローしてエンドフェイズ時まで移行する』

弁々&八橋 手札3

伏せ3

「わ、私のターンです！ドロー……『ローンファイア・ブロッサム』を通常召喚します！」

『ローンファイア・ブロッサム』 ATK500

『ローンファイア・ブロッサム』の効果が発動します！自分フィールドの植物族モンスターをリリースし、デッキから植物族モンスターを特殊召喚します！私は『アロマージーペルガモット』を特殊召喚します！」

『アロマージーベルガモット』 ATK 2400

「攻撃力2400を簡単に出してきたわね……」

「フィールド魔法『アルマガーデン』を発動します。そして、速攻魔法『炎王炎環』を発動します。場の炎属性モンスターを破壊して、墓地の炎属性モンスターを特殊召喚します！」

『ローンファイア・ブロッサム』 ATK 500

『アロマガーデン』の効果が発動します！『アロマ』モンスターが破壊された場合に私たちのライフを1000ポイント回復します！」

チルノ & 大妖精 LP 8000 ↓ 9000

「そして再び『ローンファイア・ブロッサム』の効果が発動します！自身をリリースして、デッキから『アロマージージャスミン』を特殊召喚！」

『アロマージージャスミン』 DEF 1900

『ジャスミン』の効果により、自分ライフが相手ライフよりも多い場合、植物族モンスターの召喚権を1つ増やします！『アロマージーカナンガ』を召喚します！」

『アロマージュ・カナンガ』 ATK1400

「そして、1ターンに1度、自分フィールドに『アロマ』モンスターが存在する場合に500ポイント、自分のライフを回復します」

チルノ&大妖精 LP9000↓9500

「その後、次の相手ターンのエンドフェイズ時まで、私のフィールドの全モンスターの攻撃力守備力を500ポイントアップします！」

『アロマージュ・ジャスミン』 DEF1900↓2400

『アロマージュ・カナンガ』 ATK1400↓1900

「更に『ジャスミン』の効果を発動！自分ライフが回復した時に1枚ドローします！バトルです！『カナンガ』でダイレクトアタックします！」

「もちろん通さないわ。トラップカード『カウンター・ゲート』発動。ダイレクトアタックされた時にカードを1枚ドローして、それがモンスターならば通常召喚できる……ドロー！……」

ふっ、ドローしたカードは『サイバー・ヴァリー』！

『サイバー・ヴァリー』 ATK0

「くっ！なら『カナンガ』で『ヴァリー』を攻撃します！」

『ヴァリー』の効果を発動。このカードを除外して、デッキからカードを1枚ドローして、バトルフェイズを終了させる」

「う……メインフェイズ2で『エンシエント・リーフ』を発動します！自分のライフが9000以上ある時、2000ライフ支払い、2枚ドローします」

チルノ&大妖精 LP9500↓7500

「カードを2枚伏せて、ターンエンドです」

チルノ&大妖精 手札1

・モンスターゾーン

『アロマージージャスミン』DEF2400

『アロマージーカーナング』ATK1900

・魔法・罨ゾーン

伏せ2

・フィールド魔法

『アロマガーデン』

「私のターン、ドロウするよ。手札から『沼地の魔神王』を捨てて効果を発動するよ。デッキから『融合』を手札に加えて……いきなりクライマックスだ！『融合』を発動！」

手札の『古代の機械巨人』と『古代の機械箱』と『古代の機械兵士』

で融合！融合召喚！

『古代の機械究極巨人』〜！」

『古代の機械究極巨人』ATK4400

「更に魔法カード『古代の整備場』を発動。墓地の『アンティーク・ギア』モンスターを1体手札に加えられる。私は『古代の機械箱』を手札に加えるよ。更に手札に加わった『古代の機械箱』の効果を発動！攻撃力または守備力が500の地属性・機械族モンスターをデッキから手札に加えるよ。『古代の歯車機械』を手札に加えてバトルフェイズだ！」

「この瞬間、永続罨『潤いの風』を発動！自分ライフが相手ライフよりも少ない場合、ライフポイントを500回復させます！」

チルノ&大妖精 LP7500↓8000

「そして『ジャスミン』の効果が発動！カードを1枚ドロウします！『カナンガ』の効果でセットカードを1枚手札に戻させます！」
「うくん。それはしようがないかな。でも、その子もここまでだ！『古代の機械究極巨人』で『アロマージュ・ジャスミン』を攻撃！『アルティメット・ゴレム』は攻撃している魔法・罨カードの発動をできなくさせる効果と貫通効果持ちだよ！」
「うっ！」

チルノ&大妖精 LP8000↓6000

「でも、『ジャスミン』が破壊されたので、『アロマガーデン』の効果発動！」

チルノ&大妖精 LP6000↓7000

「うくん。しようがないな。メインフェイズ2でモンスターとカードを1枚ずつセットしてターンエンドだ！」
「エンドフェイズ時に『生命吸収装置』を発動します！」
「なっ！」

弁々&八橋 手札2

・モンスターゾーン

『古代の機械究極巨人』 ATK4400

『セットモンスター』 DEF???

・魔法・罨ゾーン

伏せ2

「あたいのターンだ！スタンバイフェイズに『生命吸収装置』の効果が発動する！大ちゃんのターンに払ったライフポイントの半分が戻ってくるよ！」

チルノ&大妖精 LP7000↓8000

「これでライフは元通りだー！そして魔法カード『氷結界の三方陣』を発動！『古代の機械究極巨人』を対象に手札の『氷結界の軍師』、『氷結界の虎将ガンターラ』、『氷結界の従者』を相手に見せて、対象にしたモンスターを破壊するー！」

「な、なんだってー!?でも、『古代の機械究極巨人』が破壊されたので、墓地の『古代の機械巨人』を召喚条件を無視して特殊召喚するよー！」

『古代の機械巨人』 ATK3000

「『氷結界の三方陣』の効果で手札の『氷結界の虎将ガンターラ』を特殊召喚！」

『氷結界の虎将ガンターラ』 ATK2700

「更に『氷結界の軍師』を召喚！」

『氷結界の軍師』 ATK1600

『軍師』の効果を発動！手札の『氷結界の従者』を墓地に送り、1枚ドロロー！そして、『アロマガーデン』の効果で500ポイント、ライフを回復する！」

チルノ&大妖精 LP8000↓8500

「そして、『カナंगा』の攻撃力は500ポイントアップするよ！」

『アロマージーカナंगा』 ATK1400↓1900

「更に『カナंगा』の効果！自分ライフが相手ライフよりも多い場合、相手モンスターの攻撃力、守備力を500ポイント下げるよ！更に相手のフィールドの魔法・罠カードを1枚手札に戻させる！」
「う〜！」

『古代の機械巨人』 ATK3000↓2500

「バトルだー！『ガンターラ』で『古代の機械巨人』を攻撃！」

「私の『古代の機械巨人』を破壊させる訳にはいかないよ！メインフェイズ終了時に『威嚇する咆哮』を発動〜！相手はモンスターで攻撃できない〜！」

「う……あたいはカードを2枚セット！これでターンエンド！」

「ふっ、ならば私の…」

「でも、エンドフェイズ時に『ガンターラ』の効果を発動！」

「！」

「墓地の『氷結界』を復活させることができる！出だよ『氷結界の従者』！」

『氷結界の従者』 ATK1300

「そして『従者』以外に『氷結界』が存在している場合、相手はレベル4以上のモンスターで攻撃することができない！これで『古代の機械巨人』の攻撃は封じた！やっぱりあたいたらさいきよーね！」
「くっ、厄介ね……！」

チルノ&大妖精 手札1

・モンスターゾーン

『アロマージュ・カナンガ』 ATK1900

『氷結界の虎将ガンターラ』 ATK2700

『氷結界の軍師』 ATK1600

『氷結界の従者』 ATK1300

・魔法・罨ゾーン

『潤いの風』

『生命吸収装置』

伏せ1

・フィールド魔法

『アロマガーデン』

「私のターン……ドロー！む、いや……なるほどな。私は『サイバー・ドラゴン・コア』を召喚！」

『サイバー・ドラゴン・コア』 ATK400↓0

『コア』が召喚に成功した時、デッキから『サイバー』か『サイバネティック』魔法・罨カードを1枚手札に加える……私は『サイバー・ネットワーク』を手札に加える。更に『コア』はフィールドと墓地では『サイバー・ドラゴン』として扱うので『エヴォリユーション・バースト』を発動できる！私が破壊するのは『氷結界の従者』だ！」

「くっ！」

「これで縛りはなくなる……私は『機械複製術』を発動。『コア』を選択し、それと同名モンスターをデッキから2体まで特殊召喚する」

「レベル2のモンスターが3体に……いや、違う！」

「そう、『コア』は今、『サイバー・ドラゴン』だ。よって、2体の『サイバー・ドラゴン』を特殊召喚！」

『サイバー・ドラゴン』 ATK2100↓1600

『サイバー・ドラゴン』 ATK2100↓1600

「更に『パワー・ボンド』を発動！『コア』と『サイバー・ドラゴン』で融合！生まれ出でし、機械の双竜よ、思いのままに高みへと！融合召喚！『サイバー・ツイン・ドラゴン』！この効果で融合召喚された『サイバー・ツイン・ドラゴン』の攻撃力は元の攻撃力分アップする！」

『サイバー・ツイン・ドラゴン』 ATK2800↓5600↓5100

「バトル！『サイバー・ツイン・ドラゴン』は1度のバトルフェイズに2度攻撃できる！まずは『ガンターラ』を攻撃！『エヴォリユーション・ツイン・バースト』第一打ア！」

チルノ&大妖精 LP8500↓6100

「私たちのライフが上回ったため『カナンガ』の効果はなくなる！」

『サイバー・ツイン・ドラゴン』 ATK5100↓5600

『古代の機械巨人』 ATK2500↓3000

『サイバー・ドラゴン』 ATK1600↓2100

「でも、トラップ発動！『激流蘇生』！『ガンターラ』を蘇生し、相手に500ポイントのダメージを与える！」

弁々&八橋 LP8000↓7500

「ふん……再び『ガンターラ』を攻撃！第二打ア！」
「うう……！」

チルノ&大妖精 LP6100↓4200

「『古代の機械巨人』で『カナंगा』を攻撃！」

チルノ&大妖精 LP4200↓3100

「ア、『アロマガーデン』の効果で1000ポイント、ライフを回復する……」

チルノ&大妖精 LP3100↓4100

「『サイバー・ドラゴン』で『氷結界の軍師』を攻撃！『エヴォリユーション・バースト』！」

チルノ&大妖精 LP 4100↓3600

「メインフェイズ2で、カードを1枚伏せてターンエンドだ」

「エ、エンドフェイズ時に『潤いの風』の効果で500ポイント、ライフを回復する……」

「エンドフェイズ時に『パワー・ボンド』の効果で融合召喚した『サイバー・ツイン・ドラゴン』の元々の攻撃力分のダメージを受ける」

チルノ&大妖精 LP 3600↓4100

弁々&八橋 LP 7500↓4700

弁々&八橋 手札1

・モンスターゾーン

『古代の機械巨人』ATK 3000

『サイバー・ツイン・ドラゴン』ATK 5600

『サイバー・ドラゴン』ATK 2100

・魔法・罨ゾーン

伏せ1

「わ、私のターン、ドロロー！まずは……2体目の『ローンファイア・ブロッサム』を召喚」

『ローンファイア・ブロッサム』ATK 500

「『ローンファイア・ブロッサム』の効果で自身をリリースして、3体目の『ローンファイア・ブロッサム』を特殊召喚します！」

『ローンファイア・ブロッサム』 ATK500

「更にこの瞬間、『地獄の暴走召喚』を発動します！墓地から『ローンファイア・ブロッサム』2体を攻撃表示で特殊召喚します！」

「では、こちらは『サイバー・ドラゴン』をデッキと墓地から1体ずつ守備表示で特殊召喚しよう……」

『サイバー・ドラゴン』 DEF1600

『サイバー・ドラゴン』 DEF1600

『ローンファイア・ブロッサム』 ATK500

『ローンファイア・ブロッサム』 ATK500

「2体の『ローンファイア・ブロッサム』をリリースして、デッキから『ジャスミン』2体、3体目をリリースして、『アロマージーベルガモット』を特殊召喚します！」

『アロマージージャスミン』 DEF1900

『アロマージージャスミン』 DEF1900

『アロマージーベルガモット』 ATK2400

「更に『潤いの風』の効果でライフポイントを500回復します！」

チルノ&大妖精 LP4100↓4600

「ライフポイントが回復したので2体の『ジャスミン』の効果合計2枚ドロロー！更に『ベルガモット』の効果で自身の攻撃力を1000ポイントアップします！」

『アロマージーベルガモット』 ATK 2400 ↓ 3400

「そして手札から『アロマセラファイアー—アンゼリカ』の効果を発動します！手札からこのカードを捨て、墓地の『アロマージーベルガモット』の攻撃力分、ライフポイントを回復します！」

チルノ & 大妖精 LP 4100 ↓ 6500

「一気に私たちのライフを上回っただろ!？」

「まだ行きます！魔法カード『森羅の施し』を発動！デッキから3枚ドロートした後に手札のカードを2枚デッキの上に戻します！更に永続魔法『デーモンの宣告』を発動！500ライフを払い、効果を発動！デッキの一番上のカード名を当てて、当たっていれば手札に、違えば墓地に送ります！『デーモンの宣告』！」

チルノ & 大妖精 LP 6500 ↓ 6000

大妖精は勢いよくデッキトップのカードを引く。それは確かに『デーモンの宣告』だった。

「そしてこの『デーモンの宣告』を発動！宣言するのは『死者蘇生』です！」

チルノ & 大妖精 LP 6000 ↓ 5500

大妖精はまたもや勢いよくデッキトップのカードを引いた。だが、デッキトップのカードの枠はオレンジジ……モンスターカードだ。そのまま、そのカードは墓地に送られる。

「そして、今デッキからめくられて墓地に送られた『森羅の神芽スプラウト』の効果が発動します！」

「めくられて墓地に送られた……だと!？」

「デッキからレベル1の植物族モンスターを特殊召喚します！私は『森羅の姫芽君スプラウト』を特殊召喚！」

『森羅の姫芽君スプラウト』DEF100

「そして『スプラウト』の効果が発動！自身をリリースして、デッキの一番上のカードをめくって墓地に送り、墓地の『森羅の神芽スプラウト』をデッキの一番上に置きます！」

めくられたカードは『森羅の葉心棒ブレイド』。

『ブレイド』がめくられて墓地に送れたので効果を発動します！『ブレイド』を手札に加えます！そして『ワン・フォー・ワン』を発動します！『ブレイド』を墓地に送り、デッキから『サニー・ピクシー』を特殊召喚します！」

『サニー・ピクシー』DEF0

「更にレベル2『ジャスミン』2体にレベル1の『サニー・ピクシー』をチューニング！素敵な香りに誘われて、妖精たちが舞い踊る！華麗な花を咲かせよ！シンクロ召喚！レベル5『アロマセラフイーローズマリー』を特殊召喚！」

『アロマセラフイーローズマリー』ATK2000

「そして光属性のシンクロモンスター、シンクロ素材となった『サニー・ピクシー』の効果を発動！私たちのライフを1000ポイント回復させます！」

チルノ&大妖精 LP5500↓6500

「まだまだ行きます！『ローズマリー』は自分ライフが相手ライフよりも多い場合、自分フィールドの植物族モンスターの攻撃力を500ポイントアップさせます！『ローズマリー』の強制効果で『古代の機械巨人』の効果をエンドフェイズ時まで無効にします！」

『アロマセラファイーローズマリー』 ATK2000↓2500

『アロマージューベルガモット』 ATK3400↓3900

「うう〜」

「無効効果は無意味だが、これは……」

『アロマガーデン』の効果で500ポイントライフを回復します！」

チルノ&大妖精 LP6500↓7000

『アロマセラファイーローズマリー』 ATK2500↓3000

『アロマージューベルガモット』 ATK3900↓4400

「更に墓地の『アンゼリカ』の効果を発動！自分ライフが相手ライフよりも多く、自分フィールドに『アロマ』モンスターが存在する場合に

墓地から特殊召喚します！この効果で特殊召喚された『アンゼリカ』はフィールドを離れた場合、除外されます」

『アロマセラファイー—アンゼリカ』DEF0

「バトルです！『ローズマリー』で攻撃表示の『サイバー・ドラゴン』を攻撃！」

「……何もない！」

弁々&八橋 LP4700↓3800

「では『ベルガモット』で守備表示の『サイバー・ドラゴン』を攻撃！『ベルガモット』は自分ライフが相手ライフよりも多い場合貫通効果を得ます！」

「な、ぐうう！」

弁々&八橋 LP3800↓1000

「まだ終わりません！トラップ発動！『緊急同調』！バトルフェイズ中にシンクロ召喚を行えます！」

「バトルフェイズ中にシンクロ召喚だ?!いや、そのカードはパートナーのカードか……ふ、どうやらこのデュエルもタッグとしても私たちは完全に負けてしまっているようだな……」

「……レベル6の『ベルガモット』にレベル1の『アンゼリカ』でチューニング！可憐な白き姿よ、美しい歌声に合わせて素晴らしい勝利を咲かせよ！シンクロ召喚！レベル7！『エンシエント・ホーリー・ワイ

バーン!」

『エンシエント・ホーリー・ワイバーン』 ATK2100

「『エンシエント・ホーリー』は自分ライフが相手ライフよりも多かった場合、その差の数値分、攻撃力が上昇する!」

「私たちと君たちとのライフ差は……6000か!」

『エンシエント・ホーリー・ワイバーン』 ATK2100↓8100

「バトルです! 『エンシエント・ホーリー・ワイバーン』で『サイバー・ツイン・ドラゴン』を攻撃します!」
「……ふ」

弁々&八橋 LP1000↓0

winnerチルノ&大妖精チーム

21. 「五回戦！古池や蛙飛び込む水の音 上」

『さあー！ついに第五回戦！古明地 さとり&古明地 こいしチーム VS 東風谷 早苗&洩矢 諏訪子チームのデュエルだあー！！』
『『『（ノ・ω・） ノウオオオオオオオオオオオオオオオオオ！！』』』』

「うわあ〜人がいっぱい！楽しくなりそうね！お姉ちゃん！」

「……はあ……私は息が詰まりそうよ」

「地霊殿の古明地姉妹……よく、この大会に出るつもりになったね」

「そんなことより諏訪子様！こんな大勢の観衆がいる中でデュエルできて、ついでに布教もできるなんて、私幸せです！」

「……はあ……楽しそうですね。そちらの方も」

「あはは……早苗は良い子なんだよ？ちよつと、周りが見えてないだけで」

「……そうですか。では始めましょうか……」

「そうだね」

「行くよお姉ちゃん！」

「行きますよ諏訪子様！」

「『『デュエル！！』』』」

ターン順

早苗↓こいし↓諏訪子↓さとり（以下ループ）

先行は早苗のターン。

「先行は私のターンですね！ドロー！よし、自分フィールドにモンスターがないので魔法カード『コンバート・コンタクト』を発動！手札の『ネオスベーションN アクア・ドルフィン』を墓地に送ることで、ネオスベーションデツキから『ネオスベーションN ブラック・パンサー』を墓地に送り、2枚ドローします！そし

て『E・HERO エアーマン』を召喚！」

『E・HERO エアーマン』ATK1800

「『エアーマン』効果でデッキから『E・HERO』をサーチできます。
『E・HERO バーストレディ』を手札に加えます。そして『融合』
発動！手札の『フェザーマン』と『バーストレディ』で融合召喚！『E・
HERO フレイムウイングマン』！」

『E・HERO フレイムウイングマン』ATK2100

「カードを伏せて、ターンエンドです！」

早苗&諏訪子 手札1

・モンスターゾーン

『E・HERO フレイムウイングマン』ATK2100

『E・HERO エアーマン』ATK1800

・魔法・罫ゾーン

伏せ1

「じゃあ、次は私のターンだよ！ドロー！うんうん。『手札抹殺』から始めるよ〜！ぽぽぽ〜いっと、よしよし、まともに動けるようになったね。『調律』発動！デッキから『ジャンク・シンクロン』を手札に加えて、シャッフルした後に、デッキの1番上を墓地に送るよ〜。え〜い！あはは！『レベル・ステイラー』が落ちたく。じゃあ、相手フィールドのみモンスターがいるから『TG ストライカー』を特殊召喚！」

『^{デッキジャーナス}TG ストライカー』DEF0

「『^{デッキジャーナス}TG

G』？なんだかロマンあふれるカードですね！なら私は手札か

ら『増殖するG』を墓地に送り、あなたが特殊召喚する度に1枚ドロ―
させてもらいます」

「そうだね。そしてレベル4以下のモンスターが特殊召喚に成功し
たので手札から『TG ワーウルフ』を特殊召喚できるよ」

『TG ワーウルフ』DEF0

「じゃあ、レベル3の『ワーウルフ』にレベル2の『ストライカー』を
チューニング！リミッター解放レベルファイブ！レギュレーター
オープン！スラスタウオームアップOK！アップリンク！オール
クリア！GO！シンクロ召喚！カモン！『TG テックジーナス ハイパーライブラ
リアン』！」

『TG テックジーナス ハイパーライブラリアン』ATK2400

「おお！更にかっこいいカードが！」

「でしょでしょ。じゃあ、『ジャンク・シンクロン』を召喚！」

『ジャンク・シンクロン』ATK1300

「『ジャンク・シンクロン』の効果で墓地のレベル2以下のモンスター
を効果を無効にして、守備表示で特殊召喚できるよ。じゃあ、私は『タ
イム・エスケーパー』を特殊召喚するよ」

『タイム・エスケーパー』DEF100

「じゃあ、レベル2の『タイム・エスケーパー』にレベル3の『ジャン
ク・シンクロン』をチューニング！シンクロ召喚！『マジカル・アン
드로이드』！」

『マジカル・アンドロイド』ATK2400

「そしてシンクロ召喚に成功したので『ハイパーライブラリアン』の効果で1枚ドロロー！バトルだよー！『マジカル・アンドロイド』で『フレイムウイングマン』を攻撃！」

「くっ！」

早苗&諏訪子LP8000↓7700

「そして『ハイパーライブラリアン』で『エアーマン』を攻撃！」

「トランプ発動！『ヒーロー見参！』私の手札のカード1枚を相手を選ぶ。そのカードがモンスターカードならば特殊召喚できます！と言っても私の手札は4枚……そのうちの1枚しかモンスターカードはないんですけどね（・ω・）！」

「うーん。まあ、しょうがないよね……一番左のカードにするよ」

「はい！ということで私は手札から切り札の『E・HERO ネオス』エースカードを特殊召喚します！」

『E・HERO ネオス』ATK2500

「攻撃力は2500か……仕方ないね。バトル再開！『エアーマン』を攻撃！」

「受けましょう」

早苗&諏訪子LP7700↓7100

「カードを伏せて、エンドフェイズ時に『マジカル・アンドロイド』の効果で場のサイキック族の数×600ポイントライフを回復させる

よ〜」

さとり&こいしLP8000↓8600

さとり&こいし 手札2

・モンスターゾーン

『マジカル・アンドロイド』 ATK2400

『TG ハイパーライブラリアン』 ATK2400

・魔法・罨ゾーン

伏せ1

「次は私だ。ドロ〜！手札の『黄泉ガエル』を墓地に送り、『鬼ガエル』を特殊召喚〜！」

『鬼ガエル』 ATK1000

「そして『鬼ガエル』の効果でデッキから『粹カエル』を墓地に送るよ。そして更に『氷結界の水影』を召喚」

『氷結界の水影』 ATK1200

「『氷結界の水影』ですか……確かそのカードは自分フィールドのモンスターがレベル2以下のモンスターだけだった場合にダイレクトアタックができるモンスターでしたね。でもあなた達のフィールドにはレベル7の『E・HERO ネオス』がいるからその能力は使えない。いえ、使う気はさらさらないというわけですか」

「流石によく分かっているね……じゃあ、お望みどりの動き方をし
てあげるよ。私はレベル2の『鬼ガエル』にレベル2の『氷結界の水影』をチューニング！シンクロ召喚！レベル4！『アームズ・エイド』
！」

『アームズ・エイド』 ATK1800

「この時、『ハイパーライブラリアン』の効果で1枚ドロウするよ！」
「『アームズ・エイド』の効果で『ネオス』に装備して、攻撃力を1000ポイントアップするよ！」

『E・HERO ネオス』 ATK2500↓3500

「このままバトルに入る！『ネオス』で『ハイパーライブラリアン』を攻撃！」

「カウンタートラップ『攻撃の無力化』！バトルフェイズは終了するよ〜！」

「……中々やるね！カードを2枚伏せて、ターンエンド」

早苗&諏訪子 手札1

・モンスターゾーン

『E・HERO ネオス』 ATK3500

・魔法・罠ゾーン

『アームズ・エイド』（『E・HERO ネオス』対象）

伏せ2

「では、私のターン、ドロウ。永続魔法『強欲なカケラ』を発動。これは通常ドロウをする度に、このカードにカウンターを乗せる効果。そして『ワン・フォー・ワン』を発動。手札の『ジェット・シンクロン』を墓地に送り、デッキから」

「その効果にチェーンして、手札から『増殖するG』を墓地に送り、効果を発動！このターン中に相手が特殊召喚する度に、1枚ドロウする」

「……いいでしょう。では、『ワン・フォー・ワン』の効果でデッキから『サイバー・ヴァリー』を特殊召喚」

『サイバー・ヴァリー』 ATK0

「『機械複製術』発動。『サイバー・ヴァリー』をデッキから更に2体特殊召喚」

『サイバー・ヴァリー』 ATK0

『サイバー・ヴァリー』 ATK0

「そして『サイバー・ヴァリー』の効果で自身ともう1体の『サイバー・ヴァリー』を除外して、2枚ドロウする。墓地の『レベル・ステイラー』の効果で『マジカル・アンドロイド』のレベルを1つ下げて、特殊召喚」

『マジカル・アンドロイド』☆5↓4

『レベル・ステイラー』 DEF0

「そして『サイバー・ヴァリー』と『マジカル・アンドロイド』を除外して、追加で2枚ドロウする。『調律』。デッキから『ジャンク・シンクロン』を手札に加えて、デッキの上からカードを墓地に送る。『グローアップ・バルブ』を墓地に……『ジャンク・シンクロン』を召喚」

『ジャンク・シンクロン』 ATK1300

「『ジャンク・シンクロン』の効果で墓地の『タイム・エスケーパー』を特殊召喚」

『タイム・エスケーパー』 DEF100

「では見せてあげましょう……タッグデュエルの強みを。私はレベル2の『タイム・エスケーパー』にレベル3の『ジャンク・シンクロン』

をチューニング。シンクロ召喚、レベル5『TG ハイパーライブラリアン』
リアン』

『TG ハイパーライブラリアン』 ATK2400

「せ、制限カードが2枚……」

「こいしの『TG ハイパーライブラリアン』の効果で1枚ドロ。そして墓地の『グローアップ・バルブ』の効果でデッキトップの『リ・バイブル』を墓地に送って、自身を特殊召喚」

『グローアップ・バルブ』 DEF100

「レベル1の『レベル・ステイラー』にレベル1の『グローアップ・バルブ』をチューニング。未来の扉開かれる時、進化は加速する。人も妖も……シンクロ召喚。レベル2『フォーミュラ・シンクロン』」

『フォーミュラ・シンクロン』 DEF1500

「『フォーミュラ・シンクロン』の効果、このカードのシンクロ召喚に成功した時、強制効果で1枚ドロ。そして2体の『TG ハイパーライブラリアン』の効果で2枚ドロ。ふむ……では『TG ハイパーライブラリアン』のレベルを1つ下げ、『レベル・ステイラー』を特殊召喚」

『TG ハイパーライブラリアン』 ☆5↓4

『レベル・ステイラー』 DEF0

「レベル1の『レベル・ステイラー』にレベル2の『フォーミュラ・シンクロン』をチューニング。シンクロ召喚、レベル3『霞鳥クラウソラス』」

『霞鳥クラウソラス』DEF2300

『TG ハイパーライブラリアン』2体の効果で2枚ドロし、『霞鳥クラウソラス』効果発動。相手モンスターへの攻撃力を0にして、効果を無効にする。対象は『E・HERO ネオス』
「そんな……！ネオスの攻撃力が……！」

『E・HERO ネオス』ATK3500↓0

「カードを3枚伏せて、バトルフェイズ。これで終わりかしら……」
TG ハイパーライブラリアン』で『E・HERO ネオス』を攻撃」
「させないよ！トラップ発動！『迎撃準備』！『ネオス』を守備表示にするよ！」

「でも、破壊は免れない。戦闘ダメージはないか……なら次、2体目の」
TG ハイパーライブラリアン』でダイレクトアタック」
「くっ！」

早苗&諏訪子LP7100↓4700

「でも、ダイレクトアタックをトリガーにトラップ発動！『閃光弾』！
これでお前のターンは終了するよ！」

「……手札の制限により、カードを1枚墓地に送ります」

さとり&こいし 手札6

・モンスターゾーン

『TG ハイパーライブラリアン』ATK2400

『TG ハイパーライブラリアン』ATK2400

『霞鳥クラウソラス』DEF2300

・魔法・罠ゾーン

『強欲なカケラ』
伏せ3

2.2. 「五回戦！古池や蛙飛び込む水の音 下」

早苗&諏訪子LP4700

手札1（早苗）手札9（諏訪子）

・モンスターゾーン

なし

・魔法・罨ゾーン

なし

さとりとこいしLP8500

手札6（さとり）手札2（こいし）

・モンスターゾーン

『TG ハイパーライブラリアン』ATK2400

『TG ハイパーライブラリアン』ATK2400

『霞鳥クラウソラス』DEF2300

・魔法・罨ゾーン

『強欲なカケラ』

伏せ3

「私のターン、ドロロー！スタンバイフェイズ時に墓地の『黄泉ガエル』の効果を発動！自分フィールドに魔法・罨ゾーンにカードが存在しない場合に蘇生します！」

『黄泉ガエル』DEF100

「そして『E－エマージェンシーコール』を発動！デッキから『E・HERO』1体をサーチします！私は『E・HEROシャドーミスト』を手札に加えて、『融合回収』を発動！」

「チェーン、『マインドクラッシュ』。『E・HEROシャドーミスト』を捨てなさい」

「ええ、でも『融合回収』の効果で墓地の『フェザーマン』と『融合』

を手札に加え、今捨てられた『シャドーミスト』の効果でデッキから『E・HERO』をサーチできる！私は『E・HEROブレイズマン』を手札に……」

『E・HEROシャドーミスト』の効果にチェーン、『マインドクラッシュ』。『融合』のカードを捨てなさい」

「2枚目ですか……！でも、それだけじゃ止まりませんよ！『E・HEROブレイズマン』を召喚！」

『E・HEROブレイズマン』 ATK1200

「『ブレイズマン』の効果でデッキから『融合』を手札に加えて、発動！場の『ブレイズマン』と『黄泉ガエル』で融合召喚！現れよ、全てを凍てつかせる奇跡の英雄！『E・HERO アブソルートZERO』！」

『E・HERO アブソルートZERO』 ATK2500

「なるほど……これが勝つためのカードですか……」

「そうです！バトル『アブソルートZERO』で『TG ハイパーライブラリアン』を攻撃！『絶対零度』！」

「……」

ヤどり&こいし LPP8600↓8500

「私はこれでターンエンドです！」

早苗&諏訪子 手札1

・モンスターゾーン

『E・HERO アブソルートZERO』 ATK2500

・魔法・罨ゾーン

なし

「あれれ？『クラウソラス』無視されちゃっているよ？いいの？？次のターンに『アブソルトZERO』は破壊されちゃうんだよ？？」

「ええ、いいんです」

「ふくん。ま、何か考えてるのかわかんないけど、私のターンに変わりはしないよね！ドロー！……えつと」

「この時、私たちのフィールドに存在する『強欲なカケラ』の効果でこのカードに強欲カウンターを1つ乗せます」

『強欲なカケラ』強欲カウンター×0↓1

「あ、そうだったそうだった。よし、私は『沈黙のサイコ・ウィザード』を召喚！」

『沈黙のサイコ・ウィザード』ATK1900

「『サイコ・ウィザード』の効果だ！墓地のサイキック族『サイ・ガール』を除外するよ。『クラウソラス』の効果で『アブソルトZERO』の攻撃力を0にするよ」

『E・HERO アブソルトZERO』ATK2500↓0

「そしてバトル！『TG ハイパーライブラリアン』で『アブソルトZERO』を攻撃！」

早苗&諏訪子LP4700↓2300

「フィールドを離れた『アブソルートZERO』の効果で相手モンスターを全て破壊します!」

「ええ!? どうしよう! 困っちゃうなく……なあんてね♪私もフィールドを離れた『サイコ・ウイザード』の効果を発動! このカードの効果で除外していた『サイ・ガール』を特殊召喚!」

『サイ・ガール』 ATK500

「この時、『サイ・ガール』の効果も発動して、私のデッキトップのカードを裏側で除外するよ。それと、まだバトルフェイズ中だからね! 『サイ・ガール』でダイレクトアタック!」

早苗&諏訪子LP2300↓1800

「くっ! あそこからモンスターを召喚するなんて驚きました!」
「えへへ……これでターンエンドだよ」

さとり&こいし 手札1

・モンスターゾーン

『サイ・ガール』 ATK500

・魔法・罫ゾーン

『強欲なカケラ』強欲カウンター×1

伏せ1

「私のターン、ドロー! スタンバイフェイズに墓地の『黄泉ガエル』を特殊召喚!」

『黄泉ガエル』DEF100

「そして墓地の『粹カエル』の効果を発動！墓地の『鬼ガエル』を除外して、特殊召喚！」

『粹カエル』DEF2000

「まだまだ行くよ！手札の『粹カエル』を墓地に送り、『鬼ガエル』を特殊召喚！」

『鬼ガエル』ATK1000

「そして『鬼ガエル』の効果でデッキから『魔知ガエル』を墓地に送るよ。そして、『鬼ガエル』のさらなる効果を発動！場の『黄泉ガエル』を手札に戻し、更に『ガエル』モンスターを召喚できる。私は『魔知ガエル』を召喚」

『魔知ガエル』ATK1000

「そして『粹カエル』と『鬼ガエル』の2体でオーバーレイ！レベル2モンスター2体でオーバーレイネットワークを構築！エクシーズ召喚！ランク2『ダイガスタ・フェニクス』！」

『ダイガスタ・フェニクス』ORU2 ATK1500

「そして『ダイガスタ・フェニクス』のORUを1つ取り除き、効果を発動！」

『ダイガスタ・フェニクス』ORU2↓1

「このターン、『ダイガスタ・フェニクス』は1度のバトルフェイズ中に2回攻撃できる。そして墓地の『粹カエル』の効果が発動！墓地の『魔知ガエル』を除外して、特殊召喚！」

『粹カエル』DEF2000

「そして速攻魔法『地獄の暴走召喚』発動！墓地とデッキから1体ずつ『粹カエル』を攻撃表示で特殊召喚するよ！」

『粹カエル』ATK100

『粹カエル』ATK100

「じゃあ、私のデッキにいる『サイ・ガール』1体を守備表示で特殊召喚するよ〜」

『サイ・ガール』DEF300

「そして『魔知ガエル』と『粹カエル』でオーバーレイ！レベル2モンスター2体でオーバーレイネットワークを構築！エクシーズ召喚！ランク2『キヤット・シャーク』！」

『キヤット・シャーク』ORU2 ATK500

「『キヤット・シャーク』のORUを1つ取り除き、効果を発動！」

『キヤット・シャーク』ORU2↓1

「自分フィールドのランク4以下のエクシーズモンスターである『ダイガスタ・フェニクス』を攻撃力守備力をターンの終わりまで、倍にする！」

『ダイガスタ・フェニクス』ATK1500↓3000

「攻撃力3000の2回攻撃モンスター!?あはは！凄い凄い！」

「まだまだあ！私は手札の『黄泉ガエル』を墓地に送り、『フィツシユアンドバックス』を発動！除外されている『鬼ガエル』と『魔知ガエル』を手札に加え、そして今、手札に加えた『魔知ガエル』を墓地に送り、『鬼ガエル』を特殊召喚！」

『鬼ガエル』 ATK1000

「『鬼ガエル』の効果でデッキから『サシカエル』を墓地に送るよ。そして、レベル2の『粹カエル』と『鬼ガエル』でオーバーレイ！2体のモンスターでオーバーレイネットワークを構築！エクシーズ召喚！ランク2『ダイガスタ・フェニクス』！」

『ダイガスタ・フェニクス』 ORU2 ATK1500

「そして2体目の『ダイガスタ・フェニクス』のORUを1つ取り除き、効果を発動！」

『ダイガスタ・フェニクス』 ORU2↓1

「2回攻撃を得て、更に墓地に送られた『粹カエル』の効果を発動！『サシカエル』を除外して、特殊召喚！」

『粹カエル』 DEF2000

「そしてレベル2の『粹カエル』2体でオーバーレイ！2体のモンスターでオーバーレイネットワークを構築！エクシーズ召喚！ランク2『キャット・シャーク』！」

『キャット・シャーク』 ORU2 DEF500

「2体目の『キャット・シャーク』のORUを1つ取り除き、効果を発

動！」

『キヤット・シャーク』ORU2↓1

「2体目の『ダイガスタ・フェニクス』の攻撃力守備力をエンドフェイズ時まで倍にする！」

『ダイガスタ・フェニクス』ATK1500↓3000

「バトルフェイズに入るよ！1体目の『キヤット・シャーク』で守備表示の『サイ・ガール』を攻撃！」

「あらら……破壊されちゃった」

「そして1体目の『ダイガスタ・フェニクス』で攻撃！」

「トラップ発動『ダメージ・ダイエット』。このターン中に受けるすべてのダメージを半分にするよ……っ！」

さとり&こいしLP8500↓6250

「でも、フィールドから墓地に送られた『サイ・ガール』の効果を発動するよ。このカードの効果で裏側で除外されていたカードを手札に加えるよ」

「そして1体目の『ダイガスタ・フェニクス』の2回目の攻撃！」

「えへへ、まだまだ大丈夫だよ」

さとり&こいしLP6250↓4750

「そして2体目の『ダイガスタ・フェニクス』で攻撃！」

さとり&こいしLP4750↓3250

「2体目の『ダイガスタ・フェニクス』の2回目の攻撃！」

さとり&こいしLP3250↓1750

『なんとということだああああ！一気にエクシーズモンスターの大量展開でライフポイント差を縮めるだけではなく、なんとお！ライフポイントを逆転させたー！！』

「私はカードを2枚伏せて、ターンエンド」

早苗&諏訪子 手札3

・モンスターゾーン

『ダイガスタ・フェニクス』ATK3000↓1500

『ダイガスタ・フェニクス』ATK3000↓1500

『キャット・シャーク』ATK500

『キャット・シャーク』DEF500

・魔法・罠ゾーン

伏せ2

「では、私のターン、ドロ！。この瞬間に永続魔法『強欲なカケラ』の効果でこのカードに強欲カウンターを乗せる」

『強欲なカケラ』強欲カウンター×1↓2

「そして強欲カウンターが2つ乗った『強欲なカケラ』を墓地に送ること
とで、デッキから2枚ドロウする。そして、魔法カード『ダーク・バー
スト』を発動。墓地の『ジャンク・シンクロン』を手札に戻し、フィー
ルド魔法『クリアー・ワールド』を発動」

「これは一体……?」

「このフィールド魔法が存在する限り、各属性を持つモンスターをコ
ントロールしているプレイヤーはその属性ごとにネガティブエフェ
クトを受けてなければいけない。まず、あなた達のフィールドには風
属性と水属性がいる。そのため、貴女たちは500LPを払わなけれ
ば魔法を発動できず、あなた達のエンドフェイズに手札を1枚捨てな
ければいけない」

「属性によつて、デメリットを与えるカードだつて……?」

「そして、私はエクストラデッキから『サイバー・エンド・ドラゴン』
を墓地に送り、『Sin サイバー・エンド・ドラゴン』を特殊召喚」

『Sin サイバー・エンド・ドラゴン』ATK4000

「これは輝夜さんが使っていたモンスターと同じカード……?」

「そして、このモンスターの属性は闇。自分フィールドにモンスター
が2体以上存在する場合、攻撃することができない。そして『Sin
サイバー・エンド・ドラゴン』が存在する限り、他の自分モンスター
は攻撃なくなる」

「つまり、そいつのみの場合は問題ない……と」

「ええ、でも私が自らのカードに縛られると思つて? 私は墓地の『レベ
ル・ステイラー』の効果を発動。『Sin サイバー・エンド・ドラ
ゴン』のレベルを1つ下げること、特殊召喚する」

『Sin サイバー・エンド・ドラゴン』☆10↓9

『レベル・ステイラー』DEF0

「そして『ジャンク・シンクロン』を召喚。効果で墓地の『サイ・ガー

ル』を特殊召喚」

『サイ・ガール』DEF300

「『サイ・ガール』の特殊召喚成功時、手札の『ドッペル・ウオリアー』を特殊召喚」

『ドッペル・ウオリアー』DEF800

「レベル2の『ドッペル・ウオリアー』、レベル2『サイ・ガール』とレベル1『レベル・ステイラー』にレベル3の『ジャンク・シンクロン』をチューニング。散りばめられる星々が、一つとなりて、未来を拓く、人も妖も……シンクロ召喚。レベル8『スターダスト・ドラゴン』」

『スターダスト・ドラゴン』ATK2500

「き、綺麗……」

嗟峨サイド

「『スターダスト』……」

不動遊星のエースモンスター。『スターダスト・ドラゴン』。なんだ……なんだろうか……この気持ちは……あの『スターダスト』が生で見られるなんて……流石小5ロリ。

「そして墓地の『レベル・ステイラー』の効果を発動。『Sin サイバー・エンド・ドラゴン』のレベルを1つ下げること、特殊召喚する」

『Sin サイバー・エンド・ドラゴン』☆9↓8

『レベル・ステイラー』DEF0

「そして墓地の『ジェット・シンクロン』の効果を発動。手札の『クリアー・バイス・ドラゴン』を墓地に送り、特殊召喚する」

『ジェット・シンクロン』DEF0

「レベル1『レベル・ステイラー』にレベル1の『ジェット・シンクロン』をチューニング。シンクロ召喚。レベル2『フォーミュラ・シンクロン』」

『フォーミュラ・シンクロン』DEF1500

「『フォーミュラ・シンクロン』の効果で1枚ドロ。そして、『クリアー・ワールド』の効果で、私は光・風・闇属性の時の効果を受ける。これにより、私は手札を全て公開する」

そう言つて、さとの上空にモニターが現れ、手札が全て公開される。

『死者蘇生』、『ミラクルシンクロフュージョン』、『メテオ・ストライク』、『Sin トウルース・ドラゴン』、『ダブル・サイクロン』

「『ダブル・サイクロン』発動、『クリアー・ワールド』と、あなたから見て、右の伏せカードを破壊する」

「くっ！チェーン！『水霊術―「葬」』！攻撃表示の『キャット・シャーク』をリリースし、捨てさせるカードは……攻撃力5000とかいうふざけたそのモンスターだ！」

「では、『Sin トウルース・ドラゴン』を墓地に送る。そして『ク

リアー・ワールド』がなくなったことにより、『Sin サイバー・エンド・ドラゴン』は破壊される。ですが……『死者蘇生』を発動。墓地の『クリアー・バイス・ドラゴン』を特殊召喚」

『クリアー・バイス・ドラゴン』ATK？

「攻撃力……『？』ですか」

「ええ、まあ、それだけではないんですが……では、ハンデスなど無意味だということを見せてあげましょう。『クリアマインド』。私はレベル8『スターダスト・ドラゴン』にレベル2の『フォーミュラ・シンクロン』をチューニング。未来へと光速で駆けるその姿は新たな進化への扉を開く鍵となる。人も妖も……アクセルシンクロ。シンクロ召喚。光来せよ。レベル10『シューティング・スター・ドラゴン』」

『シューティング・スター・ドラゴン』ATK3300

「これは……」

「そして『ミラクルシンクロフュージョン』発動。墓地の2体の『TG ハイパーライブラリアン』を除外して、融合召喚。『覇魔導士アーカナイト・マジシャン』」

『覇魔導士アーカナイト・マジシャン』ATK1400

「そして『覇魔導士アーカナイト・マジシャン』に魔力カウンターを2個乗せる。そして乗っている魔力カウンターの数×1000ポイントアップする」

『覇魔導士アーカナイト・マジシャン』ATK1400↓3400

「そして『覇魔導士アーカナイト・マジシャン』の効果発動。このカードに乗っている魔力カウンターを1つ取り除き、カードを破壊する効

果か1枚ドロ―する効果のいずれかを選択できる。私はあなたの伏せカードを破壊する」

『覇魔導士アーカナイト・マジシャン』ATK3400↓2400

「マジック・シリンダー魔法の筒が……っ!」

「バトル。『シューティング・スター・ドラゴン』で『ダイガスタ・フェニクス』を攻撃。『スターダスト・ミラーージュ』」

「キヤアアア!!」

早苗&諏訪子LP1800↓0

winner古明地 さとり&古明地 こいしチーム

23. 「六回戦！幻影のデュエル！上」

『Cブロック第二回戦！今日の戦いを締めてくれるデュエリストたちはこの四名だー！』

そう言って、司会の後ろのスクリーンに光が点り、画像が映し出される。最新鋭の技術使ってるのかい。

『虎丸 星&ナズーリンチームVS鬼人 正邪&ファントムチームだ
あああ！』

「「「ウオオオオオオー！！（ノ・ω・ノ）」」」

アイエエエエ！ 『ファントム』!? 『ファントム』ナンデ!?

いやいやまじで『ファントム』? だって、漫画の『榊 遊矢』だぜ?
主人公だぜ? そんなやつが正邪と組むわけがないぞ……

「……やるか」

「そうだね。お互い特に話すこともないだろう」

「おうおうお前らあんまり調子こいてると後で痛い目に会わせ！ヒヤ
ハハ！」

「(ゴツン)」

「いったく！」

「……悪いな」

「いえいえ大丈夫ですよ……では、始めましょう」

「「「デュエル」」」

先行はナズーリン。

「先行は私だ。私はモンスターを伏せて、ターンエンドする」
「おいおい、その程度でいいのかよ」

「ああ、私はこれでターンエンドだと言っただろう」

星&ナズーリン 手札4

セットモンスターDEF???

「俺のターン……俺はフィールド魔法『スファイア・フィールド』を発動」

え？ま、待ってそれはオリカだけど……

え、ええ!?

嗟峨は驚きを隠せずにいた。そのためか、隣の霊夢はあの男への警戒を強める。
フアントム

「……このカードがある限り、手札の同じレベルのモンスターで
ナズバース
『No』エクシーズモンスターをエクシーズ召喚できる」

「『No』……3日に鬼の人が使っていたカードと同じタイプですか」
「そしてこの時、エクシーズ召喚される『No』はランダムに決められる。そのため、召喚条件を無視する……俺は手札の『グローアップ・バルブ』と『アノマリリス』でオーバーレイ！2体のモンスターでオーバーレイネットワークを構築！エクシーズ召喚！『No. 93希望皇ホープ・ガイザー』！」

『No. 93希望皇ホープ・ガイザー』ORU2 ATK2500

「『ホープ・ガイザー』の効果を発動！このカードのORUの数だけリンク9以下で攻撃力3000以下の『No』をエクストラデッキから特殊召喚する！出でよ！『No. 30破滅のアシッド・ゴーレム』！」

『No. 39希望皇ビヨンド・ザ・ホープ』！」

『No. 30破滅のアシッド・ゴーレム』ORU0 ATK3000
『No. 39希望皇ビヨンド・ザ・ホープ』ORU0 ATK3000

完全にフアントムじゃねえ……だが、遊馬先生でもアストラルでもねえぞ。一体……誰だ……？

「その後、『ホープ・ガイザー』のORUを1つ取り除く。この効果で特殊召喚されたモンスターの効果は無効化され、このターン、特殊召喚することはできず、戦闘で相手に与えるダメージは半分になる。その代わり、『ホープ・ガイザー』は他に『No.』がいるとき、破壊されない」

『No. 93希望皇ホープ・ガイザー』ORU2↓1

「……バトルだ。『ホープ・ガイザー』でセットモンスターを攻撃」

「ふ、セットモンスターは『おジャマ・ブルー』だ」

「な、何だそのカード!?!なめてんのか!」

鬼人正邪はそう叫ぶが、フアントムは何も言わない。

「見た目で判断すると痛い目を見るぞ。破壊された『おジャマ・ブルー』の効果を発動。デッキから『おジャマ』カードを2枚手札に加える。『おジャマ・カントリー』と『おジャマジック』を手札に」「『アシッド・ゴーレム』と『ビヨンド』でダイレクトアタック。だが、戦闘ダメージは半分だ」

星&ナズーリン LP8000↓6500↓5000

「……ターンエンド」

フロントム&正邪 手札3

『No. 93希望皇ホープ・ガイザー』ORU1 ATK250
0

『No. 30破滅のアシッド・ゴーレム』ORU0 ATK30
00

『No. 39希望皇ビヨンド・ザ・ホープ』ORU0 ATK3
000

「では、私のターンですね。ドロロー……私は『昇華する魂』を発動します。そして、儀式魔法『機械天使の儀式』を発動します。手札の『サイバーエンジェル―弁天―』をリリースし、『サイバーエンジェル―韋駄天―』を儀式召喚」

『サイバーエンジェル―韋駄天―』ATK1600

「この時、召喚に成功した『韋駄天』とリリースされた『弁天』、そして『昇華する魂』の効果が全て発動します。まず、『昇華する魂』の効果で儀式の素材である『弁天』を手札に戻します。そして、リリースされた『弁天』の効果でデッキから『サイバー・プチ・エンジェル』を手札に加えます。更に『韋駄天』の効果で墓地から『機械天使の儀式』を手札に戻します。そして『サイバー・プチ・エンジェル』を召喚」

『サイバー・プチ・エンジェル』ATK300

「効果を発動します。デッキから『サイバーエンジェル』か『機械天使の儀式』を手札に加えます。私は『サイバーエンジェル―美朱濡―』を手札に……『機械天使の儀式』を発動。場の『韋駄天』と手札の『弁天』をリリースし、降臨せよ」

『サイバーエンジェル―美朱濡―』 ATK3000

「リリースされた『弁天』と『韋駄天』の効果を発動！まずは『韋駄天』から自分のフィールドの儀式モンスターへの攻撃力守備力を1000ポイントアップさせる！『弁天』の効果！『サイバーエンジェル―茶吉尼―』を手札に加えます！」

『サイバーエンジェル―美朱濡―』 ATK3000↓4000

「そして『美朱濡』の効果を発動！エクストラデッキから特殊召喚された相手モンスターを全て破壊し、その数×1000ポイントのダメージを与える！破壊は同時なので、『ホープ・ガイザー』も破壊です！」

フロントム&正邪 LP8000↓5000

「更にこのターンのバトルフェイズに『美朱濡』は2回攻撃できます！」

「な、何い!?二回目の攻撃を喰らったら私らの負けじゃねえか！」

「バトル！『美朱濡』でダイレクトアタック！」

「手札から『バトルフェーダー』の効果を発動。このカードを特殊召喚し、バトルフェイズを終了させる！」

『バトルフェーダー』 DEF0

「なら、これでターンエンドです」

星&ナズーリン 手札4

『サイバーエンジェル―美朱濡―』 ATK4000

『昇華する魂』

「……私のターンだ！ドロー！……チィ……」
（何だ……？）

『『モンスターゲート』を発動！『バトルフェーダー』をリリースし、通常召喚できるモンスターが出るまでデッキのカードをめくり、そのモンスターを特殊召喚する。違うなら墓地に送る……と言っても、私のデッキに存在するモンスターは10枚もないんだけどな！だから、そいつらの内の1体が出るまで墓地に送らせてもらうぜ！1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17, 18枚目！『ユベル』！』

『ユベル』 ATK0

「そして『黄泉ガエル』を召喚し、カードを3枚伏せて、エンドフェイズ時に『ユベル』の維持コストとして『黄泉ガエル』をリリースする」

フロントム&正邪 手札1

『ユベル』 ATK0

『スファイア・フィールド』

伏せ3

「私のターン……（何ださっきの天邪鬼の反応は……）」

ナズーリンは疑問を胸にしまい、取り敢えずドローした。

引いたカードをそのまま発動させたということとは最初のドローカードは『モンスターゲート』。この状況では恐らく使わない手はないだろう。だが、明らかに正邪は『モンスターゲート』を引いて悔しかった。

「私はフィールド魔法『おジャマ・カントリー』を発動……（望んでい

たカードを引けなかったからか？いや、あそこで引くべきカードは博打の可能性があるとはいえ、『モンスターゲート』は良かったはず……（ならなせ）」

だが、この程度の情報だけでは解決しないとナズーリンは敵のモンスターである『ユベル』を見る。攻撃力0……明らかに攻撃を誘っている。

『『おジャマ・カントリー』の効果を発動！手札の『おジャマ』カードを捨て、墓地の『おジャマ』を特殊召喚する！私は『おジャマジック』を捨て、甦れ！』『おジャマ・ブルー』！』

『おジャマ・ブルー』ATK0

「そして『おジャマ・カントリー』の更なる効果！フィールドに『おジャマ』モンスターが存在する場合、全てのモンスターの攻撃力守備力を入れ替える！」

『サイバーエンジェル—美朱濡—』ATK4000↓3000

『おジャマ・ブルー』ATK0↓1000

「『入れ替える』だア！そこは『ひっくり返す』だろうが！」

「てめーじゃねえんだ」

「あいたく！おま、今日2回目だぞ！」

「すまない。続けてくれ」

「あ、ああ……墓地に送られた『おジャマジック』の効果でデッキから『おジャマ・イエロー』、『おジャマ・グリーン』、『おジャマ・ブラック』をそれぞれ手札に加え、それらを『融合』のカードで融合させる。融合召喚。『おジャマ・キング』」

『おジャマ・キング』ATK0↓3000

「そして『おジャマ・キング』がいる限り、君達のフィールドのモンスターゾーンを3箇所を使用不可にする」

「けっ！名前どうりなお邪魔っぶりだな！ならさっさと退場してもらおうか！永続トラップ発動！『召喚制限―猛突するモンスター―』を発動！こいつがある限り、特殊召喚されたモンスターは攻撃表示になり、特殊召喚されたターンに攻撃しなければならぬ！」

「……ならバトル『おジャマ・キング』で『ユベル』を攻撃！」

「ヒヤハハハ！永続トラップ『革命―トリック・バトル』発動！こいつは戦闘での上下関係を『ひっくり返す』！」

本来ならば攻撃力3000のモンスターが攻撃力0のモンスターを攻撃した場合、攻撃力0の方が、破壊されるはずなのに、無残に壊れたのは攻撃力3000の方であった。

「何!?!これは……」

「ヒヤハハハ！言つたら！戦闘での上下関係を『ひっくり返す』ってな！『革命―トリック・バトル』の効果で、攻撃表示同士の戦闘が行われる場合、攻撃力の高い方が破壊される！」

「そういうことか……だが、戦闘ダメージは君が、」

「勿論、『ユベル』の効果で戦闘ダメージを0にしているぜ。そして更に更にい！『ユベル』の効果を発動！このカードが攻撃された時！攻撃してきたモンスターの攻撃力分のダメージをてめえらに与える！」

「何だど!?!ぐっ……!」

星&ナズーリン LP5000↓2000

「さあさあ、その『ブルー』も攻撃してきなよ！」

「くっ、『おジャマ・ブルー』で『ユベル』を攻撃……」

「ヒヤハハハ！『ユベル』と『革命―トリック・バトル』の効果はつど
う！『ナイトメア・ペイン』！」
「ぐううう！」

星&ナズーリン LP2000↓1000

『なんとということだー！まさかのカウンターコンボにより、一気に虎丸 星&ナズーリンチームのライフポイントが1000ポイントになってしまったー！』
「フィールドに『おジャマ』モンスターがいなくなったので『美朱濡』の攻守は元に戻る」

『サイバーエンジェル―美朱濡―』 ATK3000↓4000

「だ、だが、戦闘破壊された『おジャマ・ブルー』の効果でデッキから『おジャマ・デルタハリケーン!!』と『おジャマジック』を手札に……に加え、速攻魔法『神秘の中華鍋』を発動し、『美朱濡』をリリースして、攻撃力か守備力のいずれかの数値分、自分はライフを回復する」

星&ナズーリン LP1000↓5000

「……え？なんで4000も回復してんの？」

「はあ……『神秘の中華鍋』の効果はフィールドを参照する効果だからだ」

「え、あ……そ、そうなんだふーん……あ、ったろ!?なんで殴った!?!」
「……悟れ」

「そして、メインフェイズ2に入り、私は魔法カード『おジャマンドラ』

を発動。1000のライフポイントを支払い、墓地の『おジャマ・イエロー』、『おジャマ・グリーン』、『おジャマ・ブラック』を特殊召喚

星&ナズーリン LP5000↓4000

『おジャマ・イエロー』 ATK0↓1000

『おジャマ・グリーン』 ATK0↓1000

『おジャマ・ブラック』 ATK0↓1000

「そして魔法カード『おジャマ・デルタ・ハリケーン!!』を発動！私のフィールドに『おジャマ』三兄弟がいるとき、相手モンスターを全て破壊する！」

「何だとお!?……なぐんてな！ヒヤハハハ！『ユベル』が破壊されたので、デッキから進化した姿で特殊召喚するぜ！出でよ！『ユベル—Das^ダ Abs^アscheul^ブich^{シエ} Rit^{リッ}ter^{ター}』！」

0 『ユベル—Das Abscheulich Ritter』 ATK

「第二形態だ?!……カードを伏せて、ターンエンドだ」

星&ナズーリン 手札2

『おジャマ・イエロー』 ATK1000

『おジャマ・グリーン』 ATK1000

『おジャマ・ブラック』 ATK1000

『おジャマ・カントリー』

『昇華する魂』

伏せ1

「俺のターン……ドロー……『スファイア・フィールド』の効果を発動。手札の『光の住人クレパール』と『魔族召喚師^{デビルズ・サモナー}』でオーバーレイ！2体のモンスターでオーバーレイネットワークを構築！エクシーズ召喚！出でよ『No. 92 偽骸神龍Heart-earth Dragon』」

『No. 92 偽骸神龍Heart-earth Dragon』OR
U2 ATK0

「『Heart-earth Dragon』はこいつが戦闘で発生するダメージを俺の代わりに相手に与える効果を持つ……『ユベル』とは違い、こいつは自身が攻撃しても効果を発動できる。いつまで耐えられるかな、バトル『Heart-earth Dragon』で『おジャマ・イエロー』を攻撃」

星&ナズーリン LP4000↓3000

「……このままターンを終了する。だが、『ユベル第二形態』の効果を発動。このカード以外の全モンスターを破壊する！」

「なっ！」

「この時、ORUを持った状態の『Heart-earth Dragon』は復活する」

『No. 92 偽骸神龍Heart-earth Dragon』OR
U0 ATK0

「更にORUとして墓地に送られた『光の住人クレパール』の効果を発動。『人造天使トークン』を2体特殊召喚する」

『人造天使トークン』 ATK300
『人造天使トークン』 ATK300

ファントム&正邪 手札1

『ユベル―Das Abscheulich Ritter』
ATK0

『No. 92 偽骸神龍Heart―earth Drago
n』ORU0 ATK0

『人造天使トークン』 ATK300

『人造天使トークン』 ATK300

『スフィア・フィールド』

『召喚制限―猛突するモンスター』

『革命―トリック・バトル』

伏せ1

24. 「六回戦！幻影のデュエル！下」

「強い……ですね。でも負けるつもりはさらさらありません。ドロ―
！……来ましたか！」

「！」

「まず、私は『おジャマ・カントリー』の効果を発動します！手札の『おジャマ・ブリーフ』を墓地に送り、墓地の『おジャマ・イエロー』を特殊召喚！」

『おジャマ・イエロー』 ATK0↓1000

「そして『デブリ・ドラゴン』を召喚！」

『デブリ・ドラゴン』 ATK1000↓2000

「『デブリ・ドラゴン』の効果を発動！墓地から攻撃力500以下のモンスターを効果を無効にして、特殊召喚します！復活しなさい！『おジャマ・ブラック』！」

『おジャマ・ブラック』 ATK0↓1000

「そしてレベル2『おジャマ・イエロー』、レベル2『おジャマ・ブラック』にレベル4の『デブリ・ドラゴン』をチューニング！飛翔せよ、その輝きを持ちて、悪意を照らせ！シンクロ召喚！『閃？龍スターダスト』ト―！」

『閃？龍スターダスト』 ATK2500

「昨日の地底の姉妹が使っていたドラゴンに似ている奴だな……」

「ええ、ですが私の『スターダスト』も更なる可能性を秘めているのです」

トラウリヒトラッヘ
Trauring Drachen!」

『ユベル―Das Extremmer Trauring Drachen
en』ATKO

「こいつは『ユベル』の最終進化形だ。こいつが攻撃した時でも効果を発動でき、その時、戦闘を行ったモンスターは破壊されるんだよ。ま、『トリック・バトル』があるからそこはなんとも言えないが、こいつで終いだ!」

「ええ、『分かっていました』。カウンター罠『重力崩壊』! 『スターダスト』を墓地に送り、『ユベル―Das Extremmer Trauring Drachen』の召喚を無効にして、破壊します!」

「な、なんだとお!? くそくそくそ! 私は墓地の『アノマリリス』の効果を発動! このカードを除外し、モンスターのアドバンス召喚に必要な素材を1つ減らす!」

「ですが、『重力崩壊』の効果でこのターン、あなたは召喚、反転召喚、特殊召喚ができなくなつて……」

「セットは別だ! 私は『人造天使トークン』をリリースし、アドバンスセット! ターンエンド!」

フアントム&正邪 手札1

『No. 92 偽骸神龍Heart―earth Dragoon』

ORUO ATKO

『セットモンスター』DEF???

『スフィア・フィールド』

『召喚制限―猛突するモンスター』

『革命―トリック・バトル』

伏せ1

「私のターン、ドロ―! 『おジャマ・カントリー』の効果を発動! 手札の『おジャマジック』を捨て、墓地の『おジャマ・ブルー』を特殊召

喚！」

『おジャマ・ブルー』 ATK0↓1000

「そして墓地に送られた『おジャマジック』の効果でデツキから『おジャマ三兄弟』を手札に加え、『手札抹殺』を発動。私は4枚捨てる。4枚ドロする。」

「私は1枚だ……ドロ」

「トラップ発動『神事の獣葬』を発動。『おジャマ・ブルー』を破壊し、次のターンのスタンバイフェイズ時に2枚ドロできる。そして自分フィールドにモンスターが存在しないので手札から『魔獣の懐柔』を発動。デツキからレベル2以下の獣族モンスターを効果を無効にして特殊召喚する。この効果の発動後、私は獣族しか特殊召喚できなくなり、この効果で特殊召喚したモンスターは破壊されることになるがね。デツキから現れよ！『おジャマ三兄弟』！」

『おジャマ・イエロー』 ATK0↓1000

『おジャマ・グリーン』 ATK0↓1000

『おジャマ・ブラック』 ATK0↓1000

「そして魔法カード『おジャマ・デルタサンダー!!』を発動！自分のフィールドに『おジャマ三兄弟』が存在する場合に発動でき、相手フィールド・手札のカードの枚数×500ポイントのダメージを与える！君たちのフィールドと手札の合計は7枚。よって、3500ポイントのダメージだ！」

「させるか！速攻魔法発動！『サルガツソの灯台』！効果ダメージを0にする！」

「くっ！耐えられたか！だが、『おジャマ・デルタサンダー!!』の効果はまだある！手札の『おジャマ・デルタハリケーン!!』を墓地に送ることで相手フィールドの全てのカードを破壊する！」

「チィ……！だが、セットモンスターは『墮天使アスモディウス』！こ

「いつがフィールドから墓地に送られた場合、『アスモトークン』と『デイウストークン』を特殊召喚する！」

『アスモトークン』DEF1300↓1800

『デイウストークン』DEF1200

「それぞれ『アスモ』は戦闘、『デイウス』は効果では破壊されない！」
「また厄介なトークンが……『貪欲な壺』を発動！墓地の『おジャマ・イエロー』2体、『おジャマ・グリーン』2体、『おジャマ・ブラック』の5体をデッキに戻し、2枚ドロロー！『融合回収』フュージョン・リカバリーを発動！墓地の『おジャマ・ブラック』と『融合』を手札に戻し、場の『おジャマ三兄弟』を融合！『おジャマ・キング』！」

『おジャマ・キング』ATK0↓3000

「先ほども言ったように『おジャマ・キング』が場にいる限り、君たちのモンスターゾーンは3か所、使用不可になる。そして『一角獣の使い魔』を召喚！」

『一角獣の使い魔』ATK0↓1000

「バトル『おジャマ・キング』で『デイウストークン』を攻撃。メインフェイズ2に入り、カードを伏せて、ターンエンドだ」

星&ナズーリン 手札1

『おジャマ・キング』ATK3000

『一角獣の使い魔』ATK1000

『おジャマ・カントリー』

伏せ1

「俺のターン、ドロロー。」

「このスタンバイフェイズ時に『神事の獣葬』の効果で2枚ドロー」
「強欲で貪欲な壺』を発動。デッキからカードを10枚裏側で除外して、2枚ドロー……『ジェスター・コンフィ』を攻撃表示で特殊召喚」

『ジェスター・コンフィ』ATK0

「2体のモンスターをリリースし、『オッドアイズ・ペンデュラム・ドラゴン』をアドバンス召喚！」

嵯峨 side

「『オッドアイズ』……だが、『ペンデュラム・ドラゴン』か……違うな……」

ぶつぶつと呟く嵯峨に心配そうな目で見る霊夢。それに気づくと、「いや、何でもない。気にするな」と笑って見せるが……霊夢の表情は浮かなかった。

『オッドアイズ・ペンデュラム・ドラゴン』ATK2500↓2000

「『オッドアイズ』の攻撃力は2000……だが、これでは心もとない。手札から『運命の宝札』を発動。このカードはサイコロの出目分、カードをドローした後、同じ枚数デッキからカードを除外する……出目は……6。6枚ドローし、6枚除外……スケール3の『EMシール・イー』とスケール8の『EMオッドアイズ・ユニコーン』でペンデュラムスケールをセッティング！そして、『シール・イー』のペンデュラム効果を発動！『おジャマ・キング』の効果を無効にする！」
「くっ！」

「更に俺は今、レベル4から7までのモンスターが同時に召喚可能な

状況だ……ペンデュラム召喚。現れよ『EMウィップ・バイパー』、『ダーク・アーキ・タイプ』」

『EMウィップ・バイパー』ATK1700↓900

『ダーク・アーキ・タイプ』ATK1400↓400

「『ウィップ・バイパー』の効果を発動。『おジャマ・キング』の攻撃力と守備力を更に『ひっくり返す』！」

「な、」

『おジャマ・キング』ATK3000↓0

「バトルだ。『オッドアイズ・ペンデュラム・ドラゴン』で『おジャマ・キング』を攻撃！『螺旋のストライクバースト』！」

「ヒヤハハハ！『オッドアイズ』は相手に与える戦闘ダメージを倍にする効果を持っている！これで4000ポイントダメージで終わりだ！」

「トラップ発動！『レイジ・リシンクロ』！自分フィールドのチューナーとそれ以外のモンスターを1体ずつ墓地に送り、墓地に送ったモンスターたちのレベルの合計を持つシンクロモンスターを墓地より、特殊召喚する！私はレベル6の『おジャマ・キング』にレベル2の『一角獣の使い魔』をチューニング！シンクロ召喚！再び煌めけ！『閃？龍スターダスト』！」

『閃？龍スターダスト』ATK2500

「更に『レイジ・リシンクロ』の効果で特殊召喚されたシンクロモンスターの攻撃力は500ポイントアップする！」

『閃？龍スターダスト』ATK2500↓3000

「だが、フィールドに『おジャマ』が存在しなくなったので、俺たちのモンスターの攻撃力は元に戻る」

『オッドアイズ・ペンデュラム・ドラゴン』 ATK 2000 ↓ 2500
『EMウィップ・バイパー』 ATK 900 ↓ 1700

『ダーク・アーキ・タイプ』 ATK 400 ↓ ATK 1400

「バトル再開だ。『オッドアイズ・ペンデュラム・ドラゴン』で『スターダスト』を攻撃」

「だが、攻撃力はこちらの方が上だ！」

「そんなことは百も承知だ。俺は『オッドアイズ・ユニコーン』のペンデュラム効果を発動。『EMウィップ・バイパー』の攻撃力分、『オッドアイズ』の攻撃力はアップする」

『オッドアイズ・ペンデュラム・ドラゴン』 ATK 2500 ↓ 4200

「くっ！『スターダスト』の効果で1度、戦闘では破壊されなくする！」
「だが、戦闘ダメージは受けてもらう。更に『オッドアイズ』の効果で戦闘ダメージは倍になる。『リアクション・フォース』」

星&ナズーリン LP 3000 ↓ 600

「ぐう……！」

『ダーク・アーキ・タイプ』で『スターダスト』を攻撃」
「なっ！」

フロントム&正邪 LP 2800 ↓ 1200

「……っ。破壊された『ダーク・アーキ・タイプ』の効果を発動。受けたダメージ以下のモンスターをデッキから特殊召喚する。俺は『聖鳥クレイン』を特殊召喚」

『聖鳥クレイン』 ATK1600

「『クレイン』は特殊召喚に成功すれば1枚ドロウできる。メインフェイズ2に入り、『クレイン』と『ウィップ・バイパー』でオーバーレイ！2体のモンスターでオーバーレイネットワークを構築！エクシーズ召喚！『No. 98 絶望皇ホープレス』！」

『No. 98 絶望皇ホープレス』 ORU2 DEF2500

「俺はカードを2枚伏せて、ターンエンド」

ファントム&正邪 手札1

・モンスターゾーン

『オッドアイズ・ペンデュラム・ドラゴン』 ATK4200↓2
500

『No. 98 絶望皇ホープレス』 ORU2 DEF2500

・Pゾーン

『EMシール・イール』スケール3

『EMオッドアイズ・ユニコーン』スケール8

・魔法・罫ゾーン

伏せ2

「私のターン、ドロウします！私はカードを伏せて、魔法『アカシックレコード』を発動！デッキからカードを2枚ドロウし、ドロウしたカードがこのデュエル中に使用されていたカードだった場合、除外しなければいけない……ドロウ！新しいカードです！更に永続魔法『王

家の神殿』を発動！このターンにセットされたトラップカードを1枚だけ発動することができます！伏せていたトラップカード『D・Dダイナマイト』を発動！除外されている相手のカード数×300ポイントのダメージを与えます！貴女たちが除外しているカードの数は17枚！よって5100ポイントのダメージを」

「手札から『ハネワタ』を捨て、効果ダメージを0にする」

「くっ、ならバトルです！『閃？龍スターダスト』で『オッドアイズ・ペンデュラム』を攻撃！」

「『絶望皇ホープレス』の効果が発動。ORUを1つ取り除き……」

『絶望王ホープレス』ORU2↓1

「攻撃したモンスターを守備表示にする」

『閃？龍スターダスト』ATK2500↓DEF2000

「これも防がれた！……カードを1枚伏せて、ターンエンドです」

星&ナズーリン 手札0

・モンスターゾーン

『閃？龍スターダスト』DEF2000

・魔法・罨ゾーン

『王家の神殿』

伏せ1

・フィールド魔法

『おジャマ・カントリー』

「私のターン、ドロー！ククク、ファイナルターンだ！リバースカードオープン！速攻魔法『揺れる眼差し』発動！フィールドのPゾーンのカードを全て破壊し、その枚数によって、効果が増幅する！まず1枚目！相手に500ポイントのダメージを与える！」

「うっ！」

星&ナズーリン LP6000↓1000

「更に2枚目！デッキからPモンスター『EMラクダウン』を手札に加えるぜ！そして永続魔法『好敵手の名前』発動！相手墓地のモンスターの名前を宣言し、そのモンスターと同じ、名前・攻撃力・守備力・効果を持ったトークンを特殊召喚する！私が宣言するのは『おジャマ・キング』だ！」

「何!？」

『おジャマ・キング』 ATK0

「更にフィールド魔法『おジャマ・カントリー』の効果で全てのモンスターの攻撃力と守備力を『ひっくり返す』!!」

『おジャマ・キング』 ATK0↓3000

『オッドアイズ・ペンデュラム・ドラゴン』 ATK2500↓2000

『絶望皇ホープレス』 DEF2500↓2000

『閃?龍スターダスト』 DEF2000↓2500

「更に『EMラクダウン』をペンデュラムゾーンにセッティング！更に『おジャマ・キング』を対象に『EMラクダウン』のペンデュラム効果を発動！守備表示の相手モンスターの守備力を800ポイントダウンさせ、対象となった『おジャマ・キング』は貫通効果を得る！」

『閃?龍スターダスト』 DEF2500↓1700

「『おジャマ・キング』で『閃?龍スターダスト』を攻撃!」
「手札から『シンクロ・ビリーバー』を特殊召喚!」

『シンクロ・ビリーバー』DEF0

「シンクロモンスターへの攻撃を無効にして、このカードを特殊召喚しますー!」

「もう無駄なんだよ!速攻魔法『ダブル・アップ・チャンス』!」

「それは、霊夢さんが使っていた……!」

「モンスターの攻撃が無効になった時に発動でき、そのモンスターの攻撃力を倍にし、もう1度バトルできる!」

『おジャマ・キング』ATK3000↓6000

「『おジャマ・キング』で『閃?龍スターダスト』攻撃!」

「キヤアアアア!」

星&ナズーリン LP100↓0

WINNER 鬼人正邪&フロントムチーム

「……嗟哦?」

「……あ、どうした霊夢?」

「いや、震えているように見えたから」

「クク……武者震いさ……なあ……兄貴……!」

25. 「第七回戦！魔の戦い 上」

次の日……

「あれが……絶、嗟峨の兄っていう人？」

髪にドライヤーの風を当てながら、霊夢は聞く。

「ああ、ファントムとか仮名を使つてまでこの大会に出場している理由までは分からないが、おそらく紫さんの一任だろうな」

「……なんか企んでいるのかしらね？」

「まあ、なんかはあるのかもな。ただ俺は兄貴とデュエルするまで勝ち上がりたくなっただけだ」

「……ま、狙うのは優勝だから当然よ」

『さあー！ついに第七回戦！霧雨 魔理沙&アリス・マーガトロイド
チームVS西行寺 幽々子&魂魄 妖夢チームのデュエルだあー
!!』

『『『『（ノ・ω・）ノウオオオオオオオオオオオオオオオオ!!』』』』』

「やっと私の出番だぜ！」

「残念ですが次の出番はもうありませんよ。なぜならあなた達はここで負けるのですから！」

「結構なことね。私たちは私たちのデュエルを貫くだけよ」

「おもしろいわね」

「「さあー！」」

「『デュエル!』」

ターン順

魔理沙↓妖夢↓アリス↓幽々子（以下ループ）

「先行は私が頂くぜ!私のターン!私は『ベビー・マジシャン・ガール』を召喚!」

『ベビー・マジシャン・ガール』ATK400

「『ベビー』の効果を発動!このモンスターが召喚に成功した時にデッキから『マジシャン・ガール』モンスターを1体手札に加えるぜ!私は『ブラック・マジシャン・ガール』を手札に加えて、カードを2枚伏せてターンエンドだぜ!」

魔理沙 手札3

・モンスターゾーン

『ベビー・マジシャン・ガール』ATK400

・魔法・罨ゾーン

伏せ2

「私のターン、ドロウする!悪いが行かせてもらおうぞ!私は『X^{ダブルエックス}X』
セイバー ボガーナイト』を召喚!」
「妖夢のいつものが来たぜ……!」

『X^{ダブルエックス}X』セイバー ボガーナイト』ATK1900

『ボガーナイト』の効果を発動！手札の『X^{ダブルエックス}Xーセイバー フラムナイト』を特殊召喚する！」

『X^{ダブルエックス}Xーセイバー フラムナイト』 ATK1300

「レベル4の『ボガーナイト』にレベル3の『フラムナイト』をチューニング！戦場よりて戦士の叫びが木霊する、集え同志よ！シンクロ召喚！レベル7！『X^{ダブルエックス}Xーセイバー ソウザ』！」

『X^{ダブルエックス}Xーセイバー ソウザ』 ATK2500

「更に『ガトムズの非常招集』を発動！自分フィールドに『Xーセイバー』シンクロモンスターが存在する場合、墓地の『Xーセイバー』モンスター2体を攻撃力を0にして特殊召喚する！甦れ！『ボガーナイト』！『フラムナイト』！」

『X^{ダブルエックス}Xーセイバー ボガーナイト』 ATK1900↓0

『X^{ダブルエックス}Xーセイバー フラムナイト』 ATK1300↓0

「更に自分フィールドに『Xーセイバー』モンスターが2体以上存在するので手札から『X^{ダブルエックス}Xーセイバー フォルトロール』を特殊召喚できる！」

『X^{ダブルエックス}Xーセイバー フォルトロール』 ATK2600

「そしてレベル4の『ボガーナイト』にレベル3の『フラムナイト』を再びチューニング！戦場こそがすべてを発揮する場所、目の敵を倒すために今こそ集え！シンクロ召喚！レベル7『Xーセイバーウルベルム』！」

『Xーセイバーウルベルム』 ATK2200

『フォルトロール』の効果を発動！墓地のレベル4以下の『X―セイバー』モンスターを特殊召喚する……私は『X―セイバー フラムナイト』を特殊召喚する！」

『X―セイバー フラムナイト』 ATK1300

「レベル6の『フォルトロール』にレベル3の『フラムナイト』をチューニング！戦場こそが戦士の散り場、今こそ最高に輝くために集うがい！シンクロ召喚！レベル9『X―セイバー ガトムズ』！」

『X―セイバー ガトムズ』 ATK3100

『なんと魂魄妖夢選手、1ターンに3体ものシンクロモンスターを召喚したー！』

「……『ガトムズの非常招集』の効果で私はこのターン、バトルフェイズは行えない。私はこれでターンエンド」

妖夢 手札2

・モンスターゾーン

『X―セイバー ガトムズ』 ATK3100

『X―セイバー ソウザ』 ATK2500

『X―セイバーウルベルム』 ATK2200

・魔法・罫ゾーン

なし

「私のターン、ドローよ！私はマジックカード、『シャドール・フュージョン影衣融合』を発動！相手フィールドにエクストラデッキから特殊召喚されたモンスターがモンスターが存在する場合、デッキから融合素材モンスターを墓地に送ることも融合召喚を行える！」

「デッキのモンスターで融合だど!?!」

「私はデッキから『シャドール・リザード』と『シャドール・ヘッジホッグ』を墓地に送り、融合する!影の中の蜥蜴よ、針鼠との影を交え、今こそ魔力の糸を束ねその影を具現化せよ!融合召喚!レベル5!『エルシャドール・ミドラーシュ』!」

『エルシャドール・ミドラーシュ』 ATK2200

「カード効果で墓地に送られた『リザード』と『ヘッジホッグ』の効果が発動!まず、『リザード』の効果でデッキから『シャドール・ビースト』を墓地に送り、『ヘッジホッグ』の効果で『シャドール・ハウンド』を手札に加える。さらに『ビースト』の効果でカードを1枚ドロ!」
「相変わらずの展開力だぜ!」

「当たり前よ、ネフェシャドール・フュージョン『魂写しの同化』を『ミドラーシュ』に装備!これにより、『ミドラーシュ』は水属性モンスターとして融合素材の1体となることができる。そして『魂写しの同化』の更なる効果が発動!自分フィールドのこのカードの装備モンスターと手札のモンスターで融合召喚を行う!私は『ミドラーシュ』と手札の『シャドール・ファルコン』で融合!」

1ターンで二度目の融合である。流石シャドールといったところか。

「闇の影に飲み込まれた亡骸よ、影の中の鷹と交え、今こそ魔力の糸を束ね激流の中に身を投じろ!融合召喚!レベル9!『エルシャドール・アノマリリス』!」

『エルシャドール・アノマリリス』 ATK2700

「墓地に送られた『ミドラーシュ』と『ファルコン』の効果が発動!まずは『ミドラーシュ』の効果で墓地の『影衣融合』を手札に加え、『ファ

ルコン』は自身を裏守備表示で特殊召喚する！」

『シャドール・ファルコン』（セット）DEF1400

「バトルよ！『アノマリリス』で『XX―セイバーソウザ』を攻撃！」
「くっ！」

幽々子&妖夢 LP8000↓7800

「メインフェイズ2に入り、カードを1枚伏せて、『ベビー・マジシャン・ガール』を守備表示に変更して、ターンエンドよ！」

魔理沙&アリス 手札4

・モンスターゾーン

『エルシャドール・アノマリリス』ATK2700

『シャドール・ファルコン』（セット）DEF1400

『ベビー・マジシャン・ガール』DEF400

・魔法・罫ゾーン

伏せ3

「うふふ、私のターンね。ドロく。私はマジックカード『幽合』を発動。自分フィールド・デッキ・墓地のモンスターを除外することでアンデット融合モンスターを融合召喚できる。私はデッキから『不知火の宮司』と『ネクロフェイス』を除外して融合する。誰にも見えない炎が妖の力併せて冥界に流れ着く。嘆きの川より現れ出でよ！融合召喚！レベル8『冥界龍 ドラゴネクロ』」

『冥界龍 ドラゴネクロ』ATK3000

あれ？『ドラゴネクロ』ってドラゴン族だった気がするんですが
…って漫画版か。ならしやうがない（しやうがなくなる）

「そして除外された『宮司』と『ネクロフェイス』の効果を発動。まずは『宮司』から、相手フィールドの表側表示のカードを1枚破壊する。破壊の対象は『アノマリリス』」

「くっ！でも、『アノマリリス』が墓地に送られたことにより墓地の『魂写しの同化』を手札に加えるわ！」

「そして『ネクロフェイス』の効果が発動♪お互いにデッキの上からカードを5枚除外する」

「……辛いわね」

「私は除外された『不知火の隠者』の効果が発動。除外されている『隠者』以外の『不知火』を特殊召喚できるわ。『不知火の鍛師』を特殊召喚」

『不知火の鍛師』DEF0

「更に『ユニゾンビ』を召喚」

『ユニゾンビ』ATK1300

「『ユニゾンビ』の効果も発動。手札の『ファラオの化身』を墓地に送り、『ユニゾンビ』自身のレベルを1つ上げる」

『ユニゾンビ』☆3↓4

「私はレベル4の『鍛師』にレベル4となった『ユニゾンビ』をチューニング。シンクロ召喚！レベル8『PSYフレームロード』オメガ！」

『PSYフレームロード』オメガATK2800

「このままバトルね。『Ω』で『ベビー・マジシャン・ガール』を攻撃」
「ちっ」

『ウルベルム』でセット状態の『シャドール・ファルコン』を攻撃」
「リバーズした『シャドール・ファルコン』の効果を発動するわ！墓地の『シャドール・ビースト』を裏守備表示で特殊召喚する！その後に『ファルコン』が破壊されて戦闘が終了するわ」

『シャドール・ビースト』（セット）DEF1700

『ドラゴネクロ』で『ビースト』を攻撃！」

「リバーズした『ビースト』の効果を発動！デッキからカードを2枚ドロし、1枚捨てる……私は『シャドール・ヘッジホッグ』を墓地に送る」

『ドラゴネクロ』の効果を発動。『ドラゴネクロ』と戦闘を行った相手モンスターは破壊されない代わりに攻撃表示になって攻撃力を失い、その数値分の攻撃力を持った『ダークソウルトークン』を特殊召喚する♪」

『シャドール・ビースト』DEF1700↓ATK2200↓0

『ダークソウルトークン』ATK2200

「っ！墓地に送られた『シャドール・ヘッジホッグ』の効果でデッキの『シャドール・リザード』を手札に加えるわ！」

「バトルは続くわ。『ダークソウルトークン』で『シャドール・ビースト』を攻撃」

「永続罫『マジシャンズ・プロテクション』を発動！自分フィールドに魔法使い族モンスターが存在する限り、私たちが受ける全てのダメージを半分にできるー！」

魔理沙&アリス LP8000↓6900

『ガトムズ』でダイレクトアタック」

魔理沙&アリス LP6900↓3800

「ふーん、耐えしのいだわね。メインフェイズ2に入り、カードを1枚伏せてターンエンドよ」

幽々子&妖夢 手札2

・モンスターゾーン

『XX―セイバー ガトムズ』 ATK3100

『冥界龍 ドラゴネクロ』 ATK3000

『PSYフレイムロード Ω』 ATK2800

『X―セイバーウルベルム』 ATK2200

『ダークソウルトーカーン』 ATK2200

・魔法・罨ゾーン

伏せ1

「よっし、私のターンだぜ！ドロー！」

「スタンバイフェイズ時に『Ω』の効果を発動。除外されている『馬頭鬼』を墓地に戻すわ」

「まあ、それはしようがないぜ……罨カード『マジシャンズ・ナビゲート』を発動！手札の『ブラック・マジシャン』を特殊召喚！」

『ブラック・マジシャン』 ATK2500

「更にデッキからレベル7以下の闇属性魔法使い族モンスターを特殊

召喚できる！来い！『マジシャン・オブ・ブラック・イリュージョン』！」

『マジシャン・オブ・ブラック・イリュージョン』DEF2500

「レベル7モンスターが2体……来るか……！」

「私はレベル7の『ブラック・マジシャン』と『マジシャン・オブ・ブラック・イリュージョン』でオーバーレイ！2体のモンスターでオーバーレイネットワークを構築！エクシーズ召喚！ランク7！『幻想の黒魔導師』！」

『幻想の黒魔導師』ORU2 ATK2500

「ORUを1つ取り除き、『幻想の黒魔導師』の効果を発動！手札・デッキから魔法使い族通常モンスターを特殊召喚するぜ！デッキから現れよ！『ブラック・マジシャン』！」

『幻想の黒魔導師』ORU2↓1

『ブラック・マジシャン』ATK2500

「バトルフェイズに……」

「メインフェイズ終了時に『Ω』の効果を発動！ランダムに貴女の手札1枚とこのカードを除外するわ」

「くっ！『聖なるバリアーミラーフォース』が……まあいいさ。バトルフェイズ！『ブラック・マジシャン』で『ウルベルム』を攻撃！攻撃宣言時に『幻想の黒魔導師』の効果を発動！魔法使い族通常モンスターが攻撃する時、相手フィールドのカード1枚を除外する。対象は『ドラゴネクロ』だ！」

「む……」

「そのまま『ウルベルム』に『黒・魔・導』！」

幽々子&妖夢 LP8000↓7700

「更に『幻想の黒魔導師』で『ダークソウルトークン』を攻撃！」
「っ」

幽々子&妖夢 LP7700↓7400

「メインフェイズ2に入り、カードを伏せてターンエンドだぜ」

魔理沙&アリス 手札1

・モンスターゾーン

『幻想の黒魔導師』ORU1 ATK2500

『ブラック・マジシャン』ATK2500

・魔法・罫ゾーン

『マジシャンズ・プロテクション』

伏せ2

「私のターンだ、ドロウする。スタンバイフェイズ時に『PSYフレームロード・Ω』フィールドに帰還し、このカードの効果で除外されていた『聖なるバリアーミラーフォース』は手札に戻る」

「やっとか……えらく長く感じたぜ」

「また除外されるかもだけどね……」

「まあ、その機会はもう少し後だ。まずはバトルに入る。『ガトムズ』で『幻想の黒魔導師』を攻撃する！」

「だが、永続罫『マジシャンズ・プロテクション』の効果でダメージは半分になる！」

魔理沙&アリス LP3800↓3500

「『Ω』で『ブラック・マジシャン』を攻撃する！」

「これも『マジシャンズ・プロテクション』の効果でダメージは半分に……！」

魔理沙&アリス LP3500↓3350

「メインフェイズ2に入り、モンスターとカードを1枚ずつ伏せて、これで手札は1枚だ。私は魔法カード『オーロラ・ドロウ』を発動。手札がこのカードのみの場合、デッキからカードを2枚ドロウする……私はこれでターンエンドだ」

セットモンスター DEF???

幽々子&妖夢 手札2

・モンスターゾーン

『XXーセイバー ガトムズ』 ATK3100

『PSYフレームロード Ω』 ATK2800

セットモンスター DEF???

・魔法・罫ゾーン

伏せ2

「私のターンね、ドロウ！」

「スタンバイフェイズ時に『Ω』の効果で除外されている『冥界龍ドラゴネクロ』を墓地に戻す」

「じゃあ、まずは『トレード・イン』を発動！」

『トレード・イン』だと？だが『シャドール』にレベル8のモンスターは……」

「確かに『シャドール』にはいないけれど、『私のデッキ』にはいるのよ！手札の『ギミック・パペット―ネクロ・ドール』を墓地に送り、2枚ドロー！」

「ぶっ!?ゲホッ！ゲホッ！しゃ、シャドールにギミパペだと……!?ゴホゴホ！」

「だ、大丈夫嵯峨？お茶飲んでいる場合じゃないって言ったのはあなたなのにお茶飲んでいるのから助けないわよ？」

「ひ、ひどい……」

「そして『影衣融合』を発動！手札の『シャドール・リザード』とデッキの『ギミック・パペット―ボム・エッグ』で融合する！影の中の蜥蜴よ、爆発するからくりの影と交え、今こそ魔力の糸を束ね機械仕掛けの人形の歯車を起動せよ！融合召喚！レベル10！『エルシャドール・シエキナーガ』！」

『エルシャドール・シエキナーガ』 ATK2600

「墓地に送られた『リザード』の効果で『ビースト』を墓地に送り、『ビースト』の効果で1枚ドロー！更に墓地の『ギミック・パペット―ボム・エッグ』を除外して、『ギミック・パペット―ネクロ・ドール』の効果で発動！このカードを特殊召喚する！」

『ギミック・パペット―ネクロ・ドール』 DEF0

「更に『リサイクル・ジエネクス』を召喚」

『リサイクル・ジエネクス』 ATK0

「私はレベル8の『ネクロ・ドール』にレベル1の『リサイクル・ジエネクス』をチューニング！心持たぬ機械たちよ、破滅へのクロニクルを再現せよ！シンクロ召喚！レベル9！『リアル・ジエネクス・クロキシアン』！」

『リアル・ジエネクス・クロキシアン』 ATK2500

「『リアル・ジエネクス・クロキシアン』がシンクロ召喚に成功した時、相手フィールドの最もレベルが高いモンスターのコントロールを得るわ」

「何!?私の『ガトムズ』が……!」

『XX―セイバー ガトムズ』 コントローラー 妖夢↓アリス

「このままバトル！」

「待て！メインフェイズ終了時に『Ω』の効果を発動する！相手の手札とこのカードを次の自分のスタンバイフェイズ時まで除外する！」

「……除外されたのは『ギミック・ボックス』ね。まあ、いいでしょう。バトルフェイズで『リアル・ジエネクス・クロキシアン』でセットモンスターを攻撃」

「セットモンスターは『X―セイバー パシウル』！このモンスターは戦闘では破壊されない！」

「くっ……中々固いわね……私はこれでターンエンド」

魔理沙&アリス 手札6

・モンスターゾーン

『リアル・ジエネクス・クロキシアン』 ATK2500

『エルシャドール・シエキナーガ』 ATK2600

『XX―セイバー ガトムズ』 ATK3100

・魔法・罨ゾーン

『マジシャンズ・プロテクション』

伏せ2

「私のターン、ドロく。スタンバイフェイズ時に『Ω』はフィールドに、貴女の『ギミック・ボックス』は手札に戻るわ。うくん、まずは墓地の『馬頭鬼』の効果を発動く。墓地のこのカードを除外して墓地のアンデットモンスターを蘇生するわく」

『ファラオの化身』DEF600

「レベル3の『ファラオの化身』にレベル2の『パシウル』をチューニング！シンクロ召喚！レベル5！『TGハイパー・ライブラリアン』！」

『TGハイパー・ライブラリアン』ATK2400

「シンクロ召喚の素材として墓地に送られた『ファラオの化身』の効果を発動するわく。墓地のレベル4以下のアンデットモンスターを蘇生するわく」

『ユニゾンビ』ATK1300

「『ユニゾンビ』の効果を発動してもいいんだけど。貴女のフィールドにいる『シエキナーガ』にはフィールドの特殊召喚されたモンスター効果の発動を無効にして破壊できる効果があったわね。じゃあ、速攻魔法『融合解除』を発動！『シエキナーガ』をエクストラデッキに戻しなさい」

「くっー」

「これで安心して『ユニゾンビ』の効果を発動く。手札の『紋章獣レオ』を墓地に送り、『ユニゾンビ』自身のレベルを1つ上げる」

『ユニゾンビ』☆3↓4

「更に墓地に送られた『紋章獣レオ』の効果で、デッキから『レオ』以外の『紋章獣』モンスターをサーチするわ。『紋章獣アバコーンウェイ』をサーチし、召喚」

『紋章獣アバコーンウェイ』ATK1800

「私はレベル4の『アバコーンウェイ』にレベル4となった『ユニゾンビ』をチューニング！シンクロ召喚！レベル8！『ゼラの天使』！」

『ゼラの天使』ATK2800

「『ハイパーライブラリアン』の効果で1枚ドローして、『ゼラの天使』の攻撃力は相手の除外されているカード1枚につき、1000ポイントアップ。貴女の除外されているカードは全部で6枚だから600ポイントアップね」

『ゼラの天使』ATK2800↓3400

「じゃあ、1000ポイントのライフコストを払い、『簡易融合』をインスタント・フュージョン発動」

幽々子&妖夢 LP7400↓6400

「レベル5以下の融合モンスターを融合召喚扱いで特殊召喚するわ。じゃあ、『サウザンドアイズ・サクリファイス』を融合召喚」

『サウザンドアイズ・サクリファイス』 ATK0

『サウザンドアイズ・サクリファイス』の効果で相手モンスターをこのカードの装備カードにする！一度奪われた『ガトムズ』を装備するわ。そしてそのモンスターの攻撃力分、このカードの攻撃力はアップするけど『簡易融合』の効果で攻撃できず、このターンのエンドフェイズ時に破壊されるわ」

『サウザンドアイズ・サクリファイス』 ATK0↓3100

「じゃあ、妖夢がさつき使っていたけれど……私も手札のカードがこの『オーロラ・ドロ』のみの場合に発動することができて、デッキから2枚ドロするわ。じゃあ、バトル。『ゼラの天使』で『リアル・ジエネクス・クロキシアン』を攻撃」

「くっ！」

「やばいぜ……」

魔理沙&アリス LP3350↓2450

「『ハイパーライブラリアン』でダイレクトアタック！」

魔理沙&アリス LP2450↓50

「大ピンチってやつだぜ……」

「そうには見えないけれど？……私はこれでターンエンド。この時、『簡易融合』の効果で融合召喚した『サウザンドアイズ・サクリファイス』は破壊されるわ」

幽々子&妖夢 手札2

・モンスターゾーン

『ゼラの天使』 ATK3400

『ハイパーライブラリアン』 ATK2400

・魔法・罨ゾーン

伏せ2

26. 「第七回戦！魔の戦い 下」

魔理沙&アリス LP50

手札6（アリス）手札1（魔理沙）

・モンスターゾーン

なし

・魔法・罨ゾーン

『マジシヤンズ・プロテクション』

伏せ2

幽々子&妖夢 LP6400

手札2（幽々子）手札2（妖夢）

・モンスターゾーン

『ゼラの天使』ATK3400

『ハイパーライブリアン』ATK2400

・魔法・罨ゾーン

伏せ2

「私のターン、ドロウするぜ！」

「このスタンバイフェイズ時に『Ω』の効果で除外されている『馬頭鬼』を墓地に戻すわ」

「……私は伏せていた『プラステイング・ヴェイン』を発動！自分フィールドの伏せカードをコストとして破壊して、2枚ドロウさせてもらうぜ！更に破壊された『マーシャリング・フィールド』の効果で発動！デッキから『R U M—アージエント・カオス・フォース』を手札に加えるぜ！そして『召喚僧サモンプリースト』を召喚！効果で守備表示になるぜ！」

『召喚僧サモンプリースト』ATK800↓DEF1600

「更に『サモンプリースト』の効果で手札に加えた『RUM—アー
ジェント・カオス・フォース』を墓地に送って、デッキから『チョコ・
マジシャン・ガール』を特殊召喚！」

『チョコ・マジシャン・ガール』ATK1600

「『チョコ・マジシャン・ガール』の効果を発動！手札の『ブラック・
マジシャン・ガール』を墓地に送り、1枚ドロロー！よし行くぜ！私は
レベル4の『召喚僧サモンプリースト』と『チョコ・マジシャン・ガール』
でオーバーレイ！2体のモンスターでオーバーレイネットワーク
を構築！エクシーズ召喚！現れよ！『No. 39希望皇ホープ』！」

『No. 39 希望皇ホープ』ORU2 ATK2500

「更に『RUM—ヌメロン・フォース』を発動！私のフィールドに存在
する『No.』をカオス化させ、新たなエクシーズモンスターへとラン
クアップさせる！私は『No. 39希望皇ホープ』1体でオーバーレ
イネットワークを再構築！カオスエクシーズチェンジ！現れよCN
o. 39！未来に輝く光が、明日へと続く希望となる！『希望皇ホー
プレイ・ヴィクトリー』！」

『CNo. 39 希望皇ホーププレイ・ヴィクトリー』CORU3 AT
K2800

「更に『ヌメロン・フォース』の更なる効果により、『ホーププレイ・ヴィ
クトリー』以外の表側表示のカード効果を無効になる！」

『ゼラの天使』ATK3400↓2800

「何だと!?『ゼラの天使』の攻撃力が……」

「まだ終わりじゃないぜ！私は『クリティウスの牙』を手札から発動！

現れよ！伝説の龍『クリティウス』！」

魔理沙が発動したカードから一匹の龍の頭が現れ、そしてカードの中から全身が出てくる。

「魔法カードが……ドラゴンになっただと!?!」

「こいつは元々ドラゴンだぜ。そして『クリティウスの牙』の効果により、手札の罨カード『聖なるバリアーミラーフォース』を融合させる！」

「何!?罨カードを融合させる魔法カードだと!?!」

「私のデュエルはお前の常識を超越するんだぜ！出でよ！『ミラーフォース・ドラゴン』！」

『ミラーフォース・ドラゴン』 ATK2800

「バトル！『希望皇ホープレイ・ヴィクトリー』で『ゼラの天使』を攻撃！」

「でも、攻撃力は互角……相打ち狙いかしら?」

「へへっ！『ホープレイ・ヴィクトリー』のモンスター効果を発動！こ

のカードのC O R Uを1つ取り除き、バトルしている相手モンスターの効果を無効にして、相手モンスターの攻撃力分、このカードをアップさせる！『ヴィクトリー・チャージ』！」

『C N O . 3 9 希望皇ホープレイ・ヴィクトリー』C O R U 3 ↓ 2

A T K 2 8 0 0 ↓ 5 6 0 0

「攻撃力5600……っ!」

幽々子&妖夢 LP6400↓3600

「更に『ミラーフォース・ドラゴン』で『ハイパーライブラリアン』を攻撃！『ミラー・バースト』！」
「くっ！」

幽々子&妖夢 LP3600↓3200

「メインフェイズ2でカードを1枚伏せて、ターンエンドだぜ！」

魔理沙&アリス 手札0

・モンスターゾーン

『CNo. 39 希望皇ホープレイ・ヴィクトリー』CORU2
ATK2800

『ミラーフォース・ドラゴン』ATK2800

・魔法・罨ゾーン

『マジシャンズ・プロテクション』

伏せ1

「私のターン、ドロー！自分フィールドにモンスターが存在せず、私の墓地に『X―セイバー』モンスターが2体以上存在する場合にこのカードは手札から特殊召喚できる！来い！『XX―セイバー ガルド ストライク』！」

『XX―セイバー ガルドストライク』ATK2100

「更に自分フィールドに『X―セイバー』モンスターが存在するので、罨カード『ガトムズの緊急指令』を発動！お互いの墓地から『X―セイバー』モンスターを2体特殊召喚する！甦れ！『XX―セイバー ガトムズ』！『X―セイバー ソウザ』！」

『XX―セイバー ガトムズ』ATK3100

『X―セイバー ソウザ』ATK2500

「まだまだ行くぞ！私は手札から魔法カード『戦士の生還』を発動！墓地の戦士族モンスターである『XX―セイバー フォルトロール』を手札に加える！そして、『フォルトロール』を特殊召喚！」

『XX―セイバー フォルトロール』ATK2400

「そして私は魔法カード『セイバー・スラッシュ』を発動！表側攻撃表示の『X―セイバー』モンスタースの数だけ表側表示のカードを破壊する！」

「な、なんだってー!?でも『ミラーフォース・ドラゴン』は自分のモンスターが攻撃・効果対象となった時、相手フィールドのカードを全て破壊する効果が……」

「無駄だ！『セイバー・スラッシュ』の効果は対象を取らない！」「くっ！」

「よって、『ミラーフォース・ドラゴン』と『CNo. 39 希望皇ホープレイ・ヴィクトリー』と『マジシャンズ・プロテクション』を破壊する！」

「やりやがるぜ……！だが、フィールドから墓地に送られた『マジシャンズ・プロテクション』の効果発動！私の墓地の魔法使い族モンスターを1体を特殊召喚できる！出でよ！『ブラック・マジシャン』！」

『ブラック・マジシャン』DEF2100

「『フォルトロール』の効果を発動！墓地の『XX―セイバー ボガーナイト』を特殊召喚！」

『XX―セイバー ボガーナイト』ATK1900

「バトル！『ソウザ』で『ブラック・マジシャン』を攻撃！」
「くっ！」

「これで終わりだ！『ガトムズ』でダイレクトアタック！」

「速攻魔法発動！『コマンド・サイレンサー』！バトルフェイズを無効にして、1枚ドロウするぜ！」

「耐えきったか……私はこれでターンエンド！」

幽々子&妖夢 手札0

・モンスターゾーン

『XXーセイバー ガトムズ』 ATK3100

『Xーセイバー ソウザ』 ATK2500

『XXーセイバー フォルトロール』 ATK2400

『XXーセイバー ボガーナイト』 ATK1900

・魔法・罨ゾーン

伏せ1

「私のターン、ドロウ！まずは『影衣融合』を発動！デツキから『シャドール・ヘッジホッグ』と『ギミック・パペットーギア・チェンジャー』で融合！影の中の針鼠よ、波長を変える歯車の影と交え、今こそ魔力の糸を束ね機械仕掛けの人形の歯車を起動せよ！融合召喚！レベル10！『エルシャドール・シエキナーガ』！」

『エルシャドール・シエキナーガ』 ATK2600

『ヘッジホッグ』の効果で『シャドール・ハウンド』を手札に加えるわ！更に墓地の『ギミック・パペットーネクロ・ドール』の効果を発動！墓地の『ギア・チェンジャー』を除外して、自身を特殊召喚するわ！」

『ギミック・パペットーネクロ・ドール』 DEF0

「更に攻撃力1500以下のモンスターが自分フィールドに特殊召喚されたので手札から速攻魔法『地獄の暴走召喚』を発動！デッキから更に2体の『ネクロ・ドール』を特殊召喚！」

『ギミック・パペット―ネクロ・ドール』ATK0

『ギミック・パペット―ネクロ・ドール』ATK0

「その効果は私のフィールドのモンスターにも影響を及ぼす……私はデッキから『ボガーナイト』を守備表示で特殊召喚！」

『XX―セイバー ボガーナイト』DEF1000

「私はレベル8の『ネクロ・ドール』2体でオーバーレイ！2体のモンスターでオーバーレイネットワークを構築！出だよ！No.15！地獄からの使者、運命の糸を操る人形……ギミック・パペット―ジャイアントキラー！」

『No.15 ギミック・パペット―ジャイアントキラー』ORU2
ATK1500

『『ジャイアントキラー』……ランク5以上のエクシーズモンスターが特殊召喚に成功した時、墓地の『RUM―アージェント・カオス・フォース』の効果を発動！デュエル中に1度だけこの効果で手札に戻すことができる。さらに、『ジャイアントキラー』のORUを1つ取り除き、効果を発動！特殊召喚された相手モンスター1体を破壊する！対象は守備表示の『XX―セイバー ボガーナイト』！『ディストラクション・キャノン』！」

『No.15 ギミック・パペット―ジャイアントキラー』ORU2↓

1

「ちい……」

「この効果は1ターンに2度使える！私は残るもう1つのORUを取り除き、効果を発動！対象は『X―セイバー ソウザ』！」

『No. 15 ギミック・パペット―ジヤイアントキラー』ORU↓
0

「2体も処理された……！」

「まだまだこれからよ！私は『RUM―アージェント・カオス・フォース』を発動！このカードはランク5以上のエクシーズモンスターをカオス化させ、新たなエクシーズモンスターへとランクアップさせるわ！私は『ギミック・パペット―ジヤイアントキラー』を1体でオーバーレイ！1体のモンスターでオーバーレイネットワークを再構築！現れる、CNo. 15！人類の英知の結晶が、運命の糸を断ち切る使者を呼ぶ！『ギミック・パペット―シリアルキラー』！」

『CNo. 15 ギミック・パペット―シリアルキラー』CORU↓
ATK2500

「この瞬間、リバースカードオープン！速攻魔法『終焉の地』！相手モンスターが特殊召喚に成功した時、デッキからフィールド魔法を発動する！『Fairy Tale 序章 旅立ちの暁光』を発動！」

『『シリアルキラー』のCORUを1つ取り除き、効果を発動！相手フィールドのカード1枚を破壊して、それがモンスターカードだった場合、そのモンスターの元々の攻撃力分のダメージを相手に与える！対象は『X―セイバー ガトムズ』！『エクスターミネーション・スラッシャー』！」

『CNo. 15ギミック・パペット―シリアルキラー』CORU↓0

「『ガトムズ』！……くっ！きやあ！」

幽々子&妖夢 LP3600↓500

「バトル！『シリアルキラー』で『ボガーナイト』を攻撃！『ジエノサイド・ガトリング・バースト』！」

「この瞬間、フィールド魔法『Fairy Tale 序章 旅立ちの曙光』の効果で戦闘ダメージを半分にする！」

幽々子&妖夢 LP500↓200

「『エルシャドール・シエキナーガ』で『フォルトロール』を攻撃！」「同じく『Fairy Tale 序章 旅立ちの曙光』の効果で戦闘ダメージを半分にする！」

幽々子&妖夢 LP200↓100

「メインフェイズ2でカードを3枚伏せて、ターンエンド」

魔理沙&アリス 手札3

・モンスターゾーン

『エルシャドール・シエキナーガ』ATK2600

『CNo.15ギミック・パペット―シリアルキラー』CORU

0 ATK2500

『ギミック・パペット―ネクロ・ドール』DEF0

・魔法・罨ゾーン

伏せ3

「私のターン、ドロ〜。このスタンバイフェイズ時に『Fairytale序章 旅立ちの暁光』の効果を発動！このカードをデッキに戻し、デッキから『Fairytale第二章 暴怒の太陽』を発動する！このカードが存在する限り、戦闘ダメージは倍になる……」

「それはまずいぜ……」

「ふふ、速攻魔法『トラップ・ブースター』を発動〜。手札の『馬頭鬼』を墓地に送り、このターン、私は手札の罨カードを1枚発動できるわ。手札から罨カードを発動。『百鬼夜行』。墓地のアンデット族モンスターを可能な限り特殊召喚するわ……甦れ、『ユニゾンビ』、『フアラオの化身』、『不知火の鍛師』、2体の『馬頭鬼』！」

『ユニゾンビ』 ATK1300

『フアラオの化身』 ATK400

『不知火の鍛師』 ATK1000

『馬頭鬼』 ATK1600

『馬頭鬼』 ATK1600

「私はレベル4の『馬頭鬼』にレベル3の『ユニゾンビ』をチューニング……シンクロ召喚。レベル7！『妖精竜 エンシエント』！」

『妖精竜 エンシエント』 DEF3000

「『妖精竜 エンシエント』の効果を発動〜。自分フィールドにフィールド魔法が存在する場合、攻撃表示モンスター1体を破壊できるわ〜。対象は『シエキナーガ』」

「『シエキナーガ』の効果を発動！特殊召喚されたモンスターの効果の発動を無効にして破壊する！その後、手札の『シャドール・ハウンド』を墓地に送る！」

「墓地の『馬頭鬼』を除外して効果発動。墓地の『ユニゾンビ』を特殊召喚するわ」

『ユニゾンビ』 ATK1300

「レベル4の『馬頭鬼』にレベル3の『ユニゾンビ』をチューニング……シンクロ召喚。レベル7！『月華竜 ブラックローズ』！」

『月華竜 ブラックローズ』 ATK2400

「『ブラックローズ』の効果により、『エルシャドール・シエキナーガ』を相手の手札に戻させるわ」

「やられた……！」

「さらに墓地の『馬頭鬼』の効果を発動。このカードを除外して、墓地の『ユニゾンビ』を特殊召喚するわ」

『ユニゾンビ』 ATK1300

「私はレベル4の『不知火の鍛師』とレベル3『ファラオの化身』にレベル3の『ユニゾンビ』をチューニング……シンクロ召喚！レベル10！『炎神—不知火』！」

『炎神—不知火』 ATK3500

「シンクロ素材となった『ファラオの化身』の効果で墓地の『ユニゾンビ』を特殊召喚！」

『ユニゾンビ』 ATK1300

「バトル！『炎神—不知火』で『リアルキラー』を攻撃！フィールド魔法『Fairy Tale 第二章 暴怒の太陽』の効果で戦闘ダメージ」

ダメージは2倍よ！」

「なら好都合よ！永続罠『ギミック・ボックス』！戦闘ダメージを0にする！さらに、この効果で消した戦闘ダメージと同じ攻撃力を持つモンスターとして特殊召喚されるわ！」

『ギミック・ボックス』DEF0

「まあ、出せても攻撃力2000だがな……」

「じゃあ、『ユニゾンビ』で『ギミック・ボックス』を攻撃！『月華竜 ブラックローズ』で『ネクロ・ドール』を攻撃するわ！」

「盤面が空っぽに……」

「……私はこれでターンエンド」

幽々子&妖夢 手札0

・モンスターゾーン

『炎神―不知火』ATK3500

『月華竜 ブラックローズ』ATK2400

『ユニゾンビ』ATK1300

・魔法・罠ゾーン

なし

・フィールド魔法

『Fairy Tale第二章 暴怒の太陽』

「私のターン、ドロ―！墓地の『ネクロ・ドール』の効果を発動！墓地の『シャイアントキラー』を除外して、特殊召喚！」

『ギミック・パペット―ネクロ・ドール』DEF0

『月華竜 ブラックローズ』の効果で相手がレベル5以上のモンスターを特殊召喚に成功したので相手フィールドの特殊召喚されたモンスターを持ち主の手札に戻す。『ネクロ・ドール』を手札に戻しな

い」

「まあいいさ。私はライフを半分払って『黒魔術のカーテン』を発動するぜ！デツキから私のエースモンスター『ブラック・マジシャン』を特殊召喚する！」

魔理沙&アリス LP50↓25

『ブラック・マジシャン』 ATK2500

「バトル！『ブラック・マジシャン』で『炎神―不知火』を攻撃！」

「攻撃力2500で攻撃力3500の『炎神―不知火』を攻撃するですって!？」

「やっぱり、相手のエースを潰さないと勝利とは言えないんだぜ！私は手札から速攻魔法『九十九スラッシュ』を発動！お互いのライフが100以下の時、お互いのライフの差×100ポイント！『ブラック・マジシャン』の攻撃力をアップさせるんだぜ！」

「私たちのライフポイントの差は……75！」

「よって、7500ポイント攻撃力がアップ！『ブラック・マジシャン』の攻撃力は……」

『ブラック・マジシャン』 ATK2500↓10000

「攻撃力……10000!？」

「これで終わりだぜ！やれ！『ブラック・マジシャン』！『黒・魔・導』ブラック・マジック！」

「きゃああー！」

幽々子&妖夢 LP100↓0

W
i
n
n
e
r

魔理沙 & アリス

27. 「第八回戦！天と地獄！上」

『さあー！ついに第七回戦！豊聡耳 神子&秦 こころチームへカーティア・ラピスラズリVS&クラウンピースチームのデュエルだあー!!』

『『『『(ノ・ω・)ノウオオオオオオオオオオオオオオ!!』』』』

「ふふっ、まさか地獄の人と戦うことになるとは思いませんでした……」

「この大会は謂わば、前回の異変のリベンジよ。ま、気紛れだけどね」

「私も気紛れ。でも、負ける気はない」

「きやはは！おもしろいね〜！楽しくいこう！」

「「さあー！」」

「「「デュエル！」」」

ターン順

神子↓へカーティア↓こころ↓クラウンピース（以下ループ

「では、私のターンから行くぞ！私は魔法カード『召集の聖刻印』を発動！デッキから『聖刻』モンスターを手札に加えることができる！私を手札に加えるのは『聖刻龍―アセトドラゴン』！このカードはレベル5モンスターだが、元々の攻撃力を1000ポイントにすることで妥協召喚できる！」

『聖刻龍―アセトドラゴン』 ATK1900↓1000

「更に『アセットドラゴン』をリリースして、手札から『聖刻龍―シユウドラゴン』を特殊召喚する！」

『聖刻龍―シユウドラゴン』 ATK2200

「更にリリースされた『アセットドラゴン』のモンスター効果を発動！手札・デッキ・墓地からドラゴン族通常モンスターを攻撃力・守備力を0にして特殊召喚する！来い！『ラブラドライドドラゴン』！」

『ラブラドライドドラゴン』 DEF2400↓0

「レベル6モンスターが2体か……」

「ううん。『ラブラドライドドラゴン』はチューナーモンスター」

「うっそ!?!じゃあ、レベル12のシンクロモンスターってこと!?!そんなのいるの!?!」

「いるに決まっているだろう……常に進化するこの世界ならな！私はレベル6の『シユウドラゴン』とレベル6のチューナーモンスター『ラブラドライドドラゴン』を墓地に送ってシンクロ召喚！混沌の次元より沸き出でし力の源！原点にして全ての頂点！この現世うつしよでその無限の渴望を暫し潤すがよい！神降せよ！『究極神 アルティマヤ・ツイオルキン』！」

『アルティマヤ・ツイオルキン』 DEF0

「カードを1枚伏せて、『アルティマヤ・ツイオルキン』の効果を発動！自分がカードをセットした時に発動できて、エクストラデッキからレベル7か8のドラゴン族シンクロモンスターか『パワーツール』シンクロモンスターを特殊召喚できる！来い！『ライトエンド・ドラゴン』！」

『ライトエンド・ドラゴン』 ATK2600

「これでターンエンドだ！」

神子&こころ 手札2

・モンスターゾーン

『アルティマヤ・ツイオルキン』DEF0

『ライトエンド・ドラゴン』ATK2600

・魔法・罨ゾーン

伏せ1

「ふむ、私のターンか……ドロー！ 私は手札から永続魔法『魔神王の契約書』を発動。このカードの効果により、私は1ターンに1度、『融合』のカードを必要とせず、自分の手札・フィールドから悪魔族融合モンスターの融合素材を墓地に送って、融合召喚できる。私は手札の『Dケルベルス』と『DDRリス』で融合！ 牙むく地獄の番犬よ！ 闇夜にいぎなう妖婦よ！ 冥府に渦巻く光の中で、今ひとつとなりて新たな王を生み出さん！ 融合召喚！ 生誕せよ、『DDD烈火王テムジン』！」

『DDD烈火王テムジン』ATK2000

「まだまだ行くぞ。『地獄門の契約書』を発動。このカードは1ターンに1度、デッキから『DD』モンスターを手札に加える。私が手札に加えるのは『DDナイト・ハウリング』だ。そして、『DDナイト・ハウリング』を召喚」

『DDナイト・ハウリング』ATK300

『ナイト・ハウリング』が召喚に成功した時、墓地の『DD』モンスターを攻撃力・守備力を0にして、特殊召喚する。蘇れ、『DDRリス』」

『DDリリース』DEF2100↓0

「この効果を使用したターン、私は悪魔族モンスターしか特殊召喚できないが、関係ないな。私はレベル4の『DDリリース』にレベル3の『DDナイト・ハウリング』をチューニング！闇を切り裂く咆哮よ、疾風の速さを得て新たな王の産声となれ！シンクロ召喚！生誕せよ、レベル7！『DDD疾風王アレクサンダー』！」

『DDD疾風王アレクサンダー』ATK2500

「この瞬間、『DDD烈火王テムジン』の効果を発動。自分フィールドに『DD』モンスターが特殊召喚に成功した時、墓地の『DD』モンスターを特殊召喚する。蘇れ、『DDリリース』」

『DDリリース』DEF2100

「更に『DDD疾風王アレクサンダー』のモンスター効果を発動！自分フィールドに『DD』モンスターが召喚・特殊召喚に成功した時、墓地のレベル4以下の『DD』モンスターを特殊召喚する！蘇れ、『DDケルベロス』！」

『DDケルベロス』1800

「私はレベル4の『DDリリース』と『DDケルベロス』でオーバーレイ！2体のモンスターでオーバーレイネットワークを構築！この世の全てを統べるため、今 世界の頂に降臨せよ！エクシーズ召喚！生誕せよ、ランク4！『DDD怒濤王シーザー』！」

『DDD怒濤王シーザー』ORU2 ATK2400

「更に『戦神との不正契約書』を発動。このカードの効果により、『D
DD疾風王アレクサンダー』の攻撃力を1000ポイントアップさ
せ、『ライトエンド・ドラゴン』の攻撃力を1000ポイント下げる！」
「何！」

『DDD疾風王アレクサンダー』 ATK2500↓3500
『ライトエンド・ドラゴン』 ATK2600↓1600

「バトルに移行する」

「私の『アルティマヤ・ツイオルキン』は自分フィールドに他のシンク
ロモンスターが存在する場合、相手はこのカードを攻撃・効果の対象
にすることはできないぞ！」

「ならば、私は『DDD疾風王アレクサンダー』で『ライトエンド・ド
ラゴン』を攻撃！」

「『ライトエンド・ドラゴン』の効果を発動！このカードの攻撃力・守
備力を500ポイント下げること、バトルする相手モンスターの攻
撃力を1500ポイント下げる！」

『ライトエンド・ドラゴン』 ATK1600↓1100
『DDD疾風王アレクサンダー』 ATK3500↓2000

「ダメージを減らされるが、受けてもらうぞ」
「くっ！」

神子&こころ LP8000↓7100

「そして『DDD烈火王テムジン』で『アルティマヤ・ツイオルキン』
を……」

「待て！そう簡単には倒せんよ！トラップ発動！『シャドー・インパ

ルス』！戦闘破壊されたシンクロモンスターと同じレベル・種族を持ち、カード名が異なるシンクロモンスターをエクストラデッキから特殊召喚する！出でよ！『ダークエンド・ドラゴン』！」

『ダークエンド・ドラゴン』 ATK2600

「攻撃力2600のモンスターか……この2体では倒せないな……バトルフェイズを終了する。この時、『戦神との不正契約書』の効果が終了し、『アレクサンダー』の攻撃力は1000ポイント下がる。私はメインフェイズ2に入り、カードを1枚伏せて、ターンエンドだ」

『DDD疾風王アレクサンダー』 ATK3500↓2500

へカーティア&クラウンピース 手札0

・モンスターゾーン

『DDD烈火王テムジン』 ATK2000

『DDD疾風王アレクサンダー』 ATK2500

『DDD怒涛王シーザー』 ORU2 ATK2400

・魔法・罫ゾーン

『地獄門の契約書』

『魔神王の契約書』

『戦神との不正契約書』

伏せ1

「む、私のターン……ドロー。私は『魔界発現世行きデスガイド』を召喚」

『魔界発現世行きデスガイド』 ATK1000

「『デスガイド』が召喚に成功した時、デッキ・手札からレベル3・闇属性・悪魔族モンスターを特殊召喚する。この効果で特殊召喚された

モンスターはシンクロモンスターのシンクロ素材にできない。デッキから『魔犬オクトロス』を特殊召喚するぞ」

『魔犬オクトロス』ATK800

「更に『トランススターン』を発動。『魔犬オクトロス』を墓地に送って、デッキからレベルが1つ高い同じ種族・属性のモンスターを特殊召喚する。来い、『仮面呪術師カード・ギュラ』」

『仮面呪術師カード・ギュラ』ATK1500

「フィールドから墓地に送られた『オクトロス』の効果でデッキからレベル8・闇属性・悪魔族モンスターを手札に加えるぞ。私が手札に加えるのは『仮面魔獣デス・ガーディウス』……そしてこのモンスターは『仮面呪術師カード・ギュラ』を含めるモンスター2体をリリースすることでこのカードを特殊召喚できる」

『仮面魔獣デス・ガーディウス』ATK3300

「攻撃力3300か……」

「それはただの飾り。私は魔法カード『アドバンスドロー』を発動。自分フィールドのレベル8以上のモンスターをリリースして2枚ドロウする。私は『デス・ガーディウス』をリリース……」

「一体何をしようっていうのかしら？」

「フィールドから墓地に送られた『デス・ガーディウス』はデッキから装備魔法『遺言の仮面』を発動させる。『遺言の仮面』は相手モンスターに装備でき、装備モンスターのコントロールを得る。対象は『DD疾風王アレクサンダー』」

「ほお……」

『DD疾風王アレクサンダー』コントロール　ヘカーティア↓こ

ころ

「レベル8以上のモンスターが墓地に送られたターンなので、速攻魔法『デーモンとの駆け引き』を発動。デッキから『バーサーク・デッド・ドラゴン』を特殊召喚」

『バーサーク・デッド・ドラゴン』 ATK3500

「攻撃力3500か……仕方あるまい。私は『戦神との不正契約書』を発動。『DDD烈火王テムジン』の攻撃力を1000ポイントアップさせ、『バーサーク・デッド・ドラゴン』の攻撃力を1000ポイント下げる」

『DDD烈火王テムジン』 ATK2000↓3000

『バーサーク・デッド・ドラゴン』 ATK3500↓2500

「バトル。『バーサーク・デッド・ドラゴン』で『DDD烈火王テムジン』を攻撃」

「この瞬間、『DDD怒涛王シーザー』のORUを1つ取り除く効果と、トラップカード『契約^{リリース・ロンダリング}洗浄』を発動。私のフィールドの『契約書』を全て破壊して、その枚数×1000ライフポイントを回復する」

『DDD怒涛王シーザー』 ORU2↓1

へカーティア&クラウンピース LP8000↓11000

「更に破壊した枚数だけデッキからカードをドローする」

「……攻撃続行」

ヘカーティア&クラウンピース LP11000↓10500

「『DDD烈火王テムジン』が戦闘・効果で破壊されたので効果発動。これにより、墓地の『契約書』カードを手札に戻すことができる。私に戻すのは『地獄門の契約書』だ」

「『バーサーク・デッド・ドラゴン』は相手モンスター全てを攻撃できる……よって、『バーサーク・デッド・ドラゴン』で『DDD怒涛王シーザー』を攻撃」

ヘカーティア&クラウンピース LP10500↓10400

「『DDD怒涛王シーザー』が戦闘・効果で破壊されたので効果発動。これにより、デッキの『契約書』カードを手札に加えることができる。私を手札に加えるのは『闇魔界の契約書』だ」

「『DDD疾風王アレクサンダー』でダイレクトアタック」

ヘカーティア&クラウンピース LP10400↓7900

「『ダークエンド・ドラゴン』でダイレクトアタック」

ヘカーティア&クラウンピース LP7900↓5300

「バトルフェイズ終了、メインフェイズ2に」

「待った。『DDD怒涛王シーザー』の効果でこのターンを破壊されたモンスターをバトルフェイズ終了時に全てフィールドに特殊召喚する」

「!？」

『DDD怒涛王シーザー』ORUO ATK2400

『DDD烈火王テムジン』ATK2000

「……カードを3枚伏せて、ターンエンド。自分のエンドフェイズ毎に『バーサーク・デッド・ドラゴン』の攻撃力を500ポイントは下がる」

『バーサーク・デッド・ドラゴン』ATK2500↓3500↓300

0

神子&ごころ 手札2

・モンスターゾーン

『アルティマヤ・ツイオルキン』DEF0

『バーサーク・デッド・ドラゴン』ATK3000

『DDD疾風王アレクサンダー』ATK2500

『ダークエンド・ドラゴン』ATK2600

・魔法・罨ゾーン

『遺言の仮面』（『DDD疾風王アレクサンダー』装備）

伏せ3

「あたいのターン！ドロー！このスタンバイフェイズ時に『DDD怒涛王シーザー』の効果で復活したモンスターの数×1000ポイントのダメージを受けるよー！」

ヘカーティア&クラウンピース LP5300↓3300

「早速気を取り直して、あたいはマジックカード『マジカル・ペンデュラム・ボックス』を発動！デッキからカードを2枚ドロウして、その中からペンデュラムカード以外を墓地に送る！ドロウ！あたいがドロウしたのは『E m ^{エンタメイジ} ボーナステイラー』と『E m ファイヤー・ダンサー』！どちらもペンデュラムカードなので手札に加えるのよ！更にスケール2の『E m ^{エンタメイジ} ボーナス・テイラー』とスケール6の『E m ファイヤー・ダンサー』でペンデュラムスケールをセツテイニング！」

青スケールなし↓2

P E N D U L U M

赤スケールなし↓6

「これでレベル3から5までのモンスターが同時に召喚可能！揺れる！魂のペンデュラム！もつと狂った軌道を描いて荒れる！ペンデュラム召喚！来なさい！あたいのモンスターたち！『E m ウィンド・サッカー』！『E m トリック・クラウン』！『E m スティルツ・シューター』」

『E m ウィンド・サッカー』ATK2100

『E m トリック・クラウン』ATK1600

『E m スティルツ・シューター』ATK2200

「まず、ペンデュラムゾーンの『ボーナス・テイラー』のペンデュラム効果発動！自分がペンデュラム召喚で手札から3体以上『E m』をペンデュラム召喚したので、デッキからカードを2枚ドロウ！更に！『ウィンド・サッカー』が特殊召喚に成功した時、子レベルを1つ下げることができる！」

『E m ウィンド・サッカー』☆5↓4

「レベル4となった『ウィンド・サッカー』と『トリック・クラウン』でオーバーレイ！2体のモンスターでオーバーレイネットワークを構築！エクシーズ召喚！ランク4『Emトラピース・マジシャン』！」

『Emトラピース・マジシャン』ORU2 ATK2500

「このカードがいる限り、あたいとご主人様はこのカードの攻撃力以下のダメージを受けない！更に『トラピース・マジシャン』のORUを1つ取り除き、効果を発動！『トラピース・マジシャン』を2回攻撃にする！そして、墓地に送られた『トリック・クラウン』のモンスター効果で自身の攻撃力・守備力を0にして特殊召喚！」

『Emトラピース・マジシャン』ORU2↓1

『Emトリック・クラウン』DEF1200↓0

「その後、あたいは1000ポイントのダメージを受けるんだけど、『トラピース・マジシャン』の効果でそのダメージは受け付けない！更に装備魔法『ワンショット・ワンド』を『トラピース・マジシャン』に装備！攻撃力を800ポイントアップさせるよ！」

『トラピース・マジシャン』ATK2500↓3300

「攻撃力3300……」

「バトル！『トラピース・マジシャン』で『バーサーク・デッド・ドラゴン』を攻撃！」

神子&こころ LP7100↓6800

「まだまだお楽しみはこれからだよ！『トラピース・マジシャン』で『ダークエンド・ドラゴン』を攻撃！」

神子&こころ LP6800↓6100

「この瞬間！『ワンショット・ワンド』の効果発動！戦闘で相手モンスターを破壊した時、このカードを破壊して1枚ドロースる！」

『Emトラピース・マジシャン』 ATK3300↓2500

「来た！速攻魔法『妨害電波』！シンクロモンスターが攻撃表示で存在する場合、シンクロモンスターを全て守備表示にして、このターンのエンドフェイズ時にシンクロモンスター全てをエクストラデッキに戻す！」

「なんだと!?!」

『DDD疾風王アレクサンダー』 ATK2500↓DEF2000

「あたいはカードを1枚伏せて、ターンエンド！これで『妨害電波』の効果でそっちのフィールドの『疾風王アレクサンダー』と『アルティマヤ・ツイオルキン』はエクストラデッキに戻る」

ヘカーティア&クラウンピース 手札2

・モンスターゾーン

『Emトラピース・マジシャン』 ORU1 ATK2500

『Emステイルツ・シューター』 ATK2200

『Emトリック・クラウン』 DEF0

『DDD烈火王テムジン』ATK2000

『DDD怒涛王シーザー』ORUO ATK2400

・魔法・罨ゾーン

伏せ1

・ペンデュラムゾーン

『Emボーナス・ディーラー』スケール2

『Emファイヤー・ダンサー』スケール6

「中々やるな！だが、こちらも負けてはいられん！私のターン！ドロー！私は速攻魔法カード『竜呼相打つ』を発動！デッキから『竜剣士ラスターP』^{ペンデュラム}と『竜魔王ベクターP』^{ペンデュラム}を選択して、ランダムに相手に選ばせる！選ばれたモンスターは特殊召喚するか、ペンデュラムゾーンにセッティングすることが出来る。残った方はエクストラデッキに表側表示で置かれる」

「え〜。じゃあ、左！」

「こつちか……『竜剣士ラスターP』だ！ならば、このカードをペンデュラムスケールにセッティング！」

赤スケールなし↓5

「そして魔法カード『苦渋の決断』を発動！デッキからレベル4以下の通常モンスターを墓地に送り、同名モンスターをデッキから手札に加える！私が手札に加えるのは『竜剣士マスターP』^{ペンデュラム}！スケール3の『竜剣士マスターP』をセッティング！」

青スケールなし↓3

PENDULUM

赤スケール5

「これでそつちはレベル4のモンスターを同時に召喚できるわけか……」

「ふふ、まだペンデュラム召喚に必要なモンスターがないのでな。そのため準備をさせてもらう。私は『マスターP』のペンデュラム効果を発動！別のペンデュラムゾーンのカードを破壊する！私が破壊するのは『竜剣士ラスターP』！ペンデュラムモンスターはフィールドから破壊される場合、エクストラデッキに表側表示で置かれる！」

「あたいのペンデュラムゾーンのカードを破壊せず、自分のカードを破壊した!?!」

「ということはおもう一枚の奴の手札には……」

へカーティアの言葉にゴクンと緊張感が押し寄せられているクラウンピース。神子の最後の手札一枚に、注目が向けられる。

「これはかなり使い勝手が悪い魔法カードさ。だが、君たち相手にはちよūdい！私は手札から魔法カード『共鳴する振動』を発動！このカードは相手のペンデュラムゾーンのカードでペンデュラム召喚を行える！」

「あたいのペンデュラムカードのスケールを使ったペンデュラム召喚!?!何それ知らない!?!」

『な、なななんとおくく!!まさかの神子選手！クラウンピース選手のカードを使ってペンデュラム召喚しようというのかくく!?!今、クラウンピース選手のフィールドにはスケール2とスケール6のカードがセッティングされているぞく!?!つまり、レベル3から5のモンスターを同時に召喚できるということだー!?!』

「この時、私がペンデュラム召喚できるのはエクストラデッキに表側表示になっているペンデュラムモンスターにのみ限定されるが、私の手札は既に0枚！そんなに気にすることでもないということだ！行くぞ！ペンデュラム召喚！エクストラデッキより現れよ！『竜剣士ラスターP』！『竜魔王レクターP』！」

『竜剣士ラスターP』 ATK1850

『竜魔王ベクターP』 ATK1850

「私はレベル4の『竜魔王ベクターP』にレベル4の『竜剣士ラスターP』をチューニング！竜へとその姿を変える剣士よ、今こそ爆炎となりて、仲間と共に勝利を勝ち取らん！シンクロ召喚！レベル8！『爆竜剣士イグニスターP』プロミネンス！」

『爆竜剣士イグニスターP』 ATK2800

「『イグニスターP』の効果！フィールドのペンデュラムゾーンのカードを破壊し、フィールドのカードを持ち主のデッキに戻す！私は君の『Emボーナス・ディーラー』を破壊して、『Emトラピース・マジシャン』を君のエクストラデッキに返す！」

「そんな……！」

「まだある！私のデッキから『竜剣士マスターP』を守備表示で特殊召喚する！」

『竜剣士マスターP』 DEF0

「バトルだ！『イグニスターP』で『DDD烈火王テムジン』を攻撃！」

ヘカーティア&クラウンピース LP2300↓1500

「うう……！戦闘破壊された『テムジン』の効果で墓地の『戦神の不正契約書』を手札に加えるよ」

「まだまだ！私はトラップカード『スターシフト』を発動！『イグニスターP』をエクストラデッキに戻すことでエクストラデッキから同じレベルの別のシンクロモンスターを特殊召喚する！」

「ま、まだ出てくるの!?!」

「降臨せよ！『魔王龍 ベエルゼ』！」

『魔王龍 ベエルゼ』 ATK3000

「『ベエルゼ』で『DDD怒涛王シーザー』を攻撃！」

ヘカーティア&クラウンピース LP2500↓1900

「あたいのデッキには『契約書』のカードはないよ……まさか、この時を狙ってくるなんて……」

「悪いが、都にいたころはあくまで天才として名を馳せたつもりなのでな。これぐらいはやらせてもらおうぞ……私はこれでターンエンドだ」

神子&こころ 手札0

・モンスターゾーン

『魔王龍 ベエルゼ』 ATK3000

・魔法・罨ゾーン

伏せ2

・ペンデュラムゾーン

『竜剣士マスターP』スケール3

「私のターン……ドロー。私は永続魔法『地獄門の契約書』を発動する。このカードの効果で私を手札に加えるのは『DDD壊薙王アビス・ラグナロク』だ。そして永続魔法『魔神王の禁断契約書』を発動！手札の『DDD』モンスターの効果を無効にして守備表示で特殊召喚する！出でよ！『DDD壊薙王アビス・ラグナロク』！」

『DDD壊薙王アビス・ラグナロク』 DEF3000

「更にこのモンスターと自分フィールド・手札のモンスターを素材に融合召喚を行うことができる！私は『DDD壊薙王アビス・ラグナロク』と『DDD死偉王ヘル・アーマゲドン』で融合する！絶対なる力を持つ約束された王よ、混沌たるこの世の行く末を見極める王の力と溶け込み、真の王と生まれ変わらん！融合召喚！出でよ！神の威光を伝えし王！『DDD神託王ダルク』！」

『DDD神託王ダルク』 ATK2800

「永続魔法『闇魔界の契約書』を発動！1ターンに1度、墓地かエクストラデッキの表側表示で存在するペンデュラムモンスターをペンデュラムスケールにセッティングすることができる。私はエクストラデッキの『DDD壊薙王アビス・ラグナロク』をセッティング！」

青スケールなし↓5

PENDULUM

赤スケール6

「だが、これではスケール間の数値はない。ペンデュラム召喚はできない」

「いいや、そうとは限らないぞ。貴様がペンデュラムの常識を超えるのならこちらも変えてやろう。速攻魔法『ペンデュラム・ターン』。セッティング済みのペンデュラムカード『Emファイヤー・ダンサー』のペンデュラムスケールを1→10に変更できる！」

「ペンデュラムスケールの変更!?!」

「そうだ。こいつのスケールを10に変更する」

青スケールなし↓5

PENDULUM

赤スケール6↓10

「これでレベル6から9までのモンスターが同時に召喚可能となった。我が魂を揺らす大いなる力よ！この身に宿りて闇を引き裂く新たな光となれ！ペンデュラム召喚！出現せよ！私のモンスターよ！」

『DDD制覇王カイゼル』！

『DDD制覇王カイゼル』 ATK2800

「このカードがペンデュラム召喚に成功した時、強制的に相手フィールドの表側表示で存在するカードの効果をターン終了時まで無効にする！」

「何!?!これで『ベエルゼ』の効果を無効にされたか……」

「そのモンスターには戦闘・効果で破壊されない効果があるが、私には無意味だ。『DDD壊薙王アビス・ラグナロク』のペンデュラム効果を発動！『DD』モンスターが特殊召喚に成功した時、墓地の『DD』モンスターを特殊召喚し、1000ポイントのダメージを受ける！」

「自爆……ではない……か」

「当然だ。『DDD神託王ダルク』の効果で私が受ける効果ダメージを回復に変更する。よって、私は墓地の『DDD死偉王ヘル・アーマゲドン』を特殊召喚し、1000のライフポイント回復だ」

『DDD死偉王ヘル・アーマゲドン』 ATK3000

へカーティア&クラウンピース LP1900↓2900

「バトルだ。『DDD死偉王ヘル・アーマゲドン』で『魔王龍 ベエルゼ』を攻撃！」

「相打ちか……!」

「これでがら空きだな。『DDD制覇王カイゼル』でダイレクトアタツ

ク

「トランプカード『双龍降臨』！エクストラデッキから光属性・ドラゴン族エクシーズモンスターを特殊召喚し、攻撃対象を強制的に変更する！降臨せよ！『No. 46 神影龍ドラッグルーオン』！」

『No. 46 神影龍ドラッグルーオン』 ATK3000

「この時、バトルする相手モンスターと同じ攻撃力となる」

『No. 46 神影龍ドラッグルーオン』 ATK3000↓2800

「これも相打ちか……」

「そうではない！永続罫『ナンバーズ・ウォール』発動！カード効果では破壊されず、『No.』は『No.』でしか戦闘で破壊できなくなる！」「ちい……カードを1枚伏せて、ターンエンド。『ペンデュラム・ターンの効果はこれで終了する。お前たちがまた『共鳴する振動』を使用してもペンデュラム召喚できないぞ」

へカーティア&クラウンピース 手札1

・モンスターゾーン

『DDD 死偉王ヘル・アーマゲドン』 ATK3000

『DDD 神託王ダルク』 ATK2800

『Emトリック・クラウン』 DEF0

『Emステイルツ・シューター』 ATK2200

・魔法・罫ゾーン

『地獄門の契約書』

『魔神王の禁断契約書』

『闇魔界の契約書』

伏せ2

・ペンデュラムゾーン

『DDD 壊薙王アビス・ラグナロク』 スケール5

『Emファイヤー・ダンサー』スケール10↓6

28. 「第八回戦！天と地獄！下」

ヘカーティア&クラウンピース LP1900

手札1（ヘカーティア）手札3（クラウンピース）

・モンスターゾーン

『DDD死偉王ヘル・アーマゲドン』ATK3000

『DDD神託王ダルク』ATK2800

『Emトリック・クラウン』DEF0

『Emステイルツ・シューター』ATK2200

・魔法・罨ゾーン

『地獄門の契約書』

『魔神王の禁断契約書』

『闇魔界の契約書』

伏せ2

・ペンデュラムゾーン

『DDD壊薙王アビス・ラグナロク』スケール5

『Emファイヤー・ダンサー』スケール10↓6

神子&こころ LP6100

手札0（神子）手札2（こころ）

・モンスターゾーン

『魔王龍 ベエルゼ』ATK3000

・魔法・罨ゾーン

伏せ2

・ペンデュラムゾーン

『竜剣士マスターP』スケール3

「私のターン、ドロロー……来た。私が引いたのは『RUM―ザ・セブンス・ワン七星の剣』
！エクストラデツキから現れよ！『No. 104 仮面魔踏師シャイ
マスクレード・マジシャンニング』！」

『No. 104 仮面魔導師シャイニング』ORUO ATK2700

「そしてこのモンスターをカオス化させる！カオスエクシーズチェンジ！混沌の光を魔術師よ、世界を欺き、その仮面の形を変えて嗤え！
『CNo. 104 仮面魔踏師アンブラル』！」
マスクレード・マジシャン

『CNo. 104 仮面魔導師アンブラル』CORU1 ATK3000

「『アンブラル』が特殊召喚に成功した時、フィールドの魔法・罫カードを破壊できる！『地獄門の契約書』を破壊させてもらう！」
「ちっ」

「魔法カード『終わりの始まり』発動。墓地の『ダークエンド・ドラゴン』、『アルティマヤ・ツイオルキン』、『仮面呪術師カースド・ギュラ』、『魔界発現世行きデスガイド』、『魔犬オクトロス』の5体の闇属性モンスターを除外して、デツキからカードを3枚ドロウする」

「3枚ドロウ、更に来るか……」

「さらに魔法カード『忍び寄る闇』を発動。墓地の『バーサーク・デツド・ドラゴン』と『仮面魔獣デス・ガーディウス』を除外して、デツキからレベル4の闇属性モンスターを手札に加えるぞ……私が手札に加えるのは『儀式魔人プレサイダー』。そして魔法カード『儀式の下準備』。デツキから『仮面魔獣の儀式』と『仮面魔獣マスクド・ヘルレイザー』を手札に加える。そして儀式魔法『仮面魔獣の儀式』を発動。手札の『儀式魔人プレサイダー』と『メルキド四面獣』をリリースして、儀式召喚！『仮面魔獣マスクド・ヘルレイザー』！」

『仮面魔獣マスクド・ヘルレイザー』 ATK 3200

「バトル！ 『マスクド・ヘルレイザー』で『死偉王ヘル・アーマゲドン』を攻撃！」

「くっ……！（いきなり感情的になったなこの女……）トラップ発動！ 『女神の加護』！ 私は3000ポイントのライフを回復する！」

00
へカーティア&クラウンピース LP 2900 ↓ 5900 ↓ 5700

「『ヘルレイザー』は『儀式魔人プレサイダー』の効果で戦闘で相手モンスターを破壊する度に1枚ドロウする！そして『アンブラル』で『神託王ダルク』を攻撃！」

「この時、速攻魔法『非常食』を発動！ 『女神の加護』を墓地に送り、1000ポイントのライフを回復する！そしてフィールドを離れた『女神の加護』の効果で3000ポイントのダメージを私が受けるが、『DDD神託王ダルク』の効果で回復に変更する！」

00 ↓ 9500
へカーティア&クラウンピース LP 5700 ↓ 6700 ↓ 9700 ↓ 9500

「『神影龍ドラッグルーオン』で『Emスタイルツ・シューター』を攻撃！」

へカーティア&クラウンピース LP 9500 ↓ 8900

「まだ相手のライフが9000近くある……カードを2枚伏せて、ターンエンド」

神子&こころ 手札0

・モンスターゾーン

『儀式魔獣マスクド・ヘルレイザー』ATK3200

『CNo. 104 仮面魔導師アンブラル』CORU1 ATK

3000

『No. 46 神影龍ドラッグルーオン』ORU0 ATK28

00

・魔法・罨ゾーン

『ナンバース・ウォール』

伏せ2

・ペンデュラムゾーン

『竜剣士マスターP』スケール3

「あたいのターン、ドロロー！スタンバイフェイズ時に『魔神王の禁断契約書』の効果で2000ポイント、『闇魔界の契約書』の効果で1000ポイントの計3000ポイントのダメージを受けるよ」

ヘカーティア&クラウンピース LP8900↓5900

「速攻魔法『揺れる眼差し』発動！ペンデュラムゾーンのカードを全て破壊する。破壊されたのは2枚なので、相手に500ポイントのダメージを与える効果とデッキからペンデュラムカードを手札に加える効果が同時に適用されるよ！『Emウォーター・ダンサー』を手札に！」

「…熱い」

神子&ごころ LP6100↓5600

「魔法カード『ペンデュラム・アライズ』！『Emトリック・クラウン』を墓地に送ってデッキからレベル4のペンデュラムモンスターを特殊召喚する！来い！『Emミラー・コンダクター』！」

『Emミラー・コンダクター』DEF1400

「墓地に送られた『トリック・クラウン』の効果で墓地の自身を特殊召喚！」

『Emトリック・クラウン』ATK1600↓0

へカーティア&クラウンピース LP5900↓4900

「さらにスケール2の『Emウォーター・ダンサー』をペンデュラムスケールにセッティング！」

青スケールなし↓2

「カードを1枚伏せて、『Emミラー・コンダクター』の効果を発動！モンスター1体の攻撃力・守備力を入れ替えるよ！対象は『仮面魔獣マスクド・ヘルレイザー』！」

「させない！『アンブラル』のCORUを1つ取り除き、効果を発動！」

『CNo. 104 仮面魔踏師アンブラル』CORU1↓0

「フィールドで発動した相手モンスターの効果は無効にして、相手の手札をランダムに1枚捨て、ライフを半分にする!」

「でも、あたいの手札は0枚だから捨てるカードはないよ!」
「くっ!」

ヘカーティア&クラウンピース LP4900↓2450

『闇魔界の契約書』の効果を発動!墓地の『DDケルベロス』をペンデュラムスケールにセッティング!

赤スケールなし↓6

PENDULUM

青スケール2

「これでレベル3から5のモンスターを同時に召喚できる!さあ、今再び狂い荒れる!ペンデュラム召喚!エクストラデッキから現れよ!『Emファイヤー・ダンサー』!」

『Emファイヤー・ダンサー』ATK1400

「更にレベル4の『ミラー・コンダクター』と『ファイヤー・ダンサー』でオーバーレイ!さあ!ショータイム・ザ・セカンド!再び現れよ!『Emトラピース・マジシャン』!」

『Emトラピース・マジシャン』ORU2 ATK2500

「まだまだ!『ウォーター・ダンサー』のペンデュラム効果!『マスク

ド・ヘルレイザー』を守備表示に変更！」

『仮面魔獣マスクド・ヘルレイザー』ATK3200↓DEF1800

「『トラピース・マジシャン』のORUを1つ取り除き、効果を発動！

『トラピース・マジシャン』自身を2回攻撃にする！」

『Emトラピース・マジシャン』ORU2↓1

「バトル！『トラピース・マジシャン』で『マスクド・ヘルレイザー』に攻撃！バトルフェイズ終了時に2回攻撃しなかった『トラピース・マジシャン』は破壊されるが、『トラピース・マジシャン』が破壊されたので効果を発動！デッキから『Em』を特殊召喚する！」

『Emボール・ライダー』DEF1800

「そしてレベル4の『トリック・クラウン』と『ボール・ライダー』でオーバーレイ！2体のモンスターでオーバーレイネットワークを構築！エクシーズ召喚！『ダイガスタ・エメラル』！」

『ダイガスタ・エメラル』ORU2 DEF800

「『エメラル』のORUを1つ取り除き、効果を発動！墓地の『Emウインド・サツカー』、『DDリリース』、『DDD怒涛王シーザー』の3体をデッキに戻し、カードを1枚ドロロー！カードを1枚伏せて、ターンエンド」

『ダイガスタ・エメラル』ORU2↓1

ヘカーティア&クラウンピース 手札0

・モンスターゾーン

『ダイガスタ・エメラル』ORU1 DEF800

・魔法・罨ゾーン

『魔神王の禁断契約書』

『閻魔界の契約書』

伏せ2

・ペンデュラムゾーン

『Emウォーター・ダンサー』スケール2

『DDケルベロス』スケール6

「私のターン、ドロ―！墓地の『ライトエンド・ドラゴン』を除外して、
『暗黒竜コラプサーペント』を特殊召喚！」

『暗黒竜コラプサーペント』ATK1800

「そしてバトルだ！『ドラッグルーオン』で『ダイガスタ・エメラル』
を攻撃！」

「トラップ発動！『ピンチブレイカー』！相手モンスターの攻撃力を
あたいのフィールドのモンスターの守備力と同じになる！」
「何!?!」

『No. 46 神影龍ドラッグルーオン』ATK2800↓800

「破壊できなかつたか……『アンブラル』で『ダイガスタ・エメラル』
を攻撃！」

「くう……『エメラル』が……」

「そして『コラプサーペント』でダイレクトアタック！」

「墓地の『Emボール・ライダー』のモンスター効果を発動！ダイレク
トアタックされた時に墓地から特殊召喚できる！」

『Emボール・ライダー』DEF1800

「数値は同じ……倒せないな。これでターンエンドだ」

神子&こころ 手札0

・モンスターゾーン

『CN0. 104 仮面魔踏師アンブラル』CORUO ATK
3000

『No. 46 神影龍ドラッグルーオン』ORUO ATK28
00

『暗黒竜コラプサーペント』ATK1800

・魔法・罨ゾーン

『ナンバーズ・ウォール』

伏せ2

・ペンデュラムゾーン

『竜剣士マスターP』スケール3

「私のターン、ドロー！スタンバイフェイズ時に永続魔法『閻魔界の契約書』の効果で1000ポイントのダメージを受ける」

ヘカーティア&クラウンピース LP2450↓1450

「私が効果ダメージを受けた時、手札から『DDD反骨王レオニダス』のモンスター効果を発動！このカードを特殊召喚し、受けた数値分ライフを回復する」

『DDD反骨王レオニダス』ATK2600

ヘカーティア&クラウンピース LP1450↓2450

『レオニダス』がフィールドに存在する限り、私が受ける効果ダメージは0となる」

「……何という……」

『魔神王の禁断契約書』の効果を強制的に発動。自分は2000ポイントのダメージを受ける……この効果にチェーンして、墓地の『Emステイルツ・シューター』のモンスター効果を発動！墓地のこのカードを除外して、相手に2000ポイントのダメージを与える！」

「くっ！これは……」

神子&こころ LP5600↓3600

「そしてメインフェイズに入る。私は魔法カード『貪欲な壺』を発動！墓地の『DDD神託王ダルク』、『DDD烈火王テムジン』、『DDD制覇王カイゼル』、『Emトリック・クラウン』、『Emミラー・コンダクター』の5体のモンスターをデッキに戻し、2枚ドロウする！手札から『DDスワラル・スライム』の効果が発動！手札のこのカードと『Dラミア』を融合する！融合召喚！現れよ！『DDD神託王ダルク』！」

『DDD神託王ダルク』 ATK2800

「墓地の『Dラミア』の効果が発動！フィールドの『DD』か『契約書』カードを1枚墓地に送ることで、このカードを特殊召喚できる！」

『Dラミア』 DEF0

「この効果で特殊召喚された『Dラミア』はフィールドを離れる場合、除外される……私はレベル7の『DDD反骨王レオニダス』にレ

ベル1の『DDラミア』をチューニング！その紅に染められし剣を掲げ、英雄たちの屍を越えていけ！シンクロ召喚！生誕せよ！レベル8！『DDD呪血王サイフリート』！」

『DDD呪血王サイフリート』 ATK2800

「更にクラウンピースが伏せていた永続魔法『戦神との不正契約書』を発動！『DDD呪血王サイフリート』の攻撃力を1000ポイントアップさせ、『CN〇・104仮面魔踏師アンブラル』の攻撃力を1000下げる！」

『DDD呪血王サイフリート』 ATK2800↓3800

『CN〇・104仮面魔踏師アンブラル』 ATK3000↓2000

「更に『DDケルベロス』のペンデュラム効果を発動！『サイフリート』のレベル4にし、攻撃力を400ポイントアップさせる！」

『DDD呪血王サイフリート』☆8↓4 ATK3800↓4200

「バトルだ！『DDD呪血王サイフリート』で『アンブラル』を攻撃！」「だ、だが……私のフィールドには『ナンバーズ・ウォール』が……！」「無駄だ！『DDD呪血王サイフリート』は互いのターンに1度、表側表示の魔法・罫を1枚次のスタンバイフェイズまで無効にできる！よって、『ナンバーズ・ウォール』は無効だ！」「なっ！ならトラップカード『ダメージ・ダイエット』！このターン、私が受ける全てのダメージを半分にする！」

神子&こころ LP3600↓2500

『DDD神託王ダルク』で『暗黒竜コラプサーペント』を攻撃！
「ぐわあ！」

神子&こころ LP2500↓2000

「墓地に送られた『コラプサーペント』の効果でデッキから『希白竜ワイバースター』を手札に加える……」

『DDケルベロス』のペンデュラム効果と『戦神との不正契約書』の効果を終了し、『サイフリート』の攻撃力は1400ポイント下がる」

『DDD呪血王サイフリート』☆8↓4 ATK4200↓2800

ヘカーティア&クラウンピース 手札0

・モンスターゾーン

『DDD呪血王サイフリート』ATK2800

『DDD神託王ダルク』ATK2800

『Emボール・ライダー』DEF1800

・魔法・罨ゾーン

『戦神との不正契約書』

『闇魔界の契約書』

・ペンデュラムゾーン

『Emウォーター・ダンサー』スケール2

『DDケルベロス』スケール6

「わ、私のターン！ドロー！フィールド魔法『エクシーズ・テリトリー』を発動！ダメージ計算時のみ、エクシーズモンスターは自身のランク×200ポイント攻撃力をアップさせる！そしてトラップカード『罪鍵の法ーシン・キー・ロウ』！エクシーズモンスターのコピーとなる

『アンブラル・ミラージュ・トークン』を3体特殊召喚する！」

『アンブラル・ミラージュ・トークン』 ATK 2800

『アンブラル・ミラージュ・トークン』 ATK 2800

『アンブラル・ミラージュ・トークン』 ATK 2800

「このトークンはダイレクトアタックできず、リリースもできず、『ドラッグルーオン』が破壊された場合に破壊される。バトルに入る！」「メインフェイズ終了時に『戦神との不正契約書』の効果を発動する。これにより、『DDD呪血王サイフリート』の攻撃力を10000ポイントアップさせて、『ドラッグルーオン』の攻撃力を10000下げる！」

『DDD呪血王サイフリート』 ATK 2800↓3800

『No. 46 神影龍ドラッグルーオン』 ATK 2800↓1800

「っ！……バトル！『アンブラル・ミラージュ・トークンA』で『神託王ダルク』を攻撃！」

「受けよう……（私が『サイフリート』の効果を使わずにとって置いたおかげで、『エクシーズ・テリトリ』の効果を間接的に封じたからな）」

「『アンブラル・ミラージュ・トークンB』で『Emボール・ライダー』を攻撃！……ターンエンド」

「ならば、エンドフェイズ時に『サイフリート』の効果により、『戦神との不正契約書』の効果を次のスタンバイフェイズまで無効にする」

『DDD呪血王サイフリート』 ATK 3800↓2800

『No. 46 神影龍ドラッグルーオン』 ATK 1800↓2800

神子&こころ

・モンスタージーン

『No. 46 神影龍ドラッグルーオン』 ORUO ATK 28

『アンブラル・ミラージュ・トークン』 ATK2800

『アンブラル・ミラージュ・トークン』 ATK2800

『アンブラル・ミラージュ・トークン』 ATK2800

・魔法・罨ゾーン

『ナンバーズ・ウォール』

伏せ1

「あたいのターン、ドロロー！スタンバイフェイズ時に永続魔法『闇魔界の契約書』の効果で1000ポイントのダメージを受けるよ！」

ヘカーティア&クラウンピース LP2450↓1450

「そして、前のターンに無効にされていた『戦神との不正契約書』の効果^{メイン}がメインフェイズに復活するよ！……よし、セッティング済みのペンデュラムスケールを使って、再び狂い荒れろ！ペンデュラム召喚！エクストラデッキから『Emボール・ライダー』！手札から『Emハットトリッカー』！」

『Emボール・ライダー』 DEF1800

『Emハットトリッカー』 DEF1300

「そしてこのレベル4のモンスター2体でオーバーレイ！2体のモンスターでオーバーレイネットワークを構築！さあ、現れよ！我が史上最高の主役^{メイン}！3度目の脱出劇によって、最後の幕を閉じよ！エクシールズ召喚！『Emトラピース・マジシャン』！」

『Emトラピース・マジシャン』 ORU2 ATK2500

「『Emトラピース・マジシャン』のORUを1つ取り除き、効果を発動！『Emトラピース・マジシャン』を2回攻撃にする！」

『Emトラピース・マジシャン』ORU2↓1

「そして『戦神との不正契約書』の効果を発動！『サイフリート』の攻撃力を1000ポイントアップさせ、『ドラッグルーオン』の攻撃力を1000下げる！」

『DDD呪血王サイフリート』ATK2800↓3800

『No. 46神影龍ドラッグルーオン』ATK2800↓1800

「更に『DDケルベロス』のペンデュラム効果！『サイフリート』のレベルを4にして、攻撃力を400ポイントアップさせる！」

『DDD呪血王サイフリート』☆8↓4 ATK3800↓4200

「バトル！『DDD呪血王サイフリート』で『ドラッグルーオン』を攻撃！」

「『エクシーズ・テリトリ』の効果で攻撃力を1600ポイントアップさせる！」

『No. 46神影龍ドラッグルーオン』ATK1800↓3400

神子&こころ LP2000↓1200

「『ドラッグルーオン』が破壊されたので、『アンブラル・ミラーージュ・トークン』も破壊される……！」

「我が最高の狂気のエンターテイメント！これにてフィナーレでござい

います！行け！『Emトラピース・マジシャン』でダイレクトアタック！」

「きゃあああ！」

神子&こころ LP1200↓0

WINNER ヘカーティア&クラウンピース

29. 「第九回戦！赤の王者VS勝利の青！上」

「デツキチェンジ……？」

霊夢はあまり聞かないその言葉に首をかしげる。

「それって何？嵯峨」

「一回戦を勝つとデツキ変えて二回戦目に行けるってやつ、大会の内容のアレに書いてあった」

「でも、私デツキ一つしか持ってないわよ」

「だったらサイドでも入れればいいじゃないか……」

そう言つて、嵯峨はデツキホルダーから一つのデツキを取り出す。それはいつもから使っている『ディスプレイデツキ』ではない。

「そのデツキを使うの？」

「……いや、使う気が起きねえ……」

「あれ？つていうかそれってバクラのデツキ？」

「違う。俺の二つ目のデツキだ……だが、これを使う機会はたぶんないな」

「ふーん……」

神妙な顔をしている嵯峨に対して、霊夢は何も思わなかった。

『さあ、始まったー！ー！ー！峰城嵯峨&博麗霊夢チームVSレミリア・スカーレット&十六夜咲夜チームの戦いだー！ー！先日以上の盛り上がりを見せてくれー！ー！ー！』

「「「ウオオオオオオー!!(ノ・ω・ノ)ノ」」」」

「さあてやろうぜ、hurry!hurry!つてな!」

「クク、外人か。前回のお前たちの戦い、中々見物であった。それゆえに、どうだ?私のモノにならないか?峰城嵯峨……」

「はあああ!?!お断りだつての!」

「いや、霊夢。そこ俺のセリフ」

「全く、お嬢様の我が儘もここまでできましたか。まさか人がほしいとは……それではデュエルで決めましょう」

「待ってました!賭け事は聞かなかったことにして始めようぜ!」

『ヒヤハハハ!俺様は楽しく観戦させてもらうぜ』

(頼むから出てくんなよ)

「「「デュエル!」」」」

ターン順

嵯峨↓レミリア↓霊夢↓咲夜

「先行は俺だ!私のターン!『デイスペアー・ナイト』を通常召喚!」

『デイスペアー・ナイト』ATK2000

「カードを2枚伏せて、ターンエンド!」

嵯峨&霊夢 手札2

・モンスターゾーン

『デイスペアー・ナイト』ATK2000

・魔法・罨ゾーン

伏せ2

「私のターンだ！ドロー！早速行くぞ……！相手フィールドにのみ、モンスターが存在する場合、手札から『バイス・ドラゴン』を特殊召喚！」

『バイス・ドラゴン』DEF2400

「この効果で特殊召喚したモンスターの攻撃力・守備力は半分になる」

『バイス・ドラゴン』DEF2400↓1200

「更に『ダーク・リゾネーター』を通常召喚」

『ダーク・リゾネーター』ATK1300

「やはり早いな……」

「レベル5の『バイス・ドラゴン』にレベル3の『ダーク・リゾネーター』をチューニング！女王の鼓動が今烈火となる！天地鳴動の力、しかも目に焼き付けるがいい！シンクロ召喚！レベル8、我が魂！『レッド・デーモンズ・ドラゴン』！」

『レッド・デーモンズ・ドラゴン』ATK3000

「バトルだ！『レッド・デーモンズ・ドラゴン』で『デイスペアー・ナイト』を攻撃！『アブソリュート・パワーフォース』！」

「トラップカード『デイスペアー・バーニング』を発動！『デイスペアー』モンスターの攻撃力を500ポイントアップさせ、デッキからカードを1枚ドローする！」

『デイスペアー・ナイト』 ATK2000↓2500

「だが、破壊は免れない！」

「それでいいさ」

嵯峨&霊夢 LP8000↓7500

「カードを伏せてターンエンドだ」

レミリア&咲夜 手札3

・モンスターゾーン

『レッド・デーモンズ・ドラゴン』 ATK3300

・魔法・罨ゾーン

伏せ1

「私のターン、ドロー！手札の『沼地の魔神王』を墓地に送り、効果を発動！デッキから『融合』を手札に加える！そして『融合』を発動！手札の『青眼の白龍』ブルーアイズ・ホワイト・ドラゴン2体で融合！」

霊夢のフェイバリットモンスターである2体の『ブルーアイズ』が混じり合う。

「神すら破壊する獰猛なるドラゴン達よ！今2つの魂が1つとなりて真の姿へと生まれ変わらん！融合召喚！降臨せよ！」

『青眼の双爆裂龍』！ブルーアイズ・ツインバースト・ドラゴン

『青眼の双爆裂龍』 ATK3000

「バトル！『青眼の双爆裂龍』は戦闘では破壊されず、このモンスターの攻撃によって破壊されなかったモンスターは除外されるわ！行け！『青眼の双爆裂龍』で『レッド・デーモンズ・ドラゴン』を攻撃！『滅びの双爆裂疾風弾』」
「ちっ」
「『レッド・デーモンズ・ドラゴン』撃破！」
「ふん、貴様のドラゴンも見るがいい」
「え……なっ……！」

いつの間にか『青眼の双爆裂龍』の体には巨大な剣が突き刺さっていた。

「これは妹からの送り物プレゼントでな……ありがたく使わせてもらおう。トランプカード『極星宝レーヴァテイン』発動！モンスターを戦闘で破壊したモンスターを破壊する！この効果にチェーンすることはできません！」

「くっ！『ツインバースト』がこんな簡単に……！メインフェイズ2に入り、モンスターをセットして、ターンエンド……！」

セットモンスターDEF???

嵯峨&霊夢 手札2

・モンスターゾーン

セットモンスターDEF???

・魔法・罨ゾーン

伏せ1

「私のターンですね。ドローします。永続魔法『セカンド・チャンス』を発動。コイントスをするカードの効果で投げるコインの数を2つにできる」

「つまり、一回のやり直しが効くってことね？」

「そういうことよ♪じゃあ、『カップ・オブ・エース』を発動！このカードはコイントスの表裏で結果が変わる。表なら自分に、裏なら相手にデッキからカードを2枚ドロースさせるカードよ。では、コイントス」
ティンと弾かれたコインは表を示した。

「ふふ、なら『セカンド・チャンス』の効果は使わず、効果を終了。デッキからカードを2枚ドロロー！そして儀式魔法『大地讃頌』！地属性の儀式モンスターを儀式召喚するわ！」

「地属性だと……？」

「手札の『アルカナフォースXXI―THE WORLD』をリリースし、儀式召喚！『虚竜魔王アモルファクターP』^{サイコ}！」

『虚竜魔王アモルファクターP』ATK2950

「このカードが儀式召喚に成功した次の相手ターンのメインフェイズ1をスキップさせる！」

「なんだと!？」

「そしてこのモンスターが存在する限り、融合・シンクロ・エクシーズモンスターの効果は無効となる……バトルよ！『アモルファクターP』でセットモンスターを攻撃！」

「くつ、セットモンスターは『霊廟の守護者』よ！」

セットモンスターDEF???↓『霊廟の守護者』DEF2100

「メインフェイズ2でカードを3枚伏せて、ターンエンドよ」

レミリア&咲夜 手札1

・モンスターゾーン

『虚竜魔王アモルファクターP』ATK2950

・魔法・罨ゾーン

『セカンド・チャンス』

伏せ3

「私のターンだ、ドロー！」

「このターンのメインフェイズ1はスキップされる！よって、貴女のバトルフェイズに移行！」

「くっ！何もせずメインフェイズ2に移行する！手札から魔法カード『デイスペアー・デメリット・コール』を発動！このターン、自分への効果ダメージを倍にする代わりに効果ダメージを受ける度にデッキからレベル4以下の『デイスペアー』モンスターを守備表示で特殊召喚する！」

「嗟峨、そのカードは……」

「かなり危険だが、展開はしておかないといけないから……魔法カード『デイスペアー・エントリー』を発動！私は500ポイントのダメージを受けるが『デイスペアー・デメリット・コール』の効果で倍になる！」

嗟峨&霊夢 LP7500↓6500

「そして、『デメリット・コール』の効果でデッキから『デイスペアー・ハッカー』を特殊召喚！」

『デイスペアー・ハッカー』DEF0

「『エントリー』の効果で『デイスペアー』モンスターが特殊召喚する度にデッキからカードを1枚ドロー！『ハッカー』の効果でお互いは300ポイントのダメージを受ける！『デメリット・コール』の効果で私だけダメージは倍に！」

嵯峨&霊夢 LP6500↓5900

レミリア&咲夜 LP8000↓7700

「ッ！『デメリット・コール』の効果でデッキから『デイスペアー・ソルジャー』を特殊召喚！」

『デイスペアー・ソルジャー』DEF0

『『エントリー』の効果で1枚ドロー！』『ソルジャー』の効果発動！手札の『デイスペアー・パントマイナー』を墓地に送り、デッキからカードを1枚ドローし、それがレベル4以下の『デイスペアー』モンスターならそのモンスターを特殊召喚する！くっ……引けなかったか……ならカードを2枚伏せて、ターンエンドだ！」

嵯峨&霊夢 手札2

・モンスターゾーン

『デイスペアー・ソルジャー』DEF0

『デイスペアー・ハッカー』DEF0

・魔法・罨ゾーン

伏せ3

「ククク、どうした？守ってばかりでは私たちを倒すことはできんぞ。私のターン、ドロー！私は『レッド・リゾネーター』を通常召喚！」

『レッド・リゾネーター』ATK600

『『レッド・リゾネーター』は召喚に成功した時、手札のレベル4以下

のモンスターを特殊召喚することができる！私は『ランサー・デーモン』を特殊召喚！」

『ランサー・デーモン』 ATK1600

「このままバトルに移行する！『アモルフアクターP』で『デイスペアー・ハッカー』を攻撃！」

「くっ！『ランサー・デーモン』の効果か……！」

「その通りだ！『ランサー・デーモン』の効果を発動！1ターンに1度、自分のモンスターが相手の守備モンスターを攻撃した時、そのモンスターに貫通効果を与える！」

「ぐっ、うわあああ！」

嵯峨&霊夢 LP5900↓2950

『『レッド・リゾネーター』で『デイスペアー・ソルジャー』を攻撃！そして、『ランサー・デーモン』でダイレクトアタック！』

『『ランサー・デーモン』の攻撃宣言時に墓地の『デイスペアー・ハッカー』の効果を発動！このカードをゲームから除外して攻撃を無効にする！』

「ほお、止めたか……」

「まだだ！リバースカード！速攻魔法『パニッシュ・リアクター』発動！カードがゲームから除外された場合、墓地のカードを1枚手札に加える！私が手札に戻すのは『デイスペアー・ソルジャー』だ！」

「ククク！ただではやられないということか……そうでなくてはな！メインフェイズ2でレベル4の『ランサー・デーモン』にレベル2の『レッド・リゾネーター』をチューニング！悪魔の契りがここに燃える魂となりて1つとなる！女王の一瞥に震撼せよ！シンクロ召喚！レベル6！『レッド・ワイバーン』！」

『レッド・ワイバーン』 ATK 2400

「これでターンを終了する！」

レミリア&咲夜 手札2

・モンスターゾーン

『虚竜魔王アモルフアクターP』 ATK 2950

『レッド・ワイバーン』 ATK 2400

・魔法・罠ゾーン

『セカンド・チャンス』

伏せ3

「私の……ターン！」

霊夢は勢いよくカードをドロウする。後ろからそのカードを見た
嗟峨は不敵な笑みを浮かべた。

「よし！行け霊夢！」

「ええ！私は魔法カード『増援』を発動！デッキからレベル4以下の戦
士族モンスターを手札に加えるわ！『E・HEROプリズマー』を手
札に加え、こいつを召喚！」

『E・HEROプリズマー』 ATK 1700

「『プリズマー』の効果を発動！エクストラデッキから
ブルーアイズ・アルティメット・ドラゴン

『青眼の究極竜』を見せて、デッキからその融合素材となる
ブルーアイズ・ホワイト・ドラゴン

『青眼の白龍』を墓地に送って、『プリズマー』を『青眼の白龍』
として扱う！」

名称『E・HEROプリズマー』↓『青眼の白龍』

「そして魔法カード『滅びの爆裂疾風弾』バーストストリームを発動！私のフィールドに『青眼の白龍』が存在する場合、相手フィールドの全モンスターを破壊する！」

「なるほど！やるわね……！」

「これで『アモルファクターP』の効果は切れた！覚悟を決めるがいいわ！魔法カード『龍の鏡』ドラゴンズ・ミラー発動！墓地の3体の『ブルーアイズ』を除外して融合！神すら滅ぼす穢れ無き龍達よ……今万物全てを破壊し尽くし、新たな世界を築き上げよ！融合召喚！現れ出でよ！
ブルーアイズ・アルティメット・ドラゴン『青眼の究極竜』！」

『青眼の究極竜』 ATK4500

「バトル！『青眼の究極竜』でダイレクトアタック！『アルティメット・バースト』！」

「トラップカード『リダクション・バリアー』発動！戦闘ダメージを10分の1にする！」

「何!?!」

アニメでATMアテムが使ったオリジナルカードか……っ！頭おかしいだろ！

レミリア&咲夜 LP7700↓7250

「……ターンエンド」

流石のチートカードの効果に霊夢は悔しそうにエンド宣言をした。

嵯峨&霊夢 手札0

・モンスターゾーン

『青眼の究極竜』 ATK 4500

・魔法・罨ゾーン

伏せ2

「私のターン、ドロロー……」

咲夜は一旦、動きを止める。何かを考えているのだろうか……

「いや、私はこのままターンエンド」

レミリア&咲夜 手札2

・モンスターゾーン

なし

・魔法・罨ゾーン

『セカンド・チャンス』

伏せ3

咲夜は何もせず、ターンを終了したのを怪訝に思いながら嵯峨はターンを進める。

「私のターン……」

「スタンバイフェイズ時に永続罨『死神の巡遊』を発動！相手のスタンバイフェイズ時にコイントスを行い、表が出れば相手はこのターン、裏が出れば自分が次のターン、召喚・反転召喚を行えない！」

「まじかよー」

これではきつきのターンに手札に加えた『デイスペアー・ソルジャー』を召喚することはできない。だが、コイントスが外れれば……

「1ターンたりともあなたには動かさせませんよ！さあ、コイントス！」

1ドル硬貨のような銀色のコインが空から降ってきて、咲夜の手のひらに乗る。それを弾き、地面に落ちたのは……

「裏……！」

「いいえ、『セカンド・チャンス』の効果が発動！今の結果を帳消しにして、もう一度、コイントスを行います！」

今度は表となった……

「これでこのターン、あなたはモンスターを召喚・反転召喚できない！」

「おのれ……このままバトルだ！『青眼の究極竜』でダイレクトアタック！『アルティメット・バースト』！」

「手札から『アルカナフォースXIV―TEMPERANCE』の効果が発動！このカードを墓地に送り、戦闘ダメージを0にする！」

「全く持って硬すぎる……これでターンエンドだ！」

嵯峨&霊夢 手札4

・モンスターゾーン

『青眼の究極竜』 ATK4500

・魔法・罨ゾーン

伏せ2

ターンが返ってレミアアのターン。『レッド・デーモン』通称『レモン』のゴリ押しデッキなので、うちの霊夢と被ってますね。やな予感……

「ドロー！手札から『レッド・スプリンター』を通常召喚する！」

『レッド・スプリンター』 ATK1700

「『レッド・スプリンター』の効果！自分フィールドにモンスターが存在せず、このカードが召喚・特殊召喚に成功した時、手札・墓地からレベル3以下のモンスターを特殊召喚する！墓地より現れよ！『レッド・リゾネーター』！」

『レッド・リゾネーター』 DEF200

「『レッド・リゾネーター』の効果を発動！このカードが特殊召喚に成功した時、フィールドのモンスターの攻撃力分、私のライフを回復させる！選択するのは『青眼の究極竜』だ！」
「なっ」

レミアア&咲夜 LP7250↓11750

何とライフ差、8800。

「レベル4の『レッド・スプリンター』にレベル2の『レッド・リゾネーター』をチューニング！灼熱の龍よ！女王の威光によりてその姿を現せ！シンクロ召喚！レベル6！『レッド・ライジング・ドラゴン』！」

『レッド・ライジング・ドラゴン』 ATK2100

「『レッド・ライジング』の効果を発動！墓地の『リゾネーター』モンスターを特殊召喚する！再び現れよ！『レッド・リゾネーター』！」

『レッド・リゾネーター』 DEF200

「レベル6の『レッド・ライジング・ドラゴン』にレベル2の『レッド・リゾネーター』をチューニング！漆黒の闇を裂き天地を焼き尽くす孤高の絶対なる女王よ!!万物を睥睨しその猛威を振るえ！シンクロ召喚！レベル8！『琰魔竜 レッド・デーモン』！」

『琰魔竜 レッド・デーモン』 ATK3000

「『レッド・デーモン』の効果が発動！このカード以外の攻撃表示モンスターをすべて破壊する！『真紅の地獄炎』！」
クリムゾン・ヘル・バーン

「速攻魔法『次元誘爆』！『青眼の究極竜』をエクストラデッキに戻し、除外されているモンスターをお互いに2体特殊召喚する！」

「私の除外ゾーンにはモンスターはいない」

「私は2体の『青眼の白龍』を特殊召喚！」

『青眼の白龍』 DEF2500

『青眼の白龍』 DEF2500

「『レッド・デーモン』の効果を使うターン、私は『レッド・デーモン』でしか攻撃できない……仕方ないな。『レッド・デーモン』で『青眼の白龍』を攻撃！『極獄の裁き』！」
アブソリュート・ヘル・ジャッジ

『レッド・デーモン』のブレスが『ブルーアイズ』を焼き殺す……だが、こちらもただ単に霊夢の魂のカードを破壊されたわけではないぞ……

「この瞬間、墓地の『霊廟の守護者』の効果が発動！自分のドラゴン族モンスターが破壊された場合、墓地のこのカードを特殊召喚する！」

『霊廟の守護者』 DEF2100

「更に！破壊されたのが通常モンスターならば手札に加えることができる！『青眼の白龍』は手札に加わる！」

「メインフェイズ2に入り、カードを1枚伏せて、ターンエンドだ」

レミリア&咲夜 手札1

・モンスターゾーン

『琰魔竜 レッド・デーモン』 ATK3000

・魔法・罨ゾーン

『セカンド・チャンス』

『死神の巡遊』

伏せ3

「私のターン、ドロー！」

「スタンバイフェイズ時に『死神の巡遊』の効果が発動する！コイントスは任せたぞ咲夜」

「はい。お任せください」

弾かれて地面に落ちたコインは裏を示している。

「うぐっ！せ、『セカンド・チャンス』の効果が発動して、もう一度コイントスを行います！」

慌てて咲夜は『セカンド・チャンス』の効果が発動する。レミリアに任された手前、失敗できないからだろう。

二回目のコイントスの結果は……表。

「ほっ」

「でも、そのカードは特殊召喚は封じられないわ……トラップ発動！『苦渋の黙札』！『霊廟の守護者』をリリースして、そのモンスターと同名以外の同じ種族・属性・レベルを持つモンスターを手札に加える！私が手札に加えるのは『暗黒竜コラプサーペント』！そしてこの

カードは墓地の光属性を除外することで特殊召喚できる！墓地の『青眼の双爆裂龍』を除外して特殊召喚！」

『暗黒竜コラプサーペント』 ATK1800

「『青眼の白龍』を攻撃表示に変更！」

『青眼の白龍』 DEF2500↓ATK3000

「バトルよ！『青眼の白龍』で『レッド・デーモン』を攻撃！『滅びの爆裂疾風弾』！」

「ちい！トラップ発動！『スカーレット・コクーン』！『レッド・デーモン』に装備し、モンスターとバトルする時、相手の表側表示のモンスター効果をダメージステップ終了時まで無効にする！」

「だけど、相打ちには変わらないわ！」
「くっ！」

「そして自分フィールドのドラゴン族モンスターが破壊された場合、墓地の『霊廟の守護者』の効果を発動！このカードを特殊召喚！」

『霊廟の守護者』 DEF2100

「更に墓地に送られた『青眼の白龍』を手札に加え、『暗黒竜コラプサーペント』でダイレクトアタック！」

「受けよう！」

レミリア&咲夜 LP11750↓9950

「メインフェイズ2に入り、手札から『トレード・イン』を発動！手札の『ブルーアイズ』を墓地に送って2枚ドロロー！よっし！いいカード

を引いたわ！『ドラゴニック・タクティクス』を発動！『霊廟の守護者』と『暗黒竜コラプサーペント』をリリースして、デッキから『白き霊龍』を特殊召喚！」

『白き霊龍』ATK2500

「墓地に送られた『コラプサーペント』の効果でデッキから『希白竜ワイバースター』を手札に加える！そして『白き霊龍』の効果が発動！『死神の巡遊』を除外する！」

「なんですって!?!」

「そして墓地の『コラプサーペント』を除外して『希白竜ワイバースター』を特殊召喚！」

『希白竜ワイバースター』DEF1800

「最後に速攻魔法『超再生能力』を発動！このターンのエンドフェイズにこのターン中に私がリリースか捨てられたドラゴン族モンスターの数だけドロウする！このままターンエンド！私が手札から捨てた・リリースしたドラゴンの数は3体……よって、3枚ドロウ！」

「エンドフェイズ時に墓地の『スカーレット・コクーン』の効果が発動！墓地の『レッド・デーモンズ・ドラゴン』を特殊召喚する！甦れ我が魂！」

『レッド・デーモンズ・ドラゴン』ATK3000

「懲りないわね……」

オマエモナー（嵯峨の心の声）

嵯峨&霊夢 手札3

・モンスターゾーン

『白き霊龍』ATK2500

『希白竜ワイバースター』DEF1800

・魔法・罨ゾーン

伏せ1

30. 「第九回戦！赤の王者VS勝利の青！下」

レミリア&咲夜LP9950

手札2（咲夜） 手札1（レミリア）

・モンスターゾーン

『レッド・デーモンズ・ドラゴン』ATK3000

・魔法・罨ゾーン

『セカンド・チャンス』

伏せ2

嵯峨&霊夢LP2950

手札4（嵯峨） 手札3（霊夢）

・モンスターゾーン

『白き霊龍』ATK2500

『希白竜ワイバースター』DEF1800

・魔法・罨ゾーン

伏せ1

「私のターン……ドロー！2枚目の『カップ・オブ・エース』を発動！」

コインは表になる。

「ふふ、2枚ドロー！来た！『テラ・フォーミング』を発動！デッキからフィールド魔法『光の結界』を手札に加え、これを発動！」

来たか……！てことは『アルカナフォース』が起動するってことだ

……

「魔法カード『ネクロ・サクリファイイス』を発動！私の墓地に存在するモンスターを1体か2体相手フィールドに特殊召喚し、その数だけモ

ンスターのアドバンス召喚に必要なリリース数を減らすことができ
る……貴女の運命は決した！そちらのフィールドに『アルカナフォー
スXXI―THE WORLD』と『アルカナフォー스XIV―THE M
PERANCE』を特殊召喚！」

『アルカナフォースXXI―THE WORLD』DEF3100
『アルカナフォースXIV―TEMPERANCE』DEF2400

『光の結界』の効果で2体の運命も裏にする！『THE WORLD』
は私とお嬢様のドローフェイズに私の墓地の一番上のカードを持ち
主の手札に加え、『TEMPERANCE』は私が受けるダメージを半
分にします！」

「面倒な……！」

「更に『ネクロ・サクリファイス』の効果で『アルカナフォースXV―
THE DEVIL』を召喚！」

『アルカナフォースXV―THE DEVIL』ATK2500

出たな、悪魔のタロットカード。奴は確か、正位置ならモンスター
を破壊して500ポイントのバーンダメージを与えて、逆位置ならブ
ラック・ホールだったな。なら、咲夜は必ず……

『光の結界』の効果で表を選択！」

ですよねー

「バトル！『レッド・デーモンズ・ドラゴン』で『希白竜ワイバースター』
を攻撃！『灼熱のクリムゾン・ヘルフレア』！」

「トラップ発動！『インフィニティ・ガード・フォーメーション』！『希
白竜ワイバースター』の効果が無効にすることでこのターン、私の
フィールドのカードは破壊されない！」

「耐えたわね！『レッド・デーモンズ・ドラゴン』が守備モンスターを攻撃した時、相手フィールドの守備モンスターを全て破壊する効果が発動する！」

「ふふん、それも『インフィニティ・ガード・フォーメーション』の効果で破壊されないわ！どうよー！」

「くっ……『THE DEVIL』で『希白竜ワイバースター』を攻撃してターンエンド……！」

『インフィニティ・ガード・フォーメーション』の効果で破壊されないのにも関わらず、『THE DEVIL』が攻撃してきたのは『レッド・デーモンズ・ドラゴン』のせい。奴は自分のエンドフェイズ時に攻撃していない自分モンスターを全て破壊する強制効果を持っているのだ。多分、知らない人はいないだろうね。

レミリア&咲夜 手札0

・モンスターゾーン

『レッド・デーモンズ・ドラゴン』ATK3000

『アルカナフォースXV-THE DEVIL』ATK250

0

・魔法・罨ゾーン

『セカンド・チャンス』

伏せ2

・フィールド魔法

『光の結界』

やっと俺のターンですね。

「私のターン、ドロー！まずは『白き靈龍』の効果を発動！このカードをリリースして、手札の『ブルーアイズ』を特殊召喚する！出でよ！『青眼の白龍』！」

『青眼の白龍』 ATK3000

「そして『手札抹殺』を発動！手札を全て捨て、その枚数デッキからドロウする。私は4枚」

「私は0枚です」

「よって、4枚ドロウ！」

「この瞬間、トラップカード『逆転の明札』を発動！相手がドロウフェイズのドロウ以外でカードをドロウした時、私は相手の手札と同じ枚数ドロウできます！したがって、4枚ドロウ！」

またアニメのチートカードか！

『THE WORLD』と『TEMPERANCE』を攻撃表示に変更する！」

『アルカナフォースXXI―THE WORLD』 DEF3100 ↓

ATK3100

『アルカナフォースXIV―TEMPERANCE』 DEF2400 ↓

ATK2400

「バトルだ！」

「バトルだってさせません！永続罠『スクリーン・オブ・レッド』を発動！相手は攻撃宣言できない！」

「くっそが！メインフェイズ2に入って、カードを1枚伏せて、ターンエンドだ！」

嗟峨&霊夢 手札3

・モンスターゾーン

『青眼の白龍』 ATK3000

『希白竜ワイバースター』 DEF1800

『アルカナフォースXXI―THE WORLD』 ATK31

00

『アルカナフォースXIV―TEMPERANCE』ATK24

00

・魔法・罨ゾーン

伏せ1

「私のターン……ドロロー、更に貴様らのフィールドに存在する『THE WORLD』の効果により、私の墓地の一番上のカードが手札に戻る……そのカードは『逆転の明札』だ」

「厄介なのが……!」

「スタンバイフェイズ時にフィールド魔法『光の結界』の効果が発動する。コイントスだ咲夜」

「はい!」

本日何度目になるのか分からないコイントスが弾かれる。結果は表。はいはい当然正位置当然正位置。

「『アルカナフォース』の効果は継続する。そして魔法カード『コール・リゾネーター』を発動。デッキから『チェーン・リゾネーター』を手札に加え、このカードを召喚する!」

『チェーン・リゾネーター』ATK100

「このカードはフィールドにシンクロモンスターが存在する場合に召喚した時、デッキから『リゾネーター』モンスターを特殊召喚する! 来い! 『シンクロン・リゾネーター』!」

『シンクロン・リゾネーター』DEF100

「さあ、行くぞ! 我が魂の鼓動が更なる境地へと至るその瞬間をしかと目に焼き付けるがいい! レベル8の『レッド・デーモンズ・ドラゴ

ン』にレベル1の『チェーン・リゾネーター』をチューニング！深淵の闇より解き放たれし魔王よ！その憤怒を爆散させよ！シンクロ召喚！レベル9！『琰魔竜 レッド・デーモン・アビス』！」

『琰魔竜 レッド・デーモン・アビス』ATK3200

「更に！レベル9の『レッド・デーモン・アビス』にレベル1の『シンクローン・リゾネーター』をチューニング！泰山鳴動！山を裂き地の炎と共にその身を曝せ！シンクロ召喚！レベル10！『琰魔竜 レッド・デーモン・ベリアル』！」

『琰魔竜 レッド・デーモン・ベリアル』ATK3500

「墓地に送られた『シンクローン』の効果を発動！墓地の『ダーク・リゾネーター』を手札に加える！バトルだ！『ベリアル』で『青眼の白龍』を攻撃！『グレート・サミット・ブレイカー割山激怒撃』！」

「ぐっ！」

嵯峨&霊夢 LP2950↓2450

「『ブルーアイズ』が破壊される前に戦闘ダメージを与えたため、『ベリアル』の効果を発動！墓地の『シンクローン・リゾネーター』とデッキから同じレベルの『ダブル・リゾネーター』をそれぞれ守備表示で特殊召喚する！」

『シンクローン・リゾネーター』DEF100

『ダブル・リゾネーター』DEF0

「くっ！だが、ドラゴン族モンスターが破壊されたので墓地の『霊廟の

『守護者』を特殊召喚！」

『霊廟の守護者』 DEF2100

「この時の回収効果は発動しない」

「ならば『THE DEVIL』で『TEMPERANCE』を攻撃！

この時、『DEVIL』の効果を発動！『THE WORLD』を破壊して、500ポイントのダメージを与える！」

「いった！」

嵯峨&霊夢 LP2450↓1950

「そして、『TEMPERANCE』も破壊だ！」

嵯峨&霊夢 LP1950↓1850

「『DEVIL』が相手モンスターを戦闘で破壊したのでフィールド魔法『光の結界』の効果を発動！破壊したモンスターの攻撃力分の数値を自分のライフに加える」

レミリア&咲夜 LP9950↓12350

「メインフェイズ2に入り、『ベリアル』の最後の効果を発動。モンスターをリリースしてして、墓地の『レッド・デーモン』モンスターを特殊召喚する！『シンクロン・リゾネーター』を贄として甦れ！」

『レッド・デーモン・アビス』！』

『琰魔竜 レッド・デーモン・アビス』ATK3200

「『シンクロン・リゾネーター』の効果で墓地の『チェーン・リゾネーター』を手札に加える。更に『マジック・プランター』を発動。『スクリーン・オブ・レッド』を墓地に送り、2枚ドロシーし、カードを1枚伏せて、ターンエンドだ。さあ、覆してみる人間」

レミリア&咲夜 手札3

・モンスターゾーン

『琰魔竜 レッド・デーモン・アビス』ATK3200

『琰魔竜 レッド・デーモン・ベリアル』ATK3500

『アルカナフォースXVII THE DEVIL』ATK250

0

『ダブル・リゾネーター』DEF0

・魔法・罨ゾーン

『セカンド・チャンス』

伏せ1

・フィールド魔法

『光の結界』

「言ってくれるじゃない……！私のターン！魔法カード『無の煉獄』！私が手札が3枚以上存在する場合、カードを1枚ドロシーする！」
「この瞬間にトラップカード『逆転の明札』を発動！私はカードを2枚ドロシー！」

「そして、私の墓地の闇属性モンスターが3体存在するので手札から『ダーク・アームド・ドラゴン』を特殊召喚するわ！」

『ダーク・アームド・ドラゴン』ATK2800

『『ダーク・アームド・ドラゴン』の効果を発動！墓地の『ディスプレイ・ナイト』をゲームから除外して『琰魔竜 レッド・デーモン・ベリアル』を破壊する！』

『『アビス』の効果をチェックして発動！1ターンに1度、相手ワールドの表側のカード効果をエンドフェイズ時まで無効にできる！』

『『ダーク・アームド・ドラゴン』の効果は無効だ！』

『それなら！1000ポイントのライフを払って『簡易融合』インスタント・フュージョンを発動！』

嵯峨&霊夢 LP1850↓850

『そしてエクストラデッキからレベル5以下の融合モンスターを融合召喚する！現れなさい！『重装機甲 パンツアードドラゴン』！』

『重装機甲 パンツアードドラゴン』 ATK1000

『この効果で特殊召喚されたモンスターは攻撃できず、このターンのエンドフェイズ時破壊される！でも、『パンツアードドラゴン』は破壊された時、フィールドのカードを道ずれに破壊できる！』

『だが、1000ポイントは払いすぎではないか？お前らしいと言えばそうだが』

『うっさい！ライフなんてそつちのライフを先に0にすればいくらだろうと充分よ！』

『ふっ、それもそうだ』

『気を取り直していくわよ！魔法カード『モンスター・スロット』！フィールドの『霊廟の守護者』と同じレベルの『ディスプレイ・パントマイナー』を墓地から除外して、デッキからカードを1枚ドロウする！そのカードが『霊廟の守護者』と同じレベル4のモンスターならば特殊召喚できる！ドロウ！』

ドローカードは……魔法カード……だが、これは！

「私が引いたカードは魔法カード『復活の祭壇』！このカードを手札に加え、発動！デッキの上からカードを2枚除外して、墓地のカードを1枚手札に加える！『次元誘爆』を手札に！」

目には目を歯には歯を……チートにはチートをつてか？俺、あのカードが霊夢のデッキにあるの知らなかったんですけど。パートナーにフアンサービスするのやめて。

「そして『次元誘爆』を発動！『パンツアードラゴン』をエクストラデッキに戻し、除外されている『青眼の白龍』と『デイスペアー・パントマイナー』を特殊召喚！」

『青眼の白龍』 ATK3000

『デイスペアー・パントマイナー』 ATK1800

「『パントマイナー』の効果が発動！このカードが特殊召喚に成功し、お互いのフィールドのモンスターが特殊召喚されている場合、相手のモンスター1体を破壊する！『ベリアル』を破壊する！」
「くっ！だが、まだ……！」

「レベル4の『デイスペアー・パントマイナー』と『霊廟の守護者』でオーバーレイ！2体のモンスターでオーバーレイネットワークを構築！エクシーズ召喚！現れなさい！ランク4！『竜魔人 クイーン・ドラグーン』！」

『竜魔人 クイーン・ドラグーン』 ORU2 ATK2200

「『クイーン・ドラグーン』の効果！ORUを1つ取り除き、墓地のレベル5以上のドラゴン族モンスターを特殊召喚する！『青眼の白龍』

！」

『竜魔人 クイーン・ドラゴン』ORU2↓1

『青眼の白龍』ATK3000

「この効果で特殊召喚したモンスターはこのターン、攻撃できない。なら取るべき行動は1つ！レベル8の『青眼の白龍』2体でオーバーレイ！」

「なんだと!?!」

「2体のモンスターでオーバーレイネットワークを構築！エクシーズ召喚！光臨せよ！ランク8！『サンダーエンド・ドラゴン』！」

『サンダーエンド・ドラゴン』ORU2 ATK3000

「孤高の龍！『サンダーエンド・ドラゴン』の効果！ORUを1つ取り除き、このカード以外の全てのモンスターを破壊する！『ジ・エンド・オブ・サンダー』！」

『サンダーエンド・ドラゴン』ORU2↓1

「くっ！」

「破壊された『ワイバースター』の効果でデッキから『コラプサーペン』を手札に加える！そして墓地の『霊廟の守護者』を特殊召喚！」

『霊廟の守護者』DEF2100

「バトル！『サンダーエンド・ドラゴン』でダイレクトアタック！」

レミリア&咲夜 LP12350↓9350

「メインフェイズ2で墓地の『希白竜ワイバースター』を除外して『コ
ラブサーペント』を特殊召喚！」

『暗黒竜コラブサーペント』DEF1700

「これでターンエンド！」

嗟峨&霊夢 手札1

・モンスターゾーン

『サンダーエンド・ドラゴン』ORU1 ATK3000

『霊廟の守護者』DEF2100

『暗黒竜コラブサーペント』DEF1700

・魔法・罨ゾーン

伏せ1

「私のターンです。ドロロー！スタンバイフェイズ時に『光の結界』の効
果を発動！」

『光の結界』コイントス↓表

「当然表！魔法カード『ペンタクル・オブ・エース』を発動！表ならば
自分が裏ならば相手が500ポイントライフを回復し、デッキから
カードを1枚ドロローできる！これも！」

『ペンタクル・オブ・エース』コイントス↓表

「当然表！」

レミリア&咲夜 LP9350↓9850

「よし！魔法カード『スート・オブ・ソードX^{テン}』を発動！表なら相手が、裏なら自分フィールドのモンスターを全て破壊する！運命は決した！…これも」

『スート・オブ・ソードX^{テン}』コイントス↓表

「当然表！」

急な齋王化やめて腹筋にくる。

「くっ！『コラプサーペント』の効果で『希白竜ワイバースター』をサーチー！」

「更に『アルカナフォースVII—THE CHARIOT』を召喚！」

『アルカナフォースVII—THE CHARIOT』ATK1700

『光の結界』の効果で表を選択して、バトル！『THE CHARIOT』でダイレクトアタック！」

「トラップ発動！『カウンター・ゲート』！ダイレクトアタックを無効にして、

デッキからカードを1枚ドロし、そのモンスターがモンスターならば攻撃表示で召喚できる！ドロ！来た！『創世の竜騎士』を召喚！」

『創世の竜騎士』ATK1800

「攻撃力1800!?!」

『創世の竜騎士』は相手ターンの間、レベルが4つ上がる！」

『創世の竜騎士』☆4↓8

「くっ……！カードを2枚伏せて、ターンエンド」

レミリア&咲夜 手札1

・モンスターゾーン

『アルカナフォースVII—THE CHARIOT』ATK17

00

・魔法・罠ゾーン

『セカンド・チャンス』

伏せ3

・フィールド魔法

『光の結界』

「では、私のターンだ！ドロー！装備魔法『D・D・R』を発動！手札の『置換融合』を墓地に送って、除外されている『デイスペアー・ハッカード』を特殊召喚！」

『デイスペアー・ハッカード』DEF0

「『ハッカード』の特殊召喚時の効果を発動！お互いに300ポイントのダメージを与える！」

嵯峨&霊夢 LP850↓550

レミリア&咲夜 LP9850↓9550

「ライフが既にレッドゾーンだ……！『創世の竜騎士』の効果を発動！」

このカードと手札の『デイスペアーアイズ・クレイジー・ドラゴン』を墓地に送って、墓地のレベル7、8のドラゴン族モンスターを特殊召喚する！甦れ『青眼の白龍』！」

『青眼の白龍』 ATK3000

「更に『アサルト・ワイバーン』を通常召喚！」

『アサルト・ワイバーン』 ATK1800

「バトルだ！『アサルト・ワイバーン』で『THE CHARIOT』を攻撃！」
「くっ！」

レミリア&咲夜 LP9550↓9450

「『アサルト・ワイバーン』の効果！戦闘で相手モンスターを破壊した場合、このカードをリリースすることで手札・墓地からドラゴン族モンスターを特殊召喚する！来たれ我が魂！『デイスペアーアイズ・クレイジー・ドラゴン』！」

『デイスペアーアイズ・クレイジー・ドラゴン』 ATK3000

「『デイスペアーアイズ』の効果を発動！このカードが召喚・特殊召喚に成功した時、お互いは手札の枚数×300ポイントのダメージを受ける！『デイスペアー・ハウリング』！俺の手札は0だ！」
「私だけダメージが……！」

レミリア&咲夜 LP9450↓9150

「『デイスペアーアイズ』でダイレクトアタック！『デイスペアーバースト』！」

「トラップ発動！『ピンポイントガード』！『レッド・リゾネーター』を守備表示で特殊召喚し、このターン、『レッド・リゾネーター』は破壊されない！」

「しまった！」

『レッド・リゾネーター』DEF200

「『レッド・リゾネーター』の効果！対象は『青眼の白龍』！3000ポイントのライフを回復する！」

レミリア&咲夜 LP9150↓12150

「くっ！削っても削っても……！メインフェイズ2で墓地の『置換融合』の効果を発動！このカードをゲームから除外し、墓地の『青眼の究極竜』をエクストラデッキに戻し、デッキからカードを1枚ドロウする！……カードを1枚伏せて、ターンエンド」

嵯峨&霊夢 手札0

・モンスターゾーン

『デイスペアーアイズ・クレイジー・ドラゴン』ATK3000

『青眼の白龍』ATK3000

『デイスペアー・ハッカー』DEF0

・魔法・罨ゾーン

『D・D・R』（『デイスペアー・ハッカー』装備）
伏せ1

「私のターン、ドロロー！スタンバイフェイズ時に『光の結界』の効果が発動。折角だ。私がコイントスしよう」

『光の結界』コイントス↓裏

「『セカンド・チャンス』でもう一回やろう」

『光の結界』コイントス↓表

「継続か……まあいい。トラップ発動！『ロスト・スター・ディセント』！墓地の『レッド・デーモンズ・ドラゴン』のレベルを1つ下げ、守備力を0にし、効果を無効にして守備表示で特殊召喚する！」

『レッド・デーモンズ・ドラゴン』☆8↓7 DEF2000↓0

「そして『ダーク・リゾネーター』を召喚！」

『ダーク・リゾネーター』ATK1300

「見るがいい。我が荒ぶる魂の咆哮を！レベル7となった『レッド・デーモンズ・ドラゴン』にレベル2『レッド・リゾネーター』、レベル3『ダーク・リゾネーター』をダブルチューニング！」

『なななんとおー！まさかレミア・スカレット選手！エースモンスターに2体のチューナーモンスターをチューニングするというのかー！?!』

「女王と悪魔の契約が今ここに結ばれる、荒ぶる魂よ天地創造の叫び

をあげよ！シンクロ召喚！出でよ！紅蓮の悪魔！『スカーレット・ノヴァ・ドラゴン』！」

『スカーレット・ノヴァ・ドラゴン』 ATK3500

「『スカーレット・ノヴァ・ドラゴン』の効果！このカードの攻撃力は墓地のチューナーモンスターの数×500ポイントアップする！私の墓地に存在するチューナーモンスターの数は4体！よって、2000ポイントアップ！」

『スカーレット・ノヴァ・ドラゴン』 ATK3500↓5500

「これで終わりだ！『スカーレット・ノヴァ・ドラゴン』で『青眼の白龍』を攻撃！『バーニングソウル』！」

「カウンター罠『攻撃の無力化』！攻撃を無効にし、バトルフェイズを終了させる！」

「強制的にメインフェイズ2になったか……ターンエンドだ」

レミリア&咲夜 手札3

・モンスターゾーン

『スカーレット・ノヴァ・ドラゴン』 ATK5500

・魔法・罠ゾーン

『セカンド・チャンス』

伏せ1

・フィールド魔法

『光の結界』

「私のターンね。ドロー！墓地の『希白竜ワイバースター』をゲームから除外して、『暗黒竜コラプサーペント』を特殊召喚！」

『暗黒竜コラプサーペント』 ATK1800

「……ごめん嗟峨」

「いや、存分に使ってくれ」

「うん……魔法カード『アドバンスドロ』を発動！自分フィールドのレベル8以上のモンスター1体をリリースしてデッキから2枚ドロウする！『デイスペアーアイズ・クレイジー・ドラゴン』をリリースー……来たわ！」

「何だど？まさか、私の『スカーレット・ノヴァ・ドラゴン』を倒すカードを」

「ええ、引いたわ！」

「ふっ、ならば見せてみよーその力！」

「私は『デイスペアー・ハッカー』と『コラプサーペント』をリリースし、ライトアンドダークネス・ドラゴン『光と闇の竜』を召喚！」

『光と闇の竜』 ATK 2800

「バトルよ！『青眼の白龍』で『スカーレット・ノヴァ・ドラゴン』を攻撃！『滅びの爆裂疾風弾』！」

「必ず何かあるな……『スカーレット・ノヴァ・ドラゴン』の効果発動！このカードをゲームから除外して攻撃を無効にする！」

『光と闇の竜』の効果を発動！このカードの攻撃力・守備力を500ポイント下げることでカード効果の発動を無効にする！」

「何!?!」

「更にこの効果にチェーンして速攻魔法『九十九スラッシュ』を発動！攻撃力が高い相手モンスターを攻撃した時、お互いのライフ差の数値だけ自分モンスターの攻撃力をアップさせる！」

「私たちのライフ差は11600！」

『光と闇の竜』 ATK 2800 ↓ 2300 DEF 2400 ↓ 1900

『青眼の白龍』 ATK 3000 ↓ 14600

「ぐわあああ！」

レミリア&咲夜 LP 12150 ↓ 3050

「ぐっ！やってくれたな……！」

『光と闇の竜』でダイレクトアタック！」

「手札から『バトルフェーダー』の効果が発動！このカードを特殊召喚し、バトルフェイズを終了させる！」

『光と闇の竜』の効果で攻守を500下げて無効にする！」

『光と闇の竜』 ATK 2300 ↓ 1800 DEF 1900 ↓ 1400

レミリア&咲夜 LP 3050 ↓ 1250

「これでターンエンドよー！」

嵯峨&霊夢 手札0

・モンスターゾーン

『青眼の白龍』 ATK 14600 ↓ 3000

『光と闇の龍』 ATK 2300

・魔法・罨ゾーン

伏せ無し

「私のターンです！ドロー！スタンバイフェイズ時に『光の結界』の効果が発動！」

「っ！『光と闇の竜』の効果で無効にするわ！」

『光と闇の竜』 ATK1800↓1300 DEF1400↓900

「私は『アルカナフォースⅢ—THE EMPRESS』を召喚！」

『アルカナフォースⅢ—THE EMPRESS』 ATK1300

「『THE EMPRESS』の効果を発動！」

「『光と闇の竜』の効果で無効に……！」

『光と闇の竜』 ATK1300↓800 DEF900↓400

強制効果の連発でもう『光と闇の竜』の効果は使えなくなる。これが『光と闇の竜』の辛いところだ。

「バトル！『THE EMPRESS』で『光と闇の竜』を攻撃！」

「くっ！」

嵯峨&霊夢 LP550↓50

「破壊された『光と闇の竜』の効果を発動！自分フィールドのカードをすべて破壊し、墓地の『青眼の白龍』を特殊召喚する！」

『青眼の白龍』 ATK3000

「私はこれでターンエンドです！」

レミリア&咲夜 手札0

・モンスターゾーン

『アルカナフォースⅢ—THE EMPRESS』 ATK1300

・魔法・罨ゾーン

『セカンド・チャンス』

伏せ1

・フィールド魔法

『光の結界』

「私のターン……ドロー！このままバトル！『青眼の白龍』で『THE EMPRESS』を攻撃！『アルティメット・バースト』！」

「トラップ発動！『光子化』^{フォトナイズ}！相手モンスターの攻撃を無効にしてそのモンスターの攻撃力分、私の光属性モンスターの攻撃力をアップさせます！」

「な、なんだと!?!」

『アルカナフォースⅢ—THE EMPRESS』 ATK1300↓
4300

「攻撃力4300……！カードを伏せて、ターンエンド」

嵯峨&霊夢 手札0

・モンスターゾーン

『青眼の白龍』 ATK3000

・魔法・罨ゾーン

伏せ1

「私のターン……ドロー！スタンバイフェイズ時に『光の結界』が発動する！結果は表だ。当然だがな……さあ、このターンでファイナルレと行こうではないか！私は魔法カード『死者蘇生』を発動！甦れ！『琰魔竜レッド・デーモン』！」

『琰魔竜レッド・デーモン』 ATK3000

「……………」

「墓地の『レッド・ライジング・ドラゴン』の効果が発動！このカードをゲームから除外して、墓地のレベル1チューナーモンスターを2体特殊召喚する！甦れ！『ダブル・リゾネーター』！『シンクロン・リゾネーター』！」

『ダブル・リゾネーター』 DEF0

『シンクロン・リゾネーター』 DEF100

「これはまさか……………来るか……………！」

「私はレベル8の『琰魔竜レッド・デーモン』にレベル1『ダブル・リゾネーター』とレベル1の『シンクロン・リゾネーター』でダブルチューニング！」

『なんとなんとおー……！2度目のダブルチューニングだ……！』

「女王と悪魔の契り、今ここに交わされる。赤き竜の魂に触れ、天地創造の雄たけびをあげよ！シンクロ召喚！現れる！レベル10！『レッド・デーモンズ・ドラゴン・タイラント』！」

『レッド・デーモンズ・ドラゴン・タイラント』 ATK3500

今、このモンスターの後ろを通過したのは…………『赤き竜』!? 『アルティマヤ・ツイオルキン』ですか!? やべえな…………

『『タイラント』のモンスター効果！このカード以外のフィールドのカードを破壊する！喰らうがいい！女王の炎を！『アブソリュート・パワー・インフェルノ』！』

『タイラント』は地面に自身の右拳で叩くと、地面は割れ、そこから爆炎が噴き出して、フィールドのすべてのカードを道ずれにしていく。そうはさせまいと地面の中から鎖が現れ、『タイラント』を拘束する。

「何!?これは……」

「永続罨『デモンズ・チェーン』!効果モンスターの効果と攻撃を無効にする!」

「ふっ、なるほど……読み通りだ!速攻魔法『サイクロン』!『デモンズ・チェーン』なんぞ鎖、『タイラント』の体に巻き付くことすら出来んわ!」

『タイラント』を拘束していた『デモンズ・チェーン』は『タイラント』の周囲の暴風に煽られて千切れて飛んで行ってしまふ。

「くっ!」

『タイラント』の効果により、レミリアの場には『タイラント』のみ、嵯峨の場には何も残っていない。

「この効果を使用するターン、『タイラント』でしか攻撃できなくなるが、関係あるまい!『レッド・デーモンズ・ドラゴン・タイラント』でダイレクトアタック!『獄炎のクリムゾンヘルタイド』!」
「……!そうか!墓地の『デイスペアー・ハッカー』の効果を発動!このカードをゲームから除外して攻撃を無効にする!」

ぎりぎり『デイスペアー・ハッカー』の効果を出し、嵯峨は攻撃を回避する。わざわざ『D・D・R』で呼び出した甲斐はあったというものだ。だが、形勢は一向に嵯峨と霊夢の方が圧倒的に悪い。攻撃力3500の全ブツパ効果を持つ『タイラント』。更にレミリアの

手札にはダイレクトアタック時に手札から特殊召喚される『バトルフェーダー』までもが存在する。この壁は相当厚い。

「ふふ、私としていたが、墓地の奴のことを失念していたよ。私はカードを伏せて、ターンエンドだ」

レミリア&咲夜 手札1

・モンスターゾーン

『レッド・デーモンズ・ドラゴン・タイラント』 ATK3500

・魔法・罨ゾーン

伏せ1

「私のターン、ドロロー！」

「何を引いたかは知らないが、私が勝利する運命は変わらない。それに約束も忘れてはいないだろうな？ 霊夢……お前が負ければ、峰城嗟峨は私が戴くぞ」

「……悪いが、俺は……俺たちは未来などに導かれたりはしない！俺たちの踏み記したロード、それが未来となるのだ！」

いいタイミングで海馬社長の名言を思い出したぜ。

「ならば、その未来ごと踏み碎いてやろう！ トラップ発動！ 『レッド・スプレマシー』！ 墓地の『琰魔竜レッド・デーモン・アビス』をゲームから除外して、『レッド・デーモンズ・ドラゴン・タイラント』を『琰魔竜レッド・デーモン・アビス』として扱い、そのモンスターの効果を得る！」

「霊夢！」

「ええ！ 墓地からトラップカード『デイスペアー・バーニング』を発動！ 相手フィールドの表側表示の魔法・罨カードの効果が無効にする！」

「ちい！」

「さらに1枚ドローする！魔法カード『貪欲な壺』！墓地の『青眼の究極竜』、『光と闇の竜』、『ディスプレイ・クレイジー・ドラゴン』、『暗黒竜コラプサーペント』、『白き霊龍』の合計5体をデッキに戻して2枚ドローする！魔法カード『魔法石の採掘』を発動！手札のカードを2枚捨てることで墓地の魔法カードを手札に加える！私を手札に加えるのは『龍の鏡』！そして『龍の鏡』を発動！墓地の3体の『青眼の白龍』を除外して、融合召喚！再び現れよ！『青眼の究極竜』！」

『青眼の究極竜』 ATK4500

「更に墓地の『テイクオーバー・5』の効果を発動！このカードとデッキの同名カードを墓地から除外することで、1枚ドローする！引けあのカードを！」

ソ） これは……シャイニングドローというタイミングだよ霊夢（ボソ）

「来た！魔法カード『アルティメット・バースト』！融合召喚した『青眼の究極竜』が自分フィールドに存在する場合、『青眼の究極竜』はこのターン、3回攻撃を行うことができる！更に！攻撃するダメージステップ終了時まで相手はカード効果を発動できない！」

「なんだと!?!」

「バトルよ！『青眼の究極竜』で『レッド・デーモンズ・ドラゴン・タイラント』を攻撃！『アルティメット・バースト・ファースト』！」
「ぐう！」

レミリア&咲夜 LP3050↓2050

「そしてこれで最後！『青眼の究極竜』でダイレクトアタック！『アル
ティメット・バースト・セカンド』！」
「…………ふっ、完敗だ」

レミリア&咲夜 LP2050↓0

WINNER 嗟峨&霊夢

「いよっしやあー！」

「やったわね！嗟峨！」

「ああ、それよりもさ…………」

「？」

「霊夢、俺の『デイスペアーアイズ』返して」

「あ、ごめん。『貪欲な壺』の効果でデッキに入れてたわ…………」

「…………」

「…………締まらねえー」

31. 「第十回戦！ホーリーVSブラック！上」

『Aブロック、チルノ&大妖精チーム！対するはー！射命丸文&姫海堂 はたてチーム！』

「『デュエル！』」

ターン順はたて↓チルノ↓文↓大妖精

「先行は私！私は『R ^{レイド・ラプターズ}ーバニシング・レイニアス』を召喚！」

『RRーバニシング・レイニアス』ATK1300

『「バニシング・レイニアス」の効果を発動！このカードが召喚・特殊召喚に成功したターンのメインフェイズに手札のレベル4以下の『RR』を特殊召喚する！来い！『RRートリビュート・レイニアス』！』

『RRートリビュート・レイニアス』ATK1800

『「トリビュート・レイニアス」の効果を発動！このカードが召喚・特殊召喚に成功したターンのメインフェイズにデッキから『RR』カードを墓地に送る。私が墓地に送るのは『RRーミミクリー・レイニアス』！そして『ミミクリー・レイニアス』が墓地に送られたターンのメインフェイズにこのカードをゲームから除外することでデッキから『RR』カードを手札に加えることができる！『RRーネスト』を手札に加え！そしてこのカードを発動！効果を発動！自分フィールドに『RR』モンスターが2体以上存在する場合、デッキ・墓地から『RR』モンスターを手札に加える。私が手札に加えるのは『RRーシンキング・レイニアス』！そしてレベル4の『バニシング・レイニアス』と『トリビュート・レイニアス』でオーバーレイ！2体のモンス

ターでオーバーレイネットワークを構築！エクシーズ召喚！現れよ
ランク4！『RRーフォース・ストリクス』！」

『RRーフォース・ストリクス』ORU2 DEF2000

「更に自分フィールドにエクシーズモンスターが存在する場合、手札
から『RRーシンギング・レイニアス』を特殊召喚できる！」

『RRーシンギング・レイニアス』DEF100

『フォース・ストリクス』は自分の他の鳥獣族モンスターの数×50
0ポイント攻撃力・守備力がアップする」

『RRーフォース・ストリクス』DEF2000↓2500

「まだまだ行くわよ！自分フィールドに『RR』モンスターが存在する
場合、手札の『RRーファジー・レイニアス』は特殊召喚できる！」

『RRーファジー・レイニアス』DEF1500

『RRーフォース・ストリクス』DEF2500↓3000

「そして魔法カード『RRーサンクチュアリ』を発動！自分フィールド
に『RR』モンスターが3体以上存在する場合、デッキからカードを
2枚ドロウする！更に『シンギング・レイニアス』と『ファジー・レ
イニアス』でオーバーレイ！現れよ2体目！『RRーフォース・スト
リクス』！」

『RRーフォース・ストリクス』ORU2 DEF2000↓2500

『RRーフォース・ストリクス』DEF3000↓2500

「2体の『フォース・ストリクス』の効果を発動！ORUを1つ取り除

き、デッキからレベル4の闇属性・鳥獣族モンスターを手札に加えるわ！『RRーバニシング・レイニアス』と『RRーレトロフィット・レイニアス』を手札に加え、墓地に送られた『ファジー・レイニアス』の効果でデッキから同名モンスターを手札に加える！」

『RRーフォース・ストリクス』ORU2↓1

『RRーフォース・ストリクス』ORU2↓1

「カードを1枚伏せて、ターンエンドよ！」

はたて&文 手札5

・モンスターゾーン

『RRーフォース・ストリクス』DEF2500

『RRーフォース・ストリクス』DEF2500

・魔法・罨ゾーン

『RRーネスト』

伏せ1

「あたいのターンだね！ドロー！自分フィールドよりも相手の方が4枚以上カードが存在する場合、手札の『氷結界の交霊師』を特殊召喚するよ！」

『氷結界の交霊師』ATK2200

「そして『ブリザード・ファルコン』を召喚！」

『ブリザード・ファルコン』ATK1500

「更にフィールド魔法『忘却の都レミューリア』を発動！このカードは『海』として扱う以外にもあたいの場の水属性モンスターの攻撃力・守備力を200ポイントアップさせる効果があるよ！」

『氷結界の交霊師』 ATK 2200 ↓ 2400

『ブリザード・ファルコン』 ATK 1500 ↓ 1700

「『ブリザード・ファルコン』の効果が発動！このカードの攻撃力が元々の攻撃力よりも高い場合、相手に1500ポイントのダメージを与えるよ！」

「なんですって!?!痛っ！冷た！」

はたて&文 LP 8000 ↓ 6500

「そして手札から『霊水鳥シレーヌ・オルカ』を特殊召喚！このカードはあたいの場に鳥獣族か魚族モンスターが存在すれば特殊召喚できる！」

『霊水鳥シレーヌ・オルカ』 ATK 2200 ↓ 2400

「更に『シレーヌ・オルカ』の効果であたいのフィールドのモンスターのレベルを全て4になるよ！」

『氷結界の交霊師』 ☆6 ↓ 4

『霊水鳥シレーヌ・オルカ』 ☆5 ↓ 4

「レベル4の『シレーヌ・オルカ』と『ブリザード・ファルコン』でオーバレイ！凍てつく瘴気よ、今、時をも凍らす魔女となれ！エクシース召喚！『No. 103 神葬零嬢ラグナ・ゼロ』！」

『No. 103 神葬零嬢ラグナ・ゼロ』 ORU 2 ATK 2400 ↓ 2600

『ラグナ・ゼロ』の効果を発動！ORUを1つ取り除き、元々の攻撃力から攻撃力が変動している相手モンスター1体を破壊する！」

『No. 103 神葬零嬢ラグナ・ゼロ』ORU2↓1

「くっ！残った『フォース・ストリクス』の攻撃力・守備力は元に戻る」

『RRーフォース・ストリクス』DEF2500↓2000

「そして1枚ドロウする……バトルだ！『交霊師』で2体目の『フォース・ストリクス』を攻撃！」

「戦闘破壊をトリガーに『RRーリターン』を発動！墓地の『RRートリビュート・レイニアス』を手札に加えるわ！」

『ラグナ・ゼロ』でダイレクトアタック！」

はたて&文 LP6500↓3900

「1ターンでライフが半分以下に……！」

「カードを1枚伏せて、ターンエンド！ふん♪やっぱりあたいつてばさいきよーね！」

「すごいよチルノちゃん！」

チルノ&大妖精 手札2

・モンスターゾーン

『No. 103 神葬零嬢ラグナ・ゼロ』ORU1 ATK26

00

『氷結界の交霊師』ATK2400

・魔法・罨ゾーン

伏せ！

・フィールド魔法

『忘却の都レミューリア』

「やりますね……私のターン！ドロー！『BF―上弦のピナーカ』を召喚！」

『BF―上弦のピナーカ』 ATK1200

「さらに自分フィールドに存在する『BF』が1体の場合、手札から『BF―白夜のグラディウス』を特殊召喚！」

『BF―白夜のグラディウス』 DEF1500

「シンクロ召喚なんか怖くないけど、永続罫『アイスバーン』を発動！自分フィールドに水属性モンスターが存在する限り、水属性以外のモンスターの召喚・特殊召喚した時、そのモンスターは守備表示になる！」

「……ッ！レベル3の『白夜のグラディウス』にレベル3の『上弦のピナーカ』をチューニング！自由に飛ばたく鳥よ、今星の影をその翼に映し、勝利の風を我が元に！シンクロ召喚！来たれ！レベル6『BF―星影のノートウング』！」

『BF―星影のノートウング』 ATK2400↓DEF1600

『『ノートウング』の効果を発動！このカードの特殊召喚に成功した時、相手に800ポイントのダメージを与え、相手モンスター1体の攻撃力・守備力を800ポイントダウンさせる！』

チルノ&大妖精 LP8000↓7200

『No. 103 神葬零嬢ラグナ・ゼロ』 ATK2600↓1800

「そして『ノートウング』が存在する限り、『BF』の召喚権が1つ増えます！手札の『BF―逆巻のトルネード』を通常召喚！」

『BF―逆巻のトルネード』 ATK1000↓DEF1200

『トルネード』が相手フィールドに特殊召喚されたモンスターが存在する時に通常召喚に成功した時、墓地の『BF』チューナーモンスターを特殊召喚できる！『BF―上弦のピナーカ』を特殊召喚！」

『BF―上弦のピナーカ』 DEF1000

「レベル4の『逆巻のトルネード』にレベル3の『上弦のピナーカ』をチューニング！雷鳴と共に走る黒き翼！勝利の風に雷の斬撃を乗せて現れよ！シンクロ召喚！レベル7『ABF―驟雨のライキリ』！」

『ABF―驟雨のライキリ』 ATK2600↓DEF2000

『ライキリ』の効果を発動！このカード以外の『BF』モンスターの数だけ相手フィールドのカードを破壊する！私が対象に取るのは『ラグナ・ゼロ』です！」

「くっ！やったなー！でも、『アイスバーン』があるからそっちに攻撃できるモンスターはいないぞー！」

「くっ……カードを2枚伏せて、エンドフェイズ時に墓地の『ピナーカ』の効果でデッキから『BF―疾風のゲイル』を手札に加えて、ターンエンドです」

はたて&文 手札2

・モンスターゾーン

『A BF―驟雨のライキリ』DEF2000

『BF―星影のノートウング』DEF1600

・魔法・罨ゾーン

『RR―ネスト』

伏せ2

「わ、私のターン！ドローします……『ローンファイア・ブロッサム』を召喚します！」

『ローンファイア・ブロッサム』ATK500↓DEF1400

「『ローンファイア・ブロッサム』の効果を発動！このカードをリリースしてデッキから『ローンファイア・ブロッサム』を特殊召喚します！」

『ローンファイア・ブロッサム』DEF1400

「更に相手のフィールドにモンスターが存在し、私が攻撃力1500以下のモンスターを特殊召喚したので手札から速攻魔法『地獄の暴走召喚』を発動します！」

「私のモンスターはどちらもデッキ・手札・墓地に存在しない……」

「私はデッキと墓地から1体ずつ、『ローンファイア・ブロッサム』を攻撃表示で特殊召喚します！」

『ローンファイア・ブロッサム』ATK500↓DEF1400

『ローンファイア・ブロッサム』ATK500↓DEF1400

「そして3体の効果を発動します！それぞれ自身をリリースして、デッキから『アロマージージャスミン』を特殊召喚します！」

『アロマージュージャスミン』 DEF1900
『アロマージュージャスミン』 DEF1900
『アロマージュージャスミン』 DEF1900

「『ジャスミン』の効果で私のライフが相手ライフよりも高い場合、植
物族モンスターの召喚権が1つ増えます！私は『アロマージューローズ
マリー』を召喚！」

『アロマージューローズマリー』 ATK1800

「フィールド魔法『忘却の都レミューリア』の効果を発動します！自分
フィールドの水属性モンスターのレベルは自分フィールドの水属性
モンスターの数だけ上がる！」

『氷結界の交霊師』☆4↓6

『アロマージューローズマリー』☆4↓6

「魔法カード『テラ・フォーミング』を発動！デッキから『アロマガー
デン』を手札に加え、私はフィールド魔法『アロマガーデン』を発動
！自分フィールドに『アロマ』モンスターが存在するので私のライフ
を500ポイント回復させ、『アロマ』モンスターの攻撃力・守備力を
500ポイントアップさせます！」

チルノ&大妖精 LP7200↓7700

『アロマージューローズマリー』 ATK1800↓2300

『アロマージュージャスミン』 DEF1900↓2400

『アロマージュージャスミン』 DEF1900↓2400

『アロマージュージャスミン』 DEF1900↓2400

「私のライフが回復した時、3体の『ジャスミン』の効果が発動！デッキからカードを1枚ドロウします！更にレベル6となった『アロマージーローズマリー』と『氷結界の交霊師』でオーバーレイ！2体のモンスターでオーバーレイネットワークを構築！エクシーズ召喚！『No. 21氷結のレディ・ジャステイス』！」

『No. 21氷結のレディ・ジャステイス』ORU2 ATK500

『『レディ・ジャステイス』の攻撃力は自身のORUの数×1000ポイントアップする！』

『No. 21氷結のレディ・ジャステイス』ATK500↓2500

「『レディ・ジャステイス』の効果を発動！ORUを1つ取り除き、相手の守備表示モンスターを全て破壊する！」

『No. 21氷結のレディ・ジャステイス』ORU2↓1 ATK2500↓1500

「ツ！速攻魔法発動！『黒羽 幻風』！破壊された『BF』シンクロモンスターを効果を無効にして特殊召喚する！甦れ！『A BF―驟雨のライキリ』！」

『A BF―驟雨のライキリ』DEF2000

「守備力2000……私はカードを2枚伏せて、ターンエンドします」

チルノ&大妖精 手札3

・モンスターゾーン

『アロマージージャスミン』DEF2400

『アロマージュ・ジャスミン』 DEF 2400

『アロマージュ・ジャスミン』 DEF 2400

『No. 21 氷結のレディ・ジャステイス』 ATK 1500

・魔法・罨ゾーン

『アイスバーン』

伏せ2

「私のターン！ドロー！『RRーバニシング・レイニアス』を召喚！」

『RRーバニシング・レイニアス』 ATK 1300 ↓ DEF 1600

「更に速攻魔法『バグ・ロード』を発動！お互いは自分のフィールドのレベル4以下のモンスターと同じレベルを持つモンスターを手札から特殊召喚できる！」

「わ、私は『アロマセラファイ・アンゼリカ』を墓地に送って効果が発動します！墓地の『ローズマリー』の攻撃力分、私のライフポイントは回復します！」

チルノ&大妖精 LP 7700 ↓ 9500

「私は手札の『レトロフィット・レイニアス』を特殊召喚！」

『RRーレトロフィット・レイニアス』 DEF 1200

「自分のライフが回復したので3体の『ジャスミン』の効果で3枚ドロー！」

「チェーンして速攻魔法『相乗り』を発動！相手がカード効果でカードをドローする度に私も1枚ドローできる！『ジャスミン』3体の効果が発動したので、私も3枚ドロー！永続魔法『RRーネスト』の効果

を発動！デツキから『RR―ペイン・レイニアス』を手札に加え、『ペイン・レイニアス』の効果が発動！『レトロフィット・レイニアス』の攻撃力が守備力、どちらか低い方のダメージを受けて『ペイン・レイニアス』を特殊召喚する！」

はたて&文 LP3900↓3100

『RR―ペイン・レイニアス』DEF100

「この効果で特殊召喚された『ペイン・レイニアス』のレベルは『レトロフィット・レイニアス』と同じになる」

『RR―ペイン・レイニアス』☆1↓4

「手札から『RR―ファジー・レイニアス』を特殊召喚！」

『RR―ファジー・レイニアス』DEF1500

「『ライキリ』を攻撃表示に変更！」

『A BF―驟雨のライキリ』DEF2000↓2600

「バトル！『ライキリ』で『レディ・ジャステイス』を攻撃！」
「きやつ！」

チルノ&大妖精 LP9500↓8400

「これで厄介な『アイスバーン』の効果は切れた！速攻魔法『RRーラピッド・エクシーズ』を発動！相手フィールドに特殊召喚されたモンスターが存在する場合、私はこのバトルフェイズ中に『RR』をエクシーズ召喚できる！」

「バトルフェイズ中にエクシーズ召喚!?!」

「私は『フアジー・レイニアス』と『バニシング・レイニアス』でオーバーレイ！紅蓮のような翼はためかせる鳥竜たちよ、渴くようなその力を全てに振るえ！エクシーズ召喚！ランク4！『RRーブレード・バーナー・ファルコン』！」

『RRーブレード・バーナー・ファルコン』ORU2 ATK1000

「攻撃力……1000?」

「『ブレード・バーナー・ファルコン』がエクシーズ召喚に成功した時、私のライフが相手よりも3000以上少ない場合、このカードの攻撃力を3000ポイントアップさせる！」

『RRーブレード・バーナー・ファルコン』ATK1000↓4000

「な、攻撃力4000!?!」

「さあ、『ブレード・バーナー・ファルコン』で『ジャスミン』を攻撃！『火炎弾』！」

「くっ！『アロマガーデン』の効果で1000ポイントのライフを回復させます！」

チルノ&大妖精 LP8400↓9400

「『ブレード・バーナー・ファルコン』が相手モンスターを戦闘で破壊した場合、ORUを任意の数取り除くことでその数だけ相手モンス

ターを破壊できる！私は『ブレード・バーナー』のORU2つを取り除き、残りの『ジャスミン』を破壊する！『火炎旋風』！」

『RR―ブレード・バーナー・ファルコン』ORU2↓0

「そんな……！」

『ファジー』の効果でデッキから同名モンスターをサーチしてメインフェイズ2で『レトロフィット・レイニアス』はエクシーズ召喚の素材となる場合、1体で2体分として扱うことができる！私は『レトロフィット・レイニアス』1体でオーバーレイ！1体のモンスターでオーバーレイネットワークを構築！エクシーズ召喚！『RR―フォース・ストリクス』！」

『RR―フォース・ストリクス』ORU1 DEF2000↓3500

『フォース・ストリクス』の効果でORUを1つ取り除き、デッキから『RR―ブースター・ストリクス』を手札に加える！」

『RR―フォース・ストリクス』ORU2↓1

「カードを2枚伏せて、ターンエンド！」

はたて&文 手札6

・モンスターゾーン

『RR―ブレード・バーナー・ファルコン』ORU0 ATK4

000

『RR―フォース・ストリクス』ORU0 DEF3500

『RR―ペイン・レイニアス』DEF100

『A BF―驟雨のライキリ』ATK2600

・魔法・罫ゾーン

『RR―ネスト』

「あたいのターン、ドロロー！『貪欲な壺』を発動！墓地の『シレーヌ・オルカ』、『レディ・ジャステイス』、『氷結界の交霊師』、『神葬零嬢ラグナ・ゼロ』、『ローズマリー』をデッキに戻して2枚ドロロー！ふふん！やっぱりあたいいったら最強ね！あたいは『ブリザード・サンダーバード』を召喚！」

『ブリザード・サンダーバード』 ATK1600

「効果を発動！手札の『オーロラ・ウイング』を捨てて、今捨てた『オーロラ・ウイング』と『ブリザード・ファルコン』を特殊召喚する！」

『オーロラ・ウイング』 DEF1500

『ブリザード・ファルコン』 DEF1600

「その後『ブリザード・サンダーバード』は手札に戻る。魔法カード『強欲なウツボ』発動！手札の『ブリザード・サンダーバード』と『スノーダスト・ドラゴン』をデッキに戻して3枚ドロロー！レベル4の『オーロラ・ウイング』と『ブリザード・ファルコン』でオーバーレイ！エクスシーズ召喚！ランク4！『No. 103 神葬零嬢ラグナ・ゼロ』！」

『No. 103 神葬零嬢ラグナ・ゼロ』 ORU2 ATK2400

『ラグナ・ゼロ』の効果を発動！ORUを1つ取り除き、『ブレード・バーナー・ファルコン』を破壊して、1枚ドロロー！」

『No. 103 神葬零嬢ラグナ・ゼロ』 ORU2→1

「くっ！私のフィールドの鳥獣族モンスターが減ったので、『フォース・ストリクス』の攻守がダウンする……けど！効果破壊をトリガー

に墓地の『RRーリターン』の効果を発動！このカードをゲームから除外してデッキから『RR』カードをサーチする！私は『RRーリアクター』を手札に加える！」

『RRーフォース・ストリクス』DEF3500↓3000

「まだまだこれからだあ！魔法カード『RUMーバリアンズ・フォース』！」

『RUM』!?」

『ラグナ・ゼロ』を素材にカオスエクシーズチェンジ！『CN0. 103神葬零嬢ラグナ・インフィニティ』！」

『CN0. 103神葬零嬢ラグナ・インフィニティ』CORU2

『ラグナ・インフィニティ』の効果を発動！CORUを1つ取り除き、相手フィールドの元々の攻撃力から変化したモンスターを除外して、その差の数値分のダメージを相手に与える！対象は『フォース・ストリクス』！」

『CN0. 103神葬零嬢ラグナ・インフィニティ』CORU2↓1

「くっ！」

はたて&文 LP3100↓2100

「バトル！『ラグナ・インフィニティ』で『驟雨のライキリ』を攻撃！」

はたて&文 LP2100↓1900

「あたいはこれでターンエンド！」

チルノ&大妖精 手札3

・モンスターゾーン

『CNo. 103 神葬零嬢ラグナ・インフィニティ』CORU1

ATK2800

・魔法・罨ゾーン

『アイスバーン』

伏せ2

・フィールド魔法ゾーン

『アロマガーデン』

「私のターン、ドロロー！トラップ発動！『ブラック・バック』！このターン、通常召喚権を放棄する代わりに墓地の攻撃力2000以下の『BF』を特殊召喚する！私が呼び戻すのは『上弦のピナーカ』！」

『BF―上弦のピナーカ』DEF1000

「更にトラップ発動！『ブラック・リターン』！『ラグナ・インフィニティ』の攻撃力分、私のライフを回復し、『ラグナ・インフィニティ』を手札に戻させる！」

「そんな〜！」

はたて&文 LP1900↓4700

「私はレベル4の『ペイン・レイニアス』にレベル3の『上弦のピナーカ』をチューニング！シンクロ召喚！『A BF―涙雨のチドリ』！」

『A BF―涙雨のチドリ』ATK2600

『『涙雨のチドリ』の攻撃力は墓地の『BF』モンスターの数×300ポイントアップします！私の墓地の『BF』の数は5体！よって、『チドリ』の攻撃力は1500ポイントアップ！』

『A BF―涙雨のチドリ』ATK2600↓4100

「バトル！『涙雨のチドリ』でダイレクトアタック！」

「トラップ発動！『デープ・カーレント』！ダイレクトアタックを無効にしてバトルフェイズを終了するよ！」

「カードを1枚伏せて、ターンエンド！エンドフェイズに『上弦のピナーカ』の効果でデッキから『BF―月影のカルート』を手札に加えます！」

はたて&文 手札3

・モンスターゾーン

『A BF―涙雨のチドリ』ATK4100

・魔法・罨ゾーン

『RR―ネスト』

伏せ2

「わ、私のターン！ドロー！私は永続魔法『増草剤』を発動します！このカードの効果でこのターン、私は通常召喚できなくなります！墓地の植物族モンスターを特殊召喚できます！墓地から『ローンファイア・ブロッサム』を特殊召喚！」

『ローンファイア・ブロッサム』DEF1400

『『ローンファイア・ブロッサム』の効果が発動します！このカードを

リリースしてデッキから『アロマージ―ベルガモット』を特殊召喚します！」

『アロマージ―ベルガモット』 ATK 2400

「『ローンファイア・ブロッサム』がフィールドを離れたので『増草剤』は破壊されます。更に墓地の『アロマセラフイー―アンゼリカ』のモンスター効果を発動！私のフィールドに『アロマ』モンスターが存在し、自分のライフが相手ライフを上回っている場合、このカードを特殊召喚できる！」

『アロマセラフイー―アンゼリカ』 DEF 0

「そして『アロマガーデン』の効果を発動！」

チルノ&大妖精 LP 9400 ↓ 9900

『アロマージ―ベルガモット』 ATK 2400 ↓ 2900

『アロマセラフイー―アンゼリカ』 DEF 0 ↓ 500

「『ベルガモット』の効果発動！自分のライフが回復した場合、このカードの攻撃力を1000ポイントアップさせます！」

『アロマージ―ベルガモット』 ATK 2900 ↓ 3900

「レベル6の『アロマージ―ベルガモット』にレベル1の『アロマセラフイー―アンゼリカ』をチューニング！可憐な白き姿よ、美しい歌声に合わせて素晴らしい勝利を咲かせよ！シンクロ召喚！レベル7！『エンシエント・ホーリー・ワイバーン』！」

『エンシエント・ホーリー・ワイバーン』 ATK 2100

「『エンシエント・ホーリー』は自分ライフが相手ライフよりも多かった場合、その差の数値分、攻撃力が上昇する！」

「私たちのライフ差は5200！」

『エンシエント・ホーリー・ワイバーン』 ATK 2100 ↓ 7300

「バトルです！『エンシエント・ホーリー』で『涙雨のチドリ』を攻撃！」

「手札から『BF―月影のカルト』のモンスター効果を発動！このカードを墓地に送って『涙雨のチドリ』の攻撃力を1400ポイントアップさせます！墓地に『BF』が増えたので『チドリ』の攻撃力は更に300ポイントアップ！」

『A BF―涙雨のチドリ』 ATK 4100 ↓ 5500 ↓ 5800

はたて&文 LP 4700 ↓ 3200

『エンシエント・ホーリー・ワイバーン』 ATK 7300 ↓ 8800

「まだ……まだ！『涙雨のチドリ』が破壊された場合、墓地の『BF』シンクロモンスターを特殊召喚する！戻ってこい！『A BF―驟雨のライキリ』！」

『A BF―驟雨のライキリ』 ATK 2600

「更にトラップ発動！『ブラック・リベンジ』！鳥獣族モンスターが破

壊された場合、私のフィールドに『BF―ブラック・クレスト・トークン』を2体特殊召喚するわ！」

『BF―ブラック・クレスト・トークン』DEF800

『BF―ブラック・クレスト・トークン』DEF800

「カードを2枚伏せてターンエンドです」

チルノ&大妖精 手札4

・モンスターゾーン

『エンシエント・ホーリー・ワイバーン』ATK8800

・魔法・罫ゾーン

『アイスバーン』

伏せ3

・フィールド魔法

『アロマガーデン』

3.2. 「第十回戦！ホーリーVSブラック！下」

チルノ&大妖精 LP9900

手札4（大妖精）手札3（チルノ）

・モンスターゾーン

『エンシェント・ホーリー・ワイバーン』 ATK8800

・魔法・罨ゾーン

『アイスバーン』

伏せ3

・フィールド魔法

『アロマガーデン』

はたて&文 LP3200

手札3（文）手札6（はたて）

・モンスターゾーン

『A BF―涙雨のチドリ』 ATK4100

・魔法・罨ゾーン

『RR―ネスト』

伏せ2

「私のターン、ドロ―！『驟雨のライキリ』のモンスター効果を発動！自分フィールドのこのカード以外の『BF』モンスターの数だけ相手フィールドのカードを破壊する！対象は『アイスバーン』とセットカード！」

「そんな……『ウィキッド・リボーン』が……！」

『BF―ブラック・クレスト・トークン』をリリースして『RR―ワイルド・ヴァルチャー』をアドバンス召喚！」

『RR―ワイルド・ヴァルチャー』 ATK1600

『ワイルド・ヴァルチャー』のモンスター効果を発動！このカードを

リリースして手札の『RR―スカル・イーグル』2体を特殊召喚！

『RR―スカル・イーグル』ATK1000

『RR―スカル・イーグル』ATK1000

「これで……永続魔法『RR―ネスト』の効果を発動！デッキから『R―シンギング・レイニアス』を手札に加える！そしてレベル3の『スカル・イーグル』2体でオーバーレイ！2体のモンスターでオーバーレイネットワークを構築！エクシーズ召喚！ランク3！『RR―デビル・イーグル』！」

『RR―デビル・イーグル』ORU2 ATK1000

「エクシーズ素材となった2体の『スカル・イーグル』の効果で『デビル・イーグル』の攻撃力を300ポイントアップさせるわ！」

『RR―デビル・イーグル』ATK1000↓1300↓1600

「更に『デビル・イーグル』のモンスター効果を発動！ORUを1つ取り除き、相手フィールドの特殊召喚されたモンスターの元々の攻撃力分のダメージを相手に与える！」

『RR―デビル・イーグル』ORU2↓1

「きゃー！」

チルノ&大妖精 LP9900↓7800

『エンシエント・ホーリー・ワイバーン』ATK8800↓6700

「墓地へ行った『スカル・イーグル』の効果を発動！このカードを除外して墓地の『RRーサンクチュアリ』を手札に戻すわ！そして！
ランクアップマジック『R U Mスキップ・フォース』発動！自分フィールドの『RR』エクシーズモンスターを素材としてランクの2つ高い『RR』エクシーズモンスターへとランクアップできる！私は『デビル・イーグル』1体でオーバードレイネットワークを再構築！まだ見ぬ勇猛なハヤブサよ。猛き翼に秘めし未知なる力、今ここに知らしめよ！ランクアップエクシーズチェンジ！ランク5！『RRーエトランゼ・ファルコン』
！」

『RRーエトランゼ・ファルコン』ORU2 ATK2000

『エトランゼ・ファルコン』のモンスター効果を発動！ORUを1つ取り除き、『エンシエント・ホーリー・ワイバーン』を破壊して、元々の攻撃力分のダメージを相手に与える！」

『RRーエトランゼ・ファルコン』ORU2↓1

「また……っ！」

チルノ&大妖精 LP7800↓5700

「更に自分フィールドにエクシーズモンスターが存在するので手札から『RRーシンギング・レイニアス』を特殊召喚！」

『RRーシンギング・レイニアス』DEF100

「そして自分フィールドに『RR』モンスターが存在するので手札から

『RRーファジー・レイニアス』を特殊召喚！」

『RRーファジー・レイニアス』DEF1500

「まだまだ！『RR』モンスターが3体以上存在するので『RRーサンクチュアリ』を発動！デッキからカードを2枚ドロー！そして装備魔法『ラプターズ・アルティメット・メイス』を『エトランゼ・ファルコン』に装備！攻撃力が1000ポイントアップする！」

『RRーエトランゼ・ファルコン』ATK2000↓3000

「バトル！『RRーエトランゼ・ファルコン』でダイレクトアタック！」
「トラップ発動！『体力増強スーパージ』！2000ポイント以上の戦闘ダメージが発生する場合、ライフを4000ポイント回復します！」

チルノ&大妖精 LP5700↓9700↓6700

「『驟雨のライキリ』でダイレクトアタック！」

「トラップ発動！『波動再生』！『ライキリ』のレベル以下のシンクロモンスターを墓地から選択して、この攻撃で受ける戦闘ダメージを半分にします！」

チルノ&大妖精 LP6700↓5400

「そして、ダメージステップ終了時に選択したシンクロモンスターを特殊召喚します！甦れ！『エンシエント・ホーリー・ワイバーン』！」

『エンシエント・ホーリー・ワイバーン』 ATK2100 ↓4300

「カードを1枚伏せて、ターンエンド……」

はたて&文 手札3

・モンスターゾーン

『RR―エトランゼ・ファルコン』 ORU1 ATK3000

『RR―シンギング・レイニアス』 DEF100

『RR―ファジー・レイニアス』 DEF1500

『BF―ブラック・クレスト・トークン』 DEF800

『A BF―驟雨のライキリ』 ATK2600

・モンスターゾーン

『RR―ネスト』

伏せ2

「あたいのターンドロロー！ちよーさいいきよー！あたいがドロローしたのは『RUM―七皇の剣』^{ザ・セレンス・ワン}！このカードを発動！墓地から『No. 103 神葬零嬢ラグナ・ゼロ』を特殊召喚！」

『No. 103 神葬零嬢ラグナ・ゼロ』 ORU0 ATK2400

「そして『ラグナ・ゼロ』をカオス化させる！『CNo. 103 神葬零嬢ラグナ・インフィニティ』！」

『CNo. 103 神葬零嬢ラグナ・インフィニティ』 CORU1 ATK2800

『ラグナ・インフィニティ』のモンスター効果を発動！CORUを1つ取り除き、攻撃力が変動している『エトランゼ・ファルコン』をゲームから除外し、その差分のダメージを相手に与える！」

『C N O . 1 0 3 神葬零嬢ラグナ・インフィニティ』C O R U 1 ↓ 0

はたて&文 LP3200 ↓ 2200

『エンシエント・ホーリー・ワイバーン』A T K 4 3 0 0 ↓ 5 3 0 0

「バトルだー！ 『エンシエント・ホーリー・ワイバーン』で『驟雨のライキリ』を攻撃！」

「速攻魔法『烏合無象』発動！ 『R R ーシングング・レイニアス』を墓地に送って、エクストラデッキから『R R ーブレイズ・ファルコン』を特殊召喚！」

『R R ーブレイズ・ファルコン』O R U 0 A T K 1 0 0 0

「攻撃表示？ 分からないけど、『ライキリ』に攻撃だ！」

「速攻魔法『R U M ーデヴォーション・フォース』！ 相手モンスターの攻撃宣言時にフィールドの『R R 』エクシーズモンスターを素材にオーバーレイ！ ランクの1つ高い『R R 』エクシーズモンスターへとランクアップできる！ 私はランク5の『ブレイズ・ファルコン』1体でオーバーレイネットワークを再構築！ 誇り高き隼よ、英雄に勝るその傷だらけの翼翻し、革命を巻き起こし羽ばたけ！ エクシーズ召喚！ ランク6！ 『R R ーレボリユーション・ファルコン』！」

『R R ーレボリユーション・ファルコン』O R U 1 A T K 2 0 0 0

「そして『デヴォーション・フォース』の効果で攻撃対象を『レボリユーション・ファルコン』に変更する！」

「ええ!？」

「そして『レボリユーション・ファルコン』が特殊召喚されたモンスターとバトルする場合、相手モンスターの攻撃力・守備力は0になる！」

『エンシエント・ホーリー・ワイバーン』 ATK5300↓0

「ち、チルノちゃん！」

チルノ&大妖精 LP5400↓3400

「戦闘破壊された『エンシエント・ホーリー・ワイバーン』の効果で1000ポイントのライフを払うことで特殊召喚できる……!」

チルノ&大妖精 LP3400↓2400

『エンシエント・ホーリー・ワイバーン』 DEF2000

「そして『ラグナ・インフィニティ』で『ライキリ』を攻撃！」
「くっ……!」

はたて&文 LP2200↓2000

「うう……カードを伏せて、ターンエンド」

チルノ&大妖精 手札2

・モンスターゾーン

『CN0. 103 神葬零嬢ラグナ・インフィニティ』CORUO

ATK2800

『エンシエント・ホーリー・ワイバーン』DEF2000

・魔法・罨ゾーン

伏せ1

・フィールド魔法

『アロマガーデン』

「私のターン、ドロロー！『レヴオリューション・ファルコン』のモンスター効果を発動！このカードが『RR』エクシーズモンスターをORUにしている場合、相手モンスター1体を破壊し、そのモンスターの攻撃力の半分の数値のダメージを相手に与える！対象は『ラグナ・インフィニティ』！」

チルノ&大妖精 LP3400↓2000

「更に手札から『BF―逆風のガスト』を召喚！」

『BF―逆風のガスト』ATK900

「自分フィールドに『BF』が存在する場合、手札から『BF―突風のオロシ』を特殊召喚！」

『BF―突風のオロシ』DEF600

「そしてレベル2の『逆風のガスト』にレベル1の『突風のオロシ』をチューニング！勝利の風よ、白く輝く虹に乗せて現れよ！シンクロ召

喚！レベル3、『A BF―白虹のクニヨシ』！」

『A BF―白虹のクニヨシ』DEF1000

『突風のおロシ』がシンクロ召喚の素材として墓地に送られた場合に効果発動！相手モンスターの表示形式を変更できる！私は『エンシエント・ホーリー・ワイバーン』を攻撃表示に！」

『エンシエント・ホーリー・ワイバーン』DEF2000↓ATK2100

「ライフポイントが同じだから『エンシエント・ホーリー』の攻撃力は変動しないよ」

『BF』をシンクロ素材に使用した『白虹のクニヨシ』はチューナーモンスターとして扱う！私はレベル4の『ファジー・レイニアス』、レベル2の『ブラック・クレスト・トークン』にレベル3の『白虹のクニヨシ』をチューニング！白き電撃よ、妖の斬刀と共に勝利の風になれ！シンクロ召喚！レベル9！『A BF―叢雲のクサナギ』！」

『A BF―叢雲のクサナギ』ATK3000

『叢雲のクサナギ』がシンクロモンスターを素材にシンクロ召喚した時、その素材となったモンスターの攻撃力をターン終了時まで得ることがができる！」

『A BF―叢雲のクサナギ』ATK3000↓4000

「これでバトル！『レヴオリューション・ファルコン』で『エンシエント・ホーリー・ワイバーン』を攻撃！効果を発動！攻撃力を0に！」

『エンシエント・ホーリー・ワイバーン』ATK2100↓0

「トラップ発動！『シンクロン・リフレクト』！シンクロモンスターが攻撃対象になった時、攻撃を無効にして相手モンスターを破壊する！私が破壊するのは『叢雲のクサナギ』！」

「くっ……！メインフェイズ2に魔法カード『貪欲な壺』を発動！墓地の『白虹のクニヨシ』、『涙雨のチドリ』、『白夜のグラディウス』、『逆巻のトルネード』、『突風のオロシ』の5体をデッキに戻して2枚ドロ……カードを1枚伏せて、ターンエンド！」

はたて&文 手札1

・モンスターゾーン

『RRーレヴオリュション・ファルコン』ORU2 ATK2000

・魔法・罨ゾーン

『RRーネスト』

伏せ1

「わ、私のターンドロ……魔法カード『死者蘇生』を発動！墓地の『ローンファイア・ブロッサム』を特殊召喚！」

『ローンファイア・ブロッサム』DEF1400

「効果を発動！このカードをリリースして、デッキから『アロマージーローズマリー』を特殊召喚します！」

『アロマージーローズマリー』ATK1800

「そしてチューナーモンスター『サニー・ピクシー』を通常召喚！」

『サニー・ピクシー』ATK300

「私はレベル4の『アロママジューローズマリー』にレベル1の『サニー・ピクシー』をチューニング！素敵な香りに誘われて、妖精たちが舞い踊る！華麗な花を咲かせよ！シンクロ召喚！レベル5『アロマセラフイーローズマリー』！」

『アロマセラフイーローズマリー』 ATK2000

「光属性のシンクロモンスターの素材として墓地に送られた『サニー・ピクシー』の効果で1000ポイントライフを回復させます！」

チルノ&大妖精 LP2000↓3000

「ライフポイントが相手よりも多いので、『エンシエント・ホーリー』の攻撃力は1000ポイント、そして『ローズマリー』の攻撃力は500ポイントアップする！」

『エンシエント・ホーリー・ワイバーン』 ATK0↓1000

『アロマセラフイーローズマリー』 ATK2000↓2500

「更に『ローズマリー』の効果を発動！ライフポイントが回復した時、相手カードの効果を無効にする！対象は『レヴオリューション・ファルコン』！」

「くっ！これじゃ……戦闘時の効果が発動できない……！」

「更にフィールド魔法『アロマガーデン』の効果を発動！」

チルノ&大妖精 LP3000↓3500

『アロマセラファイアー・ローズマリー』 ATK2500↓3000

『エンシエント・ホーリー・ワイバーン』 ATK1000↓1500

「バトル！『ローズマリー』で『レヴオリューション・ファルコン』を攻撃！」

「きやつ！」

はたて&文 LP2000↓1000

『エンシエント・ホーリー・ワイバーン』 ATK1500↓2500

「これで……！『エンシエント・ホーリー・ワイバーン』でダイレクトアタック！」

「相手モンスターの直接攻撃宣言時に手札から『BF―熱風のギブリ』のモンスター効果を発動！このカードを特殊召喚！」

『BF―熱風のギブリ』 DEF1600

「……！『エンシエント・ホーリー・ワイバーン』で『熱風のギブリ』を攻撃！」

「『BF』が戦闘破壊された時、トラップ発動！『ブラック・サンダー』！相手フィールドのカード1枚につき、400ポイントのダメージを与える！」

「そんな……！私のフィールドのカードは3枚……！」

チルノ&大妖精 LP3500↓2300

『エンシエント・ホーリー・ワイバーン』 ATK2500↓1300

「カードを1枚伏せて、ターンエンド……!」

チルノ&大妖精 手札2

・モンスターゾーン

『アロマセラファイーローズマリー』 ATK2500

『エンシエント・ホーリー・ワイバーン』 ATK2250

・魔法・罨ゾーン

伏せ1

・フィールド魔法

『アロマガーデン』

「私のターン、ドロー!魔法カード『手札抹殺』発動!私は3枚、貴女は2枚墓地に送ってそれぞれ、墓地に送った枚数ドロー!」

「ドロー!」

「墓地に送られた『ミミクリー・レイニアス』のモンスター効果を発動!このカードをゲームから除外して、デッキから『RRーアイアン・ハート』を手札に加える!そして墓地の『RUMースキップ・フォース』の効果を発動!墓地のこのカードと『RRーペイン・レイニアス』をゲームから除外して、墓地の『RRーエクシーズモンスター』を特殊召喚できる!甦れ!『RRーレヴオリュション・ファルコン』!」

『RRーレヴオリュション・ファルコン』ORUO ATK2000

「と、特殊召喚成功時に永続罨『女神の加護』を発動!ライフを3000ポイント回復させます!」

チルノ&大妖精 LP2300↓5300

『エンシエント・ホーリー・ワイバーン』 ATK1300 ↓ 4300

『ローズマリー』の効果で『レヴオリューション・ファルコン』の効果
果を無効にします!」

「だったら装備魔法『RRーアイアン・ハート』を『レヴオリュシヨ
ン・ファルコン』に装備!装備モンスターの攻撃力を500ポイント
アップさせるわ!」

『RRーレヴオリューション・ファルコン』 ATK2000 ↓ 2500

「その効果にチェーンして手札の『ハネワタ』を捨てて効果を発動しま
す!このターン私が受ける効果ダメージは0になります!」

「2枚目の『RUMースキップ・フォース』を発動!『RRーレヴオ
リューション・ファルコン』を素材にオーバーレイ!勇猛果敢なるハ
ヤブサよ。自ら放つ爆炎を巻き上げ、大地をも焼き尽くす閃光となれ
!ランクアップエクシーズチェンジ!飛翔しろ!ランク8『RRーサ
テライト・キャノン・ファルコン』!」

『RRーサテライト・キャノン・ファルコン』 ORU1 ATK300
0

『サテライト・キャノン・ファルコン』がエクシーズ召喚に成功した
場合に効果を発動!相手フィールドの魔法・罨カードを全て破壊する
!そしてこの効果に相手はチェーン出来ない!」

「きやああ!でも!『ハネワタ』の効果が適用中なので……『女神
の加護』の効果ダメージは0になります……!」

『サテライト・キャノン・ファルコン』のモンスター効果!ORUを
1つ取り除き、相手モンスターの攻撃力を墓地の『RR』モンスター
の数×800ポイント下げる!私の墓地に存在する『RR』の数は1

6体！よって、『エンシエント・ホーリー・ワイバーン』の攻撃力を12800ポイント下げる！」

『RRーサテライト・キャノン・ファルコン』ORU1↓0

『エンシエント・ホーリー・ワイバーン』ATK4300↓0

「これで『エンシエント・ホーリー・ワイバーン』の攻撃力は0！」
「くっ……！」

「更に墓地に送られた『RRーアイアン・ハート』の効果を発動！墓地の2体の『RR』エクシーズモンスターを選択し、いずれか1体を特殊召喚する！来い！『RRーレヴオリュション・ファルコン』！」

『RRーレヴオリュション・ファルコン』ORU0 ATK2000

「そしてもう1体のエクシーズモンスター……『RRーフォース・ストリクス』を『レヴオリュション・ファルコン』のORUにする！」

『RRーレヴオリュション・ファルコン』ORU0↓1

「バトル！『レヴオリュション・ファルコン』で『ローズマリー』を攻撃！この瞬間、『レヴオリュション・ファルコン』の効果で『ローズマリー』の攻撃力は0になる！」

『ローズマリー』ATK3000↓0

チルノ&大妖精 LP5300↓3300

『サテライト・キャノン・ファルコン』で『エンシエント・ホーリー・ワイバーン』を攻撃！」

チルノ&大妖精 LP3300↓300

「私はカードを伏せて、『RR―ネスト』の効果を発動！デッキから『R―ラスト・ストリクス』を手札に加え、ターンエンド」

はたて&文 手札1

・モンスターゾーン

『RR―サテライト・キャノン・ファルコン』ORU0 ATK3000

『RR―レヴオリュション・ファルコン』ORU1 ATK2000

・魔法・罨ゾーン

『RR―ネスト』

伏せ1

「あたいのターン！ドロー！『ブリザード・サンダーバード』を通常召喚！」

『ブリザード・サンダーバード』ATK1600

「効果を発動！手札の『氷結界の紋章』を墓地に送り、墓地から『オーロラ・ウイング』と『ブリザード・ファルコン』を特殊召喚するよー！」

『オーロラ・ウイング』ATK1200

『ブリザード・ファルコン』ATK1500

『ブリザード・サンダーバード』は手札に戻り、レベル4モンスター

2体でオーバーレイ！2体のモンスターでオーバーレイネットワークを構築！エクシーズ召喚！リンク4『零鳥獣シルフィーネ』！」

『零鳥獣シルフィーネ』ORU2 ATK2000

「『シルフィーネ』のモンスター効果！ORUを1つ取り除き、このカード以外のフィールドの表側表示のカード効果を次の自分のスタンバイフェイズまで無効にし、このカードの攻撃力を無効にしたカードの数×300ポイントアップするよ！」

『零鳥獣シルフィーネ』ORU2↓1 ATK2000↓3200

「魔法カード『鬼神の連撃』！『シルフィーネ』のORUを全て墓地に送ることでこのターン、『シルフィーネ』は1度のバトルフェイズ中に2度攻撃できる！」

『零鳥獣シルフィーネ』ORU1↓0

「『零鳥獣シルフィーネ』で『レヴオリューション・ファルコン』を攻撃！」

「くっ！手札から『RRーラスト・ストリクス』のモンスター効果を発動！このカードを特殊召喚し、自分フィールド・墓地の魔法・罫カードの数×100ポイントのライフを回復させるわ！」

「な、なんだってー!？」

『RRーラスト・ストリクス』DEF100

「『シルフィーネ』で『レヴオリューション・ファルコン』に攻撃！」

はたて&文 LP1000↓2900↓1700

『シルフィーンネ』で『サテライト・キャノン・ファルコン』を攻撃！」

はたて&文 LP1700↓1500

「カードを伏せてターンエンド！」

チルノ&大妖精 手札1

・モンスターゾーン

『零鳥獣シルフィーンネ』ORU0 ATK3200

・魔法・罨ゾーン

伏せ1

「私のターン、ドロロー！『BF―大肺のヴァーユ』を召喚！」

『BF―大肺のヴァーユ』ATK0

「そしてレベル1の『ラスト・ストリクス』と『大肺のヴァーユ』でオーバレイ！2体のモンスターでオーバレイネットワークを構築！エクシーズ召喚！『ゴーストリック・デュラハン』！」

『ゴーストリック・デュラハン』ORU2 ATK1000

『デュラハン』の攻撃力は自分フィールドの『ゴーストリック』の数×200ポイントアップする！」

『ゴーストリック・デュラハン』ATK1000↓1200

「『デュラハン』の効果！ORUを1つ取り除き、『シルフィーネ』の攻撃力を半分にする！」

『零鳥獣シルフィーネ』 ATK3200↓1600

「墓地に行った『大肺のヴァーユ』のモンスター効果！このカードと『星影のノートウング』をゲームから除外することでエクストラデッキから『BF』シンクロモンスターを効果を無効にして特殊召喚する！私はレベル6の『星影のノートウング』にレベル1の『大肺のヴァーユ』をチューニング！来い！レベル7『A BF―涙雨のチドリ』！」

『A BF―涙雨のチドリ』 ATK2600

「バトル！『涙雨のチドリ』で『シルフィーネ』を攻撃！」

「速攻魔法『虚栄巨影』発動！『シルフィーネ』の攻撃力を1000ポイントアップさせる！」

「墓地の『黒羽幻風』ブラック・フェザー・イリュージョンの効果を発動！『BF』モンスターが攻撃した時に相手が発動した魔法カードの効果を無効にする！」

「そんな……！きゃあああ！」

チルノ&大妖精 LP300↓0

WINNER 姫海棠 はたて&射命丸 文

33. 「第十一回戦！星の龍と絶望の神!?上」

『さあ、始まったー！ー！ー！古明地さとりと古明地こいしチームVS鬼人正邪&ファントムチームの戦いだー！ー！』

「「「ウオオオオオオー!!（ノ・ω・ノ）」」」

「さあ、やるぞ」

「ええ……特に話すことはないですからね」

「ひやははは！ガキども相手なんて大人げないが、容赦なく行くぜー！」

「ふーん、おもしろそーだね」

「「「デュエル！」」」

ターン順 さとり↓正邪↓こいし↓ファントム

「私のターン……永続魔法『天輪鐘楼』を発動。このカードが存在する限り、シンクロ召喚を行ったプレイヤーは1枚ドロウする。そして手札の『グローアップ・バルブ』を墓地に送り、手札の『クイック・シンクロン』を特殊召喚」

『クイック・シンクロン』DEF1400

「墓地の『グローアップ』の効果を発動。デッキの一番上の『ボルト・ヘッジホッグ』を墓地に送り、このカードを特殊召喚する」

『グローアップ・バルブ』DEF100

「そして永続魔法『超栄養太陽』を発動。『グローアップ・バルブ』をリリースし、リリースしたモンスターのレベル+3の手札・デッキから特殊召喚する。『バオバブーン』を特殊召喚」

『バオバブーン』DEF1000

『バオバブーン』が特殊召喚に成功した時、デッキからカードを1枚ドロ―して手札のカードをデッキの一番上か下に置くことができる。ドロ―……別のカードを一番下に置き、レベル3の『バオバブーン』にレベル5の『クイツク・シンクロン』をチューニング。シンクロ召喚。レベル8『ロード・ウオリアー』

『ロード・ウオリアー』ATK3000

『天輪鐘楼』の効果で1枚ドロ―……更に私がシンクロ召喚に成功したので手札の『シンクロ・マグネーター』を特殊召喚」

『シンクロ・マグネーター』ATK1000

『ロード・ウオリアー』の効果でデッキからレベル2以下の機械族か戦士族を特殊召喚する。『チューニング・サポーター』を特殊召喚」

『チューニング・サポーター』DEF300

『チューニング・サポーター』はシンクロ素材として使用する時、レベル2として扱うこともできるので、私はレベル2の『チューニング・サポーター』にレベル3の『シンクロ・マグネーター』をチューニング。シンクロ召喚。レベル5『TG ハイパー・ライブリアン』

『TG ハイパー・ライブリアン』ATK2400

『天輪鐘楼』と『チューニング・サポーター』の効果で計2枚のカードをドロ―……魔法カード『調律』を発動。デッキから『ジャンク・シンクロン』を手札に加え、デッキの一番上のカードを墓地に送る

……『クリア・エフェクター』が墓地に送られる。『ジャンク・シンクロン』を召喚」

『ジャンク・シンクロン』ATK1300

「効果を発動。墓地の『クリア・エフェクター』を守備表示で特殊召喚」

『クリア・エフェクター』DEF900

「レベル2の『クリア・エフェクター』にレベル3の『ジャンク・シンクロン』をチューニング。レベル5『アクセル・シンクロン』」

『アクセル・シンクロン』DEF2100

「この時、『天輪鐘楼』、『ハイパー・ライブリアン』、『クリア・エフェクター』の効果で計3枚のカードをドロウ。『アクセル・シンクロン』のモンスター効果を使用。デッキから『シンクロン』モンスターを墓地に送り、そのモンスターのレベル分、このカードのレベルを上げるか下げることができる。私はレベル1の『ジェット・シンクロン』を墓地に送り、『アクセル・シンクロン』のレベルを1つ上げる」

『アクセル・シンクロン』☆5↓6

「そして墓地の『ボルト・ヘッジホッグ』の効果が発動。自分フィールドにチューナーモンスターが存在する場合、このカードを特殊召喚でききる」

『ボルト・ヘッジホッグ』DEF800

「レベル2の『ボルト・ヘッジホッグ』にレベル6となった『アクセル・シンクロン』をチューニング。散りばめられる星々が、一つとなりて、

未来を拓く、人も妖も……シンクロ召喚。レベル8『スターダスト・ドラゴン』

『スターダスト・ドラゴン』ATK2500

『天輪鐘楼』と『ハイパー・ライブラリアン』の効果で計2枚ドロー。カードを3枚伏せて、ターンエンドです」

さとり&こいし 手札4

・モンスターゾーン

『スターダスト・ドラゴン』ATK2500

『TG ハイパー・ライブラリアン』ATK2400

『ロード・ウォリアー』ATK3000

・魔法・罫ゾーン

『天輪鐘楼』

伏せ3

「1ターンで、なんつー展開力だ……ぶっ潰しがいるってもんだぜ！私のターン！ドロー……またこいつか。魔法カード『名推理』を発動。さあ、レベルを好きなの選びな」

「レベル4です」

「よし、なら1枚目……レベル4の『E・HEROシャドー・ミスト』だ！相手が宣言したレベルと合っているモンスターならば墓地に送られる！だが、このカードが墓地に送られた場合、デッキから『HERO』を手札に加えるぜ！『E・HEROエアーマン』を手札に！そして『エアーマン』を召喚！」

『E・HEROエアーマン』ATK1800

『エアーマン』の効果でデッキから『HERO』をサーチする！

『E・HEROマリシヤス・エツジ』を手札に加え、魔法カード『ダー

ク・フュージョン』を発動！手札の『マリシヤス・エッジ』と『ユベル』で融合！悪に染まった英雄よ、痛みを得る悪魔との契約を結び、最悪へとその姿を進化せよ！融合召喚！『E—HEROマリシヤス・デビル』！」

『E—HEROマリシヤス・デビル』 ATK3500

「バトルだ！『マリシヤス・デビル』で『ハイパー・ライブラリアン』を攻撃！『エッジ・ストリーム』！」

「トラップ発動。『王魂調和』キングス・シンクロ。攻撃を無効にし、攻撃対象となった『ハイパー・ライブラリアン』と墓地のチューナーモンスター『アクセル・シンクロン』で条件を無視してシンクロ召喚を行います」

「な、なんだと!?!」

「私はレベル5の『ハイパー・ライブラリアン』にレベル5の『アクセル・シンクロン』をチューニング……未来へと光速で駆けるその姿は新たな進化への扉を開く鍵となる。人も妖も……アクセルシンクロ。シンクロ召喚。光来せよ。レベル10『シユールティング・スター・ドラゴン』」

『シユールティング・スター・ドラゴン』 ATK3300

「『天輪鐘楼』の効果で1枚ドロ」

「ば、馬鹿な……! 『スターダスト・ドラゴン』に『シユールティング・スター・ドラゴン』だとお!?!チィ……カードを2枚伏せて、ターンエンドだ」

フロントム&正邪 手札1

・モンスターゾーン

『E—HEROマリシヤス・デビル』 ATK3500

『E・HEROエアーマン』 ATK1800

・魔法・罫ゾーン

伏せ2

「よし、私のターンだよ☆ドロー！『ロード・ウォリアー』の効果を発動〜！」

「おっと！トラップ発動！『禁断の異本』！お互いのフィールドに合計2体以上の融合・シンクロ・エクシーズモンスターが存在する場合、その種類を全て墓地に送る！ひやははは！これでシンクロモンスターは全部墓地行きだ〜！」

「ええ〜!? 困るよ！取り敢えず、チェーン解決で『ロード・ウォリアー』の効果でデッキから『TGストライカー』を特殊召喚するよ〜！」

『TGストライカー』DEF0

「レベル4以下のモンスターが特殊召喚されたから手札の『TGワーウルフ』を特殊召喚するよ〜！」

『TGワーウルフ』DEF0

「そして『ジャンク・シンクロン』を召喚！」

『ジャンク・シンクロン』ATK1300

「効果で墓地の『クリア・エフェクター』を特殊召喚するよ〜！」

『クリア・エフェクター』DEF900

「レベル2の『クリア・エフェクター』にレベル3の『ジャンク・シンクロン』をチューニング！シンクロ召喚〜！レベル5『マジカル・アンドロイド』〜！」

『マジカル・アンドロイド』ATK2300

「まだまだく！『クリア・エフェクター』がシンクロ素材として使用された場合、1枚ドロウするよ！更に『天輪鐘楼』の効果で1枚ドロウ！レベル3の『TGワーウルフ』にレベル2の『TGストライカー』をチューニング！シンクロ召喚！レベル5『TGワンダー・マジシャン』！」

『TGワンダー・マジシャン』 ATK1900

『天輪鐘楼』の効果で1枚ドロウして、『ワンダー・マジシャン』が特殊召喚に成功した時、フィールドの魔法・罫カードを1枚破壊できる！残りの伏せカードを破壊だー！」

「ただじゃ破壊されねえぜ！トラップ発動！『スリップ・サモン』！手札のレベル4以下のモンスターを守備表示で特殊召喚するぜ！私が特殊召喚するのはD—HEROディシジョンガイ！」

『D—HEROディシジョンガイ』 DEF1000

『ディシジョンガイ』の効果を発動！このターンのエンドフェイズ時にデッキから『HERO』モンスターを手札に加える！」

「レベル5の『マジカル・アンドロイド』にレベル5の『TGワンダー・マジシャン』をチューニング！リミッター開放！レベル10！GO！アクセルシンクロ！『TGブレード・ガンナー』」

『TGブレード・ガンナー』 ATK3300

『天輪鐘楼』の効果で1枚ドロウして、バトルだく！」

「ひやはは！無駄だぜ！『マリシヤス・デビル』の効果でこいつにしか攻撃できねえ！」

「大丈夫だよく！リバースカードオープン！速攻魔法『収縮』！『マリシヤス・デビル』の攻撃力を半分にする！」

「ちっ」

『E—HEROマリシヤス・デビル』 ATK3500↓1750

「バトル！『ブレード・ガンナー』で『マリシヤス・デビル』を攻撃！

『シユート・ブレード』！」

「ぐっ！」

フロントム&正邪 LP8000↓6450

「カードを伏せて、永続魔法『魂吸収』を発動してターンエンド☆」

「エンドフェイズ時に『デイシジョンガイ』の効果でデッキから『D—HEROデイバインガイ』を手札に加え、『スリップ・サモン』の効果で『デイシジョンガイ』は手札に戻る！」

さととり&こいし 手札6

・モンスターゾーン

『TGブレード・ガンナー』 ATK3300

・魔法・罨ゾーン

『天輪鐘楼』

『魂吸収』

伏せ2

「俺のターン……ドロー。相手フィールドにのみモンスターが存在する場合、手札から『アンノウン・シンクロン』を特殊召喚」

『アンノウン・シンクロン』 DEF0

「魔法カード『ワンチャン!?!』を発動。自分フィールドにレベル1モン

スターが存在する場合、デッキからレベル1モンスターを手札に加える。『ミスティック・パイパー』を手札に加え、召喚」

『ミスティック・パイパー』ATK0

「『ミスティック・パイパー』の効果が発動。このカードをリリースしてデッキから1枚ドロし、そのカードがレベル1モンスターならば相手に見せることでもう1枚ドロできる。ドロ…レベル1『ブースター・ウォリアー』だ。もう1枚ドロする。『ブースター・ウォリアー』は自分フィールドにチューナーモンスターが存在する場合に特殊召喚できる」

『ブースター・ウォリアー』DEF200

「フィールド魔法『スターライト・ジャンクション』を発動。効果により、『アンノウン・シンクロン』をリリースしてレベルの異なる『シンクロン』モンスターを特殊召喚する。来い、『フルール・シンクロン』

『フルール・シンクロン』DEF200

「レベル1の『ブースター・ウォリアー』にレベル2の『フルール・シンクロン』をチューニング。炎に光が交わった時、更なる進化を求めろ。幻へと姿形を変えていく。シンクロ召喚。『たつのこ』」

『たつのこ』ATK1700

「『天輪鐘楼』の効果は俺も使用できる。1枚ドロし、シンクロ素材として墓地に送られた『フルール・シンクロン』の効果が発動。手札から『イービル・ソーン』を特殊召喚」

『イービル・ソーン』DEF300

『イービル・ソーン』をリリースして効果を発動。相手に300ポイントのダメージを与える」

さとり&こいし LP8000→7700

「そしてデッキから同名モンスターを2体攻撃表示で特殊召喚する」

『イービル・ソーン』 ATK100

『イービル・ソーン』 ATK100

「この効果で特殊召喚された『イービル・ソーン』は自身の効果を使用できないが、そんなことはどうでもいい。手札の『サンダー・ドラゴン』を捨てて効果を発動。デッキから同名モンスターを2体手札に加える。『たつのこ』はシンクロ召喚するためのモンスターを手札から代用できる。俺は手札のレベル5『サンダー・ドラゴン』にレベル3の『たつのこ』をチューニング。水に光が交わった時、異次元からの進化へと姿形を変えていく。シンクロ召喚。『PSYフレームロード・Ω』」

『PSYフレームロード・Ω』 ATK2800

『天輪鐘楼』の効果でドロ〜…ほお？『手札断殺』を発動。お互いは手札を2枚捨て、2枚ドロ〜する。俺は『サンダー・ドラゴン』と『絶対王バック・ジャック』を捨てる」

「じゃあ、私は『リ・バイブル』と『フューチャー・グロウ』を捨てるよ〜」

「墓地に送られた『絶対王バック・ジャック』の効果を発動。デッキの上からカードを3枚確認し、好きな順番でデッキの上へ戻す…そし

て、俺はレベル1の『イービル・ソーン』2体でオーバーレイ。2体のモンスターでオーバーレイネットワークを構築。闇と闇が交わった時、光差す彼方へ姿形を変えていく。エクシーズ召喚『森羅の姫芽宮』

『森羅の姫芽宮』ORU2 ATK1800

『姫芽宮』の効果を発動。ORUを1つ取り除き、デツキの一番上のカードをめくり、それが魔法・罫カードならば手札に、モンスターなら墓地に送る」

『森羅の姫芽宮』ORU2↓1

『デツキトップのカードは魔法カード『フレグランズ・ストーム』。これを手札に加え、発動。『姫芽宮』を破壊して、1枚ドロ。ドロしたのは植物族モンスターの『スポーア』。よってもう1枚ドロする。魔法カード『ワン・フォー・ワン』発動。手札の『スポーア』を墓地に送り、デツキから『ブロック・スパイダー』を特殊召喚」

ブロック・スパイダー』DEF100

『ブロック・スパイダー』が特殊召喚に成功した時、デツキから『ブロック・スパイダー』を特殊召喚する」

『ブロック・スパイダー』DEF100

「レベル1の『ブロック・スパイダー』2体でオーバーレイ。2体のモンスターでオーバーレイネットワークを構築。地と地が交わった時、いたずら徒に首無し騎士へと姿形を変えていく。エクシーズ召喚『ゴーストリック・デユラハン』」

『ゴーストリック・デュラハン』ORU2 ATK1000↓1200

「『ゴーストリック・デュラハン』の効果を発動。ORUを1つ取り除き、『ブレード・ガンナー』の攻撃力を半分にする」

『ゴーストリック・デュラハン』ORU2↓1

『TGブレード・ガンナー』ATK3300↓1650

「バトル。『Ω』で『ブレード・ガンナー』を攻撃」

「『ブレード・ガンナー』の効果を発動！墓地の『TGワーウルフ』を除外して、このカードを除外する！『魂吸収』の効果！更にトラップカード『ゼロ・フォース』！フィールドの表側表示モンスターを全て攻撃力0にする！」

「……」

『PSYフレームロード・Ω』ATK2800↓0

『ゴーストリック・デュラハン』ATK1200↓0

さとり&こいし LP7700↓8700

「……メインフェイズ2で魔法カード『終わりの始まり』を発動。墓地の『シャドーミスト』、『イービル・ソーン』、『イービル・ソーン』、『マリシャス・エッジ』、『絶対王バック・ジャック』を除外して、3枚ドロ……」

「『魂吸収』の効果で2500ポイント回復！」

さとり&こいし LP8700↓11200

「カードを3枚伏せて、ターンエンド」

フロントム&正邪 手札3

・モンスターゾーン

『PSYフレイムロード・Ω』ATK0

『ゴーストリック・デュラハン』ORU1 ATK0

・魔法・罨ゾーン

伏せ3

・フィールド魔法

『スターライト・ジャンクション』

「私のターン、ドロー」

「スタンバイフェイズに『PSYフレイムロード・Ω』の効果を発動。除外されている『絶対王バツク・ジャック』を墓地に戻す」

「私もスタンバイフェイズに除外されている『TGブレード・ガンナー』を特殊召喚します」

「トラップ発動。『ハルモニアの鏡』。相手がシンクロモンスターを特殊召喚する場合、俺のフィールドにそのモンスターを特殊召喚する」
「……」

『TGブレード・ガンナー』ATK3300

「わ、私の『ブレード・ガンナー』が！お姉ちゃん、取り返して〜！」
「はあ……私は速攻魔法『マグネット・リバーズ』を発動。除外されている通常召喚できない岩石族か機械族を特殊召喚する。『アクセル・シンクロン』を特殊召喚」

『アクセル・シンクロン』DEF2100

「『アクセル・シンクロン』の効果を発動。デッキから『ジェット・シ

ンクロン』を墓地に送り、レベルを1つ下げる」

『アクセル・シンクロン』☆5↓4

「『ジャンク・シンクロン』を召喚」

『ジャンク・シンクロン』ATK1300

「墓地の『クリア・エフェクター』を特殊召喚」

『クリア・エフェクター』DEF900

「更に墓地のモンスターが特殊召喚に成功した時、手札の『ドツペル・ウォリアー』を特殊召喚」

『ドツペル・ウォリアー』ATK800

「レベル2の『ドツペル・ウォリアー』にレベル3の『ジャンク・シンクロン』をチューニング。シンクロ召喚。レベル5『ジャンク・ウォリアー』」

『ジャンク・ウォリアー』ATK2300

「『天輪鐘楼』と『ジャンク・ウォリアー』の効果の発動に対し、墓地の『ドツペル・ウォリアー』の効果を発動。『ドツペル・トークン』を2体特殊召喚」

『ドツペル・トークン』ATK400

『ドツペル・トークン』ATK400

「『ジャンク・ウォリアー』の効果で自分フィールドのレベル2以下の

モンスターの攻撃力の合計分、このカードの攻撃力をアップさせます」

『ジャンク・ウォリアー』 ATK 2300 ↓ 3100

「そして、1枚ドロ。レベル2『クリア・エフェクター』、レベル1『ドッペル・トークン』にレベル4の『アクセル・シンクロン』をチューニング。シンクロ召喚。レベル7『邪竜星―ガイザー』」

『邪竜星―ガイザー』 ATK 2600

「『天輪鐘楼』と『クリア・エフェクター』の効果で1枚ドロ。『邪竜星―ガイザー』の効果を発動。自分フィールドの『竜星』モンスターと相手カードを破壊する。私は『邪竜星―ガイザー』と『TGブレード・ガンナー』を破壊する」

「トラップ発動。『スター・シフト』。『TGブレード・ガンナー』を墓地に送り、エクストラデッキから同レベルのシンクロモンスターを効果を無効にして特殊召喚する。来い、『ニルヴァーナ・ハイ・パラディン涅槃の超魔導剣士』」

『涅槃の超魔導剣士』 ATK 3300

「『クリア・エフェクター』をシンクロ素材として使用された場合、『邪竜星―ガイザー』は効果では破壊されません」

「『スターライト・ジャンクション』の効果が発動。俺がエクストラデッキからシンクロモンスターを特殊召喚した場合、相手カード1枚を選択してデッキに戻させる……対象は『ジャンク・ウォリアー』だ」
「……墓地の『ジェット・シンクロン』の効果が発動。手札の『シャッフル・リボーン』を墓地に送り、このカードを特殊召喚」

『ジェット・シンクロン』 DEF 0

「魔法カード『精神汚染』発動。手札の『スターダスト・ドラゴン／バスター』を墓地に送り、『涅槃の超魔導剣士』のコントロールを得ます」
「いいだろう」

『涅槃の超魔導剣士』コントロールラー ファントム↓さとり

「レベル1の『ドッペル・トークン』にレベル1の『ジェット・シンクロン』をチューニング。この時、『ジェット・シンクロン』は除外される。シンクロ召喚。『フォーミュラ・シンクロン』」

『フォーミュラ・シンクロン』DEF1500

「『天輪鐘楼』と『フォーミュラ・シンクロン』自身の効果で1枚ずつドロウ。そして『ジェット・シンクロン』が自身の効果で特殊召喚に成功し、墓地に送られる場合、除外されるため、『魂吸収』の効果も発動する」

さとり&こいし LP11200↓11700

「速攻魔法『スター・チェンジャー』発動。『フォーミュラ・シンクロン』のレベルを1つ上げます」

『フォーミュラ・シンクロン』☆2↓3

「レベル7の『邪竜星―ガイザー』にレベル3となった『フォーミュラ・シンクロン』をチューニング。光道の輝きに照らされ、新たな境地へと進んでいく。人も妖も……アクセルシンクロ。シンクロ召喚。レベル10『真閃珑竜スターダスト・クロニクル』」

『真閃珧竜スターダスト・クロニクル』 ATK 3000

『天輪鐘楼』の効果で1枚ドローして、魔法カード『スター・レベル・シャッフル』を発動。『涅槃の超魔導剣士』と同レベルのモンスターを墓地から選択して、入れ替えます。私が選択するのは『シューティング・スター・ドラゴン』

『シューティング・スター・ドラゴン』 ATK 3300

『シューティング・スター・ドラゴン』の効果が発動。デッキの上から5枚のカードをめくり、その中のチューナーモンスターの数だけ攻撃できる。1枚目チューナーモンスター『ジェット・シンクロン』、2枚目『仁王立ち』、3枚目『トウルース・リインフォース』、4枚目『調律』、5枚目チューナーモンスター『ジャンク・シンクロン』。よって2回攻撃が可能となる」

「メインフェイズ終了時に『PSYフレームロード・Ω』の効果が発動。このカードと相手の手札を1枚除外する」

「『マインド・クラッシュ』ですか……『魂吸収』の効果が発動」

さとり&こいし LP 11700 ↓ 12700

「バトル。『真閃珧竜スターダスト・クロニクル』で『ゴーストリック・デュラハン』を攻撃」

「『ゴーストリック・デュラハン』の効果が発動。ORUを1つ取り除き、『スターダスト・クロニクル』の攻撃力を半分にする」

『ゴーストリック・デュラハン』 ORU ↓ 0

「『スターダスト・クロニクル』の効果が発動。墓地の『スターダスト・

『ドラゴン』をゲームから除外することで『スターダスト・クロニクル』は他のカード効果を受けない。『魂吸収』の効果を発動」

フロントム&正邪 LP 6450↓3450

さとりとこいし LP 12700↓13200

「『シユールティイングスター・ドラゴン』でダイレクトアタック」

「トラップ発動。『迷い風』。『シユールティイング・スター・ドラゴン』の元々の攻撃力を半分にし、効果を無効にする」

『シユールティイング・スター・ドラゴン』 ATK 3300↓1650

フロントム&正邪 LP 3450↓1800

「連続攻撃ができなくなりましたか……カードを伏せてターンエンド」

さとりとこいし 手札2

・モンスターゾーン

『真閃珑竜スターダスト・クロニクル』 ATK 3000

『シユールティイング・スター・ドラゴン』 ATK 1650

・魔法・罨ゾーン

『天輪鐘楼』

『魂吸収』

伏せ2

「いくぜえ!?!私のターン!ドロー!ひゃーはははは!スタンバイフェイズに『PSYフレームロード・Ω』とお前の手札が元に戻るぜ!」

『PSYフレームロード・Ω』 ATK2800

「『手札抹殺』を発動!2枚捨てて、2枚ドロー!更に『ネクロフェイス』を召喚!」

『ネクロフェイス』 ATK1200

「『ネクロフェイス』が召喚に成功した時、お互いのゲームから除外されているカードを全てデッキに戻し、その枚数だけこのカードの攻撃力を100ポイントアップする!戻ったカードは8枚!」

『ネクロフェイス』 ATK1200↓2000

「魔法カード『アカシックレコード』!デッキからカードを2枚ドロー!よし、新しいカードだ……バトル!『ネクロフェイス』で『シユールテイング・スター・ドラゴン』を攻撃!」

「……攻撃宣言時に『シユールテイング・スター・ドラゴン』の効果を発動。このカードをゲームから除外して攻撃を無効にする」

「チェーンして速攻魔法『九十九スラッシュ』を発動!ライフ差だけ『ネクロフェイス』の攻撃力を加算させる!私とお前のライフ差は1400!」

「その効果にチェーンして『魂吸収』の効果を発動。更に『スターダスト・クロニクル』の効果を発動。墓地の『スターダスト・ドラゴン』を除外し、このカードは他のカードの効果を受けなくなる。そしてもう一度『魂吸収』の効果を発動」

さとり&こいし LP13200↓13700↓14200

『ネクロフェイス』 ATK 2000 ↓ 14400

「速攻魔法『ダブル・アップ・チャンス』を発動！『ネクロフェイス』の攻撃力を倍にして、もう一度攻撃できる！」

『ネクロフェイス』 ATK 14400 ↓ 28800

『『ネクロフェイス』で『スターダスト・クロニクル』を攻撃！』

「トラップ発動。『ダメージ・ダイエット』。このターン受けるダメージを半分にする」

さとり&こいし LP 14200 ↓ 800

『『真閃珧竜スターダスト・クロニクル』の効果で除外されている『スターダスト・ドラゴン』を特殊召喚します』

『スターダスト・ドラゴン』 DEF 2000

『『PSYフレームロード・Ω』で『スターダスト・ドラゴン』を攻撃して、メインフェイズ2に入るぞ。墓地の『D—HERO デイバインガイ』の効果を発動！私の手札が0枚の場合、このカードと墓地の『D—HERO デイジョンガイ』を除外して、2枚ドロー！』

『『魂吸収』の効果を発動』

さとり&こいし LP 800 ↓ 1800

「カードを2枚伏せて、ターンエンド！」

「このエンドフェイズ時に除外されている『シユータイング・スター・ドラゴン』を特殊召喚します」

『シユータイング・スター・ドラゴン』 ATK 3300

フロントム&正邪 手札0

・モンスターゾーン

『ネクロフェイス』 ATK 28800 ↓ 20000

『PSYフレイムロード・Ω』 ATK 28000

・魔法・罫ゾーン

伏せ2

・フィールド魔法

『スターライト・ジャンクシヨン』

34. 「第十一回戦！星の龍と絶望の神!?!下」

ファントム&正邪 LP1800

手札3 (ファントム) 手札0 (正邪)

・モンスターゾーン

『ネクロフェイス』 ATK28800↓2000

『PSYフレイムロード・Ω』 ATK2800

・魔法・罨ゾーン

伏せ2

・フィールド魔法

『スターライト・ジャンクション』

さとり&こいし LP1800

手札2 (さとり) 手札6 (こいし)

・モンスターゾーン

『真閃光竜スターダスト・クロニクル』 ATK3000

『シューティング・スター・ドラゴン』 ATK3300

・魔法・罨ゾーン

『天輪鐘楼』

『魂吸収』

伏せ2

「私のターン、ドロ〜！」

「このスタンバイフェイズ時に『PSYフレイムロード・Ω』の効果で除外されている『E・HEROシャドーミスト』を墓地に戻す」

「このままバトル！『シューティングスター・ドラゴン』で『ネクロフェイス』を攻撃！」

「永続罨『革命―トリック・バトル』発動！攻撃表示同士の戦闘で破壊

されるのは攻撃力が高い方になるぜ！」

「『シユーンティング・スター・ドラゴン』の効果で……破壊できないの!?!」

「ひゃーははははー無駄だ無駄だ！戦闘ダメージぐらいは受けてやるよおー！」

フアントム&正邪 LP1800↓500

「ううー、メインフェイズ2に入って、魔法カード『戦士の生還』を発動。墓地の『ジャンク・シンクロン』を手札に加え、召喚〜！」

『ジャンク・シンクロン』 ATK1300

「『ジャンク・シンクロン』の効果で墓地の『クリア・エフェクター』を特殊召喚！」

『クリア・エフェクター』 DEF900

「レベル2の『クリア・エフェクター』にレベル3の『ジャンク・シンクロン』をチューニング！シンクロ召喚！レベル5！『転生竜サンサーラ』！」

『転生竜サンサーラ』 ATK100

「『天輪鐘楼』と『クリア・エフェクター』の効果で2枚のカードをドロ〜！カードを2枚伏せてターンエンド」

さとり&こいし 手札6

・モンスターゾーン

『転生竜サンサーラ』 ATK100

・魔法・罨ゾーン

『天輪鐘楼』

『魂吸収』

伏せ3

「俺のターン、ドロ。『マジック・プランター』を発動。『革命ートリック・バトル』を墓地に送って2枚ドロ……『金華猫』を召喚」

『金華猫』 ATK400

「『金華猫』の効果を発動。墓地のレベル1モンスターである『ミステイック・パイパー』を特殊召喚」

『ミステイック・パイパー』 DEF0

「『ミステイック・パイパー』の効果で自身をリリースして1枚ドロ、ドロしたのは『虹クリボー』。よって、もう1枚ドロする……バトルだ。『PSYフレームロード・Ω』で『転生竜サンサーラ』を攻撃」
「永続罨『リビングゲッドの呼び声』！墓地の『シユーテイング・スター・ドラゴン』を蘇生するよ〜！」

『シユーテイング・スター・ドラゴン』 ATK3300

「攻撃続行」

「リバースカードだよ！速攻魔法『緊急テレポート』！デッキから『テレポンド・D』を守備表示で特殊召喚！」

『テレポンド・D』 DEF1800

「攻撃続行」

「トラップ発動！『ダブル・タイプ・レスキュー』〜！自分フィールドのモンスターの種類が2種類以上存在するか、『TG』モンスターが存在するなら墓地からモンスターを特殊召喚できるよ〜！現れよ！『TGブレード・ガンナー』！」

『TGブレード・ガンナー』 ATK3300

「……攻撃続行」

「『シューティング・スター・ドラゴン』の効果と『TGブレード・ガンナー』の効果が発動！『シューティング・スター・ドラゴン』を除外して攻撃を無効！『TGブレード・ガンナー』と墓地の『TGワンダー・マジシャン』を除外して、次のスタンバイフェイズまでこのカードを除外する！そして『魂吸収』で計1500ポイントのライフを回復するよ〜！」

さとり&こいし LP1800↓3300

「……ち、『金華猫』で『転生竜サンサーラ』を攻撃」

「何も無いよー」

さとり&こいし LP3300↓3000

「『サンサーラ』の効果で墓地から『マジカル・アンドロイド』を特殊召喚〜！」

『マジカル・アンドロイド』 ATK2400

「カードを2枚伏せて、ターンエンド」

「この時、『緊急レポート』の効果で特殊召喚された『テレポンド・D.』の効果でデッキから『サイ・ガール』をゲームから除外するよ。そして、『魂吸収』の効果を発動〜!」

さとり&こいし LP3000↓4000

「エンドフェイズ時に『金華猫』は手札に戻る」

「そうそう『シユートイニング・スター・ドラゴン』も特殊召喚されるよ〜」

『シユートイニング・スター・ドラゴン』 ATK3300

フロントム&正邪 手札4

・モンスターゾーン

『PSYフレームロード・Ω』 ATK2800

・魔法・罫ゾーン

伏せ3

・フィールド魔法

『スターライト・ジャンクション』

「私のターン、ドロ〜…スタンバイフェイズ時に、『TGブレード・ガンナー』を特殊召喚します」

『TGブレード・ガンナー』 ATK3300

「『PSYフレームロード・Ω』の効果を発動。除外されている『EーHEROマリシヤス・エツジ』を墓地に戻し、この瞬間に墓地の『絶対王バツク・ジャツク』の効果を発動。このカードをゲームから除外することで、デッキの一番上のカードをめくり、そのカードが通常罫

カードならば、セットし発動することができる……デッキトップのカードは……ビンゴだ。『禁断の異本』。このカードをセットし、即発動。シンクロモンスターは全て墓地に送られる」

「……除外されている『テレポンド・D』の効果で同じく除外されている『サイ・ガール』を特殊召喚し、『絶対王バック・ジャック』の除外に対し、『魂吸収』の効果を発動」

『サイ・ガール』DEF300

さとり&こいし LP4000↓4500

「特殊召喚された『サイ・ガール』の効果を発動します。デッキの一番上のカードを裏側で除外し、『魂吸収』の効果を発動」

さとり&こいし LP4500↓5000

「ディアラレント・デイメンション・リバイバル『装備魔法』『D・D・R』を発動。手札の『仁王立ち』を捨て、除外されている『TGハイパー・ライブラリアン』を特殊召喚」

『TGハイパー・ライブラリアン』ATK2400

「そして3体目の『ジャンク・シンクロン』を召喚」

『ジャンク・シンクロン』ATK1300

「効果を発動。墓地の『ドツペル・ウォリアー』を守備表示で特殊召喚」

『ドツペル・ウオリアー』DEF800

「レベル2の『ドツペル・ウオリアー』にレベル3の『ジャンク・シンクロン』をチューニング。シンクロ召喚。再び現れよ。『ジャンク・ウオリアー』」

『ジャンク・ウオリアー』ATK2300

「『天輪鐘楼』、『TGハイパー・ライブリアン』、『ジャンク・ウオリアー』、墓地の『ドツペル・ウオリアー』の効果が発動します。まず、『天輪鐘楼』と『TGハイパー・ライブリアン』の効果で2枚ドロ。そして『ドツペル・ウオリアー』の効果で『ドツペル・トークン』を2体特殊召喚します」

『ドツペル・トークン』ATK400

『ドツペル・トークン』ATK400

「『ジャンク・ウオリアー』の効果で攻撃力を800ポイントアップさせます」

『ジャンク・ウオリアー』ATK2300↓3100

「墓地の『リ・バイブル』の効果を発動。エクストラデッキの差が5枚以上ある場合、ライフを2000ポイント支払うことで特殊召喚されます」

さとり&こいし LP5000↓3000

『リ・バイブル』DEF300

「レベル1の『ドッペル・トークン』にレベル1の『リ・バイブル』をチューニング。シンクロ召喚。レベル2『フォーミュラ・シンクロン』」

『フォーミュラ・シンクロン』DEF1500

「『リ・バイブル』は除外されたので『魂吸収』の効果と『天輪鐘楼』、『TGハイパー・ライブラリアン』、『フォーミュラ・シンクロン』の効果が発動します。3枚ドロ」

さとり&こいし LP3000↓3500

「レベル5『TGハイパー・ライブラリアン』、レベル5『ジャンク・ウォリアー』にレベル2の『フォーミュラ・シンクロン』をチューニング。集いし希望の数々が星々となりて道を照らす……人と妖に……デルタアクセルシンクロ。光来せよ、『シユーティング・クエーサー・ドラゴン』」

『シユーティング・クエーサー・ドラゴン』ATK4000

「『天輪鐘楼』の効果で1枚ドロし、バトル。『シユーティング・クエーサー・ドラゴン』でダイレクトアタック」

「(決めに来たな……!)手札の『虹クリボー』の効果を発動!このカードを『シユーティング・クエーサー・ドラゴン』の装備カードにし、攻撃することを封じる!」

「『シユーティング・クエーサー・ドラゴン』の効果でその効果を無効にし、破壊する」

「トランプ発動!『魔法の筒』^{マジック・シンダー}!攻撃を無効にし、『シユーティング・

クエーサー・ドラゴン』の攻撃力分のダメージを相手に与える！」

「手札の『ライフ・コーデイネイター』のモンスター効果を発動。このカードを墓地に送ることでダメージを与えるカード効果を無効にして破壊する。『シユューテイング・クエーサー・ドラゴン』はシンクロ素材に使用したチューナーモンスター以外のシンクロモンスターの数だけ攻撃できる。もう一度『シユューテイング・クエーサー・ドラゴン』でダイレクトアタック」

「トラップ発動！『パワーウォール』！戦闘ダメージ500ポイント毎にデッキの上からカードを墓地に送ることで戦闘ダメージを0にする！8枚のカードを墓地に送る！」

「『ドツペル・トークン』でダイレクトアタック……速攻魔法『イージー・チューニング』を発動。墓地の『ジャンク・シンクロン』を除外し、その攻撃力分、『ドツペル・トークン』の攻撃力をアップさせる」

『ドツペル・トークン』 ATK400↓1700

「墓地の『虹クリボー』は相手モンスターの直接攻撃宣言時に特殊召喚できるー！」

『虹クリボー』 DEF100

「……『ドツペル・トークン』で『虹クリボー』を攻撃」

「『虹クリボー』は除外される」

「『ジャンク・シンクロン』と『虹クリボー』が除外されたことにより、『魂吸収』の効果を発動」

さとり&こいし LP3500↓4500

「カードを伏せて、ターンエンド」

さとり&こいし 手札5

・モンスターゾーン

『シユータイング・クエーサー・ドラゴン』 ATK4000

『ドツペル・トークン』 ATK1700

『サイ・ガール』 DEF300

・魔法・罨ゾーン

『天輪鐘楼』

『魂吸収』

『リビングデッドの呼び声』（対象なし）

伏せー

「私のターン！ドロー！まずは墓地の『先史遺産コロツサル・ヘッド』の効果を発動！このカードを除外し、『シユータイング・クエーサー・ドラゴン』を裏側守備表示に変更する！」

「（『パワーウォール』の時に……）『シユータイング・クエーサー・ドラゴン』の効果で無効にし、破壊する……そして『魂吸収』の効果を発動」

「手札から速攻魔法『ダブル・サイクロン』の効果を発動！私の場の『スターライト・ジャンクション』とてめえの伏せカードを破壊だ！」

「……っ。トラップ発動。『貪欲な瓶』。墓地の『スターダスト・ドラゴン』、『緊急レポート』、『ジャンク・シンクロン』2枚、『調律』をデッキに戻し、1枚ドロー……」

さとり&こいし LP4500↓5000

「リバースカードオープン！速攻魔法『魔力の泉』！これでてめえのフィールドの表側表示の魔法・罨カードの枚数だけドローし、私のフィールドの表側表示の魔法・罨カードの枚数だけ捨てる！3枚ド

ローして、1枚捨てる……『D―HEROディアボリックガイ』を捨てる！魔法カード『ダーク・コーリング』発動！墓地の『E―HEROマリシヤス・デビル』と今捨てた『The despair UR ANUS』を除外して融合召喚！闇臨せよ！『E―HEROダーク・ガイア』！」

『E―HEROダーク・ガイア』 ATK？

「『ダーク・ガイア』の攻撃力は融合素材となったモンスターの攻撃力の合計となる！」

『E―HEROダーク・ガイア』 ATK？↓6400

「『魂吸収』の効果を発動」

さとり&こいし LP5000↓6000

「バトルだ！『ダーク・ガイア』で『サイ・ガール』を攻撃！この瞬間、『ダーク・ガイア』の効果で守備モンスターは全て攻撃表示となる！」

『サイ・ガール』 DEF300↓ATK500

さとり&こいし LP5000↓100

「『サイ・ガール』の効果で裏側で除外されたカードを手札に加える……」

「メインフェイズ2で魔法カード『一時休戦』を発動！お互いに1枚ド

ローして、次のターン終了時までお互いが受けるダメージは0になる
……モンスターとカードを1枚ずつ伏せてターンエンドだ」

フロントム&正邪 手札0

・モンスターゾーン

『E—HEROダーク・ガイア』ATK6400

セットモンスターDEF???

・魔法・罨ゾーン

伏せ1

「わ、私のターン！ドロー！魔法カード『ミラクルシンクロフュージョン』を発動！墓地の『マジカル・アンドロイド』と『ライフ・コーディネイター』を除外して融合召喚！来たれ！『アルティットサイキツカー』！」

『アルティットサイキツカー』ATK2900

『魂吸収』の効果を発動〜！」

さとり&こいし LP100→1100

「自分フィールドにサイキツク族が存在する場合、魔法カード『最古式念動』を発動するよ！これで『E—HEROダーク・ガイア』を破壊し、私は1000ポイントのダメージを受けるよ！」
「ちっ。『一時休戦』でそのダメージはなしか」
「バトルは危なそうだよね……『ドツペル・トークン』を守備表示に変更して、これでターンエンドだよ〜」

さとり&こいし 手札5

・モンスターゾーン

『アルティットサイキツカー』ATK2900

『ドツペル・トークン』 ATK400↓DEF400

・魔法・罟ゾーン

『天輪鐘楼』

『魂吸収』

『リビングデッドの呼び声』（対象なし）

「俺のターン……ドロー。トラップ発動『ホーリーライフバリアー』を発動。手札を1枚捨てて、このターン俺が受けるダメージは0となる……モンスターを反転召喚する」

『ストレイン・エンド』 DEF0↓ATK0

「バトルだ」

「攻撃力0でバトル……？」

「『ストレイン・エンド』で『アルティットサイキッカー』を攻撃」

「でも、『ホーリーライフバリアー』の効果でダメージは0になっているんだよね」

「その通り。そして、相手ライフが俺のライフポイントよりも高い場合、デッキから『アンチ』モンスターを可能な限り特殊召喚する。『アンチ・ザ・アース』、『アンチ・ザ・スカイ』、『アンチ・ザ・アビス』、『アンチ・ザ・レイ』」

『アンチ・ザ・アース』 DEF0

『アンチ・ザ・スカイ』 DEF0

『アンチ・ザ・アビス』 DEF0

『アンチ・ザ・レイ』 DEF0

「『アンチ・ザ・レイ』の効果が発動。自分フィールドの『アンチ』モンスターの上に重ね、デッキから『絶望神アンチホープ』を特殊召喚する」

『絶望神アンチホープ』ORU4 ATK5000

「エクシーズモンスターじゃないのに、ORUを持っているモンスターってどういうこと!?!」

「バトル。『絶望神アンチホープ』で『アルティットサイキッカー』を攻撃。『アンチホープ・デイスペア・スラッシュ』を

「きゃあああ!」

さとりとこいし LP1100↓0

WINNER ファントム&正邪